

2026 年度

教育要項（シラバス）

岩手医科大学看護学部 第2学年



教育要項（シラバス）目次

2026 年度看護学部第 2 学年

教育要項（シラバス）の利用の仕方	1
看護学部における学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	2
看護学部における教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）	3
看護学部における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
看護学部における評価方針（アセスメント・ポリシー）	6
ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの関連図	8
2026 年度 看護学部カリキュラムマップ	9
看護学部卒業時コンピテンシー	10
コンピテンシーと達成に向けた評価基準	15
看護学部コンピテンス達成ロードマップ・マトリックス	20
看護学部ナンバリング構成等について	23
学事予定	24
第 2 学年履修科目一覧	25
時間割・教室	26
矢巾キャンパス平面図	29

授 業 科 目

看護専門基礎科目（必修）

薬理学（前期）	35
臨床心理学（前期）	40
疾病論Ⅰ（内科系総論）（通期）	43
疾病論Ⅱ（外科系総論）（前期）	47
疾病論Ⅲ（各論）（後期）	51
疾病論Ⅳ（展開論）（後期）	55

看護専門科目（必修）

看護過程演習（前期）	59
地域・在宅看護学概論（前期）	64
成人看護学概論（前期）	68
老年看護学概論（前期）	71
小児看護学概論（前期）	74
母性看護学概論（前期）	77
精神看護学概論（前期）	80

地域・在宅看護方法論（後期）	83
成人慢性期看護方法論（後期）	87
成人急性期看護方法論（後期）	91
成人慢性期看護学演習（後期）	95
老年看護方法論（後期）	99
小児看護方法論（後期）	103
母性看護方法論（後期）	106
精神看護方法論（後期）	110
医療安全論（後期）	114
緩和ケア論（後期）	117
基礎看護過程実習（後期）	120
 教養教育科目（必修）	
医療英語（前期）	123
 公衆衛生看護学関連科目（選択履修）	
日本国憲法（後期）	127
 自由科目（選択）	
地域医療課題解決演習（通期）	130
海外英語演習（後期）	133
 諸 規 則 等	
岩手医科大学学則	134
岩手医科大学看護学部における在学年限に関する規程	154
岩手医科大学における各学部等の人材養成および教育研究上の目的に関する規程	155
学生心得	157
岩手医科大学学生の欠席の取扱いに関する規程	164
岩手医科大学看護学部の公欠に関する内規	166
岩手医科大学看護学部履修試験規程	167
看護学部成績評価に対する異議申し立てに関する内規	174
教養教育センター成績評価に対する異議申し立てに関する内規	177
大学における単位の考え方と授業外学修について	180
岩手医科大学生命倫理規範	181
岩手医科大学における人体標本取扱指針	182
学生健康診断規程	183

学生健康診断等実施要領 -----	185
障害のある学生等への合理的配慮に関する規程 -----	186
GPA 制度について -----	190
CAP 制度について -----	191
学生の教育成果物の利用について -----	192
岩手医科大学における風水害等に伴う授業及び定期試験の取扱要領 -----	193
看護学部履修科目一覧 -----	194
看護学部カリキュラム全体図 -----	196
教育課程と保健師助産師看護師学校養成所指定規則との対比表【看護師養成課程】 -----	197
教育課程と保健師助産師看護師学校養成所指定規則との対比表【保健師養成課程】 -----	199
教育課程と保健師助産師看護師学校養成所指定規則との対比表【助産師養成課程】 -----	201
オフィスアワー一覧 -----	203

教育要項（シラバス）の利用の仕方

教育要項（シラバス）とは、看護学部 of 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき策定する教育課程の年間授業計画、授業の方法、内容、到達目標、成績評価方法及び成績評価基準等を学生に対しあらかじめ提示するものです。

本学における看護学教育の内容を把握するとともに、充実した履修を行うために本要項を有意義に活用されることを希望します。

1. 授業計画について

科目毎に学習方針、教育成果（アウトカム）※¹及び到達目標（SB0）※²、授業毎にその内容及び到達目標を掲げていますので、予習や復習など日々の事前事後学修の目安としてください。

※¹教育成果（アウトカム）：学修した知識・技能・態度について、将来どのように活用できるようになるかを記したものです。また、枠内には当該科目に関連するディプロマ・ポリシーを記載しています。

※²到達目標（SB0）：授業毎の到達目標を積み重ねることにより、学生が具体的に何をできるようになるかを記したものです。

2. 授業時間について

授業時間は、1 時限を 90 分とし、原則として次のとおり授業を行います。

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
8：50～10：20	10：30～12：00	13：00～14：30	14：40～16：10	16：20～17：50

3. 教科書、参考書、推薦図書について

科目毎に教科書または学修に必要な参考書・推薦図書を掲げています。教科書として指定された図書については、各自購入してください。

4. 成績評価方法について

科目毎に成績を評価するための方法及び基準を明示していますので、あらかじめ理解した上で日々の授業に臨んでください。

なお、履修方法、試験等の取扱い及び進級・卒業等の認定に関する事項は、「岩手医科大学学則」及び「看護学部履修試験規程」に定めています。

5. その他

授業時間割または教室の変更、学生の呼出し、提出物に関することなど、大学からの学生に対する連絡は、原則として WebClass 及び掲示により行われますので、日頃から WebClass および掲示板を見るよう心がけてください。

看護学部の掲示板は、西講義実習棟 1 階（1・2 学年用）とマルチメディア教育研究棟 3 階（3・4 学年用）に設置しています。

看護学部における学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」を深く理解したうえで看護職者として必要な知識・技能・態度を修得し、チーム医療や地域社会において活躍できる看護職者として以下のような能力などを身につけ、かつ所定の課程を修めた者に対して、学士（看護学）の学位を授与します。

1. 医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2. 生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3. 看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4. 看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5. 患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6. 災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7. 保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8. コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。
9. 変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

以上の教育成果を達成することができるよう四年一貫でカリキュラムが構成されています。本学のすべてのカリキュラムを完遂するためには、学則第2条に定める期間を在学し、かつ第6条に定める授業科目及び単位を履修修得する必要があります。

看護学部における教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

人がかけがえのない存在であることを理解し、看護を行うことができる自律した専門職として地域に貢献できる基本的な能力を備えた人材を涵養します。そのため基礎的な知識と実践力の修得に留まらず、初学の時期から医療安全を推進する基本的な姿勢と看護管理的視点を修得できる教育課程を整備します。その実現のために以下のカリキュラムを編成して体系的な理解が得られるようにします。

1. 初年次教育として、教養の土台を築くとともに、全学部共学による「IPE（多職種連携）科目」を通じて、論理的な考え方や表現方法の基本を修得するほか、適切かつ正確な情報を検索・収集する能力を身につけ、多職種連携の基本的な姿勢を学びます。
2. 「教養教育科目」を通じて、看護職者として、人としての高い倫理観を保持するために広い教養の修得を図ります。
3. 「看護専門基礎科目」および「看護専門科目」を通じて、高度・先進化していく医学専門知識と技術と看護学の多様性を相互に影響している関係性として結合させ、看護の実践に必要な知識を学びます。
4. 各専門領域の講義、演習および臨地実習での学修を通じて、主体的に課題と向き合い、学び方を学ぶことを習慣化し研鑽を積むことで、専門的に体系立てられた知識と洗練された技術の独自性を健康課題の視点から理解できる医療人として、卒業後も地域と施設それぞれの特性と関係性を踏まえ、学び続ける力を身につけます。
5. 「看護専門科目」および「発展科目」を通じて、県の地域性を、総合的・政策的・学際的に修得し、暮らしの場が災害などによる急激な変化に見舞われた時においても保健、医療、福祉サービスを途切れることなく提供できるように連続的・包括的にとらえ、看護職者としての活動が展開できるような能力を養います。
6. 環境への深い洞察力を培い、看護職者としてのヒューマンケアを実践できるような国際的な視野を持ち、看護の実践、教育、研究、政策立案等において将来にわたって寄与できるような医療人を育成するためにアクティブラーニングやICTを積極的に活用した教育を行います。

看護学部における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、「医療人たる前に、誠の人間たれ」という建学の精神のもとに、地域医療に貢献する医療人育成を使命として設立されました。学則には、「まず人間としての教養を高め、十分な知識と技術とを習得し、更に進んでは専門の学理を極め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献する」ことが掲げられています。看護学教育・教養教育を通して、優れた資質と深い人間愛を有する医療人、研究者、人格的に成長できる人材の育成が、本学の目指すところです。

看護学部では、次のような人材を求めています。

1. 人々との相互関係に関心をもち、人としての尊厳を重んじることができる人
2. 人の不安や悩みを自らの問題として受け止めることができる人
3. 自然環境との共生と防災への構想力をもつことができる人
4. 自然科学と社会科学の学びから自己の成長を図ることができる人
5. 大学教職員とともに地域社会に役立とうという意思をもつ人

上記の資質を備えた多様な人材を募るために、一般選抜、学校推薦型選抜、社会人入学者選抜、編入学者選抜、総合型選抜を行います。いずれの試験区分においても面接試験を実施するとともに、高等学校からの調査書（一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜）で学習態度や課外活動などを確認し、主体性、多様な人々と協働して学ぶ資質、コミュニケーション能力を評価します。入学志願書は、本学で看護学を学ぶ熱意や向上心などを確認するための参考とします。

一般選抜では面接試験のほか、高等学校で履修する外国語（英語）、数学または理科の筆記試験と小論文により、入学後の修業に必要とされる読解力、思考力、判断力、表現力、知識を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか多面的・総合的に判断します。

学校推薦型選抜および社会人入学者選抜では面接試験のほか、高等学校で履修する外国語（英語）の筆記試験と小論文により、入学後の修業に必要とされる読解力、思考力、判断力、表現力、知識を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか多面的・総合的に判断します。

編入学者選抜は、高い目的意識をもった看護師免許を取得している者を受け入れ、学びの機会の提供と、学位取得を希望する者、保健師または助産師の受験資格等取得を希望する者への門戸を広げるための制度です。選抜試験においては面接試験のほか、看護専門科目、外

国語（英語）の筆記試験により、入学後の修業に必要とされる基礎的専門知識、読解力、思考力を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか多面的・総合的に判断します。

総合型選抜は、活動報告書における自己の成長に繋がったと考える経験や社会との接点を感じた出来事の内容から、主体性、多様性、協働性を確認するとともに、集団面接ではプレゼンテーションやディスカッションを通して、思考力、判断力、表現力を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか多面的・総合的に判断します。

なお、入学者の受け入れにあたっては、民族、宗教、国籍、年齢、性別、家庭環境、居住地域および性的指向などを問わず、多様な人材を募集します。

看護学部における評価方針（アセスメント・ポリシー）

【大学】

本学の建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」を深く理解したうえで、医療人として必要な資質を備えているかを、多面的な評価方法で判定します。

【看護学部】

本学看護学部は、医療人として備えるべき資質を定めた学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に沿って、カリキュラムを構成しています。「誠の人間を育成する」との大学・学部の理念に立脚し、学年ごとに、あるいは科目ごとに、以下の指針に則って多面的に評価します。

1. 講義・演習科目では、知識とその応用を査定します。実習科目では、技能、態度、コミュニケーション能力を評価するほか、倫理・遵法精神と利他精神も評価対象とします。
2. 知識とその応用および技能に関しては筆記試験ならびに実技試験、総合的な能力は実習評価で査定します。
3. 筆記試験・実技試験・実習評価は、数値化して達成度を査定します。
4. 評価方法と合否基準の設定にあたっては、その妥当性ならびに客観性を考慮し、担当教員が定期的に見直しを行い、次年度開始時に被評価者（学生）と評価者（科目責任者）にシラバスで提示します。
5. 看護学教育における順次性を考慮し、原則的として年度ごとに進級判定あるいは卒業判定といった統括評価を行います。
6. 科目合否判定や統括評価に加え、形成的評価を随時行うことで到達目標に至る道程を明らかにします。
7. 定期試験で所定の到達目標に達しなかった場合は、再試験を行います。また、病気その他やむを得ない事由で定期試験を受験できなかった場合は、追試験を行うことがあります。
8. 科目履修は、出席することが前提であるため出席による加算点はなく、所定の回数以上を出席しなければ評価対象から外れます。

9. 各学年の進級・卒業要件と各科目の合否基準の詳細は、シラバスに明示するとともに、学年当初に被評価者に周知します。
10. 各科目の査定をもとに GPA を算出し、進路に対する助言をします。
11. 定期試験問題・正答および判定基準を保管し、被評価者からの照会に応じる体制を整備します。

注

- 入学者選抜時のアセスメント・ポリシーは、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に含めます。
- 本学学生としての資質に欠けると思われる行動をとった場合の取扱いに関しては、学生懲戒規程に記します。

用語説明

- 判定；合否で表すものとして用いる用語
- 査定；連続変数で表すものに用いる用語
- 評価；判定・査定を包括した用語
- GPA；履修科目の成績評価を単位数に応じて重み付けした平均値で表したもの。Grade Point Average の略語。

看護学部 カリキュラム・ポリシー

論理的思考や表現法、情報活用法の習得と多職種連携の基本的な姿勢



教養の修得と
高い倫理観の保持



医学専門知識、技術
および看護学の多様
性と看護実践に必要な知識



地域と施設における
医療人として
学び続ける力



地域に根ざした包括
的な看護活動の展開



幅広く看護学の発展
に寄与できる医療人



1年

2年

3年

4年

多職種連携のための
アカデミックリテラシー

教養教育科目

【看護専門科目への橋渡し教育】
医療における社会・行動科学、基礎自然科学、情報科学、健康運動科学、社会福祉、心理学、医療面接の基礎、生命倫理学、アドバンスト生物、自然・文化人類学、解析学入門、医療とスポーツ、アドバンスト化学、アドバンスト数学、医療とコミュニケーション、科学英語、医療と福祉、医療と物語、パーソナリティ心理学、医療と法律

【高校からの橋渡し科目】
ベーシック物理・化学・生物・数学、スタンダード生物

【一般教養科目】
道徳のしくみ、文学の世界、人間関係論、哲学の世界、ESL、ERW、実践英語、データサイエンス

医療英語

看護専門基礎科目

基礎解剖学、基礎生理学、医学・医療論、生化学、病理学概論、感染免疫学、栄養学

薬理学、疾病論Ⅰ（内科系総論）、Ⅱ（外科系総論）、Ⅲ（各論）、Ⅳ（展開論）、臨床心理学

公衆衛生学・疫学、保健統計学、臨床病態生理学

看護薬理学、臨床推論

看護専門科目

看護学概論（全人的医療基礎講義含む）
生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）
生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）
フィジカルアセスメント
診療援助技術論
看護過程論

地域健康生活論

災害ケア論

看護過程演習

地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護方法論、成人看護学概論、成人慢性期看護方法論、成人急性期看護方法論、老年看護学概論、老年看護方法論、小児看護学概論、小児看護方法論、母性看護学概論、母性看護方法論、精神看護学概論、精神看護方法論

医療安全論、緩和ケア論

看護倫理学

地域・在宅看護学演習
成人急性期看護学演習
老年看護学演習
小児看護学演習
母性看護学演習
精神看護学演習

国際看護学、看護研究入門

医療情報論、災害医療論、家族ケア論、スキニング論

看護管理学

看護研究

看護教育論
メンタルヘルスクエ論
看護政策論
地域包括ケア論

自由科目

地域医療課題解決演習、海外英語演習

臨床微生物・感染症学
感染制御・感染看護演習

看護研究実践演習

臨地実習

基礎看護学実習

基礎看護過程実習

地域・在宅看護学実習、成人看護学慢性期・回復期実習、成人看護学急性期実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習

統合看護実習

日本国憲法

公衆衛生看護学関連科目

対象別健康支援論、公衆衛生看護管理論、公衆衛生看護方法論、学校・産業保健論、健康危機管理論

地域アセスメント演習
地区・組織支援論
保健医療福祉行政論
公衆衛生看護学実習

助産学関連科目

助産学概論、母子の心理・社会学、助産診断技術学（ローリスク）、助産診断技術学（ハイリスク）、助産診断技術学（新生児）、性と生殖の健康科学、母子の健康教育論

助産診断技術学（分娩期）、周産期医学、地域母子保健、助産管理学、地域母子保健実習、助産学実習

看護学部 ディプロマ・ポリシー

医療人としての
全人的人間性



尊厳・権利の擁護と
苦痛や苦悩への共感



看護の基礎的能力



創造的な看護の実践



患者のアセスメントと
援助理論・方法



危機的状況下で
ケアを提供する構想力



多職種連携における
調整能力



コミュニティの人々と
連携した地或活動

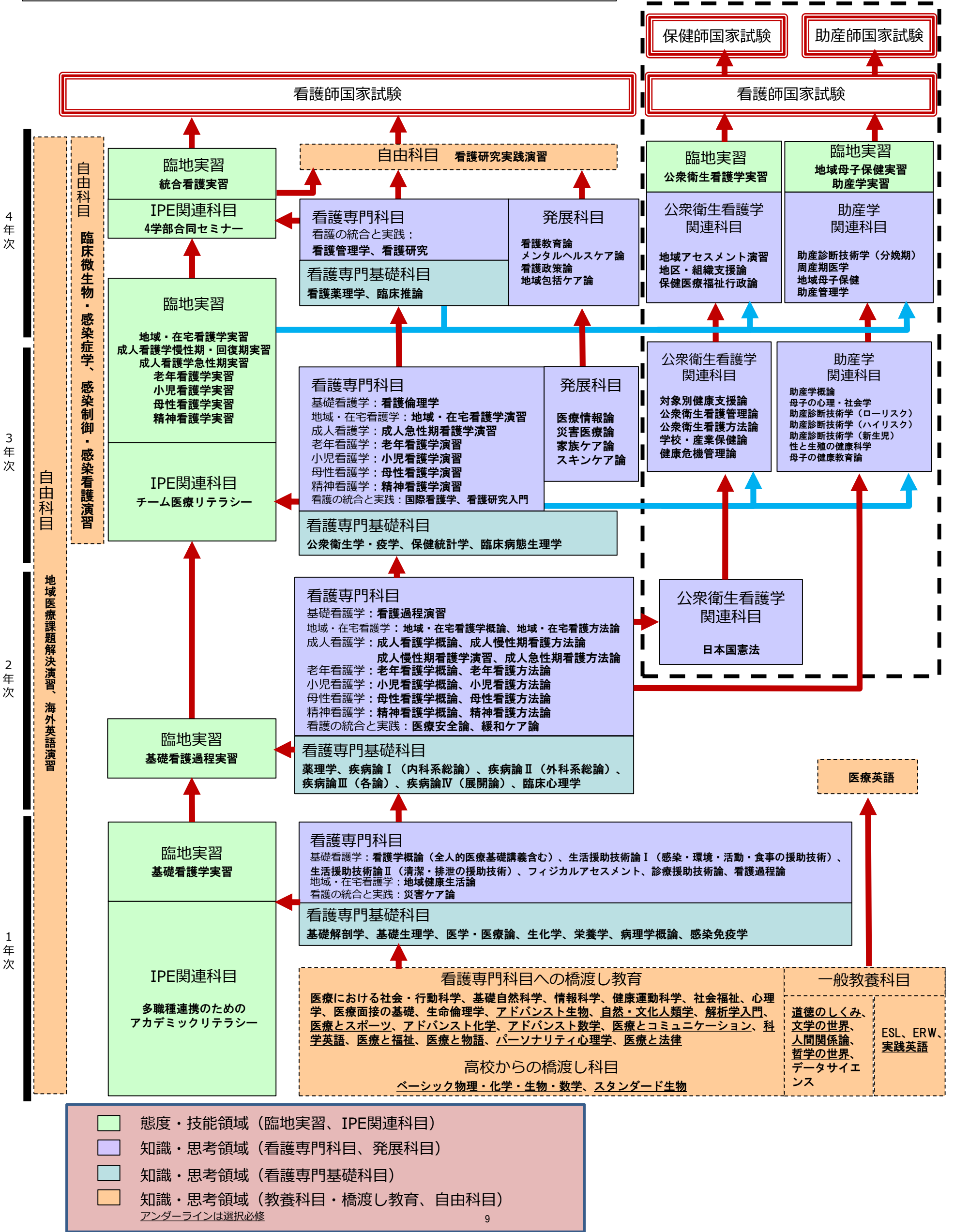


国際的な視野



2026年度 看護学部看護学科カリキュラムマップ

※2024年度及び2025年度入学者適用



岩手医科大学看護学部卒業時コンピテンシー

岩手医科大学看護学部では、卒業時に修得しておくべき能力（アウトカム）として**卒業時コンピテンス（9領域）及び卒業時コンピテンシー（65項目）**を規定しています。

I. 医療人としての全人的人間性

1. 看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力
 - ・人間や健康を包括的に捉え説明できる。
2. 人間を生物学的に理解しアセスメントに活かす基本能力
 - ・生物学的存在としての人間の正常な構造と機能を説明できる。
 - ・人間の心身の変調とそれに伴う心身の反応を説明できる。
3. 人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力
 - ・人間の成長と発達段階の特徴、発達段階に応じた生活の特徴を説明できる。
 - ・人間の生活と健康との関連について理解し、説明できる。
 - ・個人が家族・集団・地域・社会（文化や政治など）などを含む環境から受ける影響と、それらに対する個人の適応的な働きかけを理解し、説明できる。
4. 人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力
 - ・自然環境、地球環境問題と人間の健康の関係について説明できる。
 - ・社会環境と人間の健康との関係について説明できる。

II. 尊厳・権利の擁護と苦痛や苦悩への共感

1. 看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力
 - ・多様な価値観・信条や生活背景を持つ人を尊重する行動をとることができる。
 - ・人間の尊厳及び人権の意味を理解し、擁護に向けた行動をとることができる。
2. 実施する看護を説明し意思決定を支援する能力
 - ・実施する看護の根拠（もしくは目的）と方法について、人々に合わせた説明ができる。
 - ・看護の実施にあたり、その人の意思決定を支援することができる。
3. 援助的関係を形成する能力
 - ・看護の対象となる人々（個人・家族・集団・地域）との信頼関係の形成に必要なコミュニケーションを展開できる。
 - ・看護の対象となる人々との協働的な関係の形成を理解し、説明できる。

Ⅲ. 看護の基礎的能力

1. 健康の保持増進と疾病を予防する能力

- ・健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。
- ・人の誕生前から死に至るまでを生涯発達の視点から理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。
- ・妊娠・出産・育児期の母児（子）とその家族の健康を保持増進するために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。
- ・個人特性及び地域特性に対応した健康的な環境づくりについて説明できる。
- ・地域精神保健活動について説明できる。
- ・健康課題に関する政策と保健活動について説明できる。

2. 計画的に看護を実践する能力

- ・患者に合わせた看護計画を立案ならびに実践できる。
- ・実施した看護実践を評価し、記録できる。

3. 看護援助技術を適切に実施する能力

- ・基本的な看護援助技術を修得し、指導のもとで実施できる。
- ・行動変容を促す看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。
- ・人的・物理的環境に働きかける看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。
- ・薬物療法に関する適切な看護援助について説明できる。

4. 安全なケア環境を提供する能力

- ・安全なケアをチームとして組織的に提供する意義について説明できる。
- ・医療事故防止対策について理解し、そのために必要な行動をとることができる。
- ・感染防止対策について理解し、必要な行動をとることができる。

Ⅳ. 創造的な看護の実践

1. 根拠に基づいた看護を提供する能力

- ・根拠に基づいた看護を提供するための理論的知識や先行研究の成果を探索し、活用できる。
- ・回復過程にある患者・家族の心身の状況をアセスメントし、他（多）職種連携のもとでの早期からのリハビリテーションを通して、回復を促進するための基本的な看護援助方法が実施できる。

2. 慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力

- ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族の状態をアセスメントし、疾病・障害に対応する看護援助方法について指導のもと実施できる。

- ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族を理解し、療養生活の看護援助方法について指導のもと実施できる。
- ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族が地域で生活できるよう、社会資源の活用方法について説明できる。

3. エンドオブライフにある人と家族を援助する能力

- ・エンドオブライフにある人を全人的に理解し、その人らしさを支える看護援助方法について理解できる。
- ・エンドオブライフの症状緩和のための療法・ケアを理解し、苦痛、苦悩や不安の緩和方法について理解できる。
- ・看取りをする家族の援助について理解できる。

4. 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力

- ・看護専門職の専門性を発展させていく重要性について説明できる。

5. 生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力

- ・自己の看護を振り返り、自己の課題に取り組むことができる。
- ・専門職として生涯にわたり学習し続け成長していくために、自己を評価し管理していく重要性について説明できる。

V. 患者のアセスメントと援助理論・方法

1. 健康レベルを成長発達に応じてアセスメントする能力

- ・成長発達に応じた身体的な健康状態をアセスメントできる。
- ・成長発達に応じた精神的な健康状態をアセスメントできる。
- ・環境と健康状態との関係をアセスメントできる。
- ・その人の成長発達に応じた変化をとらえ、包括的に健康状態をアセスメントできる。

2. 個人と家族の生活をアセスメントする能力

- ・個人の生活を把握し、健康状態との関連をアセスメントできる。
- ・家族の生活を把握し、家族員の健康状態との関連をアセスメントできる。

VI. 危機的状況下でケアを提供する構想力

1. 急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力

- ・急激な健康破綻をきたす疾患・外傷による病態をアセスメントし、基本的な看護援助方法が実施できる。
- ・急激な健康破綻により重篤な状態に陥った患者の病態を理解し、基本的な看護援助方法が

説明できる。

- ・心理的危機状態にある患者・家族のアセスメントと看護援助方法について説明できる。

VII. 多職種連携における調整能力

1. 保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力

- ・チーム医療における看護及び他職種の役割を理解し、対象者を中心とした連携と協働のあり方について説明できる。
- ・保健医療福祉サービスの継続性を保障するためにチーム間の連携について説明できる。
- ・地域包括ケアを推進する必要性を理解し、地域包括ケアの中の看護の役割と機能について説明できる。

VIII. コミュニティーの人々と連携した地域活動

1. 地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力

- ・地域で生活しながら療養する人とその家族の健康状態や特性について理解し、在宅療養の環境を踏まえてアセスメントできる。
- ・療養する人と家族の健康課題を考慮し、その意思を尊重しながら、基本的な看護援助方法を指導のもとで実施できる。
- ・療養場所を移行するための看護の役割と機能について説明できる。

2. 保健医療福祉における看護の質を改善する能力

- ・保健医療福祉における看護サービスを提供する仕組み、看護の機能と看護活動のあり方について理解できる。
- ・看護の質の管理及び改善への取り組みについて理解できる。

3. 地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力

- ・自主グループの育成、地域組織活動の促進について理解できる。
- ・個人・集団・組織と連携して、地域ケア体制を構築する意義と方法について理解できる。
- ・地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。

4. 社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

- ・疾病構造の変遷、疾病対策、保健医療福祉対策の動向と看護の役割について説明できる。
- ・社会の変革の方向と科学技術の発展を理解し、看護を発展させていくことの重要性について説明できる。

5. 地域の特性と健康課題をアセスメントする能力

- ・地域の特性や社会資源、健康指標をもとにして地域の健康課題を把握する方法について説明できる。
- ・学校や職場などの健康課題を把握する方法について説明できる。

IX. 国際的な視野

1. 世界の健康問題と異文化理解を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

- ・グローバルゼーション・国際化の動向における看護のあり方について理解できる。

看護学部卒業時コンピテンシーとその達成に向けた評価基準

I.医療人としての全人的人間性

	マイルストーン		卒業時コンピテンシー
	レベルC	レベルB	レベルA
I-1 対象の包括的理解	・看護の対象となる人を説明できる。 ・健康の概念を説明できる。	・人間と健康の概念を関連付けて説明できる。	・人間や健康を包括的に捉え説明できる。
I-2 対象の生物学的理解	・人体の成り立ちの基本原則と、基本構造について説明できる。 ・病気の成り立ちについて説明できる。	・看護に必要な人体の諸器官を説明できる。 ・主要な疾患の病態生理を説明できる。	・生物学的存在としての人間の正常な構造と機能を説明できる。 ・人間の心身の変調とそれに伴う心身の反応を説明できる。
I-3 生活者としての理解	・ライフサイクルを説明できる。 ・人間の生活について説明できる。 ・個人に与える家族・集団・地域・社会（文化や政治など）の環境要因について概説できる。	・各成長発達段階の発達課題と生活を関連付けて説明できる。 ・健康の概念と生活とを関連付けることができる。 ・環境要因に対する個人の適応的な働きかけを列挙できる。	・人間の成長と発達段階の特徴、発達段階に応じた生活の特徴を説明できる。 ・人間の生活と健康との関連について理解し、説明できる。 ・個人が家族・集団・地域・社会（文化や政治など）などを含む環境から受ける影響と、それらに対する個人の適応的な働きかけを理解し、説明できる。
I-4 様々な環境の理解	・自然環境、環境問題について概説できる。 ・社会環境について説明できる。	・自然環境、地球環境問題が人間の健康に及ぼす影響を列挙できる。 ・社会環境が人間の健康に及ぼす影響を列挙できる。	・自然環境、地球環境問題と人間の健康の関係について説明できる。 ・社会環境と人間の健康との関係について説明できる。

II.尊厳・権利の擁護と苦痛や苦悩への共感

	マイルストーン		卒業時コンピテンシー
	レベルC	レベルB	レベルA
II-1 尊厳と権利の擁護	・人間の持つ価値観・信条の多様性について説明できる。 ・人間の尊厳や人権を脅かす事柄について説明できる。 ・権利擁護（アドボカシー）について説明できる。	・多様な価値観・信条や生活背景を持つ人を尊重する行動を列挙できる。 ・人間の尊厳及び人権の意味を理解し擁護に向けた行動を列挙できる。	・多様な価値観・信条や生活背景を持つ人を尊重する行動をとることができる。 ・人間の尊厳及び人権の意味を理解し擁護に向けた行動をとることができる。
II-2 意思決定支援	・根拠（エビデンス）に基づいた看護の必要性について説明できる。 ・看護の対象者への意思決定支援の意義を述べることができる。	・実施する看護の根拠（もしくは目的）と方法について、文献等を用いて提示できる。 ・看護の対象者への意思決定の支援方法を説明できる。	・実施する看護の根拠（もしくは目的）と方法について、人々に合わせた説明ができる。 ・看護の実施にあたり、その人の意思決定を支援することができる。
II-3 関係形成能力	・看護の対象者との信頼関係の形成に必要なコミュニケーション方法について説明できる。 ・看護の対象者との協働について説明できる。	・看護の対象者との信頼関係の形成に必要なコミュニケーションを学内の演習で実践できる。 ・看護の対象となる人々との協働的な関係の形成する方策を列挙できる。	・看護の対象となる人々（個人・家族・集団・地域）との信頼関係の形成に必要なコミュニケーションを展開できる。 ・看護の対象となる人々との協働的な関係の形成を理解し、説明できる。

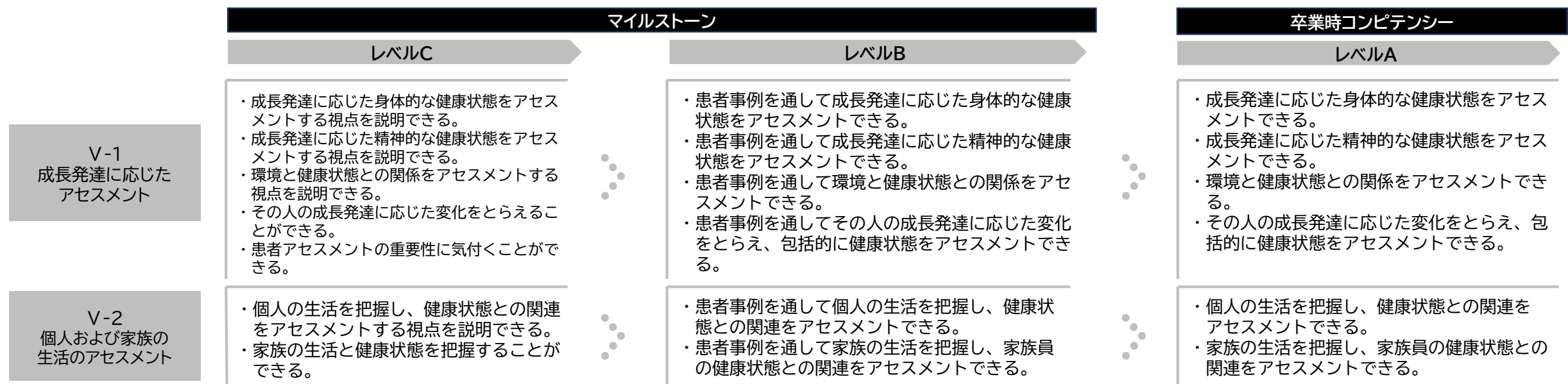
Ⅲ.看護の基礎的能力

	マイルストーン		卒業時コンピテンシー
	レベルC	レベルB	レベルA
Ⅲ-1 健康の保持増進と 疾病の予防	・健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。 ・各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。 ・妊娠・出産・育児期の母児（子）とその家族の健康を保持増進するために必要な看護援助方法について説明できる。 ・健康的な環境の概念について説明できる。 ・地域精神保健について概説できる。 ・現代社会の健康課題を列举できる。	・健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を学内の演習において実施できる。 ・ライフサイクルの視点に沿って各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を学内の演習において実施できる。 ・妊娠・出産・育児期の母児（子）とその家族の健康を保持増進するために必要な看護援助方法を学内演習において実施できる。 ・個人、地域の特性を踏まえた健康的な環境を考察できる。 ・地域精神保健活動の具体的活動を列举できる。 ・健康課題に関する政策について説明できる。	・健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。 ・人の誕生前から死に至るまでを生涯発達の視点から理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。 ・妊娠・出産・育児期の母児（子）とその家族の健康を保持増進するために必要な看護援助方法を指導のもとに実施できる。 ・個人特性及び地域特性に対応した健康的な環境づくりについて説明できる。 ・地域精神保健活動について説明できる。 ・健康課題に関する政策と保健活動について説明できる。
Ⅲ-2 計画的な看護実践	・看護過程について説明できる。	・患者事例を通して看護過程を展開し、看護計画を立案できる。	・患者に合わせた看護計画を立案ならびに実践できる。 ・実施した看護実践を評価し、記録できる。
Ⅲ-3 看護援助技術の 適切な実施	・基本的な看護援助技術について説明できる。 ・行動変容を促す看護援助技術について説明できる。 ・人的・物理的環境に働きかける看護援助技術について説明できる。 ・薬物の作用や薬物動態、薬物投与の注意点を説明できる。	・基本的な看護援助技術を学内演習において実施できる。 ・行動変容を促す看護援助技術を学内演習において実施できる。 ・人的・物理的環境に働きかける看護援助技術を学内演習において実施できる。 ・薬物療法における看護師の役割について説明できる。	・基本的な看護援助技術を修得し、指導のもとで実施できる。 ・行動変容を促す看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。 ・人的・物理的環境に働きかける看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。 ・薬物療法に関する適切な看護援助について説明できる。

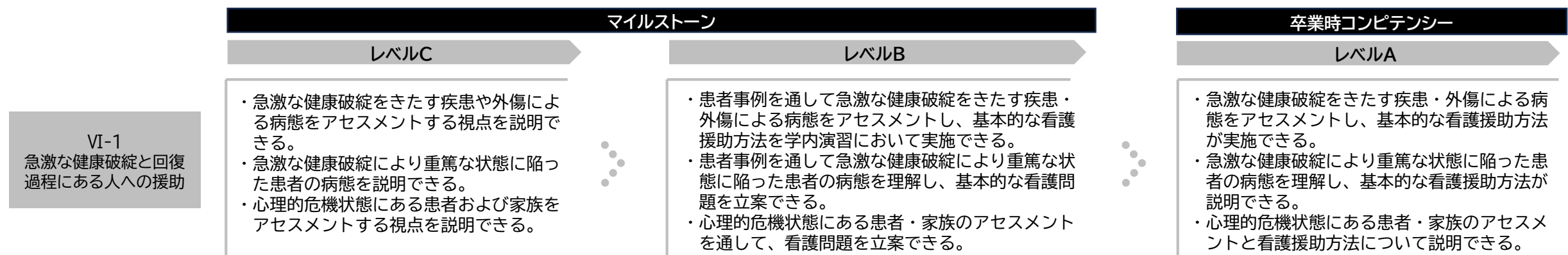
IV. 創造的な看護の実践

	マイルストーン		卒業時コンピテンシー
	レベルC	レベルB	レベルA
IV-1 根拠に基づいた看護の提供	・提供する看護の根拠（エビデンス）となる文献を検索することができる。 ・回復過程にある患者・家族の心身の状況をアセスメントできる。 ・早期からのリハビリテーションの効果、必要性を説明できる。	・先行研究（研究論文）を読解し、提供する看護の根拠（エビデンス）となる知見を見出すことができる。 ・患者事例を前に回復過程にある患者・家族の心身の状況をアセスメントし、回復を促進するための基本的な看護援助方法を学内演習において実施できる。	・根拠に基づいた看護を提供するための理論的知識や先行研究の成果を探索し、活用できる。 ・回復過程にある患者・家族の心身の状況をアセスメントし、多職種連携のもとでの早期からのリハビリテーションを通して、回復を促進するための基本的な看護援助方法が実施できる。
IV-2 慢性・不可逆的健康課題を有する人への援助	・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族の状態をアセスメントする方法について説明できる。 ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族が抱えている問題を列挙できる。	・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族の状態をアセスメントし、疾病・障害に対応する看護援助方法について、学内演習において実施できる。 ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族を理解し、療養生活の看護援助方法について、学内演習において実施できる。 ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族が地域で生活できるよう、社会資源の活用方法を列挙できる。	・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族の状態をアセスメントし、疾病・障害に対応する看護援助方法について指導のもと実施できる。 ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族を理解し、療養生活の看護援助方法について指導のもと実施できる。 ・慢性・不可逆的健康課題を有する患者と家族が地域で生活できるよう、社会資源の活用方法について説明できる。
IV-3 エンドオブライフにおける看護援助	・エンドオブライフの概念を説明できる。 ・看取りをする家族について全人的な観点から説明できる。 ・エンドオブライフの諸症状について列挙できる。	・エンドオブライフに携わる看護師の役割について全人的な観点から説明できる。 ・エンドオブライフの諸症状緩和のための療法・ケアについて説明できる。 ・看取りをする家族に携わる看護師の役割を説明できる。	・エンドオブライフにある人を全人的に理解し、その人らしさを支える看護援助方法について理解できる。 ・エンドオブライフの症状緩和のための療法・ケアを理解し、苦痛、苦悩や不安の緩和方法について理解できる。 ・看取りをする家族の援助について理解できる。
IV-4 専門性の発展	・看護専門職の役割を列挙できる。	・看護専門職の役割について説明できる。	・看護専門職の専門性を発展させていく重要性について説明できる。
IV-5 生涯にわたる能力向上	・自己の看護観を述べることができる。 ・学修の過程において自己評価する意義を述べることができる。	・自己の看護を振り返り、自己の課題を述べることができる。 ・学修の過程において自己評価することができる。	・自己の看護を振り返り、自己の課題に取り組むことができる。 ・専門職として生涯にわたり学習し続け成長していくために、自己を評価し管理していく重要性について説明できる。

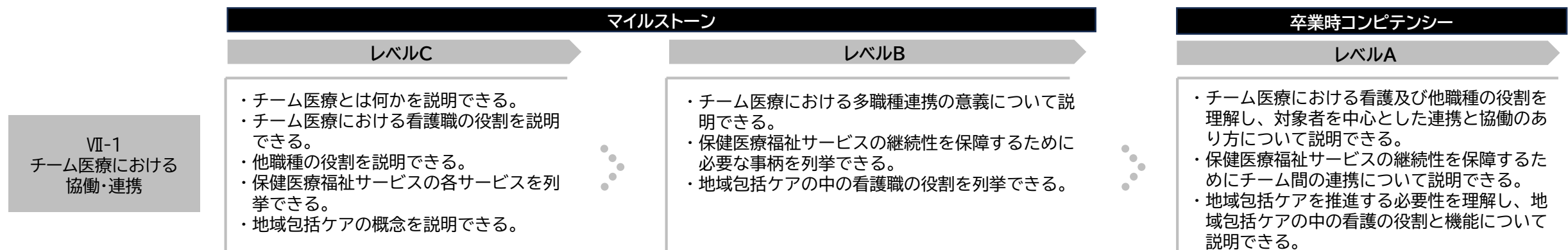
V. 患者のアセスメントと援助理論・方法



VI. 危機的状況下でケアを提供する構想力



VII. 多職種連携における調整能力



VIII. コミュニティーの人々と連携した地域活動

マイルストーン				卒業時コンピテンシー	
レベルC		レベルB		レベルA	
VⅢ-1 地域における療養者と 家族への支援	・地域で生活しながら療養する人とその家族の健康状態や特性について情報収集できる。 ・療養する人と家族の健康課題に対して、その意思を尊重した基本的な看護援助方法を説明できる。 ・退院移行期における看護職の役割を述べることができる。	・在宅療養の環境を踏まえた看護職の役割を述べることができる。 ・患者事例を通して療養する人と家族の健康課題を考慮し、その意思を尊重しながら、基本的な看護援助方法を学内演習において実施できる。 ・療養場所を移行するために必要な援助を説明できる。	・地域で生活しながら療養する人とその家族の健康状態や特性について理解し、在宅療養の環境を踏まえてアセスメントできる。 ・療養する人と家族の健康課題を考慮し、その意思を尊重しながら、基本的な看護援助方法を指導のもとで実施できる。 ・療養場所を移行するための看護の役割と機能について説明できる。		
VⅢ-2 保健医療福祉における 看護の質改善	・保健医療福祉における看護サービスを列挙できる。 ・保健医療福祉における看護の問題点を列挙できる。	・保健医療福祉における看護サービスを提供する仕組みを説明できる。 ・看護の質の管理及び改善につながる取り組みを列挙できる。	・保健医療福祉における看護サービスを提供する仕組み、看護の機能と看護活動のあり方について理解できる。 ・看護の質の管理及び改善への取り組みについて理解できる。		
VⅢ-3 地域ケア体制の構築と 看護機能の充実	・自主グループと地域組織活動を列挙できる。 ・地域ケアにおける個人・集団・組織との連携について説明できる。 ・地域における健康危機管理について説明できる。	・自主グループと地域組織活動における看護職の役割を述べることができる。 ・地域ケア体制について説明できる。 ・地域における健康危機管理対策を列挙できる。	・自主グループの育成、地域組織活動の促進について理解できる。 ・個人・集団・組織と連携して、地域ケア体制を構築する意義と方法について理解できる。 ・地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。		
VⅢ-4 看護を創造するための 基礎能力	・社会の動向から看護に関する問題を列挙できる。 ・最近の社会の変革と科学技術の発展がもたらした看護ケアの具体例を列挙できる。	・疾病構造の変遷、疾病対策、保健医療福祉対策の動向を概説できる。 ・社会の変革の方向と看護における科学技術の発展を概説できる。	・疾病構造の変遷、疾病対策、保健医療福祉対策の動向と看護の役割について説明できる。 ・社会の変革の方向と科学技術の発展を理解し、看護を発展させていくことの重要性について説明できる。		
VⅢ-5 地域の特性と健康課題 のアセスメント	・地域の特性や社会資源、健康指標に関する情報を収集できる。 ・学校や職場の健康問題に関わる情報を収集できる。	・自身の地域の健康問題を列挙できる。 ・学校や職場などの健康課題を列挙できる。	・地域の特性や社会資源、健康指標をもとにして地域の健康課題を把握する方法について説明できる。 ・学校や職場などの健康課題を把握する方法について説明できる。		

IX. 国際的な視野

IX-1 世界の健康問題と 異文化理解	マイルストーン		卒業時コンピテンシー
	レベルC	レベルB	レベルA
	・看護のグローバルゼーションについて概説できる。	・看護の国際化について最新の知見から問題点を把握することができる	・グローバルゼーションや国際化の動向における看護のあり方について理解できる。

令和8年度看護学部コンピテンス達成ロードマップ・マトリックス

◆第1学年開講科目

[illegible]

763 285 202 49 1

◆第2学年開講科目

レベルの概要 レベルA:卒業時コンピテンシー参照 レベルB:各マイルストーン参照 レベルC:各マイルストーン参照 レベルD:修得の機会はあるが、単位認定に関係がない レベルE:修得の機会がない			レベルE	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA	第2学年																										
								教養教育	看護専門基礎科目						看護専門科目																			
															基礎	成人				老年		小児		母性		精神		地域・在宅		看護の統合と実践		臨地実習		
									医療英語	薬理学	臨床心理学	疾病論Ⅰ（内科系総論	疾病論Ⅱ（外科系総論）	疾病論Ⅲ（各論）	疾病論Ⅳ（展開論）	看護過程演習	成人看護学概論	成人慢性期看護方法論	成人急性期看護方法論	成人慢性期看護学演習	老年看護学概論	老年看護方法論	小児看護学概論	小児看護方法論	母性看護学概論	母性看護方法論	精神看護学概論	精神看護方法論	地域・在宅看護学概論	地域・在宅看護方法論	医療安全論	緩和ケア論	基礎看護過程実習	
		コンピテンシス項目																																
Ⅰ	医療人としての全人的人間性	Ⅰ-1	看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力	0	4	6	4	11	C	C	B	C	C	C	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	D	D	D	D	B	B		
		Ⅰ-2	人間を生物学的に理解しアセスメントに活かす基本能力	0	5	2	12	6	D	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	B	B	B	A	C	A	C	D	D	D	D	B	B
		Ⅰ-3	人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力	0	10	3	11	1	D	D	C	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	B	B	A	C	B	C	D	D	D	D	B	B	
		Ⅰ-4	人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力	0	11	3	10	1	D	D	C	D	D	D	D	B	B	B	B	A	D	D	B	B	C	B	C	D	D	D	B	B	B	
Ⅱ	尊厳・権利の擁護と苦痛や苦悩への共感	Ⅱ-1	看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力	4	4	6	10	1	D	E	B	E	E	E	C	D	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	D	D	B	B	A	
		Ⅱ-2	実施する看護を説明し意思決定を支援する能力	0	7	6	11	1	B	D	B	D	D	D	D	B	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	D	D	C	B	A	
		Ⅱ-3	援助的関係を形成する能力	5	2	6	11	1	C	E	B	E	E	E	E	B	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	D	D	B	B	A	
Ⅲ	看護の基礎的能力	Ⅲ-1	健康の保持増進と疾病を予防する能力	1	5	14	4	1	D	D	C	C	C	C	C	D	C	B	B	B	C	C	C	B	C	C	C	C	C	D	E	D	A	
		Ⅲ-2	計画的に看護を実践する能力	7	4	7	6	1	E	E	D	E	E	E	E	B	D	B	B	B	D	C	C	B	C	B	C	C	D	C	E	C	A	
		Ⅲ-3	看護援助技術を適切に実施する能力	0	3	16	5	1	D	C	D	C	C	C	C	B	C	B	B	B	C	C	C	B	C	C	C	C	D	C	C	C	A	
		Ⅲ-4	安全なケア環境を提供する能力	0	3	16	4	2	D	D	C	C	C	C	C	B	C	C	C	B	C	C	C	B	C	B	C	C	D	C	A	C	A	
Ⅳ	創造的な看護の実践	Ⅳ-1	根拠に基づいた看護を提供する能力	1	7	9	6	1	E	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	B	C	C	C	B	C	B	C	C	D	D	C	B	A	
		Ⅳ-2	慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力	1	7	11	5	1	E	D	C	D	D	D	D	C	C	B	C	B	C	C	C	B	C	B	C	C	D	C	D	B	A	
		Ⅳ-3	エンドオブライフにある人と家族を援助する能力	5	9	6	3	2	E	E	E	D	D	D	D	C	C	B	C	A	C	B	C	B	E	E	D	D	D	C	D	A	D	
		Ⅳ-4	看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力	1	6	10	8	0	C	E	D	D	D	D	D	D	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	C	C	C	C	B	
		Ⅳ-5	生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力	5	1	11	8	0	C	E	D	E	E	E	E	B	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	C	C	C	C	C	B	
Ⅴ	患者のアセスメントと援助理論・方法	Ⅴ-1	健康レベルを成長発達に応じてアセスメントする能力	2	4	7	11	1	E	D	C	D	C	D	C	B	B	B	B	B	C	B	B	B	C	B	B	B	C	C	E	D	A	
		Ⅴ-2	個人と家族の生活をアセスメントする能力	3	4	6	11	1	E	E	C	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	B	C	E	B	A	
Ⅵ	危機的状況下でケアを提供する構想力	Ⅵ-1	急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力	3	3	17	2	0	E	D	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	E	E	C	C	D	C	C	B	D	
Ⅶ	多職種連携における調整能力	Ⅶ-1	保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力	1	7	7	10	0	D	E	B	D	D	D	D	D	B	B	B	C	C	B	C	B	C	B	C	D	C	C	B	B	B	
Ⅷ	コミュニティの人々と連携した地域活動	Ⅷ-1	地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力	7	6	10	1	0	E	E	C	E	E	E	E	D	C	C	C	C	D	C	C	C	D	C	D	C	C	B	E	D	D	
		Ⅷ-2	保健医療福祉における看護の質を改善する能力	5	18	2	0	0	D	E	D	E	E	E	E	D	D	D	D	C	D	D	D	D	D	D	D	D	C	D	D	D	D	
		Ⅷ-3	地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力	8	12	3	0	2	E	E	C	E	E	E	E	E	D	D	D	C	D	D	D	D	D	D	D	C	A	A	E	D	D	
		Ⅷ-4	社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力	2	10	13	0	0	D	E	C	D	C	D	C	E	C	C	C	C	C	D	C	C	D	C	C	D	C	D	D	D	D	
		Ⅷ-5	地域の特性と健康課題をアセスメントする能力	19	5	1	0	0	D	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	D	E	D	D	
Ⅸ	国際的な視野	Ⅸ-1	世界の健康問題と異文化理解を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力	20	2	3	0	0	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	C	E	D	E	E	E	D	E	E	E	

100 159 201 153 35

◆第3・4学年開講科目

レベルの概要			レベルE	レベルD	レベルC	レベルB	レベルA	第3学年																												第4学年							
								教養 IPE	専門基礎 科目			看護専門科目																		発展科目				教養 IPE	専門基礎 科目	看護専門科目		発展科目					
コンピテンス項目		チーム医療リテラシー	公衆衛生学・疫学	保健統計学	臨床病態生理学	看護倫理学	成人急性期看護学演習	老年看護学演習	小児看護学演習	母性看護学演習	精神看護学演習	地域・在宅看護学演習	国際看護学	看護研究入門	成人看護学慢性期・回復期実習	成人看護学急性期実習	老年看護学実習	小児看護学実習	母性看護学実習	精神看護学実習	地域・在宅看護学実習	医療情報論	災害医療論	家族ケア論	スキンケア論	4学部合同セミナー	看護薬理学	臨床推論	看護管理学	看護研究	統合看護実習	看護教育論	メンタルヘルスケア論	看護政策論	地域包括ケア論								
		I	医療人としての全人的人間性	I-1	看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力	2	13	4	1	14	A	D	D	C	D	A	A	A	A	A	A	A	D	D	E	C	D	D	D	C	C	D	D	A	B	A	E	D					
		I-2	人間を生物学的に理解しアセスメントに活かす基本能力	4	11	0	6	13	B	D	D	A	E	A	B	B	A	A	B	B	D	A	A	A	A	A	D	D	E	B	D	D	D	A	A	D	D	A	E	A	E	D	
I-3	人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力	3	12	2	9	8	B	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	B	B	D	A	A	A	A	A	A	E	B	D	D	D	D	D	C	D	A	E	C	E	D			
I-4	人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力	4	13	1	6	10	B	D	D	D	E	A	B	B	B	B	B	A	B	D	A	A	A	A	A	D	D	E	A	D	D	D	D	D	C	D	A	E	A	E	D		
II	尊厳・権利の擁護と苦痛や苦悩への共感	II-1	看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力	4	9	3	10	8	C	D	D	E	B	B	B	B	B	B	D	B	D	A	A	A	A	A	A	A	B	C	D	D	D	E	E	C	E	A	B	B	D	D	
II-2	実施する看護を説明し意思決定を支援する能力	3	8	5	9	9	C	E	D	C	B	B	B	B	B	B	D	C	E	A	A	A	A	A	A	A	B	D	D	D	A	C	D	B	E	A	C	B	D	D			
II-3	援助的関係を形成する能力	6	7	5	7	9	C	E	E	E	C	B	B	B	B	B	D	C	D	A	A	A	A	A	A	A	C	C	D	D	A	E	E	B	E	A	D	B	D	D			
III	看護の基礎的能力	III-1	健康の保持増進と疾病を予防する能力	2	10	8	6	8	D	C	D	C	E	B	B	B	B	B	B	C	D	A	A	A	A	A	A	E	C	C	C	D	C	C	D	D	A	D	D	D	D		
III-2	計画的に看護を実践する能力	5	10	4	7	8	D	E	D	C	D	B	B	B	B	B	B	C	D	A	A	A	A	A	A	A	E	E	C	D	B	C	E	D	D	A	D	E	D	D			
III-3	看護援助技術を適切に実施する能力	3	11	6	6	8	D	E	D	C	D	B	B	B	B	B	C	C	D	A	A	A	A	A	A	A	E	C	D	C	C	B	D	D	D	A	D	E	D	D			
III-4	安全なケア環境を提供する能力	6	7	5	7	9	D	D	E	D	B	B	B	B	B	B	C	C	E	A	A	A	A	A	A	A	E	B	E	C	C	D	C	A	E	A	D	E	D	D			
IV	創造的な看護の実践	IV-1	根拠に基づいた看護を提供する能力	3	7	8	8	8	C	D	B	D	D	B	B	C	B	B	C	C	E	A	A	A	A	A	A	B	C	D	C	D	D	D	C	E	A	B	E	B	C		
IV-2	慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力	8	9	3	6	8	D	E	E	D	D	D	B	B	B	B	B	C	E	A	A	A	A	A	A	A	E	D	D	C	C	D	D	D	E	A	E	E	E	B			
IV-3	エンドオブライフにある人と家族を援助する能力	15	8	4	2	5	D	E	E	E	C	B	C	E	E	E	C	C	E	A	A	A	B	E	D	A	E	D	D	D	E	E	D	D	E	A	E	E	E	D			
IV-4	看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力	2	5	6	11	10	B	D	A	E	C	B	B	C	B	B	B	B	C	A	A	A	A	A	A	A	D	C	D	C	D	E	D	B	C	A	A	B	B	B			
IV-5	生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力	5	5	5	7	12	B	E	A	E	C	C	C	C	B	B	D	B	D	A	A	A	A	A	A	A	B	D	D	D	E	E	E	A	C	A	A	A	B	B			
V	患者のアセスメントと援助理論・方法	V-1	健康レベルを成長発達に応じてアセスメントする能力	6	9	3	8	8	D	D	D	D	E	B	B	B	B	B	C	D	A	A	A	A	A	A	E	B	C	B	D	D	C	D	E	A	E	E	E	D			
V-2	個人と家族の生活をアセスメントする能力	6	9	2	8	9	D	D	D	D	E	B	B	B	B	B	B	C	D	A	A	A	A	A	A	A	E	B	C	B	A	D	D	D	E	A	E	E	E	D			
VI	危機的状況下でケアを提供する構想力	VI-1	急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力	9	8	7	4	6	C	D	E	C	D	B	E	B	B	B	D	C	E	A	A	A	A	D	A	D	E	C	D	C	E	C	C	D	E	A	E	E	E	D	
VII	多職種連携における調整能力	VII-1	保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力	2	6	7	6	13	A	C	D	C	D	C	D	C	B	B	B	C	E	A	A	A	A	A	A	A	B	B	C	A	D	D	B	E	A	A	D	C	A		
VIII	コミュニティの人々と連携した地域活動	VIII-1	地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力	8	5	11	5	5	B	E	C	D	C	C	D	C	C	C	B	C	E	C	C	A	A	C	A	A	E	B	B	C	E	E	E	D	E	A	D	E	D	B	
		VIII-2	保健医療福祉における看護の質を改善する能力	5	9	6	3	11	A	D	C	E	D	C	E	C	C	C	B	C	D	A	A	A	A	A	A	B	B	D	D	E	E	E	A	D	A	D	D	D	A		
		VIII-3	地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力	9	7	8	9	1	B	C	C	E	D	C	E	C	C	C	B	C	E	B	B	B	B	B	B	E	C	D	D	E	E	E	D	E	D	D	E	D	A		
		VIII-4	社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力	5	10	7	4	8	C	D	B	E	D	C	E	C	C	C	D	B	D	A	A	B	A	B	A	A	A	C	D	D	E	E	D	A	D	D	D	E	C	A	
		VIII-5	地域の特性と健康課題をアセスメントする能力	17	6	4	4	3	D	B	C	E	E	E	E	E	E	E	A	B	E	C	C	E	C	E	D	B	E	A	D	E	E	E	E	D	E	D	B	A			
IX	国際的な視野	IX-1	世界の健康問題と異文化理解を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力	19	12	1	1	1	E	C	D	E	E	E	E	E	E	D	E	A	D	D	D	E	D	E	E	D	E	B	D	D	E	E	E	D	D	E	E	E	D		

161 226 125 160 212

看護学部ナンバリング構成等について

1. ナンバリングの構成

(例：第1学年必修科目「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」)

N
1
-
L
1
-
A
01

①

②

③

④

⑤

⑥

2. アルファベット・数字 (①～⑥) について

	種類	内容
①	学部 (大分類)	科目が開講される学部を アルファベット で表します。 N ：看護学部 (M:医学部 D:歯学部 P:薬学部)
②	レベル	科目のレベルを 数字 で表します。 1 ：1年次配当レベル (または入門／導入レベル) 2 ：2年次配当レベル (または基礎レベル) 3 ：3年次配当レベル (または応用／発展レベル) 4 ：4年次配当レベル (または高度レベル) ※ 学年跨ぎの科目については、「入門／導入レベル～高度レベル」に応じて振り分けます。
③	科目種別	科目の種別を アルファベット で表します。 S ：専門科目 L ：教養科目
④	科目区分	科目の区分を 数字 で表します。 1 ：必修科目 2 ：選択必修科目 3 ：自由科目
⑤	中分類	学問分野 (教育内容) を アルファベット で表します。 A ：IPE、 B ：看護専門基礎、 C ：基礎看護学、 D ：地域・在宅看護学、 E ：成人看護学、 F ：老年看護学、 G ：小児看護学、 H ：母性看護学、 I ：精神看護学、 J ：看護の統合と実践、 K ：公衆衛生看護学、 L ：助産学、 Z ：教養 ※ A：IPE および Z：教養は、全学部共通です。
⑥	小分類	中分類の授業科目ごとに 数字 (二桁) で表します。

看護学部第2学年 学事予定

区 分	期 間
第2学年ガイダンス	4月2日(木) 9:00
◎ 前期授業	4月6日(月)～6月26日(金)
健康診断	4月22日(水) 10:50
□ 前期定期試験	7月1日(水)～7月8日(水) ※成績判定Ⅰ発表(予定):7月30日(木) 前期再試験:8月19日(水)～8月21日(金) 成績判定Ⅱ発表(予定):9月17日(木)
▲ 夏期休業	8月24日(月)～9月11日(金)
◎ 後期授業	9月14日(月)～12月11日(金) ※基礎看護過程実習:7月13日(月)～8月7日(金)
インフルエンザ予防接種	10月20日(火) 16:10
□ 後期定期試験	12月16日(水)～12月23日(水) ※進級判定Ⅰ発表(予定):1月21日(木) 後期再試験:2月10日(水)～17日(水) 進級判定Ⅱ発表(予定):3月4日(木)
▲ 冬期・春期休業	12月24日(木)～2月9日(火) 2月18日(木)～3月31日(火)

◎：授業 □：試験 ▲：休み

看護学部第2学年 履修科目一覧

区分			授業科目			学期	コマ数	単位数	備考
専門科目群	看護専門基礎科目		必修	薬理学	講義	前期	15	2	
			必修	臨床心理学	講義	前期	8	1	
			必修	疾病論Ⅰ（内科系総論）	講義	通期	18	2	
			必修	疾病論Ⅱ（外科系総論）	講義	前期	15	2	
			必修	疾病論Ⅲ（各論）	講義	後期	15	2	
			必修	疾病論Ⅳ（展開論）	講義	後期	15	2	
	看護専門科目	基礎看護学	必修	看護過程演習	講義	前期	13	2	
					演習		17		
		地域・在宅看護学	必修	地域・在宅看護学概論	講義	前期	15	2	
			必修	地域・在宅看護方法論	講義	後期	15	2	
		成人看護学	必修	成人看護学概論	講義	前期	8	1	
			必修	成人慢性期看護方法論	講義	後期	15	2	
			必修	成人急性期看護方法論	講義	後期	15	2	
			必修	成人慢性期看護学演習	講義 演習	後期	4 11	1	
		老年看護学	必修	老年看護学概論	講義	前期	8	1	
			必修	老年看護方法論	講義	後期	15	2	
		小児看護学	必修	小児看護学概論	講義	前期	8	1	
			必修	小児看護方法論	講義	後期	15	2	
		母性看護学	必修	母性看護学概論	講義	前期	8	1	
			必修	母性看護方法論	講義	後期	15	2	
		精神看護学	必修	精神看護学概論	講義	前期	8	1	
			必修	精神看護方法論	講義	後期	15	2	
		看護の統合と実践	必修	医療安全論	講義	後期	8	1	
			必修	緩和ケア論	講義	後期	8	1	
		臨地実習	必修	基礎看護過程実習	実習	後期	50	2	
専門科目群 合計							357	39	24科目

区分			授業科目		学期	コマ数	単位数	備考
公衆衛生看護学関連科目群		選択	日本国憲法	講義	後期	15	2	保健師養成課程履修希望者は選択すること
公衆衛生看護学関連科目群 合計						15	2	1科目

区分			授業科目		学期	コマ数	単位数	備考
教養教育科目群	教養教育科目	必修	医療英語	講義	前期	14	1	
教養教育科目群 合計						14	1	1科目

区分			授業科目		学期	コマ数	単位数	備考
自由科目		自由	地域医療課題解決演習	演習	通期	8	1	
		自由	海外英語演習	演習	後期	-	2	
自由科目 合計						8	3	2科目

看護学部第2学年 総計						394	45	28科目
-------------	--	--	--	--	--	-----	----	------

看護学部第2学年 時間割・教室

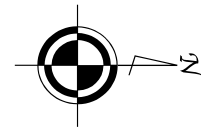
週数	日付	曜日	1時限目		2時限目		3時限目		4時限目		5時限目	
			8：50～10：20		10：30～12：00		13：00～14：30		14：40～16：10		16：20～17：50	
			科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室
前期 1	3/30	月										
	3/31	火										
	4/1	水										
	4/2	木	第2学年ガイダンス 9：00 西1-B講義室									
	4/3	金										
2	4/6	月					成人概論	西1B	疾病論Ⅱ	西1B	地域・在宅概論	西1B
	4/7	火	薬理学	西1B	小児概論	西1B	小児概論	西1B	老年概論	西1B		
	4/8	水			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	精神概論	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	地域・在宅概論	西1B
	4/9	木	入学式									
	4/10	金			薬理学	西1B	看護過程演習	西1B	地域・在宅概論	西1B		
3	4/13	月			母性概論	西1B	臨床心理	西1B	成人概論	西1B		
	4/14	火	薬理学	西1B			看護過程演習	西1B	医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B		
	4/15	水	成人概論	西1B	小児概論	西1B	看護過程演習	西1B				
	4/16	木	母性概論	西1B	医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	地域・在宅概論	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	4/17	金	地域・在宅概論	西1B	小児概論	西1B	疾病論Ⅱ	西1B				
4	4/20	月			看護過程演習	西1B	臨床心理	西1B	老年概論	西1B		
	4/21	火			薬理学	西1B	計算問題学修支援	西1B	キャリアデザインⅢ	西1B		
	4/22	水			健康診断10：50～		臨床心理	西1B	小児概論	西1B		
	4/23	木			看護過程演習	西1B	疾病論Ⅱ	西1B	地域・在宅概論	西1B		
	4/24	金			老年概論	西1B	看護過程演習	西1B	母性概論	西1B		
5	4/27	月										
	4/28	火										
	4/29	水	昭和の日									
	4/30	木										
	5/1	金										
6	5/4	月	みどりの日									
	5/5	火	こどもの日									
	5/6	水	振替休日									
	5/7	木			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	母性概論	西1B	成人概論	西1B	疾病論Ⅱ	西1B
	5/8	金			精神概論	西1B	看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B	地域・在宅概論	西1B
7	5/11	月			成人概論	西1B			母性概論	西1B	疾病論Ⅱ	西1B
	5/12	火			母性概論	西1B	キャリアデザインⅣ	西1B	疾病論Ⅱ	西1B		
	5/13	水	臨床心理	西1B	老年概論	西1B	看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		
	5/14	木			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	薬理学	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	5/15	金							薬理学	西1B		
8	5/18	月			成人概論	西1B	臨床心理	西1B	薬理学	西1B	疾病論Ⅱ	西1B
	5/19	火			精神概論	西1B	小児概論	西1B	医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B		
	5/20	水			母性概論	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	看護過程演習	西1B		
	5/21	木			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	薬理学	西1B	看護過程演習	西1B		
	5/22	金			実習オリエンテーション	西1B	看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		
9	5/25	月					臨床心理	西1B	疾病論Ⅱ	西1B	地域・在宅概論	西1B
	5/26	火	地域・在宅概論	西1B	疾病論Ⅱ	西1B			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B		
	5/27	水			看護過程演習	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	成人概論	西1B		
	5/28	木	老年概論	西1B	医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	薬理学	西1B				
	5/29	金			地域・在宅概論	西1B	看護過程演習	西1B	母性概論	西1B		
10	6/1	月			薬理学	西1B	臨床心理	西1B	精神概論	西1B		
	6/2	火			疾病論Ⅱ	西1B	スキルアップ講習	西1B	薬理学	西1B	特別講演 17：00～	
	6/3	水			看護過程演習	西1B	小児概論	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	6/4	木	疾病論Ⅱ	西1B	医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	小児概論	西1B	精神概論	西1B		
	6/5	金	地域・在宅概論	西1B			看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		

週数	日付	曜日	1時限目		2時限目		3時限目		4時限目		5時限目	
			8：50～10：20		10：30～12：00		13：00～14：30		14：40～16：10		16：20～17：50	
			科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室
11	6/8	月	薬理学	西1B	医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	臨床心理	西1B	老年概論	西1B		
	6/9	火			疾病論Ⅰ	西1B	看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		
	6/10	水			成人概論	西1B	疾病論Ⅰ	西1B				
	6/11	木			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	薬理学	西1B	疾病論Ⅱ	西1B		
	6/12	金	地域・在宅概論	西1B	精神概論	西1B	看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		
12	6/15	月			看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B				
	6/16	火	地域・在宅概論	西1B	精神概論	西1B	疾病論Ⅱ	西1B	疾病論Ⅱ	西1B	疾病論Ⅱ	西1B
	6/17	水	地域・在宅概論	西1B	老年概論	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	薬理学	西1B		
	6/18	木			医療英語	C1：マルチ4A C2：西1B	薬理学	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	6/19	金					看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		
13	6/22	月										
	6/23	火			看護過程演習	西1B	実習オリエンテーション	トクタ講義室1	地域・在宅概論	西1B		
	6/24	水					看護学部宣誓式（大堀記念講堂）					
	6/25	木			医療英語	C1：マルチメディア教室 C2：西1B	精神概論	西1B	老年概論	西1B		
	6/26	金					看護過程演習	西1B	看護過程演習	西1B		
7/1（水）～7/8（水） 前期定期試験												
7/9（木）13：30～ クラス委員懇談会												
7/13（月）～8/7（金） 基礎看護過程実習												
7/30（木） 前期成績判定Ⅰ発表（予定）												
8/19（水）～8/21（金） 前期再試験												
8/24（月）～9/11（金） 夏期休業												
9/17（木） 前期成績判定Ⅱ発表（予定）												
1	9/14	月			慢性方法	西1B	急性方法	西1B	職種別講演会	大堀記念講堂		
	9/15	火	日本国憲法	西1B			精神方法	西1B	医療安全	西1B		
	9/16	水	急性方法	西1B	地域・在宅方法	西1B	小児方法	西1B				
	9/17	木	精神方法	西1B	慢性方法	西1B	医療安全	西1B	老年方法	西1B		
	9/18	金			急性方法	西1B	慢性方法	西1B	小児方法	西1B		
2	9/21	月	敬老の日									
	9/22	火	国民の休日									
	9/23	水	秋分の日									
	9/24	木	急性方法	西1B	精神方法	西1B	医療安全	西1B	緩和ケア	西1B		
	9/25	金			慢性方法	西1B	慢性方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
3	9/28	月	母性方法	西1B	老年方法	マルチ4A/マルチ2AB	老年方法	マルチ4A/マルチ2AB	地域・在宅方法	西1B		
	9/29	火	日本国憲法	西1B	日本国憲法	西1B	小児方法	西1B	慢性方法	西1B		
	9/30	水	小児方法	西1B	慢性方法	西1B	老年方法	西1B	老年方法	西1B		
	10/1	木	地域・在宅方法	西1B	精神方法	西1B	小児方法	西1B	緩和ケア	西1B		
	10/2	金	母性方法	西1B	母性方法	西1B	急性方法	西1B	慢性方法	西1B		
4	10/5	月	母性方法	西1B	慢性方法	西1B	地域・在宅方法	西1B	老年方法	西1B		
	10/6	火	日本国憲法	西1B	日本国憲法	西1B	急性方法	西1B	老年方法	西1B		
	10/7	水	精神方法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B	慢性方法	西1B	小児方法	西1B		
	10/8	木	慢性方法	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	医療安全	西1B	老年方法	西1B		
	10/9	金			疾病論Ⅳ	西1B	急性方法	西1B	急性方法	西1B		
5	10/12	月	スポーツの日									
	10/13	火	日本国憲法	西1B	日本国憲法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B	慢性方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B
	10/14	水	母性方法	西1B	急性方法	西1B	緩和ケア	西1B	疾病論Ⅳ	西1B		
	10/15	木	小児方法	西1B	精神方法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B	慢性方法	西1B		
	10/16	金	地域・在宅方法	西1B	慢性方法	西1B	キャリアデザインⅤ	西1B				

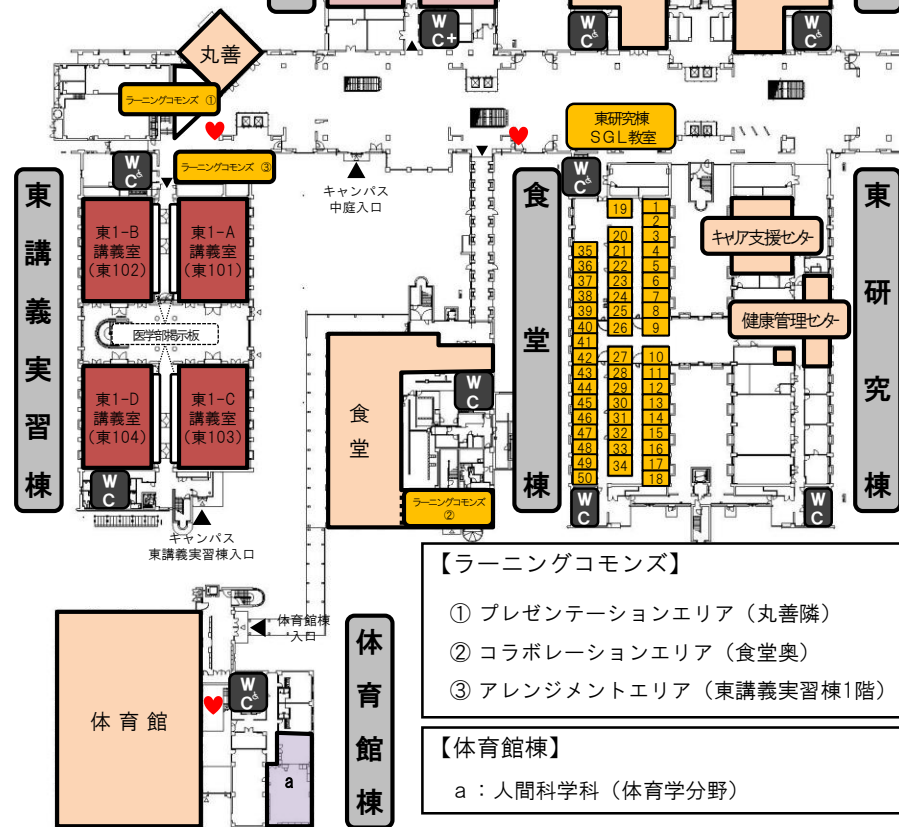
週数	日付	曜日	1時限目		2時限目		3時限目		4時限目		5時限目	
			8：50～10：20		10：30～12：00		13：00～14：30		14：40～16：10		16：20～17：50	
			科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室
6	10/19	月			老年方法	西1B	地域・在宅方法	西1B				
	10/20	火			日本国憲法	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	精神方法	西1B	インフルエンザ予防接種16：10～	
	10/21	水			母性方法	西1B	慢性方法	西1B				
	10/22	木	小児方法	西1B	急性方法	西1B	医療安全	西1B	疾病論Ⅲ	西1B		
	10/23	金	疾病論Ⅲ	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	地域・在宅方法	西1B		
7	10/26	月			緩和ケア	西1B	老年方法	西1B	精神方法	西1B		
	10/27	火			日本国憲法	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	疾病論Ⅳ	西1B		
	10/28	水	小児方法	西1B	急性方法	西1B	母性方法	西1B	地域・在宅方法	西1B		
	10/29	木	模擬試験 西1B				慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	10/30	金	地域・在宅方法	西1B	医療安全	西1B	精神方法	西1B	急性方法	西1B		
8	11/2	月			日本国憲法	西1B	緩和ケア	西1B	疾病論Ⅲ	西1B		
	11/3	火	文化の日									
	11/4	水			老年方法	西1B	医療安全	西1B	小児方法	西1B		
	11/5	木	精神方法	西1B	急性方法	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	母性方法	西1B		
	11/6	金										
9	11/9	月			医療安全	西1B	慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	11/10	火			日本国憲法	西1B	老年方法	西1B	精神方法	西1B		
	11/11	水			小児方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	母性方法	西1B		
	11/12	木					慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	11/13	金	母性方法	西1B	精神方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	疾病論Ⅳ	西1B		
10	11/16	月			急性方法	西1B	地域・在宅方法	西1B	緩和ケア	西1B		
	11/17	火			日本国憲法	西1B	老年方法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B	疾病論Ⅳ	西1B
	11/18	水			地域・在宅方法	西1B	慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	11/19	木			急性方法	西1B	小児方法	西1B	緩和ケア	西1B		
	11/20	金			疾病論Ⅳ	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	地域・在宅方法	西1B		
11	11/23	月	勤労感謝の日振替休日									
	11/24	火			日本国憲法	西1B	慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	11/25	水			母性方法	西1B	老年方法	西1B	疾病論Ⅲ	西1B		
	11/26	木			小児方法	西1B	慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	11/27	金	地域・在宅方法	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	疾病論Ⅳ	西1B	緩和ケア	西1B		
12	11/30	月			慢性演習	西1B	慢性演習	西1B	慢性演習	西1B		
	12/1	火			日本国憲法	西1B	精神方法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B		
	12/2	水			小児方法	西1B	老年方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	12/3	木			母性方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B	疾病論Ⅲ	西1B	疾病論Ⅲ	西1B
	12/4	金					疾病論Ⅲ	西1B	疾病論Ⅳ	西1B		
13	12/7	月			地域・在宅方法	西1B	母性方法	西1B	精神方法	西1B		
	12/8	火			日本国憲法	西1B	小児方法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B		
	12/9	水					母性方法	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	12/10	木			精神方法	西1B	疾病論Ⅳ	西1B	疾病論Ⅰ	西1B		
	12/11	金			母性方法	西1B	地域・在宅方法	西1B	クラスミーティング	西1B		
12/16（水）～12/23（水） 後期定期試験												
12/24（木）～2/9（火） 冬季休業												
1/21（木） 進級判定Ⅰ（予定）												
2/10（水）～2/17（水） 後期再試験（予定）												
3/4（木） 進級判定Ⅱ発表（予定）												
2/18（木）～3/31（水） 春期休業												
3/6（土）～3/21（日） 海外英語演習												

1F

矢巾キャンパス平面図



- ：医学部講義/実習室
- ：歯学部講義/実習室
- ：薬学部講義/実習室
- ：看護学部講義/実習室
- ：他 講義室/実習室
- ：SGL教室・ラーニングcommons等
- ：講座・研究室等
- ：他 主要施設



【ラーニングcommons】

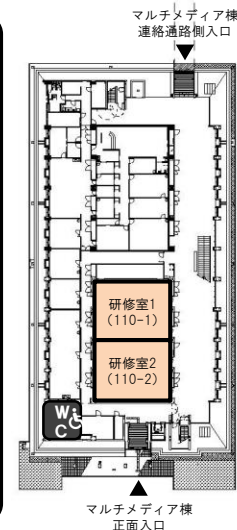
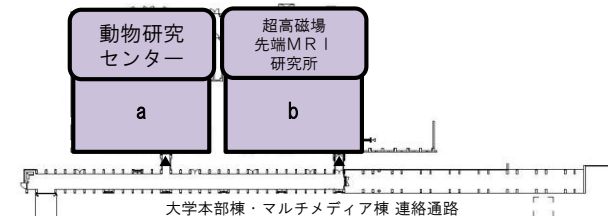
- ① プレゼンテーションエリア (丸善隣)
- ② コラボレーションエリア (食堂奥)
- ③ アレンジメントエリア (東講義実習棟1階)

【体育館棟】

- a：人間科学科 (体育学分野)

【動物研究センター・超高磁場先端MRI研究所】

a, b：医歯薬総合研究所・基盤の研究部門



- ♥：AED (自動体外式除細動器)
- WC：トイレ (も：多目的付, +：オストメイト対応)

2F

- ：医学部講義/実習室
- ：歯学部講義/実習室
- ：薬学部講義/実習室
- ：看護学部講義/実習室
- ：他 講義室/実習室
- ：SGL教室・ラーニング・コモンズ等
- ：講座・研究室等
- ：他 主要施設

西講義実習棟



西研究棟

【西研究棟】

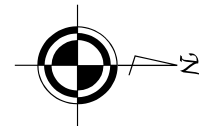
- a：法科学講座（法医学分野）
- b：法科学講座（法歯学・災害口腔医学分野）
- c：生理学講座（統合生理学分野）
- d：生理学講座（病態生理学分野）
- e：生化学講座（分子医化学分野）
- f：生化学講座（細胞情報科学分野）
- g：いわて東北メディカル・メガバンク機構
- h：医歯薬総合研究所・創薬・医療機器開発部門
- i：いわて東北メディカル・メガバンク機構

本部棟

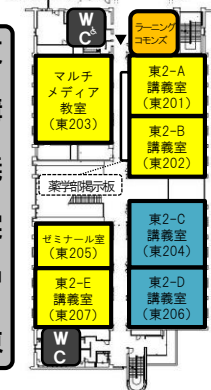
大堀記念講堂

動物研究
センター

超高磁場
先端MRI
研究所



東講義実習棟



食堂

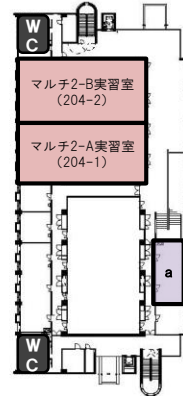


東研究棟

【東研究棟】

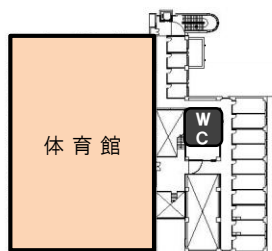
- a：教養教育センター長室
- b：物理学科
- c：化学科
- d：情報科学科（数学分野）
- e：情報科学科（医学統計情報学分野）
- f：生物学科
- g：人間科学科（心理学・行動科学分野）
- h：人間科学科（文学分野）
- i：外国語学科（英語分野）
- j：人間科学科（哲学分野）
- k：人文社会学系研究室
- l：人間科学科（法学分野）
- m：全学教育推進機構長室
- n：口腔医学講座（歯科医学教育学分野）
- o：看護専門基礎講座

災害時地域医療支援教育センター・マルチメディア教育研究棟



【災害時地域医療支援教育センター】

- a：救急・災害医学講座



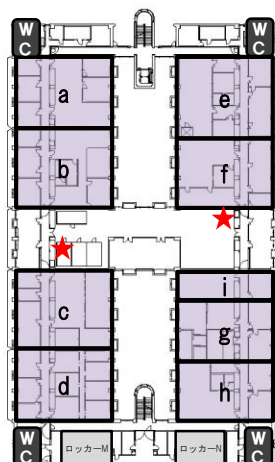
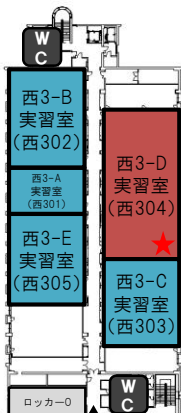
体育館

- ★：緊急時用シャワー
- WC：トイレ（も：多目的付）

3F

- ：医学部講義/実習室
- ：歯学部講義/実習室
- ：薬学部講義/実習室
- ：看護学部講義/実習室
- ：他 講義室/実習室
- ：SGL教室・ラーニングcommons等
- ：講座・研究室等
- ：他 主要施設

西講義実習棟

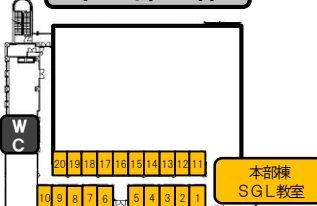


西研究棟

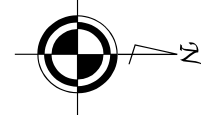
【西研究棟】

- a：医療工学講座
- b：衛生学公衆衛生学講座
- c：微生物学講座（感染症学・免疫学分野）
- d：微生物学講座（分子微生物学分野）
- e：薬理学講座（情報伝達医学分野）
- f：薬理学講座（病態制御学分野）
- g：病態薬理学講座（分子細胞薬理学分野）
- h：病態薬理学講座（薬剤治療学分野）
- i：医学教育学講座教育支援システム開発分野

本部棟

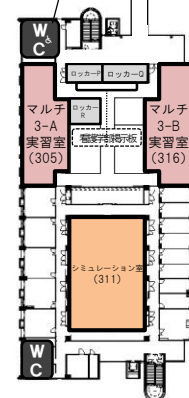


動物研究センター



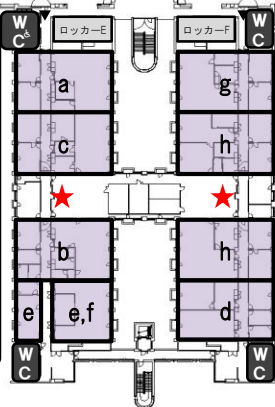
マルチメディア棟
附属病院連絡通路

※女子トイレ・多目的トイレのみ



災害時地域医療支援教育センター・マルチメディア教育研究棟

食堂棟

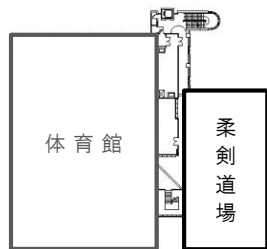


東研究棟

【東研究棟】

- a：生物薬学講座（生体防御学分野）
- b：生物薬学講座（機能生化学分野）
- c：臨床薬学講座（情報薬科学分野）
- d：臨床薬学講座（臨床薬剤学分野）
- e：臨床薬学講座（地域医療薬学分野）
- f：臨床薬学講座（薬学教育学分野）
- g：病態薬理学講座（臨床医化学分野）
- h：いわて東北メディカル・メガバンク機構

体育館棟

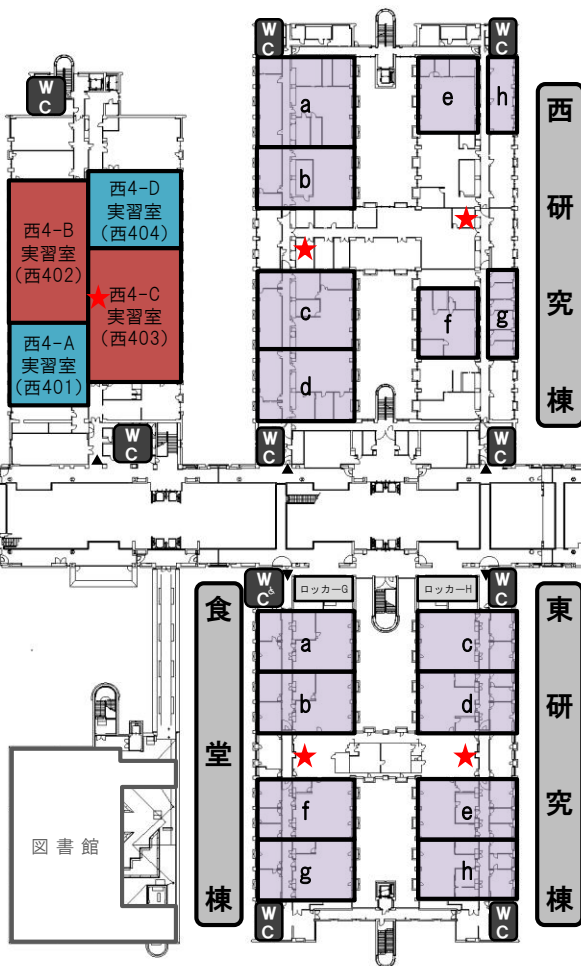


- ★：緊急時用シャワー
- WC：トイレ（も：多目的付）

4F

- ：医学部講義/実習室
- ：歯学部講義/実習室
- ：薬学部講義/実習室
- ：看護学部講義/実習室
- ：他講義室/実習室
- ：SGL教室・ラーニングcommons等
- ：講座・研究室等
- ：他主要施設

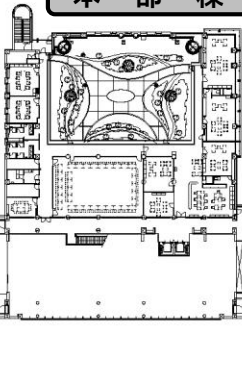
西講義実習棟



【西研究棟】

- a：解剖学講座（人体発生学分野）
- b：解剖学講座（機能形態学分野）
- c：解剖学講座（細胞生物学分野）
- d：解剖学講座（発生生物・再生医学分野）
- e：病理学講座（機能病態学分野）
- f：病理学講座（病態解析学分野）
- g：病理学講座 教授室
- h：病理学講座 スタッフルーム

本部棟

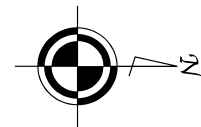


西研究棟

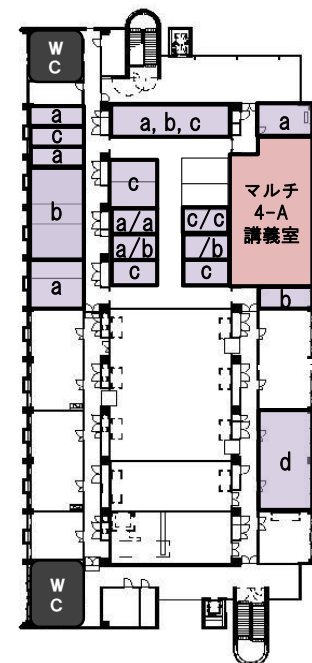
東研究棟

【東研究棟】

- a：生物薬学講座（神経科学分野）
- b：薬科学講座（分析化学分野）
- c：薬科学講座（天然物化学分野）
- d：薬科学講座（創薬有機化学分野）
- e：薬科学講座（構造生物薬学分野）
- f：医療薬科学講座（薬物代謝動態学分野）
- g：医療薬科学講座（創剤学分野）
- h：医療薬科学講座（衛生化学分野）

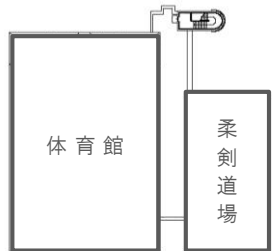


災害時地域医療支援教育センター・マルチメディア教育研究棟



【マルチメディア教育研究棟】

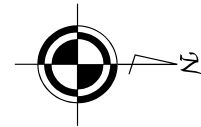
- a：共通基盤看護学講座
- b：地域包括ケア講座
- c：成育看護学講座
- d：医学教育学講座



体育館棟

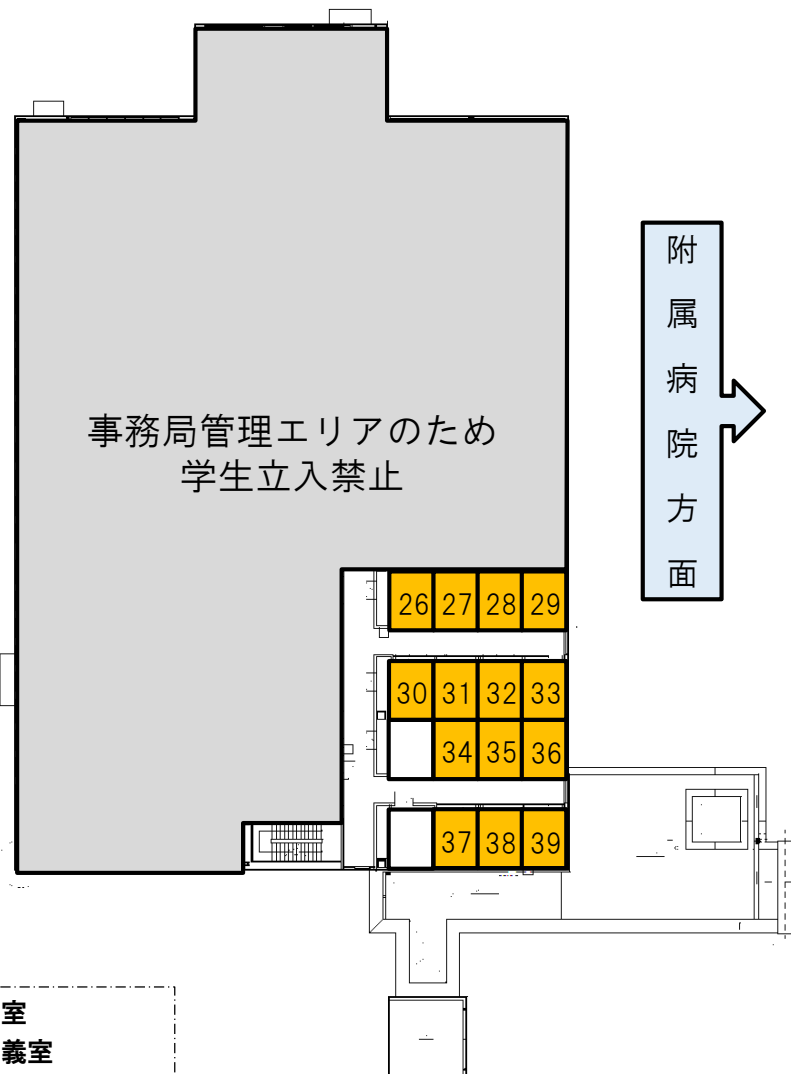
- ★：緊急時用シャワー
- WC：トイレ（も：多目的付）

トクタヴェール
(店 舗 棟)



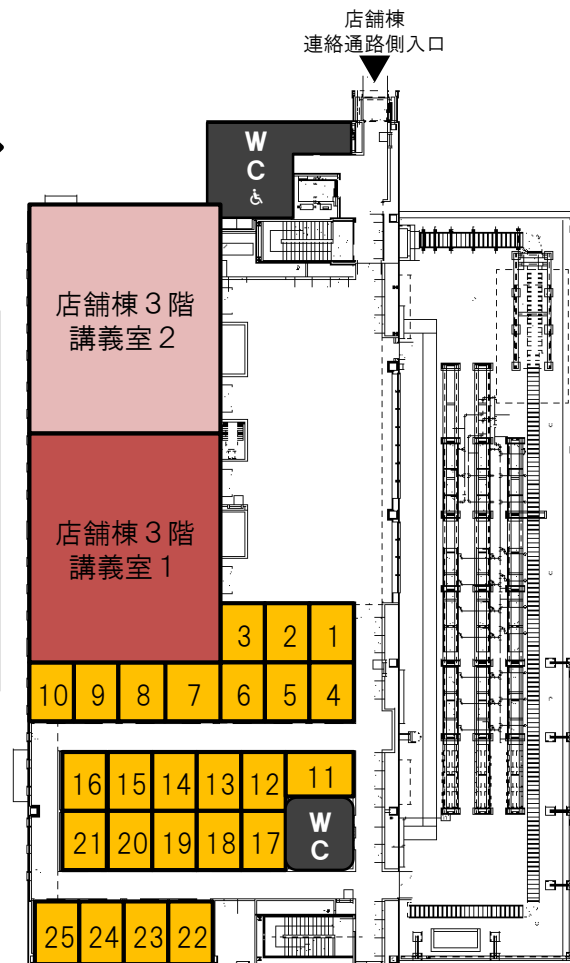
2F

大学本部棟方面



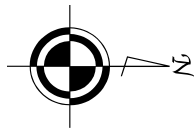
3F

大学本部棟方面

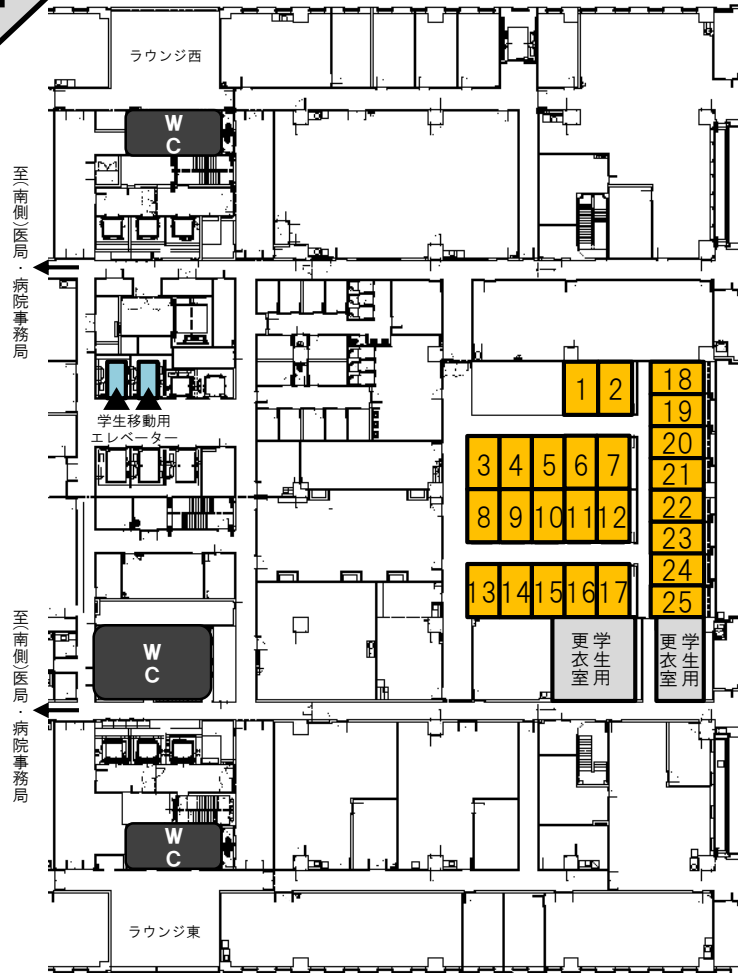


- : 医学部講義室
- : 看護学部講義室
- : SGL教室
- WC : トイレ (♿ : 多目的付)

※店舗棟のSGL教室は、各学部で調整の上、運用方法を定める



5F



■ : SGL教室
 WC : トイレ (も : 多目的付)

※附属病院のSGL教室は、各学部で調整の上、運用方法を定める

薬理学

ナンバリング:N2-S1-B07

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

医薬品が作用する原理と作用に影響を与える要因を理解し、医薬品の適正かつ安全な使用について重要なことや看護における注意点について学ぶ。生活習慣病やがんなどの疾患が発症する過程を理解する。その上で薬が疾患の治療に用いられる理由について学ぶ。治療手順および各薬剤の薬理作用についてその作用機序を理解し、想定される薬物有害反応とその対策について学ぶ。薬物の種類や剤形、投薬経路、対象者の年齢や基礎疾患などの違いによる薬物の吸収、代謝および排泄などの薬物動態の差を理解し、薬物の服薬指導の根拠となる事項を学ぶ。
--

・教育成果(アウトカム)

薬が疾患の治療に用いられる理由を理解し、投与前の準備から投与後の経過観察までの一連のプロセスにおける薬の適正使用に関する考え方が身につく。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。

・到達目標(SBO)

1. 生活行動と生体機能 ・血糖の調節機構を説明できる。 2. ホメオスタシス ・体液の調節(体液量、電解質バランス、浸透圧)を説明できる。 3. 循環器系と血液 ・心・血管系、リンパ系の構造と機能を説明できる。 ・血圧の調節機構を説明できる。 ・止血と血液凝固・線溶系を説明できる。 4. 免疫系 ・免疫応答を説明できる。 ・自然免疫と獲得免疫を説明できる。 ・液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 5. 体内・外の情報伝達と調節機構(神経系、感覚器系、内分泌系) ・末梢神経系の機能的分類(体性神経と自律神経)を説明できる。 ・主なホルモンの特徴と生理作用を説明できる。 ・ネガティブフィードバックを説明できる。 6. 栄養・代謝障害 ・糖代謝異常の病因・病態を説明できる。 ・脂質代謝異常の病因・病態を説明できる。 ・核酸・ヌクレオチド代謝異常の病因・病態を説明できる。 7. 循環障害 ・血栓症・塞栓症・梗塞の病因・病態を説明できる。 8. 疾病の診断に用いる検査と治療 ・薬物治療を概説できる。 9. 薬物及び薬物投与による人間の反応 ・薬物の作用点(受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーター)を説明できる。 ・薬理作用を規定する要因(用量と反応、親和性等)や薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 ・薬物の蓄積、耐性、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。 ・薬物相互作用とポリファーマシーについて概説できる。 ・薬物の投与方法(経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等)の違いによる特徴と看護援助を説明できる。 ・小児期、周産期、老年期、臓器障害、精神・心身の障害時における薬物投与の注意点と看護援助を説明できる。 ・主な治療薬(末梢神経系に作用する薬、中枢神経系に作用する薬、循環器系に作用する薬、血液に作用する薬、呼吸器系に作用する薬、消化器系に作用する薬、内分泌・代謝系に作用する薬、腎・尿路系に作用する薬、感覚器系に作用する薬、生殖系系に作用する薬、免疫系に作用する薬、予防接種、抗感染症薬、消毒薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬、抗腫瘍薬、分子標的薬、医療用麻薬、麻酔薬、主な和漢薬(漢方薬))の作用、機序、適応、有害事象及び看護援助を説明できる。 ・薬物の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。 ・薬物管理の基本的知識と注意事項を説明できる。 ・薬害について概説できる。 ・薬剤の職業性ばく露について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/7 (火) 1限	【授業内容】薬理学を学ぶにあたって 教科書：第1章(p4-14) ① 薬物による病気の治療 ② 薬理学とは何か ・医薬品が作用する原理を説明できる ・作用に影響を与える要因を列举できる 【関連するSBO】8、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
4/10 (金) 2限	【授業内容】薬理学の基礎知識 教科書：第2章(p16-54、60-62) ① 薬が作用するしくみ(薬力学) ② 薬の体内挙動(薬物動態学) ③ 薬物相互作用 ④ 薬効の個人差に影響する因子 ⑤ 薬物使用の有益性と危険性 ・作用に影響を与える要因を列举できる ・医薬品を適正かつ安全に使用するための注意事項を列举できる 【関連するSBO】8、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
4/14 (火) 1限	【授業内容】抗感染症薬 教科書：第3章(p66-94)第15章(p308-317) ① 感染症治療に関する基礎事項 ② 抗菌薬 ③ 抗真菌薬・抗ウイルス薬・抗寄生虫薬 ④ 感染症治療における問題点 ⑤ 消毒薬 ・化学療法薬の病原微生物に対する作用機序を説明できる ・病原微生物に有効な代表的な薬物を挙げることができる ・化学療法薬の重要な有害作用を説明できる ・消毒薬の適応とその有害作用を説明できる ※ #1 課題レポート出題(提出：4/21(火)) 【関連するSBO】9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：150分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。 課題レポートを仕上げる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
4/21 (火) 2限	【授業内容】抗がん薬 教科書：第4章(p96-110) ① がんの化学療法(基礎事項) ② 抗がん薬各論 ・抗がん薬の作用機序の概略を説明できる ・抗がん薬の有害作用とその対策を列举できる 【関連するSBO】9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/14 (木) 3限	【授業内容】免疫治療薬 教科書：第5章(p112-123) ① 免疫系の基礎知識 ② 免疫抑制薬 ③ 免疫増強薬・予防接種薬 ・自己免疫疾患や臓器移植時の拒絶反応における免疫抑制薬の作用を説明できる ・予防接種の種類と対象となる病原体を挙げることができる ・免疫治療薬の有害作用を列举できる 【関連するSBO】4、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

5/15 (金) 4限	【授業内容】抗アレルギー薬、抗炎症薬 教科書：第6章(p126-137) ① 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 ② 炎症と抗炎症薬 ③ 関節リウマチ治療薬 ④ 痛風・高尿酸血症治療薬 ・ステロイドの適用と重要な有害反応を列举できる ・抗アレルギー薬の特徴を説明できる ・関節リウマチと全身性エリテマトーデスに使用する薬について説明できる ・高尿酸血症治療薬の作用を説明できる 【関連するSBO】9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/18 (月) 4限	【授業内容】末梢での神経活動に作用する薬物 教科書：第7章(p140-158) ① 神経系による情報伝達 ② 交感神経作用薬 ③ 副交感神経作用薬 ④ 筋弛緩薬・局所麻酔薬 ・末梢神経系における神経伝達物質と受容体について説明できる ・自律神経系作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬の作用機序を説明できる ※ #2 課題レポート出題(提出：5/28(木)) 【関連するSBO】5、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：150分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。 課題レポートを仕上げる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/21 (木) 3限	【授業内容】中枢神経系に作用する薬物 教科書：第8章(p160-10) ① 中枢神経系のはたらきと薬物 ② 全身麻酔薬 ③ 催眠薬・抗不安薬 ④ 抗精神病薬 ⑤ 抗うつ薬・気分安定薬 ⑥ パーキンソン症候群治療薬 ⑦ 抗てんかん薬 ⑧ 麻薬性鎮痛薬 ⑨ 片頭痛治療薬 ・各中枢神経系疾患の発症と薬物の作用のメカニズムの概略を説明できる ・各治療薬の有害作用を列举できる ・抗精神病薬の適応と作用機序を説明できる ・抗精神病薬の有害作用と看護上の注意点を列举できる ・WHO方式がん疼痛治療法の原則を説明できる ・オピオイド鎮痛薬の特徴を列举できる 【関連するSBO】5、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/28 (木) 3限	【授業内容】循環器系に作用する薬物-1 教科書：第9章(p192-202、211-215) ① 降圧薬 ② 利尿薬 ③ 狭心症治療薬 ・高血圧、狭心症を発症する過程を説明できる ・高血圧、狭心症の治療手順および使用する薬剤の機序の概略を説明できる ・薬剤の服用上の注意点を列举できる 【関連するSBO】2、3、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

6/1 (月) 2限	【授業内容】循環器系に作用する薬物-2 教科書：第9章(p202-211、215-224) ① 心不全治療薬 ② 抗不整脈薬 ③ 脂質異常症治療薬 ④ 血液凝固系・線溶系に作用する薬物 ⑤ 血液に作用する薬物 ・心不全、不整脈、脂質異常症を発症する過程を説明できる ・これらの疾患の治療手順および使用する薬剤の機序の概略を説明できる ・薬剤の服用上の注意点を列挙できる 【関連するSBO】2、3、7、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
6/2 (火) 4限	【授業内容】輸液製剤、輸血剤 教科書：付章(p320-327) ① 輸液製剤 ② 輸血剤 ・輸液製剤および輸血剤の分類とそれぞれの特徴、用途について列挙できる ・薬剤の服用上の注意点を列挙できる 【関連するSBO】2、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
6/8 (月) 1限	【授業内容】呼吸器および消化器系に作用する薬 教科書：第10章(p226-241) ① 呼吸器系に作用する薬物 ② 消化器系に作用する薬物 ・気管支喘息の発作時と管理期では使用する薬が違うことを説明できる ・気管支喘息に使用する薬の作用機序を説明できる ・鎮咳薬の特徴を列挙できる ・去痰薬の特徴を列挙できる ・胃液分泌のしくみと潰瘍形成についての概略を説明できる ・消化性潰瘍の作用機序と使用法を説明できる ・嘔吐のしくみと制吐薬の作用機序を説明できる ・止痢薬の作用機序を説明できる ※ #3 課題レポート出題(提出：6/17(水)) 【関連するSBO】9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：150分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。 課題レポートを仕上げる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
6/11 (木) 3限	【授業内容】ホルモンとホルモン拮抗薬 教科書：第10章(p241-249)第11章(p258-268) ① 甲状腺疾患治療薬 ② 視床下部・下垂体ホルモン ③ 骨粗鬆症治療薬 ④ 生殖器・泌尿器に作用する薬 ・甲状腺疾患の病態とその治療法について説明できる ・骨粗鬆症治療薬の種類を列挙できる ・更年期障害、避妊、不妊治療、分娩促進に使用される薬の作用機序を説明できる ・男性ホルモン関連製剤の適応を説明できる 【関連するSBO】5、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
6/17 (水) 4限	【授業内容】糖尿病治療薬 治療薬としてのビタミン 教科書：第11章(p252-258、268-271) ・糖尿病を発症する過程と主な合併症を説明できる ・糖尿病の治療手順および使用する薬剤の機序の概略を説明できる ・薬剤の服用上の注意点を列挙できる ・糖尿病患者への指導の重要な項目を列挙できる 【関連するSBO】1、6、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

6/18 (木) 3限	【授業内容】漢方薬、薬と法律、看護業務に必要な薬の知識、医薬品の安全管理 教科書：第1章(p54-60)、第14章(p298-306)、付録(p328-337) ・医薬品の分類と関連する法律の概略を説明できる ・医薬品を適正かつ安全に使用するための注意点が記載されている文書について説明できる 【関連するSBO】8、9 【事前学修：90分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：480分】 (120分：配布した復習用ドリルを用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。) (360分：定期試験対策学修をする。)	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
-------------------	---	-----------------------

・教科書・参考書等		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 第16版	吉川雄朗 他	医学書院	2026
教	今日の治療薬2026 解説と便覧	伊豆津宏二 他	南江堂	2026
参	系統看護学講座 別巻 臨床薬理学 第2版	井上智子, 窪田 哲朗 編	医学書院	2024
参	イラストでまなぶ薬理学 第4版	田中越郎	医学書院	2023
参	FLASH 薬理学 改訂版	丸山敬, 淡路 健雄 編	羊土社	2025
参	フィジカルアセスメントの根拠がわかる機能障害からみたからだのメカニズム 第1版	清村紀子, 工藤二郎 編	医学書院	2014
参	緊急度・重症度からみた症状別看護過程＋病態関連図 第4版	井上智子, 窪田 哲朗 編	医学書院	2023
参	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程＋病態関連図 第5版	井上智子, 窪田 哲朗 編	医学書院	2025
参	イラストで理解する かみくだき薬理学改訂4版	町谷安紀	南山堂	2026

・成績評価方法								
【総括的評価】定期試験(多肢選択式問題)70%、課題レポート(3回実施、提出期限は約1週間後)30%の合計100%にて評価する。課題レポートの記載方法と評価の基準については授業内で説明する。 【形成的評価】毎回の授業で配布する自習用ドリルに掲載されている問題を授業中に解かせ、授業内容の理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1, 3	1～9		70	30				100
合計		0	70	30	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他
【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 課題レポートから多くの学生が理解していない項目や習得できていない項目を把握し、次回以降の授業で取り上げ、知識の定着と理解の促進を図る。 【その他】 1. 各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。 2. 事後の自主学修においてe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス：本学図書館を經由して接続)を用いた発展学習を推奨する。この使用方法や内容等については授業で説明する。 3. また、e-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)の教材を用いた課題レポートを課す。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3)：専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的			
使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	ノートパソコン Vostro16 Corei7 1360P	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

臨床心理学

ナンバリング:N2-S1-B08

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

こころの諸問題へのアプローチについて、臨床心理学の基盤となる理論を理解する。また臨床心理学の歴史、臨床心理学と精神医学の関わり、精神病理の理解およびメンタルヘルスの保持増進について理解を深める。さらに臨床心理学の主要3領域(臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理学的地域援助)の方法および倫理について、広く基礎的な知識を修得する。本科目の学修を通じ、臨床の現場で求められる柔軟で合理的な思考と、他者尊重的な態度を修得する。
--

・教育成果(アウトカム)

本講義で扱う臨床心理学は心理学の一分野であり、医療保健、福祉、教育、司法矯正、産業などの現場で展開されている心理臨床活動の基礎となる学問である。また臨床心理学は、基礎心理学の研究による知見の積み重ねを重視しながら、現実の社会で生じている問題や困難に心理的援助をもって貢献しようとする学問であり、実践活動である。臨床心理学の学修を通して、こころの諸問題を理解するために必要な「個人の内面への考察」と「社会との相互作用の理解」の視点を身につける。 本講義では、臨床活動を広く捉え、そこで体験するこころの動きやありようを、臨床心理学の立場から理解するための視点と理論を学修する。また、看護師・保健師・助産師・養護教諭等と連携する職種のひとつである心理専門職の職能を学ぶことを通じ、多職種連携の基礎となる態度を会得する。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SB0)

1. 悩みを抱える人のこころと生活を想像し、相手を尊重した援助について考察できる。 2. 看護において、コミュニケーションがクライアントとの相互作用に影響することを理解し、説明できる。 3. 多様な健康状態にある人を理解し、その人に応じた健康の捉え方と生活の実現を尊重できる。 4. 多様な価値観、社会的背景、ライフスタイルを持つクライアントを理解し、尊重的態度を取ることができる。 5. 心理療法の主な技法について、その特徴を説明できる。 6. 家庭・学校・職場等におけるメンタルヘルス向上のための支援について説明できる。 7. ノーマライゼーション実現のために必要な支援を考察できる。 8. 病や障害をもつ人の体験を理解し、その人の強みを引き出すことを含め、できうる関わりを考察することができる。 9. 看護職等の支援者に特有のストレスと心理状態を理解し、必要な対処について説明できる。 10. 被災者、救済者のストレスと心のケアを理解し、多職種連携に基づく支援体制について説明できる。
--

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月 日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/13 月 3限	【授業内容】#1 臨床心理学と精神医学、心身の健康 1.臨床心理学と精神医学の接点について、ポイントを挙げることができる 2.医療における心理的支援の特徴を理解し、看護実践への応用を考察できる 3.多様な価値観、社会的背景、ライフスタイルを持つクライアントを理解し、多様性を尊重することについて、自身の考えを持ち、行動に反映することができる [ICT(WebClass)] 【関連するSBO】 1、3、8 【事前学修:60分】 1年次「心理学」と「医療面接の基礎」資料を通読する 【事後学修:90分】 確認テストとワークに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
4/20 月 3限	【授業内容】#2 医療における心理的関わり(1)身体医療領域、災害メンタルヘルス 1.身体医療領域と災害メンタルヘルス領域におけるこころの諸問題への多職種連携による支援を理解し、そこに関与する看護職に必要な態度について、自らの言葉で述べるができる [ICT(WebClass)] 【関連するSBO】 3、8、10 【事前学修:60分】 前回講義資料と事前配布資料を通読する 【事後学修:90分】 確認テストとワークに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
4/22 水 3限	【授業内容】#3 医療における心理的関わり(2)子ども、思春期、高齢者など 1.発達障害の特徴と日常生活における困難さの理解を通し、支援において考慮すべきポイントを挙げることができる 2.児童期、思春期、成人期後期、老年期等に顕在化するこころの諸問題への理解を通し、支援において考慮すべきポイントを挙げることができる [ICT(WebClass)] 【関連するSBO】 3、4、8 【事前学修:60分】 前回講義資料と事前配布資料を通読する 【事後学修:90分】 確認テストとワークに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
5/13 水 1限	【授業内容】#4 臨床心理査定と臨床心理面接 1.面接法、観察法、検査法についてその概要を説明できる 2.アセスメントと面接について、学校や職場における事例を検討し、各段階でポイントとなることを列挙できる 3.上記において必要な倫理的配慮を述べるができる [事例検討とディスカッション][ICT(WebClass)] 【関連するSBO】 1、2、6 【事前学修:60分】 前回講義資料を通読する 【事後学修:90分】 ワークと理解度チェックに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
5/18 月 3限	【授業内容】#5 臨床心理面接1 表現療法 1.非言語的な情報と交流の重要性を理解し、関わりに必要な視点を列挙できる 2.技法の理解を通し、表現に表れるその人らしさを尊重することができる [表現療法のワーク][ICT(WebClass)] 【関連するSBO】 2、5 【事前学修:60分】 事前配布資料を通読する 【事後学修:90分】 ワークに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
5/25 月 3限	【授業内容】#6 臨床心理面接2 集団精神療法、認知行動療法 1.集団精神療法について、Yalomの治療促進因子を述べるができる 2.認知行動療法の基本モデルを説明できる [認知再構成法のワーク][ICT(Mentimeter, WebClass)] 【関連するSBO】 2、5、8 【事前学修:60分】 前回講義資料と事前配布資料を通読する 【事後学修:90分】 確認テストとワークに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
6/1 月 3限	【授業内容】#7 臨床心理的地域援助の多様な展開ー心理教育支援、家族支援 1.心の健康教育に関する理論と実践を理解し、ポイントを挙げることができる 2.家族支援のための諸アプローチを理解し、クライアントや家族全体へ及ぼす効果について述べるができる 3.症状・病・障害等をもつ人の体験とノーマライゼーションの理念を理解し、必要な理解と関わりについて述べるができる [ICT(Mentimeter, WebClass)] 【関連するSBO】 3、4、7、8 【事前学修:60分】 前回講義資料と事前配布資料を通読する 【事後学修:90分】 ワークに取り組む、講義資料を復習する	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授

6/8 月 3限	【授業内容】#8 ケアする「私」の理解 1.対人援助職に特有なストレスを理解し、それへの対処を述べる事ができる 2.患者、家族、医療スタッフを尊重しながら自らのことも大事にするための態度について、考察することができる 【コーピングチェックリストの実施とディスカッション】[ICT(WebClass)] 【関連するSBO】 6、9、10 【事前学修:60分】 #1～#7講義資料を通読する 【事後学修:630分】 確認テストとワークに取り組む、講義資料を復習する、定期試験に向けて総復習をおこなう	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
----------------	---	-------------------------

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	臨床心理学 心の専門家の教育と心の支援	鐘幹八郎・川畑直人	培風館	2009
参	よくわかる臨床心理学 改訂新版	下山晴彦 編	ミネルヴァ書房	2009

・成績評価方法 【総括的評価】 前期試験成績を50%、講義中・後に実施するワーク(課題)への取り組みを30%、確認テストの成績を20%として評価する。前期試験はMCQ:多肢選択式問題と論述問題を出题する。ワーク(課題)への取り組みは、提出(入力)された回答内容を対象とし、評価については初回講義で示す「ワーク(課題)評価基準」に従い採点する。 【形成的評価】 4回目の講義にてWebClassより「理解度チェック」を実施し、理解度・到達度を確認する。理解度チェックの結果はWebClassからフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～8	1～10						①30 ②20	50
2～8	1～10		50					50
合計		0	50	0	0	0	50	100
〈備考〉その他の①は講義中・後に実施するワーク(課題)への取り組み、②は確認テストの成績								

・特記事項・その他 【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 本科目は、一般的な講義に加えて双方向的な対話を適宜取り入れ進行する。またWebClassによるワークやコメント入力を求める回を設定する。回答については、内容を踏まえ、翌回の講義で解説をおこなう。 WebClassでの確認テストを実施する回を設定する。結果はWebClassにてフィードバックする。 講義時間中に、各自のデバイスから参加できるリアルタイムフィードバックツールを用いて他学生の考えを確認、共有する。Mentimeterを使用する予定のため、スマートフォン、タブレット、PCのいずれでも参加可能である。 ワーク(課題)についてのフィードバックは内容に応じて講義内、翌回の講義内に適宜実施する。またWebClassから採点結果を本人が確認できるようにする。 定期試験の後はフィードバックとしてWebClassを通じた解説もしくは補講を実施する。 【その他】 ・学生からの授業に対する質問・意見については、WebClassメッセージより随時受け付ける。 ・授業内容に関する質問・要望は、翌回の講義にて追加説明をおこなう。 ・ワークや確認テストの期日は、講義当日中を基本とする。課題内容に応じて1週間程度の回答期間を設ける場合があり、その期日は講義中もしくはWebClassから告知する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 保健・医療・福祉・学校臨床現場での実務経験をもつ公認心理師・臨床心理士有資格教員が、臨床心理的援助について、実践例に基づきながら講義をおこなう。

・授業に使用する機器・器具と使用目的			
使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	ノート型PC(MacBook Air)	1	講義資料の提示
講義	DVD(BR)プレーヤー	1	教材の提示
講義	デスクトップPC(iMac)	1	講義資料の作成

疾病論Ⅰ（内科系総論）

ナンバリング:N2-S1-B09

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	通期		

・学修方針(講義概要等)

看護職が安全で適確な看護を実践するためには、様々な疾病に関する正確かつ最新の知識が必要である。本科目では、患者の疾病を理解し、適確な看護を行うために、日常の看護医療において遭遇する代表的な内科疾患を中心に、症状、病態生理、検査、診断および治療等について学修する。また、一人の人間としての患者のあらゆる変化に対応し、有効な援助ができるように、各疾病特有の身体的、心理的および社会的な問題についても理解を深める。
--

・教育成果(アウトカム)

成人における代表的な内科疾患の疾患概念、病態生理、病因、臨床症状・徴候、検査所見、診断、内科的治療法および予後について学ぶことで、それらの知識を統合して安全かつ適確な看護を実践する基盤が形成される。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 呼吸器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 2. 循環器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 3. 消化器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 4. 内分泌・代謝疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 5. 腎・泌尿器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 6. アレルギー・膠原病の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 7. 感染症の病因、症状、検査所見、治療法および予防法を説明できる。 8. 院内感染対策やスタンダードプリコーションについて説明できる。 9. 血液・造血器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。 10. 神経疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室		
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 水 4限	【授業内容】イントロダクション、呼吸器疾患(1) - 症状と病態生理、検査と治療 - ・症候と徴候の違いを説明できる。 ・医療における内科診断学の位置付けについて概説できる。 ・呼吸器疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 教科書：p2-27 【関連するSBO】1 【事前学修：60分】 ・基礎生理学で履修した呼吸器に関する内容を復習する。 ・呼吸器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
4/16 木 4限	【授業内容】呼吸器疾患(2) - 呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患および間質性肺疾患 - ・代表的な呼吸器疾患(呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患および間質性肺疾患)の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書：p28-50 【関連するSBO】1 【事前学修：60分】呼吸器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修：90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授

5/14 木 4限	【授業内容】呼吸器疾患(3) -気道疾患、肺腫瘍および胸膜疾患- ・代表的な呼吸器疾患(気道疾患、肺腫瘍および胸膜疾患)の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p50-70 【関連するSBO】1 【事前学修:90分】呼吸器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
5/20 水 3限	【授業内容】循環器疾患(1) -症状と病態生理、検査と治療および高血圧- ・循環器疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・高血圧の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p74-98、136-144 【関連するSBO】2 【事前学修:90分】 ・基礎生理学で履修した循環器に関する内容を復習する。 ・循環器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
5/27 水 3限	【授業内容】循環器疾患(2) -虚血性心疾患、心不全- ・代表的な循環器疾患(虚血性心疾患、心不全)の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p99-103、113-121 【関連するSBO】2 【事前学修:90分】循環器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/3 水 4限	【授業内容】循環器疾患(3) -不整脈、弁膜症、心膜・心筋疾患および脈管疾患- ・代表的な循環器疾患(不整脈、弁膜症、心膜・心筋疾患および脈管疾患)の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p103-113、122-131、144-153 【関連するSBO】2 【事前学修:90分】循環器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/9 火 2限	【授業内容】消化器疾患(1) -症状と病態生理、検査と治療および食道・胃・十二指腸疾患- ・消化器疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・代表的な上部消化管疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p156-198 【関連するSBO】3 【事前学修:90分】 ・基礎生理学で履修した上部消化管に関する内容を復習する。 ・上部消化管疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/10 水 3限	【授業内容】消化器疾患(2) -腸疾患、肝臓疾患- ・代表的な下部消化管疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 ・代表的な肝疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p199-218、220-263 【関連するSBO】3 【事前学修:90分】 ・基礎生理学で履修した下部消化管・肝臓に関する内容を復習する。 ・下部消化管疾患、肝疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/17 水 3限	【授業内容】消化器疾患(3) -胆道・膵臓疾患- ・代表的な胆嚢・胆管疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 ・代表的な膵疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p264-278 【関連するSBO】3 【事前学修:90分】 ・基礎生理学で履修した胆道・膵臓に関する内容を復習する。 ・胆道・膵疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/18 木 4限	【授業内容】内分泌・代謝疾患(1) -症状と病態生理、検査と治療および内分泌疾患- ・内分泌・代謝疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・代表的な内分泌疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p322-361 【関連するSBO】4 【事前学修:90分】 ・基礎生理学で履修した内分泌・代謝に関する内容を復習する。 ・内分泌疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:120分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授

9/25 金 4限	【授業内容】内分泌・代謝疾患(2)－代謝疾患－ ・代表的な代謝疾患(糖尿病、脂質異常症および肥満症)の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p280-319 【関連するSBO】4 【事前学修:60分】内分泌疾患について指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
10/13 火 5限	【授業内容】腎・泌尿器疾患－症状と病態生理、検査と治療および腎疾患－ ・腎・泌尿器疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・代表的な腎疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p364-431 【関連するSBO】5 【事前学修:60分】 ・基礎生理学で履修した腎・泌尿器に関する内容を復習する。 ・腎・泌尿器疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
11/11 水 3限	【授業内容】アレルギー・膠原病・感染症(1)－症状と病態生理、検査と治療およびアレルギー－ ・自己免疫疾患とその機序について概説できる。 ・アレルギー・膠原病の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・代表的なアレルギー疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p548-565、591-594 【関連するSBO】6 【事前学修:60分】 ・病理学概論で履修したアレルギー・自己免疫に関する内容を復習する。 ・アレルギー疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
11/13 金 3限	【授業内容】アレルギー・膠原病・感染症(2)－膠原病および感染症・感染予防－ ・代表的な膠原病の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 ・代表的な感染症の病因、症状、検査所見、治療・予防法を説明できる。 ・院内感染対策とスタンダードプリコーションについて説明できる。 教科書:p566-591、596-640 【関連するSBO】6、7、8 【事前学修:60分】 ・膠原病について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 ・感染症について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
12/2 水 4限	【授業内容】血液・造血器疾患(1)－症状と病態生理、検査および赤血球系の異常－ ・血液・造血器疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・代表的な赤血球系の疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p504-529 【関連するSBO】9 【事前学修:60分】 ・基礎生理学で履修した血液に関する内容を復習する。 ・赤血球系の疾患について、該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
12/3 木 3限	【授業内容】血液・造血器疾患(2)－白血球系の異常、造血器腫瘍および出血性疾患－ ・代表的な白血球系の疾患・造血器腫瘍の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 ・代表的な出血性疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p530-546 【関連するSBO】9 【事前学修:60分】 ・白血球系の疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 ・出血性疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
12/9 水 4限	【授業内容】神経疾患(1)－症状と病態生理、検査と治療、認知症およびてんかん－ ・神経疾患の症状と病態生理、検査と治療を理解し、概説できる。 ・植物状態と脳死の違いを説明できる。 ・認知症・てんかんの病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p434-458、479-482、496-500 【関連するSBO】10 【事前学修:60分】 ・基礎生理学で履修した神経に関する内容を復習する。 ・神経疾患について、指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授

12/10 木 4限	【授業内容】神経疾患(2) -脳疾患、脊髄疾患、末梢神経障害、筋疾患、脱髄・変性疾患および脳・神経の感染症- ・代表的な脳・神経疾患の病因と分類、症状、検査所見、治療、予後を説明できる。 教科書:p459-496 【関連するSBO】10 【事前学修:60分】神経疾患について指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:360分】(90分)復習用教科書を用いて授業のふりかえりをする。 (270分)定期試験対策学修	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
------------------	---	----------------------

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
教	看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性 改訂3版	浅野嘉延	南山堂	2025
参	なるほどなっとく！臨床検査 1版	浅野嘉延	南山堂	2021
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器 第16版	川村雅文 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器 第16版	吉田俊子 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器 第16版	飯野京子 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器 第16版	南川雅子 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝 第16版	吉岡成人 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 第16版	井手隆文 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器 第16版	大東貴志 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症 第16版	泉川公一 他	医学書院	2025

・成績評価方法								
【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(多肢選択客観試験)100%にて到達度を判定する。 【形成的評価】スライドを使った問題提示やWebClassに掲載する演習問題等を通して、学修状況、講義の理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1,3,6	1~10		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他
【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・授業中のスライド提示問題については、その場で問題解説を行い知識の整理に役立てる。 ・WebClassに掲載した演習問題については解説を読み、知識の整理に役立てる。 【その他】 ・各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。 ・事前学修においては、e-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス: 本学図書館を経由して接続)教材「機能障害からみたからだのメカニズム」を用いた発展学習を推奨する。 ・事後学修においては、「看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性」を復習用教科書として活用する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3): 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有/医師 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的			
使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	デスクトップパソコン(HP ENVY Desktop TE01-1104.jpパフォーマンスモデル)	1	講義資料の作成等

疾病論Ⅱ（外科系総論）

ナンバリング:N2-S1-B10

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	外科学講座、医歯薬総合研究所創薬・医療機器開発部門		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

外科学総論として、外科患者の病態と看護、手術侵襲、外科的感染症、ショック、腫瘍、外科的診断法、外科治療の実際、栄養管理、周術期管理、内視鏡外科手術および臓器移植の実際を学ぶ。各論では、消化器疾患、内分泌・代謝疾患および小児疾患に大別し、主要疾患の基礎知識、手術方法および合併症について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

外科的侵襲に伴う生体反応、腫瘍、外科的診断法、外科治療の実際、栄養管理、周術期管理、内視鏡外科手術および臓器移植を学修する作業を通して、外科的治療を要する患者の看護に必要な基本的知識が形成される。さらに、小児・成人における主要な疾病の概念、病態生理、臨床症状、検査所見、診断、外科治療、周術期管理および合併症について学ぶことで、それらの知識を統合して安全かつ適確な外科看護を実践する基盤が形成される。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 手術・麻酔による生体反応、合併症の発症と予防について説明できる。 ・外科侵襲と生体反応、外科的感染症および外傷とショックを概説できる。 ・基本的外科手技、麻酔法、気道確保法を概説できる。 2. 外科看護に必要な創傷管理について説明できる。 3. 外科看護に必要な栄養と代謝について説明できる。 ・栄養状態の評価、周術期の輸液・栄養管理および輸血療法を概説できる。 4. 周術期にある患者の全身状態を査定(Assessment)する方法について説明できる。 ・診察法、胸部・腹部画像診断およびナビゲーションサージェリーを概説できる。 5. 手術療法の種類と期待されている効果について説明できる。 ・低侵襲手術である内視鏡外科手術を概説できる。 ・先端治療であるロボット支援手術を概説できる。 6. 腫瘍の病因、良・悪性の異同、分化度、グレード、ステージ、浸潤・転移について説明できる。 ・抗腫瘍薬の作用、機序、適応、有害事象を説明できる。 7. 主要な疾病の病状、病因、病態、治療、予後について説明できる。 ・消化器疾患の病態生理、症状、検査、手術方法、周術期管理および合併症を説明できる。 ・内分泌・代謝疾患の病態生理、症状、検査、手術方法、周術期管理および合併症を説明できる。 ・小児外科疾患の病態生理、症状、検査、手術方法、周術期管理および合併症を説明できる。

・講義日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/6 月 4限	【授業内容】臨床外科学-周術期管理と看護- ・インフォームド・コンセント、医療事故、周術期の看護の要点および高齢者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1 【事前学修：90分】周術期管理と看護について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】インフォームド・コンセント、インシデントレポートの目的、クリニカルパスにより得られる成果、高齢者の看護についてまとめる。	外科学講座 佐々木 章 教授

4/17 金 3限	【授業内容】外科学総論 ・外科的治療を要する患者の病態と看護、外科侵襲と生体反応、外科的感染症および外傷とショックを理解し、概説できる。 【関連するSBO】1、2 【事前学修:90分】外科侵襲と生体反応、外科的感染症およびショックについて、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】手術侵襲後の病態(ムア分類)、手術部位感染や血管内留置カテーテル関連血流感染の予防、ショックについてまとめる。	外科学講座 梅邑 晃 准教授
4/23 木 3限	【授業内容】周術期の栄養管理 ・栄養状態の評価、周術期の輸液・栄養管理および輸血療法を理解し、概説できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:90分】周術期の栄養管理法について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】栄養状態の評価、周術期の輸液・栄養管理(術後回復強化プログラム:ERAS)・輸血療法についてまとめる。	外科学講座 井原 欣幸 講師
5/7 木 5限	【授業内容】外科治療の実際 ・基本的な外科手技(切開法、ドレナージ、止血法、縫合法)、麻酔法、気道確保法および創傷管理を理解し、概説できる。 【関連するSBO】1、2 【事前学修:90分】基本的な外科手技について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】胃管の挿入・留置、手術後の体位変換の効果、胸腔ドレナージの管理についてまとめる。	外科学講座 梅邑 晃 准教授
5/11 月 5限	【授業内容】外科的診断法 ・診察法(頸部、乳房、腹部、直腸・肛門)、胸部・腹部画像診断およびナビゲーションサージェリーを理解し、概説できる。 【関連するSBO】1、4 【事前学修:90分】外科的診断法について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】診察法(頸部、乳房、腹部、直腸・肛門)、胸部・腹部画像診断についてまとめる。	外科学講座 馬場 誠朗 講師
5/12 火 4限	【授業内容】内視鏡外科手術 ・低侵襲手術である内視鏡外科手術の概要(歴史、現状、特徴、手術方法と合併症)および先端治療であるロボット支援手術を理解し、概説できる。 【関連するSBO】1、5 【事前学修:90分】内視鏡外科手術について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】内視鏡外科手術の意義と特徴、周術期の留意点についてまとめる。	外科学講座 佐々木 章 教授
5/18 月 5限	【授業内容】食道疾患 ・主要な食道良性・悪性疾患の基礎知識、手術方法、周術期管理および合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修:90分】食道疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】食道癌の特徴、合併症、術後合併症についてまとめる。	外科学講座 馬場 誠朗 講師
5/25 月 4限	【授業内容】胃、十二指腸疾患 ・主要な胃十二指腸良性・悪性疾患の基礎知識、手術方法、周術期管理および合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修:90分】胃、十二指腸疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】胃癌の特徴、術後合併症(縫合不全、ダンピング症候群)についてまとめる。	外科学講座 二階 春香 助教
5/26 火 2限	【授業内容】直腸、肛門疾患 ・大腸癌と人工肛門の基礎知識、手術方法、周術期管理、合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修:90分】直腸、肛門疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】直腸癌の特徴と外科手術・人工肛門造設術についてまとめる。	外科学講座 八重樫 瑞典 講師

6/2 火 2限	【授業内容】内分泌・代謝疾患 ・主要な甲状腺・副甲状腺疾患、副腎疾患、糖尿病、肥満症の基礎知識、手術方法、周術期管理および合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修：90分】内分泌・代謝疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】甲状腺機能亢進症の病態と治療、肥満症に対する手術方法と周術期管理についてまとめる。	外科学講座 佐々木 章 教授
6/4 木 1限	【授業内容】小腸、結腸疾患 ・小腸と大腸の解剖、主要な良性疾患の基礎知識、手術方法、周術期管理、合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修：90分】小腸・結腸疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】炎症性腸疾患の特徴と外科手術の適応、大腸癌の特徴と外科手術についてまとめる。	外科学講座 八重樫 瑞典 講師
6/11 木 4限	【授業内容】腫瘍 ・腫瘍の定義、発癌、腫瘍の生物学的特徴、癌遺伝子・癌抑制遺伝子、腫瘍の診断と治療および抗腫瘍薬の種類と作用機序を理解し、概説できる。 【関連するSBO】6 【事前学修：90分】病理学概論で履修した腫瘍に関する内容を復習する。 【事後学修：120分】腫瘍の発生にかかわる遺伝子異常、抗腫瘍薬の種類と作用機序についてまとめる。	医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門 西塚 哲 特任教授
6/16 火 3限	【授業内容】小児外科疾患 ・主要な小児外科疾患の基礎知識、手術方法、周術期管理、合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、7 【事前学修：90分】小児外科疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】小児外科における病態生理、主な疾患（先天性食道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、ヒルシュスプルング病、腸重積症、胆道閉鎖症、小児固形腫瘍）の特徴と治療についてまとめる。	外科学講座 鈴木 信 准教授
6/16 火 4限	【授業内容】肝臓、胆道、膵臓疾患 ・主要な肝臓、胆道、膵臓疾患の基礎知識、手術方法、周術期管理、合併症と手術を受ける患者の看護を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修：90分】肝臓、胆道、膵臓疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】肝予備能評価についてまとめる。肝細胞癌、胆道癌、膵癌の特徴と外科手術についてまとめる。	外科学講座 新田 浩幸 教授
6/16 火 5限	【授業内容】臓器移植 ・肝移植の基礎知識、適応疾患、手術方法、周術期管理と合併症を説明できる。 【関連するSBO】1、5、7 【事前学修：90分】臓器移植について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：570分】 (120分)臓器移植の意義と特徴、看護師の役割についてまとめる。 (450分)定期試験対策学修	外科学講座 新田 浩幸 教授

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座(別巻) 臨床外科看護総論 第12版	池上徹 他	医学書院	2023
教	系統看護学講座(別巻) 臨床外科看護各論 第10版	北川雄光 他	医学書院	2023
参	標準外科学 第16版	北野正剛	医学書院	2022
参	看護のための臨床病態学 改訂第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
参	ナーシンググラフィカ 成人看護学(4) 周術期看護 第4版	中島恵美子 他 編	メディカ出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(多肢選択客観試験)100%にて到達度を判定する。							
【形成的評価】スライドを使った問題提示やWebClassに掲載する演習問題等を通して、学修状況、講義の理解度を確認する。							
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他
1,3,5,6,8	1～7		100				
合計		0	100	0	0	0	0

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 適宜、WebClassに演習問題と解説等を公開することにより、知識の定着と理解の促進を図る。 各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有/医師 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。			
--	--	--	--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

疾病論Ⅲ（各論）

ナンバリング:N2-S1-B11

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	救急・災害医学講座、眼科学講座、整形外科科学講座、産婦人科学講座、皮膚科学講座、耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座、麻酔科学講座、泌尿器科学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

看護学を学ぶ上での基礎的知識を修得することを目的とする。代表的な各診療科疾患(脳神経外科疾患、泌尿器科疾患、婦人科疾患、整形外科疾患、皮膚科疾患、眼科疾患、耳鼻科疾患、障害者歯科疾患)の特徴(症状、病態生理、検査と処置、治療等)について理解する。また、患者の看護にあたってどのように対応し、実践していくのかを、身体的、心理的および社会的側面から学修する。

・教育成果(アウトカム)

主要な疾病の概念、病態生理、臨床症状、検査所見、診断、治療法および予後について学ぶことで、それらの知識を統合して安全かつ適確な看護を実践する基盤が形成される。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 脳神経外科疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
2. 眼疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
3. 運動器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
4. 女性生殖器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
5. 皮膚疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
6. 耳鼻咽喉疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
7. 歯・口腔疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。
8. 腎・泌尿器疾患の病態生理、病因、症状、検査所見、治療法および予後を説明できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/8 木 2限	【授業内容】 皮膚疾患(1) ・皮膚疾患の症状と病態生理、検査と治療を概説できる。 ・代表的な皮膚疾患(アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、帯状疱疹)の概念、原因、症状、治療を説明できる。 【関連するSBO】 5 【事前学修:90分】 ・基礎解剖学で履修した皮膚に関する内容を復習する。 ・皮膚疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、帯状疱疹の特徴についてまとめる。	皮膚科学講座 天野 博雄 教授
10/20 火 3限	【授業内容】 女性に特有な疾患(1) ・女性生殖器疾患の症状と病態生理、検査と治療を概説できる。 ・月経困難症と子宮内膜症の概念、原因と分類、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSBO】 3 【事前学修:90分】 ・基礎解剖学と基礎生理学で履修した女性生殖器に関する内容を復習する。 ・女性生殖器疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 月経困難症と子宮内膜症の特徴、性感染症、不妊症、更年期障害についてまとめる。	産婦人科学講座 小山 理恵 特任教授

10/22 木 4限	【授業内容】歯・口腔疾患 ・代表的な歯科および口腔外科疾患の概念、病態、治療、予防法を説明できる。 ・障害者や全身疾患を有する患者の歯科治療、周術期患者の口腔管理の意義を概説できる。 【関連するSB0】8 【事前学修：90分】基礎解剖学と基礎生理学で履修した歯・口腔に関する内容を復習する。 【事後学修：120分】顎関節の構成、咀嚼筋と三叉神経、味覚、唾液分泌、嚥下の仕組みと過程についてまとめる。	麻酔学講座 久慈 昭慶 講師
10/23 金 1限	【授業内容】眼疾患(1) ・眼疾患の症状と病態生理、検査と治療を概説できる。 【関連するSB0】6 【事前学修：90分】 ・基礎解剖学と基礎生理学で履修した眼・視覚に関する内容を復習する。 ・眼疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】眼の屈折、検査と治療(散瞳薬の副作用、点眼等)についてまとめる。	眼科学講座 黒坂 大次郎 教授
10/23 金 2限	【授業内容】眼疾患(2) ・代表的な眼疾患の概念、原因、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSB0】6 【事前学修：90分】眼疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】結膜炎、糖尿病性網膜症の特徴についてまとめる。	眼科学講座 黒坂 大次郎 教授
10/23 金 3限	【授業内容】耳鼻咽喉疾患(1) ・聴覚および平衡障害の原因となる代表的な耳疾患の概念、原因、症状、検査所見、治療・リハビリテーションを説明できる。 【関連するSB0】7 【事前学修：90分】 ・基礎解剖学と基礎生理学で履修した聴覚・平衡器に関する内容を復習する。 ・耳疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】難聴、めまい、中耳疾患、内耳疾患の特徴についてまとめる。	耳鼻咽喉科 頭頸部外科学講座 片桐 克則 准教授
10/27 火 3限	【授業内容】女性に特有な疾患(2) ・代表的な骨盤内臓器(子宮と卵巣)の良性・悪性疾患(特に子宮頸がん)の概念、原因と分類、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSB0】3 【事前学修：90分】女性生殖器疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】子宮筋腫、子宮癌、卵巣癌の特徴についてまとめる。	産婦人科学講座 小山 理恵 特任教授
11/2 月 4限	【授業内容】腎・泌尿器疾患(1) ・腎・泌尿器疾患の症状と病態生理、検査と治療を概説できる。 ・透析療法の種類と原理、合併症を概説できる。 ・腎移植の適応疾患、手術方法、合併症を概説できる。 【関連するSB0】2 【事前学修：90分】基礎解剖学と基礎生理学で履修した腎・泌尿器に関する内容を復習する。 【事後学修：120分】 ・腎・泌尿器疾患の症状(尿量・排尿回数、浮腫)と病態生理、腎機能検査についてまとめる。 ・血液透析と腹膜透析の特徴についてまとめる。	泌尿器科学講座 小原 航 教授
11/5 木 3限	【授業内容】脳神経外科疾患(1) ・脳神経外科疾患の症状と病態生理、検査と治療、周術期管理と合併症を概説できる。 ・脳血管障害の概念、原因と分類、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSB0】1 【事前学修：90分】 ・基礎解剖学と基礎生理学で履修した神経に関する内容を復習する。 ・神経疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】脳血管障害(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)の特徴についてまとめる。	岩手県高度救命 救急センター 藤本 健太郎 助教
11/20 金 3限	【授業内容】運動器疾患(1) ・運動器疾患の症状と病態生理、検査と治療を概説できる。 【関連するSB0】4 【事前学修：90分】 ・基礎解剖学で履修した運動器に関する内容を復習する。 ・運動器疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】骨の役割、関節の機能・分類、運動器疾患の診断法についてまとめる。	整形外科科学講座 佐藤 光太郎 講師
11/25 水 4限	【授業内容】皮膚疾患(2) ・代表的な皮膚疾患(皮膚感染症、悪性腫瘍)の概念、原因、症状、治療を説明できる。 ・褥瘡の発生機序、リスクアセスメント、重症度分類、カテゴリー/ステージ別創傷管理を説明できる。 【関連するSB0】5 【事前学修：90分】皮膚疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修：120分】 ・皮膚感染症、悪性腫瘍の特徴についてまとめる。 ・褥瘡の発生機序、リスクアセスメント、重症度分類についてまとめる。	皮膚科学講座 天野 博雄 教授

11/27 金 2限	【授業内容】運動器疾患(2) ・代表的な外傷性運動器疾患(骨折、脱臼、神経・筋靱帯の損傷等)の概念、原因と分類、症状、検査所見、治療を説明できる。 ・代表的な内因性(非外傷性)運動器疾患の概念、原因と分類、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSBO】4 【事前学修:90分】 外傷性および内因性(非外傷性)運動器疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 骨折、脱臼、変形性関節症、脊髄損傷の特徴についてまとめる。	整形外科科学講座 佐藤 光太郎 講師
12/3 木 4限	【授業内容】腎・泌尿器疾患(2) ・代表的な腎・泌尿器疾患の概念、原因、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSBO】2 【事前学修:90分】 腎・泌尿器疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 ネフローゼ症候群、慢性腎臓病(CKD)、慢性腎不全、前立腺肥大症、腎・泌尿器腫瘍の特徴についてまとめる。	泌尿器科学講座 小原 航 教授
12/3 木 5限	【授業内容】脳神経外科疾患(2) ・代表的な脳神経外科疾患(腫瘍、外傷、先天奇形、感染性疾患、機能的疾患等)の概念、原因と分類、症状、検査所見、治療を説明できる。 【関連するSBO】1 【事前学修:90分】 脳神経外科疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 脳腫瘍、慢性硬膜下血腫の特徴についてまとめる。	岩手県高度救命 救急センター 藤本 健太郎 助教
12/4 金 3限	【授業内容】耳鼻咽喉疾患(2) ・代表的な鼻・副鼻腔・口腔・咽頭・喉頭疾患(感染症・腫瘍性病変)の概念、原因、症状、検査所見、治療・リハビリテーションを説明できる。 【関連するSBO】7 【事前学修:90分】 ・基礎解剖学と基礎生理学で履修した鼻・咽頭頭に関する内容を復習する。 ・耳鼻咽喉疾患について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:570分】 (120分)慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、咽頭癌・喉頭癌の特徴、嚥下の仕組みと過程についてまとめる。 (450分)定期試験対策学修	耳鼻咽喉科 頭頸部外科学講座 片桐 克則 准教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
教	看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性 改訂3版	浅野嘉延	南山堂	2025
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 第16版	井手隆文 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器 第16版	大東貴志 他	医学書院	2024
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器 第16版	末岡浩 他	医学書院	2025
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 第16版	田中栄 他	医学書院	2025
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[12] 皮膚 第16版	多田弥生 他	医学書院	2025
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13] 眼 第15版	大鹿哲郎 他	医学書院	2025
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14] 耳鼻咽喉 第15版	小島博己 他	医学書院	2025
参	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[15] 歯・口腔 第15版	井桁洋子 他	医学書院	2025

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(多肢選択客観試験)100%にて到達度を判定する。

【形成的評価】スライドを使った問題提示やWebClassに掲載する演習問題等を通して、学修状況、講義の理解度を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1,3,6	1~8		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100

(備考)

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・授業中のスライド提示問題については、その場で問題解説を行い知識の整理に役立てる。

・WebClassに掲載した演習問題については解説を読み、知識の整理に役立てる。

【その他】

各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有/医師・歯科医師

大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

疾病論Ⅳ（展開論）

ナンバリング:N2-S1-B12

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	小児科学講座、産婦人科学講座、神経精神科学講座、内科学講座脳神経内科・老年科分野、看護学部		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

正常な臓器や組織・細胞の形態および機能を理解すると共に、発症から進行あるいは回復、さらに治療による病像の推移などを理解する。本科目では、老年科、小児科、産科、精神科、臨床遺伝学における特徴的な疾患を取り上げる。臨床で遭遇する頻度の高い疾患の病態生理を中心に理解し、看護実践の基本となる知識を修得する。
--

・教育成果(アウトカム)

主要な疾病の概念、病態生理、臨床症状、検査所見、診断、治療法および予後について学ぶことで、それらの知識を統合して安全かつ適確な看護を実践する基盤が形成される。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 小児の成長・発達と健康上の課題を説明できる。 2. 小児に特有な代表的な疾患の概念、症候、検査、治療、留意点を説明できる。 3. 女性のライフサイクル各期の健康課題を説明できる。 4. 妊娠期、分娩期および産褥期における身体的・心理的・社会的特性と生理的变化を説明できる。 5. 精神障害の原因、精神症状を説明できる。 6. 代表的な精神障害の概念、症状、経過、治療を説明できる。 7. 遺伝医療の現状を理解し説明できる。 8. 基本的な家系図作成、出生前診断を理解し概説できる。 9. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を説明できる。 10. 老年者の特徴、症候、留意点を説明できる。 11. 老年者の代表的な疾患の概念、症候、検査、治療、留意点を説明できる。 12. 老年者の健康保持増進や疾病予防に必要な保健・福祉・介護を概説できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/7 水 2限	【授業内容】小児疾患(1)-小児の成長と発達- ・小児期における身体的・生理的特徴、精神・運動・社会的変化を説明できる。 ・主な予防接種の種類、実施の留意点について説明できる。 【関連するSBO】1、2 【事前学修:90分】小児の成長と発達について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】小児の免疫、予防接種、感染症、アレルギー性疾患についてまとめる。	小児科学講座 谷藤 幸子 助教

10/9 金 2限	【授業内容】小児疾患(2)-新生児・乳児期の特徴と疾患- ・新生児・乳児期の身体的・生理的特徴を説明できる。 ・乳幼児健診の意義を説明できる。 ・新生児期の代表的な疾患の概念、症候、検査、治療、留意点を説明できる。 【関連するSB0】1、2 【事前学修:90分】新生児・乳児期の身体的・生理的特徴について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 ・新生児の生理的体重減少、新生児黄疸、新生児呼吸窮迫症候群、新生児メレナ(ビタミンK欠乏)、胎児循環についてまとめる。 ・染色体異常症(ダウン症候群、性染色体異常)についてまとめる。	小児科学講座 谷藤 幸子 助教
10/13 火 3限	【授業内容】小児疾患(3)-小児に特有な疾患- ・小児期に特有の疾患(川崎病、特発性若年性関節炎など)の概念、症候、検査、治療、留意点を説明できる。 【関連するSB0】2 【事前学修:90分】川崎病と特発性若年性関節炎について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】川崎病、先天性胆道閉鎖症、腸重積、特発性若年性関節炎、1型糖尿病、けいれん性疾患についてまとめる。	小児科学講座 谷藤 幸子 助教
10/14 水 4限	【授業内容】精神障害(1)-総論- ・現代の精神疾患をはじめとするメンタルヘルスの問題について理解し、精神看護の役割を概説できる。 ・精神障害の原因、精神症状を説明できる。 【関連するSB0】5 【事前学修:90分】精神症状について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】精神疾患に関する法令、精神症状、精神および行動の障害、精神疾患患者との接し方についてまとめる。	神経精神科学講座 三條 克巳 講師
10/15 木 3限	【授業内容】精神障害(2)-統合失調症- ・統合失調症の概念、成因、症状、経過、治療を説明できる。 【関連するSB0】6 【事前学修:90分】統合失調症について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 ・統合失調症の症状、治療、治療薬の副作用についてまとめる。 ・統合失調症の社会的リハビリテーションについてまとめる。	神経精神科学講座 三田 俊成 講師
10/27 火 4限	【授業内容】老年疾患(1)-総論- ・寿命と加齢に伴う生理的変化を説明できる。 ・老年者の特徴を説明できる。 ・老年者の症候(老年症候群)について説明できる。 【関連するSB0】9、10 【事前学修:90分】高齢者の生理的特徴について、疾病論Ⅱ(外科系総論)で履修した内容と教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】高齢者の区分と特徴、老年期の特徴、正常老化と病的老化の違い、老年症候群についてまとめる。	内科学講座 脳神経内科・老年科分野 工藤 雅子 講師
11/13 金 4限	【授業内容】老年疾患(2)-老年者に多い疾患- ・老年者の代表的な疾患(脳血管障害、認知症など)の概念、症候、検査、治療、留意点を説明できる。 【関連するSB0】11 【事前学修:90分】疾病論Ⅰ(内科系総論)で履修した脳血管障害、認知症について復習する。 【事後学修:120分】老年者に多い疾患の特徴、認知症の定義、認知症を来す疾患(アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、脳血管性認知症)の特徴についてまとめる。	内科学講座 脳神経内科・老年科分野 工藤 雅子 講師
11/17 火 4限	【授業内容】産科学(1)-総論- ・女性を取り巻く社会環境とそれに関連する母性を対象とした看護のあり方を理解し、概説できる。 【関連するSB0】3、4 【事前学修:90分】女性を取り巻く社会環境について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】母性看護実践におけるヘルスプロモーション、エンパワメント、ウェルネス、セルフケアについてまとめる。	産婦人科学講座 小山 理恵 特任教授

11/17 火 5限	【授業内容】老年疾患(3)-高齢者に対する治療、保健・福祉- ・高齢者における薬物療法・治療の注意点を説明できる。 ・高齢者の健康保持増進や疾病予防に必要な保健・福祉対策について理解し、概要を説明できる。 【関連するSB0】10、12 【事前学修:90分】日本の人口動態と高齢者の定義、高齢者の疾患の特徴、認知症の定義について復習する。 【事後学修:120分】高齢者に対する保健・福祉対策、高齢者における薬物療法・治療の注意点、認知症患者に対する薬物療法・非薬物療法についてまとめる。	内科学講座 脳神経内科・老年科分野 工藤 雅子 講師
11/20 金 2限	【授業内容】産科学(2)-マタニティサイクル各期における医療- ・両性の立場から妊娠期、分娩期および産褥期における精神・心理的变化と新生児との愛着形成について理解し、看護が如何に関わるかを概説できる。 【関連するSB0】3、4 【事前学修:90分】正常分娩について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】妊娠期、分娩期および産褥期における精神・心理的变化と新生児との愛着形成についてまとめる。	産婦人科学講座 小山 理恵 特任教授
11/27 金 3限	【授業内容】産科学(3)-性と生殖、女性ヘルスケア- ・正常な女性生殖器の解剖、機能および内分泌との関連を説明できる。 ・女性のライフサイクルにおける生理的变化とヘルスケアを説明できる。 【関連するSB0】3、4 【事前学修:90分】女性生殖器の解剖と機能について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】女性のライフサイクルにおける生理的变化とヘルスケアについてまとめる。	産婦人科学講座 小山 理恵 特任教授
12/1 火 4限	【授業内容】臨床遺伝(1)-総論- ・遺伝医療の現状を説明できる。 ・主要な遺伝性疾患の概念を説明できる。 ・基本的な家系図を作成できる。 【関連するSB0】7、8 【事前学修:90分】生化学で履修した核酸の構造と機能に関する内容(遺伝情報と遺伝物質)、病理学概論で履修した先天異常と奇形に関する内容(常染色体異常、性染色体異常)を復習する。 【事後学修:120分】 ・DNA、遺伝子、染色体、ゲノムの違いについてまとめる。 ・遺伝医療の現状と消費者直結型遺伝子検査(DTC)、遺伝性疾患の特徴・分類についてまとめる。 ・家系図作成の意義と方法についてまとめる。	看護学部 福島 明宗 非常勤講師 (医学部 客員教授)
12/4 金 4限	【授業内容】臨床遺伝(2)-周産期における臨床遺伝- ・出生前診断の概要(概念、適応、診断法、遺伝カウンセリングの意義)を説明できる。 【関連するSB0】7、8 【事前学修:90分】出生前診断について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:120分】 ・出生前診断の概念、適応、診断法(超音波検査、胎児由来DNA検査、羊水検査等)についてまとめる。 ・遺伝カウンセリングの意義と看護師の倫理的配慮についてまとめる。	看護学部 福島 明宗 非常勤講師 (医学部 客員教授)
12/8 火 4限	【授業内容】臨床遺伝(3)-腫瘍遺伝学- ・家族性腫瘍を含めた腫瘍遺伝学の実態を概説できる。 【関連するSB0】7 【事前学修:90分】病理学概論で履修した腫瘍に関する内容(腫瘍の発生にかかわる遺伝子異常)を復習する。 【事後学修:120分】 ・生殖細胞と体細胞の違い、遺伝子関連検査についてまとめる。 ・遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)、遺伝カウンセラーの役割についてまとめる。	看護学部 福島 明宗 非常勤講師 (医学部 客員教授)

12/10 木 3限	【授業内容】 精神障害(3)-気分障害、リスクマネジメント- ・気分障害(双極性障害、抑うつ障害群)の概念、症状、経過、治療を説明できる。 ・精神科におけるリスクマネジメントの意義を理解し、概説できる。 【関連するSBO】 6 【事前学修:90分】 気分障害について、教科書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出する。 【事後学修:570分】 (120分) ・双極性障害と抑うつ障害の特徴についてまとめる。 ・地域の健康づくりと自殺対策、産業メンタルヘルス、自殺未遂者ケア、医療安全と自殺予防についてまとめる。 (450分)定期試験対策学修	神経精神科学講座 三田 俊成 講師
------------------	---	----------------------

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 病態・治療論[14] 小児疾患 改訂第2版	真部淳_ 他 編	南江堂	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(1) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 第3版	中込さと子 他 編	メディカ出版	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(2) 母性看護の実践 第3版	小林康江 他 編	メディカ出版	2024
教	系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 第6版	鳥羽研二 他	医学書院	2025
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(1) 高齢者の健康と障害 第8版	堀内ふき 他 編	メディカ出版	2025
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(2) 高齢者看護の実践 第7版	堀内ふき 他 編	メディカ出版	2025
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021
教	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
参	系統看護学講座 専門分野 小児看護学[2]小児臨床看護各論第15版	奈良間美穂 他	医学書院	2025
参	系統看護学講座 専門分野 老年看護学第10版	北川公子 他	医学書院	2025
参	基礎から学ぶ遺伝看護学 「継承性」と「多様性」の看護学	中込さと子 監修	羊土社	2019
参	遺伝医学への招待 改訂第6版	新川詔夫 監修	南江堂	2020
参	自動家系図作成ソフト「f-tree®」で学ぶ臨床遺伝学 遺伝診療からゲノムコホート研究まで	福島明宗 監修	中外医学社	2016

・成績評価方法								
【総括的評価】 定期試験で行われる筆記試験(多肢選択客観試験)100%にて到達度を判定する。 【形成的評価】 スライドを使った問題提示やWebClassに掲載する演習問題等を通して、学修状況、講義の理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～3,5,6,8	1～12		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他
【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・授業中のスライド提示問題については、その場で問題解説を行い知識の整理に役立てる。 ・WebClassに掲載した演習問題については解説を読み、知識の整理に役立てる。 【その他】 各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有/医師 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的			
使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

看護過程演習

ナンバリング:N2-S1-C08

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義・演習/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

事例を用いて看護過程の展開(情報収集・アセスメント、問題点の明確化、目標設定、計画立案、実施、評価)を行う。ロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)などの思考方法を活用し、実技演習を含めて、個別性に応じた看護展開の方法を学ぶ。
--

・教育成果(アウトカム)

本科目は「看護過程論」の学びに基に、これから学修する各看護領域での看護過程展開の基盤となる科目である。看護の対象となる人々に、計画的に看護を実践する能力と看護援助技術を適切に実施する能力、さらに援助的関係を形成する能力を身につけることを目指す。看護過程論での学びをさらに深め、看護過程の実践、評価のプロセスについて理解を深めることが出来る。個人学修だけでなく、グループ学修を通して多くの意見や見方に接し、看護の対象に対する有効な援助の判断について理解を深めることができる。演習では、患者に対する情報収集・看護ケアを病院での実践場面を再現した中で経験する。その経験を振り返って検証することによって、対象との援助的な関係形成を基盤として、実践に必要な知識や観察力、判断力、実践力を身につけることが出来る。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護過程の展開ができる。 ・事例の疾患について説明できる。 ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 ・アセスメントした内容に基づく関連図が記述できる。 ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・看護上の問題をあげることができる。 ・問題の優先順位をつけることができる。 ・評価可能な目標を設定し、目標に応じた評価日の設定ができる。 ・対象に応じた看護計画の立案ができる。 ・データに基づいた、妥当な評価と評価に基づいた計画の修正ができる。 ・看護過程の展開に必要なロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)の考え方を説明できる。
2. 事例に基づき、必要な看護技術を理解し、状況に応じて適切に選択・実践することができる。
3. グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。

・授業日程

【演習】

会場：西1-B講義室、マルチ2-A実習室、マルチ2-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/10 金 3限	【授業内容】看護過程演習ガイダンス ・看護過程のプロセスを説明できる。 【関連するSBO】1 【事前学修:30分】看護過程論(1学年履修科目)を復習する 【事後学修:30分】事例の疾患について調べる	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師

4/14 火 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程①(個人ワーク) ・事例の疾患について説明できる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】事例の疾患について調べる 【事後学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項(病態,治療,薬剤,検査結果の見かた,心理面,看護ケアなど)について調べる	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
4/15 水 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程②(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
4/20 月 2限	【授業内容】事例を用いての看護過程③(個人ワーク) ・情報を適切な項目に記載できる。 ・判断・理由・結論をふまえたアセスメントの記載ができる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】事例のアセスメントに必要な事項について調べる 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
4/23 木 2限	【授業内容】事例を用いての看護過程④(個人ワーク) ・アセスメントした内容に基づく関連図が記述できる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
4/24 金 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑤(個人ワーク) ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・看護上の問題をあげることができる。 ・問題の優先順位をつけることができる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/8 金 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑥(グループワーク) ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/8 金 4限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑦(グループワーク) ・病態と心理社会背景を含めた関連図の説明ができる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/13 水 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑧(グループ発表) ・関連図と看護上の問題について、他のグループに説明できる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】グループでの検討内容を見直す 【事後学修:30分】発表内容をふまえ、自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/13 水 4限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑨(グループ発表) ・関連図と看護上の問題について、他のグループに説明できる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】グループでの検討内容を見直す 【事後学修:30分】発表内容をふまえ、自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師

5/20 水 4限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑩(個人ワーク) ・評価可能な目標を設定し、目標に応じた評価日の設定ができる。 ・対象に応じた看護計画の立案ができる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/21 木 4限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑪(個人ワーク) ・評価可能な目標を設定し、目標に応じた評価日の設定ができる。 ・対象に応じた看護計画の立案ができる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】関連図の記載方法・看護上の問題の挙げ方について復習する 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/22 金 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑫(グループワーク) ・個人で考えた看護計画をグループ内に説明できる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/22 金 4限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑬(グループワーク) ・個人で考えた看護計画をグループ内に説明できる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/27 水 2限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑭(グループ発表) ・看護計画を他のグループに説明できる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
5/29 金 3限	【授業内容】事例を用いての看護過程⑮(グループ発表) ・看護計画を他のグループに説明できる。 ・グループ学修および演習において、他者と協働しながら学修を進めることができる。 【関連するSB0】1,3 【事前学修:30分】自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】グループでの検討内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/3 水 2限	授業内容】事例を用いての看護過程⑯(個人ワーク) ・データに基づいた、妥当な評価と評価に基づいた計画の修正ができる。 【関連するSB0】11 【事前学修:30分】看護計画の評価の記載方法について復習する 【事後学修:30分】自己の記録内容を見直す	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/5 金 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習① ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】2,3 【事前学修:30分】演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/5 金 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習② ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】2,3 【事前学修:30分】演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/9 火 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習③ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】2,3 【事前学修:30分】演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師

6/9 火 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習④ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/12 金 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑤ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/12 金 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑥ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/15 月 2限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑦ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/15 月 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑧ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/19 金 3限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑨ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/19 金 4限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑩ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/23 火 2限	【授業内容】看護過程の事例を用いた看護技術演習⑪ ・事例に必要な看護技術を実践できる。 【関連するSB0】 2,3 【事前学修:30分】 演習の内容に関係する看護技術を復習する 【事後学修:30分】 実践の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/26 金 3限	【授業内容】看護過程のまとめ① ・事例の展開を通して、看護過程を展開する上での自己の課題を述べることができる。 ・グループワーク・演習での自己の課題を述べることができる。 ・看護過程の展開に必要なロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)の考え方を説明できる。 【関連するSB0】 1,3 【事前学修:30分】 自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】 授業内容の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師
6/26 金 4限	【授業内容】看護過程のまとめ② ・事例の展開を通して、看護過程を展開する上での自己の課題を述べることができる。 ・グループワーク・演習での自己の課題を述べることができる。 ・看護過程の展開に必要なロジカルシンキング(論理的思考法)やクリティカルシンキング(批判的思考法)の考え方を説明できる。 【関連するSB0】 1,3 【事前学修:30分】 自己の記録内容を見直す 【事後学修:30分】 授業内容の振り返りをする	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 講師

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	アセスメント・看護計画がわかる症状別看護過程 第2版	小田正枝 編	照林社	2021
教	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 第3版	阿部俊子 監修	中央法規	2024
参	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
参	今日の治療薬2026 解説と便覧	伊豆津宏二 他	南江堂	2026
参	看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2019

・成績評価方法

【総括的評価】 課題100%で評価する。各評価のためのルーブリックは、課題提示時に一緒に提示する。 面談で記録内容の振り返りを行い、理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～6	1～3			100				100
合計		0	0	100	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・授業資料はWebClassで配信する。 ・看護過程記録用紙・その他課題の用紙は、適宜コメントし返却する。
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 基礎看護学
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、基礎看護学領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	CPS実習ユニットⅡ,接続用吸引器・酸素流量計	2	シミュレーション演習
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	シミュレーション演習
演習	フィジカルアセスメントモデル“Physiko”	3	シミュレーション演習
演習	多職種連携ハイブリッドシミュレータ“SCENARIO”	2	シミュレーション演習

地域・在宅看護学概論

ナンバリング:N2-S1-D02

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

地域で生活する人々の健康やQOLの向上を目指した地域・在宅看護の基本的概念、在宅ケアに関わる制度、本人、家族の地域における生活を理解し、多様な場における基本的な支援のあり方を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の位置づけを理解し、本人・家族、コミュニティへの健康の支援と、看護と介護のチームケアなど在宅における関係機関や関係職種との連携における看護職の役割を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

地域で生活する人々を対象とした看護活動を学修することで、そこで暮らす人、在宅療養者および家族の生活の場である地域を捉える方法を理解し、対象者のニーズに合わせたそれぞれの活動の場における看護職の役割を説明できる。また、地域包括ケアシステムにおける多様な関係機関や専門職と地域の人々との連携・協働を学ぶことにより、地域に暮らす人、在宅療養者および家族を支えるために必要な看護の役割を考えることができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 地域・在宅看護が必要な背景や目的・理念について説明できる。 2. 地域・在宅ケアに関わる保健医療福祉制度、地域包括ケアシステムを理解できる。 3. 地域看護活動における多様な場の特徴について知り、その場における看護職の役割を考えることができる。 4. 国や地方自治体等、行政機関の特徴を理解し、そこにおける保健活動について説明できる。 5. 企業や学校の特徴を理解し、産業保健、学校保健における保健活動について説明できる。 6. 地域の特性や社会資源、健康指標に関する情報を収集できる。 7. 地域・在宅看護における家族のとらえ方を説明できる。 8. 訪問看護ステーション、地域包括支援センター等の在宅療養者および家族を支える看護職の役割を説明できる。 9. 地域アセスメントの方法を理解し、地域で生活する個人・家族・集団・組織を対象とした、健康の保持増進、疾病予防のための支援方法の特徴を説明できる。
--

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/6 月 5限	【授業内容】地域看護の理念・目的 ・地域看護学の目的を理解し、看護職の役割・機能が説明できる ・地域アセスメントの必要性を理解し、地域診断・地域看護活動の展開モデル(コミュニティ・アズ・パートナーモデル)におけるアセスメント項目を説明できる ・地域看護活動が展開される場の特性を説明できる 【関連するSBO】1、6 【事前学修:90分】教科書1-3「地域アセスメント」を読み、アセスメントの視点を調べる 【事後学修:90分】地域アセスメントの方法の要点をまとめ、自分が住んでいる(または実家)の地域の特徴(人口・世帯、健康、保健医療提供体制等)を調べる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

4/8 水 5限	【授業内容】地域看護活動の場と特徴：学校 ・学校保健の制度としくみを説明できる ・学校保健活動を支える関係機関、関係職種役割を説明できる ・学校保健における養護教諭の活動と役割を説明できる 【関連するSB0】3、5、9 【事前学修：90分】これまでの養護教諭の関わりを振り返り、役割を考える 【事後学修：90分】学校保健安全法、健康診断・健康相談、感染症対応、学校環境衛生の要点を復習する	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
4/10 金 4限	【授業内容】地域看護活動の場と特徴：行政 ・日本の公衆衛生システムが理解できる ・公衆衛生の推進体制（保健所、市町村）が理解できる ・保健師の就業先を説明できる ・保健所における保健活動の特徴を説明できる ・市町村における保健活動の特徴を説明できる 【関連するSB0】2、3、4、6、9 【事前学修：60分】1年生で履修した「地域健康生活論」の地域看護における看護職の活動の場と役割に関する内容を復習する 【事後学修：90分】保健所および市町村における保健活動の要点をまとめる	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
4/16 木 3限	【授業内容】地域看護活動の場と特徴：産業 ・産業保健の目的と制度が理解できる ・産業保健看護職の活動が理解できる ・産業保健における看護職の役割を説明できる 【関連するSB0】2、3、5、9 【事前学修：60分】現代の労働者の健康課題にはどのようなものがあるか調べる 【事後学修：90分】労働衛生の5管理と産業保健看護職の活動を関連づけてまとめる	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
4/17 金 1限	【授業内容】地域看護活動の展開：個別支援（家庭訪問・健康相談） ・家庭訪問や訪問指導の目的と対象を説明できる ・家庭訪問の特徴、優先順位を説明できる ・健康相談の目的と対象を説明できる ・健康相談の技術について説明できる 【関連するSB0】2、3、9 【事前学修：60分】教科書P.15～25を読み、自身にとっての健康と日々の生活を振り返る 【事後学修：90分】家庭訪問、健康相談等の個別支援を実施する際の必要な準備や注意事項をまとめる	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
4/23 木 4限	【授業内容】地域看護活動の展開：集団支援（健康教育） ・健康教育の目的と対象について説明できる ・健康教育の対象規模とその特徴について説明できる ・健康教育実施上の留意点を理解できる ・地域で行われている健康教育の実態を理解できる 【関連するSB0】3、9 【事前学修：60分】これまでに、自分が受けた健康教育について振り返る 【事後学修：90分】健康教育を実施する際の必要な準備や注意事項をまとめる	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
5/8 金 5限	【授業内容】地域・在宅看護における家族のとらえ方 ・家族の定義、機能、役割について説明できる ・家族に関する基礎理論について説明できる 【関連するSB0】7 【事前学修：90分】教科書4～3「在宅療養の場における家族のとらえ方」（p118～123）を読み、家族のとらえ方の概要を把握する 【事後学修：240分】地域・在宅看護における家族のとらえ方の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
5/25 月 5限	【授業内容】地域・在宅看護における家族支援 ・家族をアセスメントする方法を知り、家族介護者の健康を考えたケアの視点を説明できる ・ジェノグラム・エコマップを作成し、家族支援に活かす視点を説明できる。 【関連するSB0】7 【事前学修：120分】教科書4～3「在宅療養の場における家族のとらえ方」（p124～132）を読み、家族支援の概要を把握する 【事後学修：120分】地域・在宅看護における家族支援の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
5/26 火 1限	【授業内容】地域療養を支える制度 ・フォーマルサービス・インフォーマルサービスを理解し、活用に結びつけることができる ・保健医療福祉制度の概要を説明できる 【関連するSB0】2 【事前学修：120分】教科書7「地域療養を支える法・制度」を読み、保健医療福祉制度の概要を把握する 【事後学修：240分】保健医療福祉制度の要点をまとめる	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教

5/29 金 2限	【授業内容】在宅療養を支える訪問看護 ・訪問看護の目的、制度、看護職の役割を説明できる ・訪問看護ステーションの設置、運営、サービス利用までの流れを説明できる 【関連するSB0】2 【事前学修：90分】自分が住んでいる（または近隣）市町村の訪問看護ステーションについて調べ、住民向けに訪問看護サービスを受けるまでのプロセスがどのように公開されているか確認する 【事後学修：180分】訪問看護の制度上の位置づけを整理する	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
6/5 金 1限	【授業内容】地域看護活動の場と特徴：在宅における活動（訪問看護ステーション） ・訪問看護の目的と内容について説明できる ・在宅看護が関わる療養の場について説明できる ・訪問看護師とケアマネジャーとの連携について理解できる 【関連するSB0】8 【事前学修：120分】教科書 地域・在宅看護論①地域療養を支える技術p138-144「訪問看護の特徴」、p145-152「在宅ケアを支える訪問看護ステーション」を読み、訪問看護の活動の場と特徴を把握する 【事後学修：120分】訪問看護ステーションの活動の場と特徴について要点をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
6/12 金 1限	【授業内容】地域看護活動の場と特徴：在宅における活動（地域包括支援センター） ・地域包括支援センターの機能と役割を説明できる ・地域包括支援センターの看護職の役割を理解できる ・地域包括支援センターの職員配置、地域支援事業の活動内容を説明できる 【関連するSB0】3、8 【事前学修：90分】教科書p26-27、p60-61、p99-100を読み、地域包括ケアシステムと地域包括支援センターの概要を把握する 【事後学修：90分】地域包括支援センターの役割と業務内容について要点をまとめる	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
6/16 火 1限	【授業内容】地域包括ケアと多職種連携、地域包括ケアにおける連携・協働 ・地域包括ケアシステムにおいて連携が必要な関係機関・関係職種が理解できる ・関係職種の役割を理解し、問題解決に向けた連携・協働の具体的な取り組みを理解できる 【関連するSB0】6、9 【事前学修：90分】教科書3-4「地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携」を読み、地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携についての概要を把握する 【事後学修：90分】連携が必要な機関・職種をまとめ、連携の方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
6/17 水 1限	【授業内容】在宅看護活動の実際（新卒で訪問看護師をしよう）：ゲストスピーカー ・療養生活の場、療養者の状況、看護の関わりの実際から、訪問看護の機能と役割を説明できる ・新卒訪問看護師の成長の過程から、自身の看護職としてのキャリアについて考えることができる 【関連するSB0】8 【事前学修：120分】インターネット等で新卒訪問看護師について調べる 【事後学修：360分】地域で暮らすあらゆる人の尊厳を守る看護について考え、訪問看護の役割をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
6/23 火 4限	【授業内容】地域・在宅看護の動向と今後の発展 ・地域における看護実践の変遷を説明できる ・地域・在宅看護の先駆的取り組みから、地域に広がる看護の役割を語ることができる（ディスカッション） 【関連するSB0】3、9 【事前学修：120分】教科書2-3「地域看護の実践」、9「地域・在宅看護の動向と今後の発展」を読み、国内外の地域で働く看護職の変遷を調べる 【事後学修：120分】地域・在宅看護の今後の発展に向けて、看護の役割を考える	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第8版	臺有佳 他 編	メディカ出版	2025
参	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(2) 在宅療養を支える技術 第3版	臺有佳 他 編	メディカ出版	2025
参	基礎からわかる地域・在宅看護論	池西静江 編	照林社	2021
参	公衆衛生看護学.jp 第6版 データ更新版	鳩野洋子 他 編	インターメディカル	2026
参	コミュニティーアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版(原著第4版)	エリザベスT.アンダーソン、 ジュディス・マクファーレーン 編集：金川克子、早川和 生監訳	医学書院	2007
参	地域・在宅看護論(新体系看護学全書 専門分野)	河野あゆみ 編	メヂカルフレンド社	2021
参	地域・在宅看護論Ⅰ総論 地域における暮らしと健康の理解を深める 改訂第3版	石垣和子 他 編	南江堂	2024
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤 第7版	河原佳代子 他	医学書院	2026
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践 第6版	河原佳代子 他	医学書院	2022
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版	渡辺裕子 監修	日本看護協会出版会	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験50%と、第7回講義後の中間試験40%、課題レポート10%の合計100%にて評価する。								
【形成的評価】各回の講義において、振り返りシート提出を求め、学修の成果を確認する。								
適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3～5,7,8	2,6～8		50					50
3～5,7,8	1,3～5,9						40	40
4	7			10				10
合計		0	50	10	0	0	40	100
〈備考〉中間試験								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】			
・レスポンスカード、グループでディスカッションした内容については、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。			
・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。			
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】			
保健師(別表1):公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論			
看護師(別表3):専門分野 地域・在宅看護論			
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】			
当該科目に関連する実務経験の有無 有			
地域における保健師や病院看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。			

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義時使用

成人看護学概論

ナンバリング:N2-S1-E01

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護について理解する。具体的には、臨床現場での意思決定および意思決定支援、健康と病気の経験および家族やグループの多様な倫理・文化・地理的背景とは何かについて、学びを深める。

・教育成果(アウトカム)

成長発達過程における成人期の位置づけを理解した上で、成人の身体機能の変化を、「加齢による影響」「疾患・外傷による影響」「生活習慣や生活行動による影響」の三側面から捉えることができる。また、対象の健康レベルに応じた看護援助や意思決定支援について理解することができる。さらに、入退院支援における多職種連携のあり方や、医療継続が必要な対象への支援方法について考察できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身に付け、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身に付ける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持った力を高められるような援助理論と方法を身に付ける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平時と同様のケアを提供できるような構想力を身に付ける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身に付ける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

- 保健統計を概観し、成人保健の動向について説明できる。
- 成人期にある人の身体的特徴、心理・社会的特徴、および発達課題について統計学的視点から説明できる。
- 成人を対象とした健康課題に関する医療福祉政策と保健活動について説明できる。
- 対象の健康レベルに応じた看護援助について説明できる。
- 対象の権利擁護について理解し、意思決定を支える方法について説明できる。
- 入退院支援における多職種との連携のあり方について説明できる。

・授業日程

【講義】		会場：西1-B講義室
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/6 月 3限	【授業内容】成人期にある人の理解、成人を取り巻く社会環境と生活 ・成人期の身体的特徴、心理・社会的特徴と発達課題について説明できる ・社会環境の中での成人の役割と責任について説明できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修：90分】講義範囲を読み、成人期の身体的、心理・社会的特徴についてまとめる 【事後学修：90分】社会環境の中での成人の役割と責任、生活と地域社会の関係について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

4/13 月 4限	【授業内容】成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策 ・保健統計を用いて成人者の健康問題について説明できる ・保健・医療・福祉政策による健康問題への対策について説明できる 【関連するSBO】1、2、3 【事前学修：90分】日本の人口構成、平均寿命、死亡率(死因含む)、受療状況を調べる 【事後学修：120分】健康づくり対策、生活習慣病対策、疾病対策(がん対策、腎疾患対策)について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
4/15 水 1限	【授業内容】健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点①(意思決定支援) ・対象の権利と権利擁護の意義について説明できる ・対象の意思決定における看護師の役割について説明できる 【関連するSBO】4、5 【事前学修：90分】患者の権利に関するリスボン宣言(11原則)について調べる 【事後学修：90分】対象の意思決定を支える看護師の役割についてまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
5/7 木 4限	【授業内容】健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点②(健康学習支援) ・健康行動への意欲を促す健康学習支援について説明できる ・行動変容を支える看護師の役割について説明できる 【関連するSBO】2、4、6 【事前学修：90分】学習理論について文献やテキスト等で調べて要点をまとめる 【事後学修：90分】行動変容を支える看護師の役割についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
5/11 月 2限	【授業内容】健康の危機状況への支援 ・危機理論、危機モデルについて説明できる ・健康の危機状況にある対象および家族への支援方法を説明できる 【関連するSBO】4、5、6 【事前学修：90分】危機理論について文献やテキスト等で調べて要点をまとめる 【事後学修：90分】手続療法を必要とする対象への支援について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
5/18 月 2限	【授業内容】健康生活の継続への支援 ・自己管理・生活調整への支援について理論や支援モデルを用いて説明できる ・セルフマネジメント教育について説明できる 【関連するSBO】4、5、6 【事前学修：120分】慢性の病「クロニカルネス」について文献で調べて要点をまとめる 【事後学修：90分】慢性疾患を抱える人の自己管理や生活を調整するための支援について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
5/27 水 4限	【授業内容】生活の再構築への支援 ・障害をもつことでの生活への影響について説明できる ・生活の再構築への支援方法を説明できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：120分】価値の転換理論、障害受容の段階理論について調べて要点をまとめる 【事後学修：90分】リハビリテーションにおける看護師の役割について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
6/10 水 2限	【授業内容】地域・在宅への継続看護 ・入退院支援における課題と具体的方法を説明できる ・入退院支援における多職種連携のあり方を説明できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：90分】看護学概論で学修した「地域包括ケアシステム」について復習し、要点をまとめる 【事後学修：300分】療養生活にむけた社会資源の活用についてまとめる。さらに講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

教科書・参考書等		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
教	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	成人看護学① 成人看護学概論/成人保健 第7版	黒江ゆり子 編	メヂカルフレンド社	2021

・成績評価方法

【総合的評価】定期試験で行われる筆記試験(100%)にて評価する。
 【形成的評価】各回の講義において習得度チェック(国家試験問題等による確認テスト)を行い、学生の習得度を確認する。なお、習得度チェックについては成績に反映しない。また、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、2	5		20					20
3～6	1、2、4		60					60
7、8	3、6		20					20
合計		0	100	0	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・習得度チェックについては、講義内に解答・解説を行う。

・授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次の授業で回答する。

【その他】

・能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slide」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 成人看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

老年看護学概論

ナンバリング:N2-S1-F01

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

超高齢社会を迎えた現在、高齢者は、生きてきた背景や価値観も異なる。核家族で生活している学生にとって、高齢者を身近な存在として関心を持つことから始めていく必要がある。本科目は、ライフサイクルから見た老年期の特徴を理解し、高齢者にとっての健康および加齢に伴う諸機能の低下が高齢者個々の生活にどのような影響をもたらすかを学び、それを支援していく老年看護の在り方を解説し、高齢者の生活の質の確保に必要な高齢者の人権擁護、倫理的課題や社会保障の現状と課題を学び、老年看護の役割を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

高齢者は、生活習慣や価値観が多様であることを学ぶことで、個々に応じたケアのあり方を理解できる。高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を学ぶことによって、高齢者を全人的に捉え高齢者の苦痛の緩和、人権擁護などの必要性を理解することができる。また、高齢者を取り巻く社会制度の成立背景とその目的や役割を学ぶことによって、看護師の役割を認識でき、高齢者のQOLの向上につながる支援のあり方を考察できる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。
9	変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

・到達目標(SBO)

1. 世界的な視点から見た日本の高齢化の現状とその課題について説明することができる。 2. 高齢者の加齢に伴う身体的、精神的および社会的な変化に対する支援について予測することができる。 ・高齢者の健康を保持、増進する個々の方策について予測することができる。 ・高齢者の加齢性変化などその特性をふまえた支援について予測することができる。 ・高齢者の強みやもてる力を引き出す支援について予測することができる。 3. 高齢者の自尊心や尊厳を保持する方策について説明することができる。 ・高齢者の生活史を通して「その人らしさ」について説明することができる。 ・高齢者の自尊心や尊厳が失われる要因について説明することができる。 ・高齢者の倫理的課題に対する権利擁護に向けた方法について説明することができる。
--

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/7 (火) 4限	【授業内容】超高齢社会の統計的特徴と健康指標 ・超高齢社会の現状と課題を統計的な特徴から説明することができる ・健康指標から見た高齢者の特徴を説明することができる 【関連するSBO】1 【事前学修：30分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、超高齢社会の統計的特徴と健康指標を文献やテキスト等で調べる。 【事後学修：150分】超高齢社会の統計的特徴と健康指標について要点をまとめる。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教

4/20 (月) 4限	【授業内容】高齢者にとっての健康 ・高齢者の健康をアセスメントしサクセスフルエイジングの意義を説明することができる ・健康寿命の延伸を妨げる要因(老年症候群・フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドローム)とその対策について説明できる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、サクセスフルエイジングや高齢者の延伸を妨げる要因について文献やテキスト等で調べる。 【事後学修:150分】サクセスフルエイジングや高齢者の延伸を妨げる要因について要点をまとめる。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
4/24 (金) 2限	【授業内容】老いるということ・老いを生きるということ ・高齢者の生活の実態について説明することができる ・老年期の身体的、心理・精神機能および社会的な変化に対する支援について説明することができる ・高齢者の生活史を知ることが高齢者の多様性を説明することができる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、ライフサイクルの中の老年期の特徴を文献やテキスト等で調べる。 【事後学修:150分】老いを生きることについて要点をまとめる。また、老年期の身体的変化についてWebClassの動画を視聴し振り返りを行う。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
5/13 (水) 2限	【授業内容】高齢者をとりまく社会 ・要介護高齢者の推移について説明することができる ・要介護高齢者を介護する家族の負担について説明することができる ・主な介護保険施設の役割と介護保険施設で働く看護師の役割について説明することができる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、主な介護保険施設の役割と介護保険施設で働く看護師の役割について文献やテキスト等で調べる。 【事後学修:150分】高齢者をとりまく社会について要点をまとめる。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
5/28 (木) 1限	【授業内容】高齢者看護の特性と高齢者看護に関わる諸理論 ・高齢者看護の特性を理解し、その特性に応じた高齢者看護について説明することができる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、高齢者看護の特性について文献やテキスト等で調べる。 【事後学修:150分】高齢者看護の特性に応じた看護について要点をまとめる。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
6/8 (月) 4限	【授業内容】高齢者に多い疾患や症状に対する看護 ・高齢者によくみられる疾患や症状に対して状況に応じた支援方法を予測できる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、高齢者に多い疾患や症状について文献やテキスト等で調べる 【事後学修:150分】高齢者に多い疾患について要点をまとめる。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
6/17 (水) 2限	【授業内容】高齢者のヘルスアセスメントとコミュニケーション ・高齢者の特徴を理解しヘルスアセスメントやコミュニケーションを実施する際のポイントを説明することができる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、高齢者のヘルスアセスメントやコミュニケーションを行う際のポイントを文献やテキスト等で調べる。 【事後学修:150分】高齢者のヘルスアセスメントやコミュニケーションを行う際のポイントについて要点をまとめる。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
6/25 (木) 4限	【授業内容】高齢者看護における倫理 ・高齢者看護における倫理的問題について理解しその対応策を考えることができる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】WebClassにある授業の動画を視聴してくる。また、高齢者看護の倫理的問題について文献やテキスト等で調べる。 【事後学修:360分】高齢者看護の倫理的問題に応じた看護について要点をまとめる。また期末試験に向けて第1回から第8回の授業の振り返りを行う。	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(1) 高齢者の健康と障害 第8版	堀内ふき 他 編	メディカ出版	2025
参	看護学テキストNICE 老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する 改訂第4版	真田弘美 他 編	南江堂	2023

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】
筆記試験60%、課題40%とし総合的に評価する。試験は論述式、多肢選択式問題等の方式で行う。課題40%に関しては各回の授業のレポートで評価する(課題の評価基準は授業内で提示する)。

【形成的評価】
各授業の小テストを授業開始時に実施し、学習状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～5,7,8,9	1～3		60	40				100
合計		0	60	40	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
試験結果や授業に関するQ & Aは、Slidoやレスポンスカードを活用し、その中でも全体に伝える内容は次回の授業の際に説明する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師(別表3):専門分野 老年看護学

【その他】
双方向性型授業ツールとしてSlidoを用い、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
当該科目に関連する実務経験の有無 有
大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC	2	講義資料およびインターネットクリッカーの提示
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

小児看護学概論

ナンバリング:N2-S1-G01

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

現代社会における子どもとその家族の健康上の問題や小児看護の特性を学ぶ。主な内容として、小児看護の概念、小児保健の動向、小児看護の変遷と課題、小児看護の機能と役割、成長・発達の指標と評価および小児の各成長・発達段階(新生児・乳児期、幼児期、学童期、思春期)に応じた看護を学ぶ。また、子どもの権利の視点に立ち、小児のインフォームド・コンセントおよびインフォームド・アセントについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

小児看護の理念と看護師の役割について理解を深めることができる。また、現代の子どもと家族を取り巻く諸問題の実態や背景を踏まえながら、子どもの成長・発達過程を理解し、各成長・発達時期の健康問題および発達課題に対応する看護について理解できる。
--

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。
9	変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

・到達目標(SBO)

1. 小児看護学の対象および求められる役割を理解し、これまでの小児看護のあり方から今後の課題について述べることができる。 2. 現代社会に生きる子どもとその家族の健康課題を列挙できる。 3. 子どもの権利について理解を深め、一人ひとりの子どもの意志、家族の意志を尊重する看護について理解を深めることができる。 4. 新生児・乳児期の成長・発達過程を理解し、必要な看護について理解できる。 5. 幼児期にある子どもの成長と発達の特徴を理解し、また幼児期の子どもの健康問題と必要な看護について理解できる。 6. 学童期にある子どもの成長と発達について、身体的・心理的・社会的側面における特徴を理解し、また学童期の子どもの健康問題と必要な看護について理解できる。 7. 思春期の特徴と問題を理解し、小児から成人への移行期を援助するために必要な知識と援助方法を理解できる。 8. 各成長発達段階の発達課題と生活を関連付けて説明できる。 9. 子どもに関わる看護専門職の役割を列挙できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/7 火 2限	【授業内容】小児看護学の導入、小児看護の理念と対象 ・小児看護学の対象および求められる役割を理解できる ・小児看護のあり方から今後の課題について述べるができる 【関連するSBO】1, 9 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて子どもの健康に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、小児看護学を学ぶ意義を振り返り、看護師に求められる役割を考える	成育看護学講座 高橋 亮 教授
4/7 火 3限	【授業内容】子どもの権利 ・子どもの権利について理解を深めることができる ・子どもの意志、家族の意志を尊重する看護について理解を深めることができる 【関連するSBO】1, 2, 3, 9 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて子どもの権利に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、資料の子どもの権利条約の全てを読む	成育看護学講座 高橋 亮 教授
4/15 水 2限	【授業内容】小児と家族を取り巻く環境と健康問題 ・子どもとその家族の生活や健康に関する問題について理解を深めることができる 【関連するSBO】1, 2, 9 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて子どもと家族に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、健康問題をもつ子どもとその家族に関わる看護師の姿勢をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
4/17 金 2限	【授業内容】新生児および乳児の成長・発達の特徴① ・新生児・乳児の発達の特性と課題を述べるができる ・新生児・乳児期の形態的側面の発達の特徴を述べるができる 【関連するSBO】1, 4 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて乳児の健康に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、新生児・乳児期の形態的側面の発達の特徴を列挙する	成育看護学講座 高橋 亮 教授
4/22 水 4限	【授業内容】新生児および乳児の成長・発達の特徴② ・新生児・乳児期の形態および機能的側面の発達の特徴を述べるができる 【関連するSBO】1, 4, 8 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて乳児の疾患に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、新生児・乳児期の機能的側面の発達の特徴を列挙する	成育看護学講座 高橋 亮 教授
5/19 火 3限	【授業内容】幼児の成長・発達の特徴 ・幼児期の発達の特徴と課題を述べるができる ・幼児期の形態・機能的側面の発達の特徴を述べるができる ・幼児の基本的生活習慣の獲得に向けた援助方法を理解することができる 【関連するSBO】1, 5, 8 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて幼児の健康に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、幼児期の発達の特徴と健康問題を列挙する	成育看護学講座 高橋 亮 教授
6/3 水 3限	【授業内容】学童期の成長・発達の特徴 ・学童期の形態・機能的側面の発達の特徴を述べるができる ・学童期の心理・社会的側面の発達の特徴を述べるができる 【関連するSBO】1, 6, 8 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて小学生の健康に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:90分】配布資料を読み返してまとめ、学童期の発達の特徴と健康問題を列挙する	成育看護学講座 高橋 亮 教授
6/4 木 3限	【授業内容】思春期の成長・発達の特徴 ・思春期における形態的・生理的側面の発達の特徴を述べるができる ・思春期における心理的・社会的側面の発達の特徴を述べるができる ・思春期の子ども達の生活の特徴と問題を述べるができる 【関連するSBO】1, 7, 8 【事前学修:90分】授業範囲のテキスト該当ページを熟読し、加えて思春期の健康に関するニュースや新聞記事を調べる 【事後学修:390分】配布資料を読み返してまとめ、思春期の発達の特徴と健康問題を列挙する。さらに、全講義内容について全ての配布資料とテキスト該当ページを読み返してまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授

・教科書・参考書等

		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 改訂第5版	二宮啓子/今野美紀 編	南江堂	2022年

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験100%により評価する。 【形成的評価】 講義中の質疑応答などを通して理解度を確認し、講義内容ならびに進度の評価を行う。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～9	1～9		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 課題を課す場合は、コメントを付して返却する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 小児看護学 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 小児専門病院ならびに大学病院における看護師の実務経験を有する教員が専門領域に関する教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

母性看護学概論

ナンバリング:N2-S1-H01

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

母性看護の基盤となる概念を踏まえ、女性の一生を通じた健康の保持・増進および次世代の健全育成をめざす看護のあり方を理解する。また、母性看護の主な対象となる妊娠・分娩・産褥・新生児の基本的な生理を理解する。具体的には、母性看護の基盤となる概念(リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション、セクシャリティ等)、女性のライフステージ各期における看護、リプロダクティブヘルスおよび妊娠・分娩・産褥・新生児の生理に関する内容を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

母性看護の基盤となる概念やセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(SRHR)を中心に、性・生殖をめぐる生理や社会制度、倫理、さらには不妊症や加齢による女性特有の健康課題を通して、女性の生涯を通じた健康支援としての母性看護の役割を考察することができる

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 母性看護の基盤となる概念を説明できる。
2. セクシュアル・リプロダクティブヘルスに関する社会的背景を理解できる。
3. 母性看護が対象とする女性やパートナーの価値観・信条の多様性について説明できる。
4. 女性のライフサイクル各期の健康課題を理解し、健康の保持増進、疾病を予防するために必要な看護援助方法について説明できる。
5. 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族の生活を把握し、健康状態との関連をアセスメントする視点を説明できる。
6. 母子保健に関する法律・施策を列挙できる。
7. 妊娠・分娩・産褥および新生児の基本的な生理を理解できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/13 月 2限	【授業内容】オリエンテーション、母性看護の基盤となる概念 【関連するSBO】1 ・母性看護の中心となる概念を理解できる ・母性看護実践を支える概念を理解できる 【事前学修:30分】 ・教科書(1)P21-24 母性看護を支える概念を読む 【事後学修:150分】母性看護の役割について50-100字程度でまとめWebClassで提出する (①㍻切4/15 12時)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

4/16 木 1限	【授業内容】セクシュアル・リプロダクティブヘルスに関する概念 ・セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツの概念を説明できる ・多様な性のあり方と健康と社会に与える影響を説明できる ・包括的セクシュアリティ教育の目的と必要性を理解できる 【関連するSB0】2、3 【事前学修：90分】 自身が学校教育で受けた性教育について時期、内容とその時の感想を想起する。教科書(1)p43プラスα「子どもや若者の性に関する主な問題」を読む。 【事後学修：90分】セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツに関連する問題を解く(②WebClass上で実施 ㄹ切4/18 12時)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
4/24 金 4限	【授業内容】セクシュアル・リプロダクティブヘルスに関する統計と社会背景 ・統計のデータから母性を取り巻く社会的課題を読み取る事ができる ・母子保健に関する法律・施策の概要を説明できる ・女性・子どもへの暴力・虐待の現状および法律と支援について理解できる 【関連するSB0】3、4、5 【事前学修：60分】教科書(1)P49 図3-1出生数と合計特殊出生率の年次推移から、親世代、自分、現在の出生数の変化を確認する。P99 表4-9 女性に対する暴力スクリーニング尺度を読む 【事後学修：150分】講義内で示された統計で最も印象に残った数値の一つあげ、印象に残った理由と数値から読み取れる社会的背景を100字程度で考察する(③WebClassで提出 ㄹ切4/27 12時)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/7 木 3限	【授業内容】リプロダクティブヘルスに関する倫理 ・リプロダクティブヘルスに関する主な倫理的課題を説明できる 【関連するSB0】2、3、4、5 【事前学修：60分】教科書(1)P117「予期せぬ妊娠に妊娠継続を悩むAさん」P132「生殖補助医療のステップアップに悩むEさん」を読む。 【事後学修：90分】母性看護の視点で、看護における倫理原則について要点をまとめる	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/11 月 4限	【授業内容】性と生殖・妊娠から出産に関する生理 ・妊娠・分娩・産褥および新生児の基本的な生理を理解し、看護師の役割を説明できる 【関連するSB0】7 【事前学修：90分】教科書(1)思春期の心理社会的特徴とダイエット・摂食障害・女性アスリートについて読む。本講義に係る箇所を教科書(2)で確認する。 【事後学修：90分】妊娠・分娩・産褥および新生児の基本的な生理を説明できるように要点をまとめる	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/12 火 2限	【授業内容】女性の健康課題と看護① ・プレコンセプションケアの意義と目的を説明できる ・喫煙が女性や母子に与える健康リスクと支援について説明できる ・性感染症の症状・診断・治療と看護について説明できる 【関連するSB0】2、3、5 【事前学修：90分】事前に配布された「プレコンセプションケア チェックシート」にチェックをする。教科書(1)P95プレコンセプションケアと、Plasa プレコンセプションケアの目的と対象者を読む。 【事後学修：90分】女性のライフサイクルにおける健康課題と支援に関する問題を解く(④WebClass上で実施 ㄹ切5/14 12時)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/20 水 2限	【授業内容】女性の健康課題と看護② ・妊娠性に関わる不妊という健康問題の特徴について理解できる ・不妊治療を受けているカップルへの支援について理解できる ・更年期・老年期女性の健康問題について理解する 【関連するSB0】2、3、5 【事前学修：120分】提示された動画を視聴し、P209-214 不妊治療を受けているカップルへの支援を読み母性看護の視点から感想100字程度を提出する(⑤WebClassで提出 ㄹ切5/19 12時) 【事後学修：60分】不妊治療に対する支援について要点をまとめる	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/29 金 4限	【授業内容】特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援 ・特別なニーズをもつ対象(特定妊婦、外国人妊産婦、流産・死産後の女性)の健康課題を理解できる ・多様な背景をもつ対象者への看護師の役割について述べる事ができる 【関連するSB0】2、3、5、6 【事前学修：90分】教科書(1)P246 を参照し、関心があるサイトを2つ以上閲覧する。気づいた点をノートに記載する 【事後学修：390分】母性看護概論の講義を通して、女性の生涯を通じた健康支援としての母性看護の役割を考察する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(1) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 第3版	中込さと子 他 編	メディカ出版	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(2) 母性看護の実践 第3版	小林康江 他 編	メディカ出版	2024

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験50%【多肢選択式問題、論述）、課題50%にて評価する。課題の評価基準は講義初日に提示する。								
【形成的評価】講義ごとにレスポンスカード等で理解度を確認し、要点の振り返りを行う等、フィードバックする。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～5.7	1～4		50					50
1～5.7	1～4			50				50
合計		0	50	50	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】			
各回の講義では、PBL（問題解決型学習）やグループワーク、ペアワークによって個々の理解を深める。レスポンスカードや課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。			
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】			
助産師（別表1）：基礎助産学			
看護師（別表3）：専門分野 母性看護学			
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】			
当該科目に関連する実務経験の有無 有			
分娩取扱医療機関等で助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。			

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	デスクトップパソコン（HP ENVY Desktop TE01-1115jp）	1	講義資料の作成等

精神看護学概論

ナンバリング:N2-S1-I01

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

精神的な健康の問題を抱えている人を、ただ精神障害者と規定せずに、その人に固有な生活の文脈から理解する。看護師は自らをケアの提供者として最大限に生かしながら、患者と家族にかかわることを学修する。患者と家族の生活史や家族背景、地域の文化や環境が与える要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解する。その理解のために人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団および社会のダイナミクスについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

・精神の健康と障害に関する理解の深化: ストレス理論、危機理論、精神力動理論、漸進的発達理論を含む様々な理論を用いて、精神の健康とその障害についての理解を深める。これには心の機能、人格の発達、及び精神疾患の特徴と症状の理解が含まれる。 ・リカバリーと支援の理解: 精神障害の生きにくさを認識しつつ、リカバリー過程におけるレジリエンスやストレングスの重要性を理解し、「その人らしく生きる」ことへの支援の必要性を学ぶ。これには精神障害者の生活支援方法の理解と応用が含まれる。 ・精神保健医療福祉に関連する法律、社会制度の理解: 精神保健医療福祉に関連する法律、社会制度、歴史的変遷を学び、精神障害者の権利擁護と精神保健福祉に携わる者の倫理観について深く理解する。これには精神障害の社会的、文化的側面と公衆衛生の観点からの理解が含まれる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 精神看護学の理解と説明: 精神看護学の基本概念と目的を説明できる。 2. 心のはたらきと人格の形成の理解: 心の機能や人格の発達についての知識を深め、これらを説明できる。 3. 精神保健の考え方の理解: 精神の健康と障害に関する基本概念とストレスやトラウマの影響を理解し、それらを説明できる。 4. 人間関係のシステムの理解: 人間関係のダイナミクスを理解し、家族や集団における関係性の影響を具体的に説明できる。 5. 精神疾患の理解: 精神疾患の症状や状態像を理解し、それらを具体的に説明できる。 6. 精神科治療の理解: 精神療法、薬物療法、電気けいれん療法、作業療法などの精神科治療法について、その目的、適応、特徴を理解し、具体的に説明できる。 7. 精神障害をめぐる歴史的・社会的・文化的背景および法制度の目的と内容を理解し、これらが精神障害の捉え方や、当事者の権利保護および生活の質にどのような影響を与えているかを具体的に説明できる。	
--	--

・授業日程

【講義】

会場: 西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 水 3限	【授業内容】精神看護学の導入 ・日本の精神医療の現状と課題を踏まえ、精神看護の学びが自分自身の価値観を問い直すことから始まることを理解する 【関連するSBO】1 【事前学修:60分】「精神疾患のある人」と聞いて、 ①最初に浮かぶイメージ ②不安・怖さ・距離感があればその理由 を200字程度で書く(WebClassで提出) 【事後学修:60分】授業で学んだ内容を踏まえ、 「なぜ日本の精神医療は、病床数が多く、在院日数が長くなりやすいのか」について、 ①制度 ②経済 ③文化・社会 のうち、少なくとも2つの視点を用いて300字程度で説明する (WebClassで提出)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

5/8 金 2限	【授業内容】社会のなかの精神障害 ・精神障害を個人の問題としてではなく、歴史的・法制度的・文化的文脈の中で捉え、それらが当事者の生活、回復プロセス、社会での位置づけにどのような影響を与えてきたのかを説明できるようになる。 【関連するSB0】7 【事前学修：60分】精神障害があることで、医療以外の場面(学校・仕事・地域・家族のいずれか一つ)でどのような困難が生じると考えられるかを300字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修：60分】社会の偏見や制度の制約がある中で、精神科看護師はどのような役割を担えると思うか。 授業内容を踏まえて、自分の考えを300字程度で記述する(WebClassで提出)	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
5/19 火 2限	【授業内容】心のはたらきと人格の形成 ・こころのはたらきや人格の発達が多層的・力動的に成り立っていることを理解し、人の行動や症状を「問題行動」としてではなく、自己を守ろうとするこころの働きや発達課題の表れとして捉え、看護の視点で説明できるようになる 【関連するSB0】2 【事前学修：60分】最近または過去に、「あとから考えると、なぜあんな行動や言動をしたのだろう」と思った経験を1つ挙げ、そのときの気持ちや状況を簡単(150字程度)に書く(WebClassで提出) 【事後学修：60分】授業で扱った事例(70代男性)について、「防衛機制」の考え方をういて、この患者の言動が「こころを守るための反応」としてどのように理解できるか を考えなさい。 ・考えられる防衛機制を1つ以上挙げる ・なぜその防衛機制だと考えたのか を含め、300字程度で記述しなさい(WebClassで提出)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/1 月 4限	【授業内容】精神保健の考え方 ・精神の健康と障害を二元論的に捉えるのではなく連続体として理解し、ストレスやトラウマが心身に及ぼす影響を説明できるとともに、人が揺らぎながらも回復していく存在であることを理解できるようになる。 【関連するSB0】3 【事前学修：30分】あなたにとって「精神的に健康な状態」とは、どのような状態だと思いますか。 行動・気分・人との関係など、思いつく視点を200字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修：60分】ストレスやトラウマが、人の考え方・感情・行動・身体にどのような影響を与えるかを授業内容をもとに具体的に300字程度で記述する(WebClassで提出)	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
6/4 木 4限	【授業内容】関係のなかの人間 ・個人の感情や行動が家族や集団という「場」の力学(グループダイナミクス)によって影響を受けていることを理解し、集団内の役割・規範・相互作用が心の状態や行動に及ぼす影響を、精神看護の視点から説明できるようになる。 【関連するSB0】4 【事前学修：60分】家族、クラス、友人グループなどの中で、あなたはどのような役割を担っていると思いますか(例：まとめ役、空気を読む人など)あなたはその集団でなぜそのような役割を担うことになったのか(集団の雰囲気など)を200字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修：60分】ダブルバインド的な家族関係の中で苦しんでいる患者に対して、精神科看護師は、 ・患者の気持ちをどのように受け止める存在であるべきか ・家族とどのような距離感で関わるのが大切だと思うか に触れながら、「関係の構造を踏まえた看護師の役割」についてあなたの考えを300字程度で記述する(WebClassで提出)	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
6/12 金 2限	【授業内容】精神科疾患のあらわれ方 ①「思考・感情・意欲の障害」 ・思考・感情・意欲の障害を「異常な症状」としてではなく、その人が置かれている状況や苦痛への反応として理解し、症状の背景を踏まえた“評価しない看護の関わり”を説明できるようになる 【関連するSB0】5 【事前学修：60分】「重大な事件」を起こした人が「精神科受診歴がある」「精神障害を持っている」あるいは「おかしな供述を始めた」ことを知った時、自分はどんな気持ちになるか、その理由を300～400字程度で書く(WebClassで提出) 【事後学修：60分】思考障害・感情障害・意欲障害症状をもつ患者に対して、 ・避けたい関わり ・大切にしたい関わり をそれぞれ具体的に(200字程度)に書く(WebClassで提出)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

6/16 火 2限	【授業内容】精神科疾患のあらわれ方 ②「知覚・意識・記憶の障害」 ・知覚・意識・記憶の障害によって生じる世界の変化を理解し、 本人にとっての現実を尊重しながら、 安全と安心を最優先にした精神看護の基本的対応を説明できるようになる 【関連するSBO】5 【事前学修:30分】混乱している人に対して、 「落ち着かせるために言いたくなる言葉」を1つ挙げ、 それが本当に安心につながるか考え300字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修:60分】授業で紹介して事例に対して 「看護師としてどのように対話し、対応するか、300字程度で具体的に記述する (WebClassで提出)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/25 木 3限	【授業内容】精神科での治療 ・精神科治療を単なる技法や薬の選択としてではなく、 患者の不安や恐怖を伴う体験として捉え、 治療の種類にかかわらず「安心と関係性を土台にする看護の役割」を 説明できるようにする。 【関連するSBO】6 【事前学修:60分】あなたが突然「精神科」へ入院させられ、治療が行われる場合、一番大切 だということは何か。その理由を含めて300字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修:14時間:840分】授業で紹介した事例に対して、 「看護師は、患者と医師の間でどのように対応することが望ましいか」を考え300字程度で記述 する(60分:WebClassで提出)+授業で触れられなかった重要事項(13時間:780分:提出不 要)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021

教:教科書

参:参考書

推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】
定期試験(多肢選択)70%と提出課題(初回授業時にルーブリック評価表を提示する)30%の合計100%にて評価をする。

【形成的評価】
各授業において習得度チェック(国試問題等を使用した確認試験)を行い、学生の理解度を確認しながら授業を行う。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2・3	1・2・7		30	10				40
4	3～6		40	20				60
合計		0	70	30	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。 ・リアクションペーパーは、次の授業においてコメントをするなどしてフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 精神看護学 【その他】事前・事後学修は次授業前日正午までにWebClassに提出する(未提出は0点、時間を過ぎてからの提出は1/2減点)。 各回講義の中で、テーマに基づくディスカッション(グループワーク等)の機会を設け、またはICTの利用によるアンケートフォーム (CustomForm®)を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。 授業で触れられなかった重要事項は、各授業の終了時に伝達をする。 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 精神科における臨床経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を豊富な実践経験を交えて行う。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	スマートフォンまたはタブレット	1	Webアンケート

地域・在宅看護方法論

ナンバリング:N2-S1-D03

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

子どもから高齢者まですべての年代、健康の保持増進から看取りまであらゆる健康レベルの対象者が地域で暮らす中、多様な事例を通して、在宅療養者と家族に対しての日常生活援助や医療的ケアについて具体的な技術を学ぶ。病院から自宅・施設へ療養の場の移行に伴う退院移行支援の必要性について学び、地域・在宅における看護過程の特徴をふまえ、情報収集・アセスメント・計画立案・実施評価の一連の流れを学修する。その中で、本人・家族の希望を重視しながら看護課題・ニーズに対応するため、多職種・多機関との連携、看護職間の連携、近隣住民との連携が欠かせないことを学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

地域に暮らす在宅療養者と家族を対象とした看護過程の展開を実施することにより、生活の中に医療的ケアを取り入れ、その家庭にあった物品の工夫、本人・家族への療養生活の指導など具体的な看護計画の立案が必要なことを理解できる。また、地域・在宅看護で多く出会う脳卒中後遺症・小児・終末期・難病などの事例を想定し、その対象にあった在宅療養生活と医療的ケアについてイメージできる。同時に、在宅療養を継続する中で疾患や障害の理解とともに、本人・家族を取り巻く環境の中で起こりうる問題である老々介護、介護疲労、社会的孤立などの社会的背景をふまえ、どのような支援が必要なのか考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SB0)

1. 病院と自宅・施設等との継続看護について、スムーズな移行・連携のために必要な体制について説明できる。
2. 地域・在宅における看護過程の特徴を理解し、情報収集、アセスメント、目標設定、計画立案、実施評価の過程について説明できる。
3. 事例を通して、個人の生活を把握し、健康状態との関連をアセスメントできる
4. 事例を通して、家族の生活を把握し、家族員の健康状態との関連をアセスメントできる
5. 地域に暮らす在宅療養者と家族に応じた日常生活援助および医療的ケアについて説明できる。
6. 地域に暮らす在宅療養者と家族を支援するための具体的な社会資源の活用について考えることができる。
7. 地域には多様な疾患・障害、社会的背景をかかえながら生活している人々があり、その人らしさを尊重して支援することが大切なことを理解できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/16 水 2限	【授業内容】 療養の場の移行に伴う看護 ・継続看護の重要性を述べるができる ・医療施設、介護施設の概要を説明できる ・退院前カンファレンス、地域連携クリニカルパスについて説明できる 【関連するSB0】 1 【事前学修：120分】 教科書①4-1「医療機関との連携」4-2「医療施設や介護施設と連携」を読み、施設サービス、在宅サービスを調べる 【事後学修：120分】 療養の場の移行に伴う看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

9/28 月 4限	【授業内容】患者サポートセンターにおける入退院支援の実際(ゲストスピーカー) - 療養の場の移行に伴う入退院支援に関わる看護職の役割を説明できる - 退院支援に関わる多職種との連携の必要性を説明できる 【関連するSB0】1、3、4 【事前学修:120分】岩手医科大学附属病院のホームページを閲覧し、患者サポートセンターの機能について調べる 【事後学修:120分】入退院支援看護師の看護活動とその役割について、要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
10/1 木 1限	【授業内容】地域・在宅における看護過程1 - 在宅療養者と家族の多様性を説明できる - 訪問看護における看護過程の特徴を説明できる - 在宅療養者と家族の看護に必要な情報収集の項目とアセスメントの視点を説明できる 【関連するSB0】2 【事前学修:120分】教科書①4-1「地域・在宅看護の対象者」、②1-2「在宅療養における看護過程の展開技術」を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】事例をもとにアセスメントシートを記載する	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
10/5 月 3限	【授業内容】地域・在宅における看護過程2(グループワーク) - 関連図を用いて生活上の課題とニーズをまとめることができる - 看護課題を明確化し、優先順位を検討することができる - 在宅療養者の特性に対応した看護過程の展開方法を説明できる 【関連するSB0】2 【事前学修:120分】事例をもとに関連図を記載する 【事後学修:120分】アセスメントシート・関連図を記載し提出する	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
10/16 金 1限	【授業内容】地域・在宅看護と小児ケア - 小児慢性疾患などの地域・在宅における小児ケアの健康問題を理解した上で、高度の医療を生活の中で行う医療的ケア児に必要な看護援助を説明できる - 地域で暮らす医療的ケア児に必要な社会資源を説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】障害児・者を支える制度を復習する 【事後学修:120分】小児訪問看護の要点をまとめる。障害児を支える社会資源(職種の役割を含む)をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
10/19 月 3限	【授業内容】地域・在宅看護と認知症ケア - 認知症の各病期にみられる症状を理解した上で、療養者と介護者に必要な看護援助を説明できる - 在宅における服薬管理が必要な療養者・家族への看護の特徴が説明できる - 地域でひとりで暮らす認知症高齢者を支援する、介護保険制度によるケアマネジメントの提供方法や多職種の連携方法を説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】介護保険制度の利用の流れを復習する 【事後学修:120分】介護保険制度によるケアマネジメントの流れの要点をまとめる	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
10/23 金 4限	【授業内容】地域・在宅看護と障害ケア - 成人期における精神障害、身体障害者の疾患や関わり方を理解し、療養者に必要な看護援助を説明できる - 地域でひとりで暮らす障害者を支援する、障害福祉サービス利用のためのケアマネジメントの提供方法や多職種の連携方法を説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】障害者総合支援法による障害福祉サービスの利用の流れを復習する 【事後学修:120分】障害者総合支援法によるケアマネジメントの流れの要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
10/28 水 4限	【授業内容】地域・在宅看護と難病ケア 難病療養者の看護 - 難病の定義と難病対策の動向を理解し、医療と介護ニーズを併せ持つ筋神経系難病療養への看護について説明できる - 在宅療養者の呼吸機能と環境のアセスメントが説明できる - 人工呼吸器を装着している療養者・家族への看護が説明できる - 在宅における膀胱留置カテーテルを使用している療養者・家族への看護が説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】 - 難病の療養者・家族を支える制度について復習する(教科書 地域・在宅看護論①地域療養を支える技術 p217-219参照) 2年生で履修した筋神経系難病について復習する - 講義範囲の教科書を読んで概要を把握する(教科書 地域・在宅看護論②地域在宅療養を支える技術 p183-186、p186-190参照) 1年生で履修した科目において、呼吸を楽にする援助技術について復習する 【事後学修:120分】在宅で難病を抱える療養者と家族を支える看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教

10/30 金 1限	【授業内容】地域・在宅看護と慢性疾患管理(脳卒中後遺症療養者の看護、(意思決定支援を含む)) ・在宅療養で起こる生活不活発病の特徴を理解し、必要な看護援助や社会資源を説明できる ・生活ケア・医療的ケアの必要な在宅療養者と家族への支援を説明できる ・在宅で経管栄養を行っている療養者と家族への支援について説明できる ・地域・在宅看護における倫理的課題について考察できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】 ・安静臥床や不活発なことで起こる生活機能の低下やそれに伴う生活不活発病の概要を把握する ・講義範囲の教科書を読んで概要を把握する(教科書 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 p52-53、p195-200参照) ・1年生で履修した科目において、食事・栄養を促す援助技術について復習する 【事後学修:120分】在宅における日常生活の支援の要点、及び慢性期の在宅療養者と家族の看護についてまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
11/16 月 3限	【授業内容】地域・在宅看護と慢性疾患管理(慢性心不全、慢性呼吸不全) ・在宅療養者の呼吸機能と環境のアセスメントが説明できる ・在宅酸素療法をしている療養者・家族への看護が説明できる ・生活の中で行うリハビリテーションについて考えることができる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】 ・講義範囲の教科書を読んで概要を把握する(教科書 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 p53-57、p133-139、p180-182参照) ・1年生で履修した科目において、呼吸を楽にする援助技術について復習する 【事後学修:120分】排痰ケア・在宅酸素療法をしている療養者・家族への支援の要点をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
11/18 水 2限	【授業内容】地域・在宅看護とエンド・オブ・ライフケア ・最善の人生の最期を目指すエンド・オブ・ライフ・ケアの目的や動向をふまえ、アドバンス・ケア・プランニング、緩和ケア、看取り、グリーフケアを含む看護を説明できる ・緩和ケア期、看取り期、臨死期の看護を説明できる ・自己決定(意思決定)への支援が理解できる 【関連するSB0】3、4、5、6、7 【事前学修:120分】2年生で履修したエンド・オブ・ライフケアに関連した科目・演習について復習する 【事後学修:120分】在宅におけるエンド・オブ・ライフケアの要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
11/20 金 4限	【授業内容】地域・在宅看護と複雑困難事例ケア1 ・健康問題に加えて、家庭内虐待、経済困窮、セルフネグレクト、劣悪な住環境など多様な心理社会的問題があることを理解する ・支援が必要な事例のアセスメントを行うことができる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】事例を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】必要な支援を勧めるシナリオを作成してくる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
11/27 金 1限	【授業内容】地域・在宅看護と複雑困難事例ケア2 ・多様で複雑な心理社会的問題をもち、支援が困難な事例の特徴を理解し、必要な社会資源を説明できる ・支援を勧めるロールプレイを通じて、かかわりの工夫を考えることができる ・支援が必要な事例のアセスメントを行うことができる ・社会資源を考慮した支援を考えることができる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】事例を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】多様な課題を持つ対象への支援の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
12/7 月 2限	【授業内容】地域・在宅看護とリスクマネジメント(ゲストスピーカー) ・訪問看護師の健康危機・災害に対する役割の重要性を説明できる ・在宅療養者が災害時に支援が必要になることを、医療依存度に関連して説明できる ・災害時の療養者支援の、災害サイクル別・傷病別初期対応を説明できる ・平常時から地域内の関係を構築する意義を説明できる 【関連するSB0】5、6 【事前学修:120分】教科書①8「在宅療養を支える健康危機・災害対策」を読んで、災害各期の支援を調べる。 【事後学修:120分】災害が地域や療養者にもたらす影響から、療養者と家族への防災教育と関係機関との連携した危機管理の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

12/11 金 3限	【授業内容】 地域共生社会における訪問看護の実際（ゲストスピーカー） ・地域包括ケアにおける連携、協働の実際から、看護職の役割を説明できる ・療養者、家族の生活と健康支援のための、自助・互助・共助・公助を考慮したケアシステムづくりについて考えを深めることができる 【関連するSB0】 5、6、7 【事後学修：240分】 講義をふまえ、訪問看護の役割をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
------------------	--	----------------------

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第8版	臺有桂 他 編	メディカ出版	2025
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(2) 在宅療養を支える技術 第3版	臺有桂 他 編	メディカ出版	2025
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤 第7版	河原佳代子 他	医学書院	2026
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践 第6版	河原佳代子 他	医学書院	2022
参	強みと弱みからみた地域・在宅看護過程+総合的機能関連図 第2版	河野あゆみ 編	医学書院	2023
参	地域・在宅看護論(新体系看護学全書 専門分野)	河野あゆみ 編	メヂカルフレンド社	2021
参	関連図で理解する在宅看護過程 第3版	正野逸子・本田彰子	メヂカルフレンド社	2025
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版	渡辺裕子 監修	日本看護協会出版会	2022
参	看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護	岸恵美子 他 編	中央法規出版	2022

・成績評価方法								
【総括的評価】 定期試験90%、提出課題10%にて評価する。 【形成的評価】 各回に講義において、振り返りシートの提出を求め、学習の成果を確認する。 適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。								
DP	SB0	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3～8	1～7		90					90
3	2			10				10
合計		0	90	10	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他	
【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。 ・レスポンスカード・提出された課題については、授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 保健師(別表1):公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援 看護師(別表3):専門分野 地域・在宅看護論 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 地域における保健師や病院看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。	

・授業に使用する機器・器具と使用目的			
使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義および学生のグループ発表時資料投影
講義	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義時資料投影
講義	デスクトップパソコン(HP ProDesk 400 G7 SFF)	1	講義資料の作成等

成人慢性期看護方法論

ナンバリング:N2-S1-E02

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、看護学部		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

成人看護学概論を基に、慢性期・終末期にある対象に対する成人看護に必要な基礎的看護技術について学ぶ。慢性疾患を抱える対象者の病態、検査・治療の目的および心理を理解し、対象者が自己管理能力を高めるための看護を学ぶ。また、終末期にある対象者とその家族の特徴を理解し、看護援助の方法を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

慢性の疾患をもちながら生活する成人期の対象がもつ諸問題の特徴を理解し、関連する機能障害、検査、治療、生活への影響について説明できる。また、慢性期・終末期にある患者・家族への看護に関して、アセスメントに必要な情報を収集し、看護問題の抽出、具体的なケアプランの立案とその評価方法を理解し、身体・心理・社会・人生の行路の視点から、理論を活用した援助の具体的な方法を考察できる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 慢性疾患を有する人および家族の特徴について説明できる。 2. 慢性期・終末期の各期に応じて変化する治療や日常生活への影響に対する看護について説明できる。 3. 慢性期・終末期にある患者とその家族に起こりやすい健康問題と看護の特徴について説明できる。 4. 慢性期・終末期の看護援助について事例を通して考察できる。 5. 慢性疾患を有する人に関わる医療チームを列挙し、それぞれの役割について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室、大堀記念講堂

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/14 月 2限	【授業内容】慢性疾患の特徴 慢性疾患を有する人と家族の理解 療養環境の特徴と災害時における看護 ・慢性疾患および治療・変化している療養環境の特徴について説明できる ・慢性疾患を有する人に関わる看護の役割について説明できる ・慢性疾患を有する人が被災した際の看護援助や防災準備について述べることができる 【関連するSBO】1、2、3、5 【事前学修：120分】慢性疾患を有する人に関わる看護の役割について要点をまとめる 【事後学修：120分】セルフマネジメントを促す支援について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
9/17 木 2限	【授業内容】慢性疾患とともに生きる人と家族への看護 患者の語り(ゲストスピーカー) ・慢性疾患患者の語りを聞き、病とともに生きる人と家族の特徴を述べるができる ・慢性の病とともに生きる人と家族への看護について述べるができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】慢性の病とともに生きる人と家族の特徴について調べ、ゲストスピーカーへの質問内容をまとめる 【事後学修：90分】慢性の病とともに生きる人と家族への看護について要点をまとめる	看護学部 三浦 幸枝 非常勤講師
9/18 金 3限	【授業内容】慢性疾患を有する人と家族への看護・支援の基本姿勢 治療・療養行動に関わる概念・理論 健康信念 トランスセオレティカルモデル 病みの軌跡 ・慢性疾患を有する人と家族のセルフマネジメントを支援するための理論・概念について説明できる ・患者の病みの軌跡を理解する必要性について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】治療・療養行動にかかわる主要な概念・理論について教科書を読み要点をまとめる 【事後学修：90分】慢性疾患を有する人と家族のセルフマネジメントを支援するための理論・概念の看護への活用についてまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
9/25 金 2限	【授業内容】がん患者と家族への看護 ・がん患者と家族の心理過程について説明できる ・化学療法、放射線療法を受けるがん患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：180分】(提出①)事例についてアセスメント・ケアプランをまとめる 【事後学修：120分】事前課題で不足しているところを追加しまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
9/25 金 3限	【授業内容】循環器系の障害を有する人と家族への看護 虚血性心疾患、慢性心不全 ・慢性心不全患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・慢性心不全患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】疾病論Ⅰ(内科系総論)で学修した「循環器疾患」について復習し、要点をまとめる 【事後学修：90分】慢性心不全患者の看護について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
9/29 火 4限	【授業内容】呼吸器系の障害を有する人と家族への看護 気管支喘息 慢性呼吸不全 ・慢性呼吸不全患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・慢性呼吸不全患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：180分】(提出②)事例についてアセスメント・ケアプランをまとめる 【事後学修：120分】事前課題で不足しているところを追加しまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師

9/30 水 2限	【授業内容】消化器系の障害を有する人と家族への看護 肝硬変 肝がん 肝動脈塞栓術を受ける患者の看護 ・肝硬変患者・肝がん患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・肝硬変患者・肝がん患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】疾病論Ⅰ（内科系総論）で学修した「消化器疾患」について復習し、要点をまとめる 【事後学修：90分】肝硬変患者・肝がん患者の看護について要点をまとめる	看護学部 三浦 幸枝 非常勤講師
10/2 金 4限	【授業内容】消化器系の障害を有する人と家族への看護 潰瘍性大腸炎 クロウン病 ・炎症性腸疾患患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・炎症性腸疾患患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：180分】(提出③)事例についてアセスメント・ケアプランをまとめる 【事後学修：120分】事前課題で不足しているところを追加しまとめる	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
10/5 月 2限	【授業内容】代謝・内分泌系の障害を有する人と家族への看護 糖尿病 インスリン療法を受ける患者の看護 ・糖尿病患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・糖尿病患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】疾病論Ⅰ（内科系総論）で学修した「内分泌・代謝疾患」について復習し、要点をまとめる 【事後学修：90分】糖尿病患者の看護について要点をまとめる	看護学部 三浦 幸枝 非常勤講師
10/7 水 3限	【授業内容】腎・泌尿器系の障害を有する人と家族への看護 慢性腎不全 人工透析を受ける患者の看護 ・慢性腎臓病患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・慢性腎臓病患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】教科書(p400-425)を読み、要点をまとめる 【事後学修：90分】慢性腎臓病患者の看護について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/8 木 1限	【授業内容】血液・免疫系の障害を有する人と家族への看護 関節リウマチ・膠原病 ステロイド療法を受ける患者の看護 ・関節リウマチ患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・関節リウマチの看護について説明できる ・膠原病患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・膠原病患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：180分】(提出④)事例についてアセスメント・ケアプランをまとめる 【事後学修：120分】事前課題で不足しているところを追加しまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/13 火 4限	【授業内容】血液・免疫系の障害を有する人と家族への看護 白血病 HIV/AIDS 造血幹細胞移植を受ける患者への看護 ・白血病患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・白血病患者の看護について説明できる ・HIV感染者/AIDS患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・HIV感染者/AIDS患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】教科書(p426-444)を読み、要点をまとめる 【事後学修：90分】白血病患者、HIV感染者/AIDS患者の看護について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/15 木 4限	【授業内容】脳・神経系の障害を有する人と家族への看護 脳梗塞、パーキンソン病 ・脳梗塞患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・脳梗塞患者の看護について説明できる ・パーキンソン病患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・パーキンソン病患者の看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：90分】教科書(p465-480)を読み、要点をまとめる 【事後学修：90分】脳梗塞患者、パーキンソン病患者の看護について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授

10/16 金 2限	【授業内容】 脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助 ALS、重症筋無力症 ・ALS患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・ALS患者の看護について説明できる ・重症筋無力症患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる ・重症筋無力症患者の看護について説明できる 【関連するSBO】 1、2、3、4 【事前学修:180分】 (提出⑤)事例についてアセスメント・ケアプランをまとめる 【事後学修:120分】 事前課題で不足しているところを追加しまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/21 水 3限	【授業内容】 慢性疾患を有する人と家族への看護(事例検討、ディスカッション) ・慢性疾患を有する人の事例を通し、根拠に基づいた看護を導き出すことができる 【関連するSBO】 1、2、3、4 【事前学修:120分】 授業内で提示される事例についてアセスメント・ケアプランをまとめる 【事後学修:300分】 ・事例の看護で不足しているところを追加しまとめる ・講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護 病氣とともに生活する人を支える 改訂第4版	鈴木久美 他 編	南江堂	2023
参	成人看護学① 成人看護学概論/成人保健 第7版	黒江ゆり子 編	メヂカルフレンド社	2021
参	ナーシング・グラフィカ 成人看護学(6) 緩和ケア 第3版	宮下光令 編	メディカ出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験(多肢選択)70%、課題(事例のアセスメント・ケアプラン:5回)の提出状況および内容30%の合計100%により評価する。課題については、初回授業およびWebClassで提示する。 【形成的評価】 授業内には確認テストを実施し、学習状況ならびに理解度を確認する、なお、確認テストの点数は成績に反映しない。また、各回の授業終了時にGoogle Formsで学んだことを入力するよう求め、学修の成果を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～8	1～5		70	30				100
合計		0	70	30	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 提出された事前課題はコメントを付して返却し、授業内に解説を行う。 授業に関する質問は授業中およびアンケートフォーム(Google Forms)で受け付け、全体に伝えるべき内容は、次回の授業もしくはWebClassでフィードバックする。
【その他】 各回、学生同士でディスカッションする時間を設け、全体および個々の理解を深める。 能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 成人看護学
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

成人急性期看護方法論

ナンバリング:N2-S1-E03

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

成人看護学概論を基に、成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護に関して、特に、急性期に焦点をあてた方法論を学ぶ。具体的には、急性期にある患者の事例を通して、身体的・心理的・社会的側面からのアセスメントの実施方法、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・社会学の知識を統合して、看護過程を展開する方法を学ぶ。その際、最新研究から得られた知見を用いて、科学的根拠を持った看護ケアを提供することを想定した事例を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

生命の危機状態および周手術期にある患者と家族の特性について、身体的・心理的・社会的側面から捉えることができる。また、安全で質の高い看護を実践するために必要な知識・アセスメント力を、事例を通して活用できる。さらに、手術や侵襲によってもたらされる合併症や二次的障害の予防と回復促進に向けた援助について根拠に基づき考察できる。加えて、社会復帰を目指す患者と家族の生活を再構築するための看護について、発展的に考察できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

- 成人期にある患者およびその家族等を対象とした急性期看護の特徴を述べることができる。
- 生命の危機状態および周手術期にある患者の潜在的・顕在的な健康問題について説明できる。
- 生命の危機状態および周手術期にある患者について、事例を通して看護過程の展開ならびに具体的な援助方法を、科学的根拠をもとに検討できる。
- 手術や侵襲によってもたらされる合併症や二次的障害について、術式による特徴をふまえ、予防と回復促進に向けた援助方法を根拠に基づき検討できる。
- 社会復帰を目指す患者とその家族の生活を再構築するための看護について説明できる。
- クリティカルケアに携わる医療チームを列挙し、それぞれの役割について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-8講義室

月日 曜日 時間	授業内容/到達目標	担当教員
9/14 月 3限	【授業内容】急性期看護およびクリティカルケアの概念 - 急性期看護とクリティカルケアの関係について説明できる - 急性の状態にある患者と家族の特徴について述べる事ができる 【関連するSBO】1, 6 【事前学修：90分】急性期看護とクリティカルケアの特徴について文献やテキスト等で調べる 【事後学修：90分】急性の状態にある患者と家族の特徴についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

9/16 水 1限	【授業内容】患者と家族の心理的反応および理解するための概念 ・患者とその家族が示す心理的反応を理解するための理論や概念について説明できる 【関連するSBO】1, 2, 4 【事前学修:180分】提出① 心理的反応を理解するための理論や概念について調べる 【事後学修:90分】患者の身体的反応(侵襲)について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
9/18 金 2限	【授業内容】周手術期にある患者と家族の特徴 ・周手術期にある患者とその家族の特徴を述べることができる ・手術までの医療者の準備と患者への看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4 【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「外科治療の実践」について復習し要点をまとめる 【事後学修:90分】手術までの患者への看護援助について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
9/24 木 1限	【授業内容】周手術期看護の実践 ・術後の症状アセスメントとその看護について述べることができる ・早期離床の促進について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:180分】提出② 術後の日常生活(食事、排泄、清潔)の援助について調べる 【事後学修:90分】術後の症状アセスメントとその看護について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
10/2 金 3限	【授業内容】クリティカルケアの実践 ・クリティカル領域で治療を受ける患者と家族の特徴を述べることができる ・クリティカルケアに携わる医療チームの役割について説明できる 【関連するSBO】1, 4, 5 【事前学修:90分】クリティカルケアに携わる医療チームを列挙し役割をまとめる 【事後学修:90分】クリティカルケアを受ける患者と家族の援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/6 火 3限	【授業内容】呼吸機能の回復を目指す看護(肺がん、胸部外傷等) ・呼吸機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:90分】疾病論Ⅰ(内科系総論)で学修した「呼吸器疾患」について復習し要点をまとめる 【事後学修:90分】呼吸機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
10/9 金 3限	【授業内容】循環機能の回復を目指す看護(急性冠症候群) ・循環機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:180分】提出③ 手術適応となる心疾患と治療、術式の種類について調べる 【事後学修:90分】循環機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
10/9 金 4限	【授業内容】排泄機能の回復を目指す看護①(大腸がん、直腸がん) ・排泄機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「小腸・結腸疾患」について復習し要点をまとめる 【事後学修:90分】排泄機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/14 水 2限	【授業内容】摂取・消化機能の回復を目指す看護(胃がん、胆のう炎等) ・摂取機能、消化機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「胃、十二指腸疾患」「肝・胆疾患」について復習し要点をまとめる 【事後学修:90分】摂取および消化機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
10/22 木 2限	【授業内容】脳神経機能の回復を目指す看護(脳腫瘍、くも膜下出血等) ・脳神経機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:180分】提出④ 脳の構造、手術適応となる脳疾患について調べる 【事後学修:90分】脳神経機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/28 水 2限	【授業内容】運動機能の回復を目指す看護(変形性股関節症等) ・運動機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2, 3, 4, 5 【事前学修:180分】提出⑤ 手術適応となる股関節疾患について調べる 【事後学修:90分】運動機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師

10/30 金 4限	【授業内容】生殖機能の回復を目指した看護(乳腺悪性腫瘍、子宮がん等) ・生殖機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2、3、4、5 【事前学修:90分】乳房および子宮の機能、手術適応となる疾患について調べる 【事後学修:90分】生殖機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
11/5 木 2限	【授業内容】排泄機能の回復を目指した看護②(前立腺がん、前立腺肥大等) ・排泄機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2、3、4、5 【事前学修:90分】疾病論Ⅰ(内科系総論)で学修した「腎・泌尿器疾患」について復習し要点をまとめる 【事後学修:90分】排泄機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
11/16 月 2限	【授業内容】急変時の看護 ・救命救急処置について説明できる ・急変した入院患者への対応について述べるができる 【関連するSBO】1、2、4、6 【事前学修:90分】eナーストレーナーの看護手順:「救命救急処置技術」の一次救命処置(BLS)について動画を視聴し、手順をまとめる 【事後学修:90分】急変した入院患者への対応について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
11/19 木 2限	【授業内容】臓器移植について ・臓器移植における看護師の役割について説明できる ・脳死下臓器提供における家族への対応について述べるができる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「臓器移植」について復習し要点をまとめる 【事後学修:540分】臓器移植における看護師の役割、家族の対応についてまとめる。さらに講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

・教科書・参考書等

		教科書	参考書	推薦図書
教	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周術期看護 改訂第4版	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版	林直子、佐藤まゆみ 編	南江堂	2023
教	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版	佐藤まゆみ、林直子 編	南江堂	2023

・成績評価方法

【総合的評価】定期試験80%、課題:事例患者の看護過程10%、事前課題(5回)の提出状況および内容10%の合計100%にて評価する。課題:事例患者の看護過程および事前課題(5回)の評価基準については、初回授業で提示する。

【形成的評価】各回の講義において習得度チェック(国家試験問題等による確認テスト)を行い、学生の習得度を確認する。なお、習得度チェックについては成績に反映しない。各回の講義において、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、5～8	1、2、5、6		80					80
2、4	3			10				10
3	4			10				10
合計		0	80	20	0	0	0	100

(備考)

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・提出された事前課題は、授業内で解説をし、学生にフィードバックする。課題:事例患者の看護過程については、コメントをつけて学生にフィードバックする。どちらの課題も評価後、講義最終日に返却する。

・習得度チェックについては、講義内に解答・解説を行う。

・授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次の授業で回答する。

【その他】

・各回、事例について学生同士で考える時間を設け、全体および個々の理解を深める。

・能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slide」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 成人看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の業務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

成人慢性期看護学演習

ナンバリング:N2-S1-E04

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義・演習/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

演習やグループワークを通して、成人期における健康障害をもった対象者の経過事例を用いて問題解決能力を養い、対象の状況にあった適切な看護技術や看護援助の実践を体験により学ぶ。また、学修した知識を看護実践に統合し活用する力を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

成人慢性期看護に必要な概念・理論を用いて、慢性疾患をもつ人と家族の特徴を理解し、患者家族が抱える問題を解決するための問題解決能力を養う。また、慢性疾患をもちながら生きる人と家族を生活者として捉える視点を持ち、セルフマネジメント及び生活の立て直しに必要な看護援助について説明できる。さらに、終末期患者ができる限り良好なQOLを実現するための看護援助について考察できる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 慢性の病とともに生きる人とその家族を包括的にアセスメントする方法を説明できる。
2. アセスメントを統合して対象の全体像を理解し看護問題を見出すことができる。
3. 演習を通して慢性期看護に必要な看護援助を理解し、指導のもと安全に実施できる。
4. 成人を対象としたセルフマネジメントを支援する看護援助を学び、強みをいかした教育的関わりを実施できる。
5. 慢性の病とともに生きる人の苦痛や苦悩を共感的に理解し、全人的苦痛を緩和するための看護援助について考察できる。
6. 病気や障がいと共に生きること、死に至る過程について自分の考えを述べることができる。

・授業日程

西1-B講義室、マルチ4A講義室、2階実習室、3階実習室、
会場：災害時地域医療支援教育センター研修室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/29 木 3限	【授業内容】演習ガイダンス 糖尿病看護の実践(アセスメント) ・糖尿病患者のアセスメントから全体像を理解し、看護問題を見出すことができる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】成人慢性期看護方法論の講義資料、教科書で復習する 【事後学修:60分】成人慢性期看護に必要な概念・理論について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教

10/29 木 4限	【授業内容】糖尿病患者への看護(フットケア) ・糖尿病看護におけるフットケアの意義、特徴を説明することができる ・足の観察から、対象の生活を聞くことができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:60分】成人慢性期看護方法論で学修した「代謝・内分泌系の障害を有する人と家族への看護」について復習し、WebClassにあるフットケアに関する資料で学修する 【事後学修:60分】糖尿病看護におけるフットケアを実践するためのポイント、手順について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/9 月 3限	【授業内容】糖尿病患者への看護(インスリン自己注射、血糖自己測定) ・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる ・インスリン自己注射、血糖自己測定の手順を説明できる ・インスリン自己注射、血糖自己測定を根拠に基づいて実施できる ・感染と安全に配慮してインスリン自己注射や血糖自己測定の指導ができる 【関連するSBO】3、4 【事前学修:60分】(事前課題提出①)事前に配付するインスリン自己注射および血糖自己測定に関する資料や教科書等で学修し、糖尿病患者へのインスリン自己注射、血糖自己測定の指導について要点をまとめる 【事後学修:60分】インスリン自己注射および血糖自己測定について指導するための要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/9 月 4限	【授業内容】糖尿病患者への看護(インスリン自己注射、血糖自己測定) ・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる ・インスリン自己注射、血糖自己測定の手順を説明できる ・インスリン自己注射、血糖自己測定を根拠に基づいて実施できる ・感染と安全に配慮してインスリン自己注射や血糖自己測定の指導ができる 【関連するSBO】3、4 【事前学修:60分】(事前課題提出①)事前に配付するインスリン自己注射および血糖自己測定に関する資料や教科書等で学修し、糖尿病患者へのインスリン自己注射、血糖自己測定の指導について要点をまとめる 【事後学修:60分】インスリン自己注射および血糖自己測定について指導するための要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/12 木 3限	【授業内容】糖尿病患者への看護(アセスメント、食事療法と運動療法) ・自分自身の生活習慣を振り返り、自分にとっての生活習慣の意味について説明できる ・血糖コントロール不良である糖尿病患者のアセスメントから全体像を理解し、看護問題を見出すことができる ・生活者としての視点を持ち、患者のセルフマネジメントおよび生活の再構築に必要な看護援助について説明できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】(事前課題提出②)演習前の1日の食事や運動、日頃の生活習慣をまとめる 【事後学修:60分】糖尿病患者のセルフマネジメントに必要な看護援助について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/12 木 4限	【授業内容】糖尿病患者への看護(アセスメント、食事療法と運動療法) ・自分自身の生活習慣を振り返り、自分にとっての生活習慣の意味について説明できる ・血糖コントロール不良である糖尿病患者のアセスメントから全体像を理解し、看護問題を見出すことができる ・生活者としての視点を持ち、患者のセルフマネジメントおよび生活の再構築に必要な看護援助について説明できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】(事前課題提出②)演習前の1日の食事や運動、日頃の生活習慣をまとめる 【事後学修:60分】糖尿病患者のセルフマネジメントに必要な看護援助について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/18 水 3限	【授業内容】糖尿病看護の実践(グループワーク) ・糖尿病患者の生活の再構築に必要な看護援助について、具体的なケアプランを立案できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】(事前課題提出③)授業内で提示する事例についてケアプランをまとめる 【事後学修:60分】糖尿病患者の生活の再構築に必要な看護援助について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教

11/18 水 4限	【授業内容】がん患者への看護(グループワーク) ・病状が進行しているがん患者について全人的視点でアセスメントすることができる 【関連するSBO】1、2、4、5 【事前学修:60分】緩和ケア論で学修している「がん患者の身体的苦痛」「がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケア」について復習し、要点をまとめる 【事後学修:60分】がん患者の全人的苦痛について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/24 火 3限	【授業内容】がん患者への看護(コミュニケーション・ロールプレイ) ・ロールプレイを通してがん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションを実践できる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:60分】緩和ケア論で学修している「緩和ケアにおけるコミュニケーション」について復習し、要点をまとめる 【事後学修:60分】がん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/24 火 4限	【授業内容】がん患者への看護(コミュニケーション・ロールプレイ) ・ロールプレイを通してがん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションを実践できる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:60分】緩和ケア論で学修している「緩和ケアにおけるコミュニケーション」について復習し、要点をまとめる 【事後学修:60分】がん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/26 木 3限	【授業内容】がん患者への看護(全人的苦痛に対する緩和ケア) ・がん患者の痛みの閾値を上げるケア、苦痛緩和のためのケアについて理解し実践できる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:60分】教科書や文献等でがん患者の痛みの閾値を上げるケアについて調べる 【事後学修:60分】がん患者の痛みの閾値を上げるケアについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/26 木 4限	【授業内容】がん患者への看護(全人的苦痛に対する緩和ケア) ・がん患者の痛みの閾値を上げるケア、苦痛緩和のためのケアについて理解し実践できる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:60分】教科書や文献等でがん患者の痛みの閾値を上げるケアについて調べる 【事後学修:60分】がん患者の痛みの閾値を上げるケアについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/30 月 2限	【授業内容】終末期における患者・家族への看護(喪失体験シミュレーション) ・喪失体験のシミュレーションを通して自らの死生観について考えることができる 【関連するSBO】5、6 【事前学修:30分】自分自身が大切にしているものを考える 【事後学修:90分】(課題レポート提出)自分自身の死生観についてレポートにまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/30 月 3限	【授業内容】終末期における患者・家族への看護(エンゼルケア) ・終末期における患者・家族へのケアの意義、特徴について説明できる ・その人らしさを保つエンゼルメイクを実施できる 【関連するSBO】1、3、5、6 【事前学修:60分】(事前課題提出④)緩和ケア論で学修した「臨死期にある患者・家族へのケア」について復習および動画を視聴し、エンゼルケアの要点についてまとめる 【事後学修:60分】エンゼルケアの手順、終末期における患者・家族へのケアの要点についてまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教
11/30 月 4限	【授業内容】終末期における患者・家族への看護(エンゼルケア) ・終末期における患者・家族へのケアの意義、特徴について説明できる ・その人らしさを保つエンゼルメイクを実施できる 【関連するSBO】1、3、5、6 【事前学修:60分】(事前課題提出④)緩和ケア論で学修した「臨死期にある患者・家族へのケア」について復習および動画を視聴し、エンゼルケアの要点についてまとめる 【事後学修:60分】エンゼルケアの手順、終末期における患者・家族へのケアの要点についてまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第4版	鈴木久美 他 編	南江堂	2023
教	成人看護学① 成人看護学概論/成人保健 第7版	黒江ゆり子 編	メディカルフレンド社	2021
参	ナーシング・グラフィカ 成人看護学(6) 緩和ケア 第3版	宮下光令 編	メディカ出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験(多肢選択)60%、演習への取り組み状況30%、レポート10%の合計100%で評価する。なお、演習の取り組み状況は、事前学修を通じた演習の準備性、演習での主体的・積極的態度などで評価する(演習ガイダンス時に説明する)。
 【形成的評価】アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、3～8	1～5		60	30				90
2	6			10				10
合計		0	60	40	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業に関する質問は授業中およびアンケートフォーム(Google Forms)で受付ける。全体に伝えるべき内容は、授業時間内もしくはWebClassでフィードバックする。

課題レポートの提出はWebClassを活用し、採点后にコメントを付し返却する。

【その他】

各回、学生同士でディスカッションする時間を設け、全体および個々の理解を深める。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 成人看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
演習	爪切り・爪やすり	25	フットケア演習
演習	人工皮膚パッド シリカゲル注射練習用	50	フットケア演習

老年看護方法論

ナンバリング:N2-S1-F02

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

高齢者の健康障害は、生活習慣を反映した個性があることを学ぶ。また、健康障害の要因をアセスメントし、高齢者のQOLの向上に向けた看護を学ぶ。さらには、根拠をもち看護実践ができることを重視する。高齢者のヒストリー聴取の技術、高齢者のバイタルサイン測定の特徴、尿失禁のある患者の看護、脳血管障害のある患者の看護(麻痺・嚥下障害のある人の看護)および認知症のある人の看護を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

ライフステージの最終にあり、加齢に伴う身体的変化や慢性疾患を多く持つ高齢者の特性をとらえることができる。また、様々な特性に応じた高齢者の持てる力を引き出す援助の方法を考察することで、高齢者の尊厳とQOLを支える看護のあり方を検討することができる。そして、高齢者の生活する場が多様であることを理解することで、その人らしく生きるための支援のあり方について計画することができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 高齢者が最期までその人らしく生活するための支援について計画できる ・高齢者の加齢性変化や特徴的な症状に応じた援助方法を計画できる。 ・高齢者の強みやもてる力を引き出す支援について計画できる。 ・患者背景から高齢者の症状の変化について予測し、状況に応じた支援について計画できる。 2. 高齢者の生活史をふまえた目標志向型の看護過程を展開できる。 ・高齢者の生活史から今後の生活支援について予測できる。 ・急性期、慢性期、回復期、終末期など各時期に応じた高齢者への支援について予測できる。 3. 高齢者を支援する際の自尊心や尊厳に配慮した態度について説明することができる。
--

会場：西1-B講義室、マルチ4A講義室、マルチ2AB実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/17 (木) 4限	【授業内容】高齢者の口から食べることを支える看護 ・高齢者の食事に関する特徴を理解しアセスメントできる。 ・高齢者の食事に関する個性を考慮した援助方法を計画できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者の食事に関する特徴について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者食事の援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教

9/28 (月) 2限	【授業内容】高齢者の身体的な加齢性変化を支える看護 ・高齢者の加齢に伴う運動器系、感覚器系の身体変化に対する援助方法について説明できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者の運動器系、感覚器系の身体変化について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者の運動器系の身体変化に応じた援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
9/28 (月) 3限	【授業内容】高齢者の排泄・清潔・衣生活を支える看護 ・便秘、下痢、失禁がある高齢者の特徴を理解しアセスメントできる。 ・高齢者の清潔、衣生活の特徴を理解しアセスメントできる。 ・高齢者の排泄、清潔、衣生活に関する個性性を考慮した援助方法を計画できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者の排泄・清潔・衣生活の特徴について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者の排泄・清潔・衣生活の援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
9/30 (水) 3限	【授業内容】高齢者の活動と休息を支える看護 ・高齢者の活動と休息に関する特徴を理解しアセスメントできる。 ・高齢者の活動と休息に関する個性性を考慮した援助方法を計画できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者の活動・休息に関する特徴について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者の活動・休息の援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
9/30 (水) 4限	【授業内容】高齢者の歩行・移動を支える看護 ・高齢者の歩行、移動に関する特徴を理解しアセスメントできる。 ・高齢者の歩行、移動に関する個性性を考慮した援助方法を計画できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者の歩行・移動に関する特徴について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者の歩行・移動に関する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
10/5 (月) 4限	【授業内容】目標志向型の看護過程の展開① ・高齢者の強みやその人らしさを活かした目標志向型の看護過程の展開について説明できる。 【関連するSBO】2、3 【事前学修:30分】目標志向型の看護過程について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:600分】目標志向型の看護過程を展開する	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
10/6 (火) 4限	【授業内容】高齢者に特徴的な疾患・症状を支える看護① ・高齢者に多い特徴的な疾患や症状に応じた援助方法について予測できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者に多い特徴的な疾患や症状について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者に多い特徴的な疾患や症状に対する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
10/8 (木) 4限	【授業内容】高齢者に特徴的な疾患・症状を支える看護② ・高齢者に多い特徴的な疾患や症状に応じた援助方法について予測できる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】 ・WebClassにある動画を事前に視聴してくる ・高齢者に多い特徴的な疾患や症状について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:90分】高齢者に多い特徴的な疾患や症状に対する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教

10/19 (月) 2限	【授業内容】入退院・リハビリテーション時の高齢者の看護 ・高齢者の入退院に関する支援について説明できる。 ・高齢者のリハビリテーションに関する援助方法について説明できる。 【関連するSBO】2、3 【事前学修:30分】高齢者の入退院およびリハビリテーションについて文献やテキスト等を調べる 【事後学修:90分】高齢者の入退院およびリハビリテーションに対する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
10/26 (月) 3限	【授業内容】高齢者の楽しみ・生きがいづくりの支援 ・高齢者の楽しみ、生きがいにつながるレクリエーションを計画できる 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者施設で実施されているレクリエーションについて文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】計画したレクリエーションについて振り返り、修正を行う	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
11/4 (水) 2限	【授業内容】認知症の看護 ・認知症の病態や症状に応じた援助方法について説明することができる 【関連するSBO】1、3 【事前学修:30分】認知症の病態や症状について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:90分】認知症に対する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
11/10 (火) 3限	【授業内容】うつ・せん妄の看護、薬物・手術療法時の高齢者の看護 ・うつ、せん妄に対する状況に応じた援助方法を計画することができる ・高齢者の薬物および手術療法時の援助方法について計画することができる 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】うつ病・せん妄・高齢者の薬物および手術療法について文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】うつ病・せん妄・高齢者の薬物および手術療法に対する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
11/17 (火) 3限	【授業内容】高齢者に多い皮膚障害や感染症に対する看護 ・高齢者に多い創傷に対する予防策について計画することができる。 【関連するSBO】1、3 【事前学修:60分】高齢者に多いスキントラブルについて文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者に多いスキントラブルに対する援助方法の要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
11/25 (水) 3限	【授業内容】高齢者の終末期看護 ・終末期にある高齢者への個別性を考慮した援助方法について計画できる。 【関連するSBO】2、3 【事前学修:60分】高齢者の終末期に関する文献やテキスト等を調べる 【事後学修:120分】高齢者の終末期に対する援助方法について要点をまとめる	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教
12/2 (水) 3限	【授業内容】目標志向型の看護過程の展開② ・高齢者の強みやその人らしさを活かした目標志向型の看護過程を展開し、その修正点をあげることができる。 【関連するSBO】2、3 【事前学修:600分】目標志向型の看護過程を展開する 【事後学修:180分】目標志向型の看護過程について振り返りを行い修正を行う	地域包括ケア講座 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教

・教科書・参考書等		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(2) 高齢者看護の実践 第7版	堀内ふき 他 編	メディカ出版	2025
参	看護学テキストNICE 老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する 改訂第4版	真田弘美 他 編	南江堂	2023

・成績評価方法

【総括的評価】 筆記試験30%、課題70%とし総合的に評価する。試験は論述式、多肢選択式問題等の方式で行う。課題70%の評価基準は初回の授業内で提示する。 【形成的評価】 各授業の小テストを次回授業時開始時に実施し、学習状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～5,7,8	1～3			70				70
5	2,3		30					30
合計		0	30	70	0	0	0	100

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 試験結果や授業に関するQ & Aは、Slidoやレスポンスカードを活用し、その中でも全体に伝える内容は次回の授業の際に説明する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 老年看護学 【その他】 双方向性型授業ツールとしてSlidoを用い、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	高齢者体験セット	1	高齢者体験に使用
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	ノート型PC	2	講義資料およびインターネットクリッカーの提示

小児看護方法論

ナンバリング:N2-S1-G02

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

健康障害をもつ子どもとその家族に対して必要な看護援助の内容や方法、適切な看護を行うための基礎的知識を学ぶ。主な内容としては、健康障害が子どもと家族へ及ぼす影響、急性期・慢性期・周手術期・終末期にある小児の看護、行動制限に伴う小児の看護および事故防止と感染予防等についての知識と看護援助の方法について学修する。さらに、健康障害を抱えながら生活している子どものQOLを向上させ、苦痛を緩和する看護についても併せて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

健康の保持増進の支援ならびに健康問題をもつ子どもとその家族に対する看護方法を理解するとともに、看護師の役割について理解することができる。さらに、健康問題に伴う治療や援助が必要な子どもとその家族に対する看護について発展的に考えることができる。
--

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. あらゆる健康レベルの子どもに対して、健康の保持増進を促す看護について具体的な方法を述べることができる。
2. 病気を抱えながら生活している子どもとその家族の問題を理解し、併せて必要な看護援助を理解できる。
3. 健康問題および治療が子どもとその家族に及ぼす影響について理解できる。
4. 子どもの成長・発達を考慮した援助を行うための基礎的な知識を身につけることができる。
5. 成長発達に応じた身体的・精神的な健康状態をアセスメントする視点を説明できる。
6. 急激な健康破綻をきたす小児の疾患や外傷による病態をアセスメントする視点を説明できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室		
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/16 水 3限	【授業内容】健康問題が子どもと家族へ及ぼす影響 ・病気や治療、入院に対する子どもの認知、反応を述べることができる ・健康問題をもつ子どもとその家族に関わる看護師の基本的姿勢について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修：120分】小児の認知の発達(ピアジェ)について復習する 【事後学修：120分】子どものストレス反応についてまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
9/18 金 4限	【授業内容】子どもの生活環境における安全及び感染予防① ・小児期における事故の特徴とその対策を理解できる 【関連するSBO】1、2、5 【事前学修：120分】新生児から乳児、幼児、学童までの成長発達の特徴を復習する 【事後学修：120分】子どもの事故の特徴と予防について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授

9/29 火 3限	【授業内容】 子どもの生活環境における安全及び感染予防② ・小児に特有の感染症と予防接種について理解できる 【関連するSBO】 1、2 【事前学修：120分】 小児期の感染症について総復習する 【事後学修：120分】 小児期の感染症への対策について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
9/30 水 1限	【授業内容】 急性期にある小児の看護① ・急性期の子どもと家族の特徴を述べるができる ・急性期の子どもと家族に必要な看護を述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、5、6 【事前学修：120分】 急性期に該当すると思われる疾患についてまとめる 【事後学修：120分】 急性期にある小児の看護について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
10/1 木 3限	【授業内容】 急性期にある小児の看護② ・急性期に生じやすい症状(発熱、脱水、下痢、嘔吐、呼吸困難、けいれん)とその看護について説明できる 【関連するSBO】 2、3、4、5、6 【事前学修：120分】 急性期に該当すると思われる疾患と症状についてまとめる 【事後学修：120分】 急性期にある小児の看護について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
10/7 水 4限	【授業内容】 慢性期にある小児の看護① ・慢性期の子どもと家族の特徴を述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 慢性期に該当すると思われる疾患についてまとめる 【事後学修：120分】 慢性期にある小児の看護について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
10/15 木 1限	【授業内容】 慢性期にある小児の看護② ・慢性期の子どもと家族に必要な看護を述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 慢性期に該当すると思われる疾患についてまとめる 【事後学修：120分】 慢性期にある小児の看護について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
10/22 木 1限	【授業内容】 集中治療を受けている小児の看護 ・小児クリティカルケア看護について理解を深めることができる 【関連するSBO】 2、3、4、6 【事前学修：120分】 循環不全、呼吸不全、意識障害、多臓器不全など重篤な状態に陥る疾患についてまとめる 【事後学修：120分】 小児クリティカルケア看護について講義内容をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
10/28 水 1限	【授業内容】 入院児のQOL向上と苦痛を緩和する看護 ・入院児のQOLを高める看護を述べるができる ・病児の遊びについて、必要性、援助の方法を述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 入院児のQOL低下の要因ならびに現代の小児療養環境の問題点をまとめる 【事後学修：120分】 子どもへの遊びの効果をまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
11/4 水 4限	【授業内容】 外来受診を必要とする小児の看護 ・小児科外来の特徴について説明することができる ・小児科外来で必要な看護について理解することができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 子どもの「有訴率」「通院率」を調べ、それぞれの疾患についてまとめる 【事後学修：120分】 小児科外来看護の役割についてまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
11/11 水 2限	【授業内容】 痛みのある小児の看護 ・子どもの痛みの特徴について説明することができる ・痛みのある子どもと家族に対する看護について理解することができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 疼痛に対する非薬物的看護ケアについて調べておく 【事後学修：120分】 痛みのある小児の看護についてまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授
11/19 木 3限	【授業内容】 手術を受ける小児の看護 ・手術が子どもと家族に及ぼす影響と反応について説明できる ・周手術期における子どもと家族に対する看護について、その時期ごとに述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 手術を必要とする疾患についてまとめる 【事後学修：120分】 手術を受ける小児の看護についてまとめる	成育看護学講座 高橋 亮 教授

11/26 木 2限	【授業内容】終末期にある小児の看護 ・子どもの死の概念発達を説明することができる ・終末期にある子どもと家族に必要な看護について述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、5 【事前学修：120分】 子どものアニミズム的知覚について復習ならびに調べておく 【事後学修：120分】 終末期にある小児と家族の看護についてまとめておく	成育看護学講座 高橋 亮 教授
12/2 水 2限	【授業内容】ハイリスク新生児の看護 ・ハイリスク新生児の特徴を述べるができる ・ハイリスク新生児のケアの方法を挙げるができる 【関連するSBO】 2、3、4、6 【事前学修：120分】 ハイリスク新生児、重症の子どもに接する看護師に求められる役割についてまとめておく 【事後学修：120分】 講義内容についてまとめておく	成育看護学講座 伊東 佐由美 講師
12/8 火 3限	【授業内容】災害を受けた小児への看護 ・被災後の子どもの反応とその影響について述べるができる ・被災後の子どもへ援助について述べるができる 【関連するSBO】 2、3、4、6 【事前学修：120分】 多くの子どもが犠牲者・被害者となった災害例を調べておく 【事後学修：120分】 災害を受けた小児への看護についてまとめておく	成育看護学講座 高橋 亮 教授

・教科書・参考書等

		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 改訂第5版	二宮啓子/今野美紀 編	南江堂	2022年

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験100% 【形成的評価】 講義中の質疑応答などを通して理解度を確認し、講義内容ならびに進度の評価を行う。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～8	1～6		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 授業中に課題を課す場合は、コメントを付して返却する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3)：専門分野 小児看護学 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 小児専門病院ならびに大学病院における看護師の実務経験を有する教員が専門領域に関する教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

母性看護方法論

ナンバリング:N2-S1-H02

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

新しい家族の誕生のスタート時期にあたる妊娠期および分娩期にある対象の身体的・心理社会的特性を理解する。そして、母児ともに健康な妊娠経過および分娩経過をたどることを促す基本的な看護のあり方を学ぶ。具体的には、妊娠期の母体の生理的变化、胎児の発育と生理的变化、妊娠期の心理社会的特性、妊娠期の看護、分娩の要素と経過、分娩期の看護、各期の異常、看護過程(事例展開)、看護ケアの実践について学修する。
--

・教育成果(アウトカム)

妊娠期・分娩期にある対象者の特性を学ぶことにより、妊婦・産婦および胎児の健康の保持増進と異常を予防するために必要な母性看護の基本的知識および看護ケアの基本を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 妊娠経過に応じた母体の身体的、心理・社会的変化・特徴について説明できる。 2. 妊娠経過に応じた胎児の成長・発達について説明できる。 3. 妊娠期および分娩期の母児ならびに家族の生活と健康状態との関連をアセスメントできる。 4. 妊娠期および分娩期の母児とその家族の健康を保持増進するために必要な看護援助方法について説明できる。 5. 健康課題を有する妊娠期および分娩期の母児と家族の状態をアセスメントする方法について説明できる。 6. 先天異常や障がいをもつ新生児を迎えた家族の心理的特徴や生活上の課題をアセスメントする視点を説明できる。 7. 母性領域の看護過程の特徴をふまえ、事例を通して看護過程を展開、看護計画を立案できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/28 金 1限	【授業内容】オリエンテーション/妊娠の生理/妊娠中の心理社会的変化 ・妊娠の成立と初期症状および診断方法を理解できる ・妊娠期間の表現方法を理解できる ・妊娠によって生じる心理社会的変化を理解できる 【関連するSBO】1、2、3、5 【事前学修:90分】 ・「母性看護学概論」(2年前期)5/11の授業内容を復習する ・教科書(2)「妊娠の生理:妊娠に関連する定義、妊娠の成立」をもとに予習する ・教科書(2)「出産と育児の準備のための看護:妊婦の心理社会的変化と看護」をもとに予習する 【事後学修:90分】 ・授業内容に関連する教科書(2)および講義資料をもとに重要点をまとめる ・講義後に配布する確認ドリルを活用し、重要点を復習する	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/2 金 1限	【授業内容】妊娠にともなう母体の変化と胎児の成長 ・妊娠に伴う生殖器の変化と生殖器以外の身体的変化を理解することができる ・胎盤形成と胎児発育について理解することができる 【関連するSBO】1、2、3、5 【事前学修:90分】教科書(2)P18～21の「妊娠期の正常な経過」「胎児の器官形成と発育」をもとに、妊娠各期の母体の状況を予習する 【事後学修:90分】妊娠にともなう母体的変化、胎児の発育に関する看護師国家試験の過去問題(WebClass掲載)を解く	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/2 金 2限	【授業内容】妊娠中におこるマイナートラブル ・妊娠中に起こりやすい不快症状の発生機序を理解し、看護の要点を述べることができる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:90分】講義範囲の教科書を読み妊娠期に起こるマイナートラブルにはどのようなものがあるか予習する 【事後学修:90分】妊娠中におこるマイナートラブルに関する看護師国家試験の過去問題(WebClass掲載)を解く	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/5 月 1限	【授業内容】妊婦健康診査 ・妊婦健康診査における母子の健康状態の評価と看護を理解することができる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:90分】講義範囲の教科書を読み、妊婦健康診査の基礎項目を覚えてくる 【事後学修:90分】レオポルド触診の手法と実施の要点、胎児の「胎位」「胎向」について復習する	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/14 水 1限	【授業内容】健康維持のためのセルフマネジメント ・妊娠中の日常生活を健やかに過ごすためのケアの必要性とその要点を説明することができる 【関連するSBO】1、2、3、4、5 【事前学修:90分】教科書(2)P55妊婦のセルフマネジメントを支えるためのガイダンスと目標を読み理解してくる 【事後学修:90分】健康維持のためのセルフマネジメントの要点をまとめる	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/21 水 2限	【授業内容】妊娠期の異常① ・妊娠期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響を理解できる ・異常時の対応および早期発見・予防の基本について説明できる 【関連するSBO】3、4、5 【事前学修:90分】 ・教科書(2)妊娠期の異常に該当する部分および第1～5回の講義内容をもとに予習する 【事後学修:90分】 ・教科書(2)および講義資料をもとに重要点をまとめる ・講義後に配布する確認ドリルを活用し、重要点を復習する	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授

10/28 水 3限	【授業内容】妊娠期の異常② ・妊娠期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響を理解できる ・異常時の対応および早期発見・予防の基本について説明できる 【関連するSBO】3, 4, 5 【事前学修:90分】 ・教科書(2)妊娠期の異常に該当する部分および第1～6回の講義内容をもとに予習する 【事後学修:330分】 ・教科書(2)および講義資料をもとに重要点をまとめる ・講義後に配布する確認ドリルを活用し、重要点を復習する ・妊娠期に関する内容(第1～7回)のすべての講義資料と教科書の該当ページを読み返し、重要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
11/5 木 4限	【授業内容】看護過程① ・ウェルネスの視点をもった母性領域の看護過程の特徴を説明できる。 ・分娩期・産褥期・新生児期につながる重要な妊娠期の看護過程(情報収集、アセスメント)を説明できる 【関連するSBO】7 【事前学修:90分】事前に提示された事例について配布された様式に基本情報を記入する 【事後学修:90分】母性領域の看護過程の特徴を復習する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
11/11 水 4限	【授業内容】分娩の生理、分娩機序 ・分娩の生理を理解できる ・胎児心拍陣痛図(CTG)を判読できる 【関連するSBO】3, 4, 5 【事前学修:90分】教科書(2)P135分娩に関する定義、分娩の分類、分娩経過をノートに記載する 【事後学修:90分】胎児心拍陣痛図(CTG)の判読の練習をする	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
11/13 金 1限	【授業内容】分娩第1期・第2期の看護① ・分娩進行が順調か否かアセスメントできる ・小型骨盤模型を用いて小グループで胎児の産道回旋の基本について体験的に理解する 【関連するSBO】3, 4, 5 【事前学修:90分】教科書(2)P137分娩の三要素をノートに記載する 【事後学修:90分】胎児の産道回旋について自宅にあるぬいぐるみ等を使用し復習する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
11/25 水 2限	【授業内容】分娩期の異常①/分娩第1期・第2期の看護② ・異常時の対応および早期発見・予防の基本について説明することができる ・分娩期の異常分娩期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響を説明できる ・心身ともに安全な分娩に向けて産婦の基本的ニーズの看護について説明できる 【関連するSBO】3, 4, 5 【事前学修:90分】微弱陣痛、遷延分娩、分娩停止の定義と前置胎盤、常位胎盤早期剥離、切迫早産の比較をノートに記載する 【事後学修:90分】自宅にあるぬいぐるみ等を使用し、教科書(2)P161～166分娩第1期、2期の看護とP180～182回旋の異常を復習する。テキストP192胎児心拍数一過性変動の分類を確実に読み取れるように復習する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
12/3 木 2限	【授業内容】分娩第3期・第4期の看護 ・分娩第3期および第4期の分娩経過と観察のポイントについて説明できる ・分娩第3期および第4期に起こりうる分娩期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響を説明できる ・早期母子接触の利点と留意点を説明できる 【関連するSBO】3, 4, 5 【事前学修:90分】教科書(2)P145 胎盤娩出前後の子宮・出血の変化と代表的な胎盤剥離兆候4つと胎盤娩出様式2つをノートに記載する。 【事後学修:90分】分娩第3期・第4期の看護および異常について要点をまとめる	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

12/7 月 3限	【授業内容】家族の看護 ・家族を中心としたケアの概念について説明できる ・先天異常、障害をもつ新生児の家族ケアについて説明できる ・母子保健に関する施策を述べられる 【関連するSBO】6 【事前学修:90分】多様なこどもの成長と暮らし(QRコード配布)をみる 【事後学修:330分】事後配布された「オランダへようこそ」を読み障がいを持つ子どもの母親と家族に対する看護について考察する (提出 100字程度 ㇏切12月9日17時WebClass)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
12/9 水 3限	【授業内容】看護過程② ・健康問題のある妊婦の事例に対する看護過程を展開することができる 【関連するSBO】7 【事前学修:90分】切迫早産の定義、診断と治療・看護のポイントについて復習する。 【事後学修:90分】本講義のディスカッションを踏まえて、看護計画のO-P、T-P、E-Pの不足分を追記する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
12/11 金 2限	【授業内容】看護過程③ ・産褥期につながる重要な情報である分娩期の情報収集とアセスメントができる ・妊娠期、分娩期のアセスメントを関連図に整理し看護目標と看護計画を書く事ができる。 【関連するSBO】7 【事前学修:90分】事前に提示された事例について配布された様式に分娩期の情報を記入する 【事後学修:90分】本講義のディスカッションを踏まえて、看護計画のO-P、T-P、E-Pの不足分を追記する(提出 ㇏切12月15日(火)看護学部事務室前)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(1) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 第3版	中込さと子 他 編	メディカ出版	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(2) 母性看護の実践 第3版	小林康江 他 編	メディカ出版	2024
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学(3) 母性看護技術 第6版	荒木奈緒 他 編	メディカ出版	2024

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験70%(多肢選択式問題、論述)、12/7の事後課題10%、看護過程20%にて評価する。課題と看護過程の評価基準は講義内で提示する。								
【形成的評価】講義ごとにレスポンスカード等で理解度を確認し、要点の振り返りを行う等、フィードバックする。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1-5、7-8	1~5		70					70
1-5、7-8	6			10				10
1-5、7-8	7			20				20
合計		0	70	30	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 各回の講義では、PBL(問題解決型学習)やグループワーク、ペアワークによって個々の理解を深める。授業内容の理解度についてレスポンスカードやWebClassを使用し、適宜確認しながら進めていく。レスポンスカードや課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 助産師(別表1):基礎助産学 看護師(別表3):専門分野 母性看護学
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 分娩取扱医療機関等における助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	小型骨盤模型と胎児を模した人形	45	グループワークで使用

精神看護方法論

ナンバリング:N2-S1-I02

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

精神看護を行うための考え方や実践方法を学び、精神保健領域において看護援助を行う上での基礎的な知識と技法を習得する。そのため精神医療の現状や課題について説明でき、精神疾患患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係を理解し、精神医学の診断・治療はどのような理論や基準とともに行われているのか、さらに生活支援のための保健医療福祉サービスの実態および精神保健看護における課題について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

精神保健上の問題を抱えている対象及び家族に対する適切なケアを実施するための基礎的な知識と技術を学修する。 精神保健上の問題を抱えながらも自分の人生の主導権を持ち、自分自身の独自性を価値あるものと認め、社会に参加し、そして希望を創造し実現していくその過程(リカバリー)について説明できる。同時に、精神医療・福祉における法律および制度、地域社会の変化や精神保健・医療・福祉の動向、人の行動変容に必要な基礎理論と共に、精神障害の診断と治療、精神薬理の実態、療養環境と治療の遂行に伴う安全性の確保など、精神科領域の治療環境を踏まえた治療の全体像を捉えることができる。 事例に基づいた事前課題を学修し授業に臨むことで、主体的に物事を探求する姿勢を身につけることができる。毎回の授業では、事前学修を活用しながらグループディスカッションを通して、事例に基づいた疾患や治療の特徴を理解するとともに、対象の生活者としての側面、心理・社会的側面などを対象の経験や希望を共有しながらアセスメントし、対象との関係を成立させるための関わりやリカバリーに向けたケアの方向性を、生み出すことができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 精神保健上の問題を抱えている対象及び家族の多様な価値観、生活背景を考慮した人間の尊厳及び人権擁護に向けた行動を列挙できる。 2. 精神保健上の問題を抱えている対象及び家族の意思決定を支援する方法を説明できる。 3. 精神保健上の問題を抱えている対象及び家族との協働的な関係を形成する方法を説明できる。 4. 精神保健上の問題を抱えている対象及び家族が、地域で生活できるよう社会資源の活用を説明できる。 5. 事例に基づき、精神保健上の問題を抱えている対象及び家族の「生きにくさ」や「ストレス」、看護の視点から対象の経験や希望を共有しながらアセスメントし、ケアの方向性を生み出すプロセスを説明できる。 6. 精神科医療における治療や治療環境が及ぼす影響を踏まえた個人や環境に働きかける看護援助について説明できる。 7. 精神科医療における医療事故の特徴と安全を守るケアについて説明できる。 8. 精神科医療における早期からの治療やリハビリテーションの必要性と効果について説明することができる。 9. 災害時など急激な心理的危機状態にある人をアセスメントする視点を説明できる。 10. 精神保健上の問題を抱えている対象及び家族が回復のために活用できるセルフヘルプグループを列挙できる。 11. 看護職などの対人援助職に対するケアの必要性を説明できる。
--

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/15 火 3限	【授業内容】回復を支援する(ディスカッションと講義) ・リカバリー及びエンパワメント、ストレングス概念について説明できる ・リカバリーを意識した看護の関わりを具体的に述べるができる ・セルフヘルプグループによる回復について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、5、10 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。必要事項を調べ、課題ワークシートを実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】リカバリー、エンパワメント、ストレングス概念の要点をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
9/17 木 1限	【授業内容】治療環境と看護①(ディスカッションと講義) ・精神科病棟や精神科入院の特徴を説明できる ・入院の意味を理解する治療環境をいかに作るのかを説明できる ・入院から退院までのケア展開を説明できる 【関連するSBO】1、2、3、5、6 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、課題ワークシートを実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】精神科入院の特徴や治療環境をまとめる	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
9/24 木 2限	【授業内容】治療環境と看護②(ディスカッションと講義) ・入院患者の安全を守る環境とケアについて説明できる ・隔離と身体的拘束の意味と最小化に向けた取り組みについて説明できる ・精神科における緊急事態に対処するための方法について説明できる 【関連するSBO】1、5、6、7 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】患者の安全を守る環境とケアの要点をまとめる	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
10/1 木 2限	【授業内容】地域における精神看護(ディスカッションと講義) ・精神障害を持つ人の地域生活を支えるための法律及び制度について説明できる ・活用できる社会資源を挙げることができる ・地域で精神障害を持つ人を支援する際の原則について説明できる 【関連するSBO】4、5 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】法律や制度、活用できる社会資源の要点をまとめる	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
10/7 水 1限	【授業内容】回復プロセスに応じた治療と看護①(ディスカッションと講義) ・統合失調症を持つ人の生きにくさと回復プロセスについて説明できる ・統合失調症を持つ人の家族が抱える困難について説明できる 【関連するSBO】2、3、5 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】生きにくさや困難の特徴をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
10/15 木 2限	【授業内容】回復プロセスに応じた治療と看護②(ディスカッションと講義) ・統合失調症の治療と治療の影響を理解した看護について説明できる ・抗精神病薬の効果と有害反応を挙げることができる ・リカバリー志向の看護の方向性をグループディスカッションを通じて生み出すことができる 【関連するSBO】5、6、8 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】統合失調症の治療、看護について要点をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
10/20 火 4限	【授業内容】回復プロセスに応じた治療と看護③(ディスカッションと講義) ・気分障害を持つ人の生きにくさと回復プロセスについて説明できる ・気分障害を持つ人の家族が抱える困難について説明できる 【関連するSBO】2、3、5 【事前学修：120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、課題ワークを実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修：90分】生きにくさや困難の特徴をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授

10/26 月 4限	【授業内容】回復プロセスに応じた治療と看護④(ディスカッションと講義) ・気分障害の治療と治療の影響を理解した看護について説明できる ・抗うつ薬の効果と有害反応を挙げることができる ・自殺予防に向けた関わりについて説明できる ・リカバリー志向の看護の方向性をグループディスカッションを通じて生み出すことができる 【関連するSBO】5、6、7 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:90分】気分障害の治療や看護、自殺予防の要点をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
10/30 金 3限	【授業内容】回復プロセスに応じた治療と看護⑤(ディスカッションと講義) ・嗜癡行動や依存症を持つ人の生きにくさと回復プロセスについて説明できる ・回復に応じた治療と看護について説明できる ・家族関係の特徴と家族に対する看護について説明できる 【関連するSBO】2、3、5、6、10 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:90分】生きにくさや困難の特徴と治療や看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
11/5 木 1限	【授業内容】回復プロセスに応じた治療と看護⑥(ディスカッションと講義) ・強迫性障害を持つ人の生きにくさと回復プロセスについて説明できる ・回復に応じた治療と看護について説明できる ・不安障害、パーソナリティ障害を持つ人の生きにくさと看護について説明できる 【関連するSBO】2、3、5、6 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:90分】生きにくさの特徴と看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
11/10 火 4限	【授業内容】発達段階で現れやすい心的不調・不可逆的健康課題に対する看護(ディスカッションと講義) ・発達障害、てんかん、摂食障害を持つ人の生きにくさの特徴と看護について説明することができる 【関連するSBO】2、3、5、6 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:90分】生きにくさの特徴と看護についてまとめる	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
11/13 金 2限	【授業内容】災害時における精神看護(ディスカッションと講義) ・被災者とコミュニティの回復プロセスを説明できる ・サイコロジカル・ファーストエイドについて説明できる ・災害時に救助にあたる支援者のメンタルヘルスについて説明できる 【関連するSBO】5、9、11 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:90分】災害時における精神看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
12/1 火 3限	【授業内容】精神科医療における治療(ディスカッションと講義) ・薬物療法、精神療法、電気けいれん療法、環境療法、社会療法の特徴を説明できる ・対象に合わせた治療選択を具体的に述べることができる ・各治療を受ける患者の看護について説明できる 【関連するSBO】5、6、8 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:90分】各治療の特徴と看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
12/7 月 4限	【授業内容】精神科以外での精神看護(講義/学外指導補助者) ・リエゾン精神看護についてその概念と役割について説明できる 【関連するSBO】2、3、6、11 【事前学修:90分】教科書の該当範囲を読み、リエゾナーの役割についてまとめる。(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:120分】リエゾン精神看護の要点をまとめる、講義を受けて考えたことなどを感想文にまとめる	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
12/10 木 2限	【授業内容】司法精神医療:医療観察法に基づく治療と看護(ディスカッションと講義) ・医療観察法に基づく医療システムについて説明できる ・精神疾患と重大な他害行為という2重のスティグマを抱える対象への看護について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、5、6 【事前学修:120分】教科書の該当範囲を読む。事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:540分】医療観察法に基づく医療における看護師の役割をまとめる、試験に向けてこれまでの授業を振り返り学修する	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験(多肢選択)70%と「課題ワークシート」評価30%の合計100%にて評価をする。 「課題ワークシート」はルーブリック評価とし、初回授業で提示する。 定期試験において、指定期日までに提出された「学修要点シート」は持ち込みを認めることとする。 【形成的評価】授業終了時に「リアクションペーパー」の提出を求め、学修の成果を確認する。 授業時に習得度チェックを実施し、理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2～6, 8	1～4, 6～11		70					70
2～6, 8	5			30				30
合計		0	70	30	0	0	0	100
〈備考〉 課題は「課題ワークシート」を提出してもらい、ルーブリック評価とする								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 課題については、授業内で解説をし、学生にフィードバックする。 授業時に行う習得度チェックについては、授業内で解答・解説を行う。 リアクションペーパーは、次の授業等で適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 精神看護学 【その他】 本授業では、各自が取り組んだ課題をもとに、事例についてグループディスカッションを実施し、学修理解を深めることに重点を置いている。 スマートフォン等からICTの利用によるアンケートフォーム(CustomForm®)を通して、学生の意見の共有や理解度の確認を行う。 授業中に映写するパワーポイントはWebClassに掲載するので、事後学修に活用してほしい。 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 ・精神科における看護師の実務経験を有する教員、精神看護専門看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

医療安全論

ナンバリング:N2-S1-J02

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

日本の医療において、安全確保が重要な課題となった歴史、医療現場で発生しやすい事故やその防止対策について学ぶことによって、医療安全確保の重要性を理解する。医療現場で起こりやすい事故とその発生のメカニズムを学ぶことによって、医療安全を確保するための基本的な考え方、現場で行うべき安全行動の実践について理解し、臨地実習や卒業後の実践場面において、安全が確保された行動を実施できるようになる。事故事例の分析などを通して、チーム活動による安全文化の醸成の重要性を学ぶ。事故発生時の組織的な対応、組織や個人が負うべき法的責任、被害者および事故当事者への支援のあり方について理解する。

・教育成果(アウトカム)

医療事故の契機となった事故とその発生要因、ならびに国や各医療機関で実施されている医療安全推進のための事故防止活動について理解し、対象者の安全を確保することの重要性を説明できる。また、具体的な事故事例をもとに事故防止対策を分析し、事故防止にむけた組織的な活動の重要性を理解したうえで、医療安全に主体的に取り組むための基本的な姿勢を身につけることができる。さらに、看護職に期待されている医療安全に関する責務を理解し、看護実践において対象者の安全を確保するために必要な行動について具体的に考察することができる。
--

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 医療安全の考え方の変化、国や医療機関等のリスクマネジメントの取り組みについて説明できる。 2. 事故発生時の対応と事故の被害者及び当事者への支援のあり方について説明できる。 3. ヒューマンエラー発生のメカニズムについて説明できる。 4. 安全で清潔な療養環境と適切な勤務環境の確保について説明できる。 5. 多職種と取り組む医療安全対策について説明できる。 6. 医療安全において看護職に求められる責務と法的責任について説明できる。 7. 医療事故の要因分析と医療事故防止対策の具体的行動について、自分の考えを述べることができる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/15 火 4限	【授業内容】医療安全と看護 ・医療安全の考え方の変化について説明できる ・医療安全を学ぶ意味とその重要性について説明できる 【関連するSBO】1、2、6 【事前学修:90分】重大事故として取り上げられた医療事故について調べる 【事後学修:90分】日本における医療安全の考え方の変化についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

9/17 木 3限	【授業内容】医療安全への取り組み ・国や看護職能団体の医療安全対策の考え方を説明できる ・事故発生時の事故当事者と被害者への支援について説明できる 【関連するSBO】 1、2、5、6 【事前学修：90分】 国や看護職能団体の医療安全への取り組みについてまとめる 【事後学修：90分】 事故被害者（患者）・家族への支援、具体的なケアについてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
9/24 木 3限	【授業内容】ヒューマンエラーのメカニズム ・ヒューマンエラーおよびコミュニケーションエラー発生のメカニズムを説明できる ・エラーが起こりにくい仕組みを作るために、具体的に何をすべきかを説明できる 【関連するSBO】 3、5 【事前学修：90分】 日常生活で経験したミスやエラーを振り返り、要因について調べる 【事後学修：90分】 ヒューマンエラーの理論と防止対策について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/8 木 3限	【授業内容】医療現場のリスクマネジメントプロセスとその実践 ・医療機関のリスクマネジメントの取り組みについて説明できる ・看護業務に関わる医療事故の背景・要因・対策について説明できる 【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事前学修：180分】 (提出①)実習で経験した「ヒヤリ」や「ハット」した場面から、実際に行った対応、および安全行動について自分の考えを記述する 【事後学修：90分】 医療現場のリスクマネジメントプロセスについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/22 木 3限	【授業内容】医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 ・医薬品、医療品への曝露とその予防策について説明できる ・労働形態、作業に伴う業務への影響とその予防策について説明できる 【関連するSBO】 2、4、5 【事前学修：90分】 日本看護協会の「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」(2018)を読み、要点をまとめる 【事後学修：90分】 看護職の業務上の安全を脅かすリスクと対策について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/30 金 2限	【授業内容】医療機器における事故防止システム(設計・構造) ・人間工学的対策がとられている場面を列举できる ・医療機器の使用に関わる危険とその予防策について説明できる 【関連するSBO】 1、4、5 【事前学修：90分】 人間工学に基づいた対策がとられている生活環境や場面を調べる 【事後学修：90分】 医療機器を使用する際の危険と予防するための行動についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
11/4 水 3限	【授業内容】実習における事故事例の分析と対策（ディスカッション、プレゼンテーション） ・事例検討の結果の共有を通して、安全確保にむけた行動について説明できる ・看護実践に潜む危険性を判断し、危険を回避するための方策について説明できる 【関連するSBO】 3、4、6、7 【事前学修：90分】 環境調整および活動・休息援助技術についてまとめる 【事後学修：90分】 事故事例の分析と対策についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
11/9 月 2限	【授業内容】医療事故再発防止と医療安全に係る取り組みの実際 ～岩手医科大学「医療安全シンポジウム2026」の視聴～ ・組織における医療事故再発防止と医療安全に係る取り組みについて説明できる ・安全文化の醸成を図るために、医療者に求められる行動について説明できる 【関連するSBO】 2、5、6、7 【事前学修：90分】 安全文化の醸成についてまとめる 【事後学修：300分】 事故事例の分析と対策についてまとめる。さらに、講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

・教科書・参考書等		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践(2) 医療安全 第5版	松下由美子他 編	メディカ出版	2023
参	医療におけるヒューマンエラー 第2版	河野龍太郎	医学書院	2014

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験80%、課題レポート(提出①)10%、ディスカッションの取り組み状況10%の合計100%にて評価する。課題レポートの評価基準については、初回授業で提示する。ディスカッションの取り組み状況について、初回授業で評価基準(ルーブリック)を提示し、事前学修の内容、発言状況、事故事例の分析内容、プレゼンテーションにより評価する。

【形成的評価】各回の講義の中で、学生同士で学修した内容を伝え合う時間を設け、学修の成果を確認する。また、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1	2、3			10				10
2、3、4	1、4、5、6		80					80
6、7	7				10			10
合計		0	80	10	10	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出された課題レポートは、評価後コメントをつけて講義最終日に返却する。
授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次回の授業で回答する。

【その他】

能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
専門家による講義により、多様な価値観や広い視野に立った物の見方や考え方を学ぶ。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

緩和ケア論

ナンバリング:N2-S1-J03

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、緩和医療学科		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOLの維持・向上を図るアプローチであり、患者とその家族が生活するあらゆる場所で提供される。歴史的背景を踏まえて緩和ケアの理念を理解し、緩和ケア実践における看護師の役割について探求する。全人的な患者理解と苦痛の緩和、患者の価値観や意思を尊重するための支援について理解を深める。さらには、緩和ケアを必要とする患者とその家族が安楽な状態を維持し、尊厳を持って生活できるよう、適切な支援を行うためのチーム医療における看護の役割について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者を全人的に理解することで、自分らしく生き抜こうとする患者とその家族に関心を持つことができる。生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族の苦痛を緩和するための看護師の役割を理解するとともに、緩和ケアを受ける患者とその家族の価値観や意思を尊重するために必要な倫理的視点を身につけることができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者の全人的苦痛について理解し、苦痛緩和のためのケアについて説明できる。 2. 緩和ケアにおける家族ケアの必要性を理解し、家族のアセスメントとケアについて説明できる。 3. 緩和ケアにおいて協働する多職種間の専門性と役割を理解し、チームアプローチにおける看護師の役割を説明できる。 4. 緩和ケアにおけるコミュニケーションの目的と重要性を理解し、基本的なコミュニケーションスキルについて述べることができる。 5. 緩和ケアにおける倫理的課題を理解し、患者・家族の価値観や意思を尊重するための看護師の役割について述べることができる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/24 木 4限	【授業内容】緩和ケア概論/チームアプローチ ・緩和ケアの定義、概念及び緩和ケアの現状について理解し説明できる ・緩和ケアにおけるチームアプローチについて理解し説明できる 【関連するSBO】1, 2, 3 【事前学修:60分】緩和ケアの定義と現状について文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修:90分】緩和ケアにおけるチームアプローチと看護師の役割について要点をまとめる	緩和医療学科 木村 祐輔 教授

10/1 木 4限	【授業内容】がん患者の身体的苦痛（疼痛マネジメント） ・がん患者の身体的苦痛のアセスメントとケアについて理解し述べることができる ・がん疼痛マネジメントについて理解し述べるができる 【関連するSBO】1 【事前学修：90分】がん疼痛について文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：120分】がん患者の疼痛マネジメントのアセスメントとケアについて要点をまとめる	緩和医療学科 木村 祐輔 教授
10/14 水 3限	【授業内容】がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケア（ディスカッション） ・がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケアについて理解し述べるができる 【関連するSBO】1, 2 【事前学修：120分】がん患者の心の反応、社会的苦痛、スピリチュアルペインについて文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：120分】がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケアについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/26 月 2限	【授業内容】緩和ケアにおける家族ケア（ディスカッション） ・緩和ケアにおける家族ケアの必要性を理解し、家族のアセスメントとケアについて述べるができる 【関連するSBO】2 【事前学修：60分】家族ケアの目的について文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：90分】緩和ケアにおける家族のアセスメントとケアについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
11/2 月 3限	【授業内容】臨死期にある患者・家族へのケア/喪失・悲嘆・死別（ディスカッション） ・臨死期における経過や患者・家族のアセスメントとケアについて理解し述べるができる ・喪失・悲嘆・死別における看護師の役割について理解し述べるができる 【関連するSBO】1, 2, 3 【事前学修：120分】臨死期における患者と家族の特徴について文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：120分】臨死期における患者・家族のアセスメントとケアについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
11/16 月 4限	【授業内容】非がん疾患の緩和ケア（慢性心不全患者への緩和ケア） ・慢性心不全の特徴を理解し、慢性心不全患者のアセスメントとケアについて述べるができる 【関連するSBO】1, 2 【事前学修：120分】成人慢性期看護方法論で学修した「循環器系の障害を有する人と家族への看護」の復習および慢性心不全の特徴について文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：120分】慢性心不全患者のアセスメントとケアについて要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
11/19 木 4限	【授業内容】緩和ケアにおけるコミュニケーション/アドバンス・ケア・プランニング ・緩和ケアにおけるコミュニケーションスキルについて理解し述べるができる ・アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割について理解し述べるができる 【関連するSBO】3, 4, 5 【事前学修：60分】基本的なコミュニケーションについて文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：90分】アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割について要点をまとめる	緩和医療学科 木村 祐輔 教授
11/27 金 4限	【授業内容】緩和ケアにおける倫理的課題/緩和ケアにおける療養支援（ディスカッション） ・緩和ケアにおける倫理的課題について理解し述べるができる ・緩和ケアにおける療養支援について理解し述べるができる 【関連するSBO】4, 5 【事前学修：120分】緩和ケアにおける倫理的課題について生命倫理学における学修の復習および文献や参考書等で調べて要点をまとめる 【事後学修：240分】 ・患者の価値観や意思を尊重するための看護師の役割について要点をまとめる ・講義内容についてすべての配布資料を読み返し、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授

・教科書・参考書等		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	ナーシング・グラフィカ 成人看護学(6) 緩和ケア 第3版	宮下光令 編	メディカ出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(多肢選択)100%にて評価する。

【形成的評価】各回の講義終了時にGoogle Formsで学んだことを入力するよう求め、学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～5、7	1～5		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・講義の中で質問への回答やディスカッションの時間を設け、全体および個々の理解を深める。

・質問は講義中および講義終了時にGoogle Formsで受け付け、全体に伝えるべき内容は、次回講義内もしくはWebClassでフィードバックする。

【その他】

・能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師や医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

基礎看護過程実習

ナンバリング:N2-S1-C10

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	実習/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

受け持ち患者のニーズを理解し、日常生活援助等の看護技術を実践するとともに、基本的な看護過程の展開について学ぶ。そして、多様なニーズを持つケアの受け手に対して適切なケアを提供するための基礎的能力を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

患者を一人受け持ち、教員や実習指導者の助言を受け、その患者の看護過程を展開することができる。また、指導を受けながら、受け持ち患者への援助を実践することができる。さらに、患者のニーズに応える援助とはどういうことなのかを考え、それらをまとめ表現することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護の目的をもって対象者に関心を寄せ、言語表現・非言語表現を用いた対象との相互作用を通して関係を形成することができる。
2. 対象者の状況に応じて看護に必要な情報を収集でき、その情報を整理してアセスメントし、全体像を描くことができる。
3. アセスメントを統合して看護上の問題を抽出し、優先順位を決定することができる。
4. アセスメントに基づく看護計画の立案と看護実践の方法を見出し、実践することができる。
5. 看護計画の評価に必要な情報が整理され、妥当な評価と評価に基づいた計画の修正ができる。
6. 振り返りを通して、自らの看護の特徴を理解し、学修課題の明確化と実践の修正ができる。

・授業日程
【講義】

日程	Aグループ 1週目 7/13(月)～7/17(金) 2週目 7/21(火)～7/24(金)	Bグループ 1週目 7/27(月)～7/31(金) 2週目 8/3(月)～8/7(金)
担当教員	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 小林 由美子 講師 佐藤 奈美枝 教授 松田 悠史 講師 柏木 ゆきえ 准教授 小坂 未来 講師 伊藤 奈央 准教授 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教	
授業内容/到達目標	【授業内容】 1. オリエンテーション 2. 受け持ち患者の看護過程 原則として1名の学生が1名の患者を受け持ち、看護過程を展開しながら看護を実践する。 3. 受け持ち患者がいない場合の看護実践 受け持ち患者が決定するまで、あるいは退院した後は、実習指導者と調整し、受け持ち患者を問わず看護実践(情報収集,日常生活の援助,診療の補助,多職種カンファレンス等)を実施・見学する。その体験を通して、看護実践の根拠や看護師の思考について学ぶ。 4. 実習報告会 実習報告会を通して、実施した看護を振り返る。	
	【到達目標】 1. 看護の目的をもって対象者に関心を寄せ、言語表現・非言語表現を用いた対象との相互作用を通して関係を形成することができる。 ・主体的・積極的に対象者に関わり、対象者の表情や様子から思いを察することができる。 ・基本的なコミュニケーションスキルを用いて、対象者に合わせたコミュニケーション(目線の高さ,声の大きさ,話す速さなど)を行うことができる。 2. 対象者の状況に応じて看護に必要な情報を収集でき、その情報を整理してアセスメントし、全体像を描くことができる。 ・必要な情報収集がされ、情報の枠組み(項目)ごとに整理できる。 ・情報を適正に解釈・分析し、その上で看護の方向性を考えることができ、個性を十分に考慮できる。 ・アセスメントに基づく図式化ができ、病態とそれにより生じる生活の変化や対象者の思いなどをつなげて、個性のみえる記載ができる。 3. アセスメントを統合して看護上の問題を抽出し、優先順位を決定することができる。 4. アセスメントに基づく看護計画の立案と看護実践の方法を見出し、実践することができる。 ・対象者を視点とした、評価可能な目標を設定し、評価日の設定ができる。 ・対象者の個性を十分に考慮した、具体的で実践可能な看護計画を明確に記載できる。 ・知識・技術を用いて対象者に合わせた方法に変化させながら実践でき、対象者の反応をふまえて、実践を振り返ることができる。 5. 看護計画の評価に必要な情報が整理され、妥当な評価と評価に基づいた計画の修正ができる。 6. 振り返りを通して、自らの看護の特徴を理解し、学修課題の明確化と実践の修正ができる。 ・自らの課題を明らかにし、重要性・必要性に応じて改善策を考え、学修することができる。 ・実習報告会において、メンバーの意見を聴きながら、実施した看護を振り返ることができる。 ※詳細は実習要項に記載する。 【関連するSBO】1,2,3,4,5,6 【事前学修:12.5時間、一日2.5時間】看護過程演習の復習、実習病棟に多い疾患の学修 【事後学修:12.5時間、一日2.5時間】実習記録の記載	

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護がみえるvol.1 基礎看護技術 第2版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2024
教	看護がみえるvol.2 臨床看護技術 第2版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2026
教	看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2019
教	アセスメント・看護計画がわかる症状別看護過程 第2版	小田正枝 編	照林社	2021
教	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 第3版	阿部俊子 監修	中央法規	2024
参	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
参	今日の治療薬2026 解説と便覧	伊豆津宏二 他	南江堂	2026

・成績評価方法

【総括的評価】 基礎看護過程実習評価表(100%)に基づき評価する。なお評価は、実習態度、実習記録、カンファレンスの参加態度、実習報告会、課題レポート等のルーブリック評価とする。※評価表は実習要項に記載。 【形成的評価】 面談で実習内容の振り返りを行い、理解度を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～5、7	1～6			100				100
合計		0	0	100	0	0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・毎日の実習記録と看護過程の記録については、適宜コメントを伝える。 ・WebClassに看護過程の展開に必要な教材を提示し、課題提出にもWebClassを活用する。提出された課題には、適宜教員からフィードバックを行う。 ・カンファレンスに参加し、助言を伝える。 ・実習中間時点と終了時には個別面談を行い、学生とともに実習全体を振り返る。 ・実習前教育としてシミュレーション演習を行い、学生が自ら判断・行動しながら学ぶ機会を設けている。また、実習報告会ではグループワークを通して経験を共有し、相互に学びを深めるアクティブラーニング型の学習方法を取り入れている。	
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):臨地実習 基礎看護学	
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、基礎看護学領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。	

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
機器・器具は、実習病院の備品を使用する。			

医療英語

ナンバリング:N2-L1-Z12

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

英語が共通語ともいえる時代の「医療英語」は、患者との会話のみならず、看護専門用語の理解、学術誌などの読解、学術論文などの読み書き、口頭発表、学術集会および国際会議への参加なども含む、幅広い分野である。本科目では、「読む」、「聞く」、「書く」および「話す」の四技能をバランスよく取り入れ、ペアワークやグループワークも含む勉強法を通じて、医療英語の知識だけではなく、グローバル時代で働く看護師に必要となる実践的なスキルを身に付ける。
--

・教育成果(アウトカム)

Through active participation in communicative activities, collaborative tasks, and self-study assignments, students will develop the ability to communicate treatment-related information to patients in an empathetic and respectful manner, to understand technical nursing vocabulary and specialist English texts, and to recognize the role of nursing practice within a changing international healthcare context.	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
9	変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

・到達目標(SBO)

At the end of the course, students will be able to: 1. Elicit key personal information from patients (e.g., name, age, date of birth). 2. Elicit and clarify symptoms and essential information related to a patient's condition. 3. Explain tests, treatments, medications, and examination procedures in clear and appropriate English. 4. Explain hospital rules, instructions, and basic regulations to patients. 5. Elicit relevant medical history and lifestyle habits. 6. Understand how roots, prefixes, and suffixes combine to form medical terminology. 7. Understand the basic structure of a research paper and its abstract. 8. Work collaboratively in pairs and groups to achieve shared learning outcomes. 9. Access and utilize online self-study resources in English.

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室、マルチ4-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 (水) 2限	【授業内容】Meeting a new patient. Students will become able to: - Elicit a patient's name, DOB, etc. - Confirm patient details. - Check spelling. 【関連するSBO】1、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 1 vocabulary (p. 7 "Get Ready" + p. 88). Be ready to use these words in the lesson. 【事後学修:40分】p. 13 "Dictation" + "What was the question?", p. 14 review task.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教

4/14 (火) 4限	【授業内容】Talking about symptoms. Students will become able to: - Check on a patient's condition. - Elicit details. 【関連するSBO】2、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 2 vocabulary (p. 13 "Get Ready" + p. 88-89) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 19 "Dictation" + "What was the question?", p. 20 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
4/16 (木) 2限	【授業内容】In-patient orientation. Students will become able to: - Introduce patients to their hospital room. - Explain important hospital rules and regulations. 【関連するSBO】4、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 3 vocabulary (p. 19 "Get Ready" + p. 89) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 25 "Dictation" + "What was the question?", p. 26 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
5/7 (木) 2限	【授業内容】Doing the rounds. Students will become able to: - Check for changes on changes in a patient's condition. - Elicit details about changes in a patient's condition. . 【関連するSBO】2、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 4 vocabulary (p. 25 "Get Ready" + p. 89-90) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 21 "Dictation" + "What was the question?", p. 32 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
5/14 (木) 2限	【授業内容】Explaining medication. Students will become able to: - Explain the purpose of medication. - Explain medication dosage. - Explain medication side effects. 【関連するSBO】3、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 5 vocabulary (p. 31 "Get Ready" + p. 90-91) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 37 "Dictation" + "What was the question?", p. 38 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
5/19 (火) 4限	【授業内容】More symptoms. Students will become able to: - Identify additional symptoms. - Elicit further patient information. 【関連するSBO】2、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 6 vocabulary (p. 37 "Get Ready" + p. 91) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:60分】(1)p. 43 "Dictation" + "What was the question?", p. 44 review activity. (2) Unit 1-6 review test (Web Class).	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
5/21 (木) 2限	【授業内容】Accidents and injuries. Students will become able to: - Elicit the cause of an injury. - Elicit supporting information. 【関連するSBO】2、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 8 vocabulary (p. 46 "Get Ready" + p. 91-92) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 51 "Dictation" + "What was the question?", p. 52 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
5/26 (火) 4限	【授業内容】Patient examination. Students will become able to: - Request patient actions. - Explain examination procedures. 【関連するSBO】3、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 9 vocabulary (p. 51 "Get Ready" + p. 92) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 57 "Dictation" + "What was the question?", p. 58 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教

5/28 (木) 2限	【授業内容】Taking a medical history. Students will become able to: - Ask about past and current diseases and conditions. - Ask about medication. - Ask about allergies. 【関連するSBO】5、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 10 vocabulary (p. 57 “Get Ready” + p. 93) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:40分】p. 63 “Dictation” + “What was the question?”, p. 64 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
6/4 (木) 2限	【授業内容】Lifestyle and diet. Students will become able to: - Ask about diet. - Ask about smoking, alcohol, and exercise habits. 【関連するSBO】5、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 11 vocabulary (p. 63 “Get Ready” + p. 93-94) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:45分】p. 69 “Dictation” + “What was the question?”, p. 70 review activity.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
6/8 (月) 2限	【授業内容】Explaining hospital tests. Students will become able to: - Explain tests. - Respond to patient questions. 【関連するSBO】3、8、9 【事前学修:30分】Study Unit 12 vocabulary (p. 69 “Get Ready” + p. 94) in preparation for a vocabulary test. 【事後学修:60分】(1) p. 75 “Dictation” + “What was the question?”, p. 76 review activity. (2) Unit 8-12 review test (Web Class).	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
6/11 (木) 2限	【授業内容】Technical vocabulary. Students will become able to: - Break down medical terminology into Latin- and Greek-based word parts. - Construct medical terminology using knowledge of common Latin- and Greek-based word parts. 【関連するSBO】6、8、9 【事前学修:15分】Review technical medical terms learned in the textbook. 【事後学修:40分】Terminology review activity (handout).	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
6/18 (木) 2限	【授業内容】Medical writing. Students will become able to: - Identify the component parts of an abstract. - Extract the key information from an abstract. 【関連するSBO】7、8 【事前学修:20分】Look at any nursing-related journal. Think about the way a research paper is structured. 【事後学修:40分】Complete the remaining sections on the class handout.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教
6/25 (木) 2限	【授業内容】Review/ exam preparation. Students will become able to: - Understand the structure and requirements of the final exam. - Establish effective exam preparation and study strategies. Post-lesson study: Prepare for the final exam. 【関連するSBO】8、9 【事前学修:30分】Reflect and review on your strengths and weaknesses regarding the course material. 【事後学修:90分】Create an exam preparation strategy.	外国語学科英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教

・教科書・参考書等

教科書		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Bedside Manner Beginner 3rd Edition	Simon Capper	Perceptia Press	2019

・成績評価方法

【総括的評価】Final exam including listening and reading sections (70%), Weekly vocabulary tests (20%), Attitude and in-class performance, including completion of weekly homework tasks and active participation in classroom-based tasks (10%).
【形成的評価】Weekly feedback on the “Dictation” and “What was the question?” tasks, and the two WebClass review tasks, will help students understand their strengths and weaknesses, and evaluate their own progress. Students’ scores on these tasks will not affect the calculation of their final score for the course.

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2～4	1～7		70					70
3,9	1～9	20		5	5			30
合計		20	70	5	5	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

クラスを2グループ(A・B)に分け、2名の教員が各グループをローテートする。
講義室： Aグループ:(矢)マルチ4-A講義室 Bグループ:(矢)西1-B講義室
ICT tools such as WebClass, Quizlet, LINE OpenChat, the textbook website, and AI-based learning and feedback tools will be used extensively both in and outside the classroom. Smartphones and other devices are permitted during class for accessing these resources. This course is taught by two instructors; while course content and learning objectives are the same across classes, teaching styles and the sequence of topics may vary. Assessment and evaluation criteria are common to all classes.

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
Answers and feedback on tests and assignments will be given in the following lesson. Feedback on the final exam will be provided on WebClass.

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師(別表3):基礎分野 科学的思考の基盤

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

日本国憲法

ナンバリング:N2-S2-K10

責任者・コーディネーター	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科(分野)	人間科学科法学分野		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

日本国憲法の全体像は、基本的人権と統治機構の2つに大別される。本科目では、日本国憲法の基礎的知識、とりわけ基本的人権の内容と意義、統治機構の基本原則と司法権・違憲審査制の理解を目的とする。基本概念・判例などの基礎的知識の獲得を大前提に、それらの知識を活用して、社会における多様な問題を、日常生活との関わりから捉え、憲法に関わる問題を独力で解き、自らの言葉で発言できる力を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

本講義では、日本国憲法の基本項目である、基本的人権の保障、国民主権、平和主義に関する基礎知識を修得することで、「看護対象者の尊厳と権利を擁護する能力」、「看護の内容について説明し同意を得る能力」を身につけられる。また、日本国憲法に関連する現行法に関する基礎知識を修得することで、「法的なものの見方(リーガルマインド)」と「法を知り使いこなす力(リーガリティラシー)」を身につけられる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。

・到達目標(SBO)

リーガルマインド
1. 基本的人権を理解することで、看護対象者の尊厳と権利を擁護することについて説明できる。
2. 統治機構を理解することで、日本国憲法とわが国の医療制度の関わりについて説明できる。
3. 日本国憲法と現行法の関わりから、法の全体像を把握し、定義および具体例を説明できる。
4. 法の基礎にある原理を理解し、広い視野から法を分析的に見ることができる。
5. 法の体系と社会の関係を考察し、基本的な法的思考を身につけ、活用することができる。
リーガリティラシー
6. 憲法を中心とした公法について説明できる。
7. 社会で遵守すべきことについて説明できる。
8. 社会のなかの法の役割について説明できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室		
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/15 火 1限	【授業内容】憲法の基礎1(憲法とは) 日本国憲法の構成 憲法の3つの特徴 憲法の基本原則 ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド3、4、5／リーガリティラシー1、3 【事前学修：120分】憲法の本質について予習する 【事後学修：120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
9/29 火 1限	【授業内容】憲法の基礎2(日本国憲法) 天皇の地位・国事行為(憲法1-8条) 戦争放棄(憲法9条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド3、4、5／リーガリティラシー1、3 【事前学修：120分】憲法における天皇の地位、平和主義について予習する 【事後学修：120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師

9/29 火 2限	【授業内容】基本的人権1(人権総論) 人権の享有主体(憲法10-12条) 幸福追求権(憲法13条) 法の下での平等(憲法14条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】人権の意味と特徴について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
10/6 火 1限	【授業内容】基本的人権2(表現の自由) 思想・良心の自由(憲法19条) 表現の自由(憲法21条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】思想・良心の自由、知る権利、表現の自由について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
10/6 火 2限	【授業内容】基本的人権3(信教の自由) 信教の自由(憲法20条) 政教分離の原則(憲法20条) 学問の自由(憲法23条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】信教の自由、政教分離、学問の自由について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
10/13 火 1限	【授業内容】基本的人権4(人身の自由) 人身の自由(憲法18条) 被告人の権利(憲法18、31-40条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】人身の自由、被告人の権利、適正手続きについて予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
10/13 火 2限	【授業内容】基本的人権5(経済的自由権) 職業選択の自由(憲法22条) 居住・移転の自由(憲法22条) 財産権(憲法29条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】職業選択の自由、財産権の保障について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
10/20 火 2限	【授業内容】基本的人権6(生存権) 生存権(憲法25条) 教育を受ける権利(憲法26条) 勤労の権利(憲法27条) 労働基本権(憲法28条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】生存権、教育を受ける権利、勤労の権利・義務、労働基本権について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
10/27 火 2限	【授業内容】基本的人権7(包括的基本権) 新しい人権(憲法13条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド1、4、5／リーガルリテラシー1、2 【事前学修:120分】新しい人権について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
11/2 月 2限	【授業内容】統治1(統治総論・参政権) 国民主権(憲法前文) 選挙権(憲法15条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド2、4、5／リーガルリテラシー1、3 【事前学修:120分】国民主権、参政権、権力分立について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
11/10 火 2限	【授業内容】統治2(立法権) 国会(憲法41-64、73、96条) ＜双方向授業＞＜ICT(WebClass/Kahoot!)＞ 【関連するSBO】リーガルマインド2、4、5／リーガルリテラシー1、3 【事前学修:120分】国会の役割について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師

11/17 火 2限	【授業内容】統治3(行政権) 内閣(憲法65-75条) <双方向授業><ICT(WebClass/Kahoot!)> 【関連するSBO】リーガルマインド2、4、5／リーガルリテラシー1、3 【事前学修:120分】議院内閣制について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
11/24 火 2限	【授業内容】統治4(司法権) 裁判所(憲法76-82条) <双方向授業><ICT(WebClass/Kahoot!)> 【関連するSBO】リーガルマインド2、4、5／リーガルリテラシー1、3 【事前学修:120分】司法権、裁判制度、裁判員制度について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
12/1 火 2限	【授業内容】統治5(地方自治・財政) 地方自治(憲法92-95条) 財政(憲法83-91条) <双方向授業><ICT(WebClass/Kahoot!)> 【関連するSBO】リーガルマインド2、4、5／リーガルリテラシー1、3 【事前学修:120分】地方自治、財政について予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師
12/8 火 2限	【授業内容】統治6(憲法改正) 憲法改正(憲法96条) <双方向授業><ICT(WebClass/Kahoot!)> 【関連するSBO】リーガルマインド2、4、5／リーガルリテラシー1、3 【事前学修:120分】憲法改正の仕組みについて予習する 【事後学修:120分】WebClassの論点プリント、事後確認テスト、自由課題	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	法学六法 '26	池田真朗 他	信山社出版	2025
参	伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業	伊藤真	KADOKAWA	2017
推	プレステップ憲法 第4版	駒村圭吾 編	弘文堂	2024

・成績評価方法

【総括的評価】WebClassで講義終了後に実施する、講義(15回)の論点プリント(60%)と事後確認テスト(30%)、自由課題(10%)で評価する。								
【形成的評価】講義中のKahoot!と講義終了後のWebClassの課題の提出により、学習の成果を確認する。								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～2	1～5			60				60
1～2	6～8	30					10	40
合計		30	0	60	0	0	10	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 提出された課題は、事前に提示するルービック評価を用いる。 課題に対するフィードバックは評価欄を用いる。 WebClass上の2つの小テストは自動で採点が行われる。
【その他】 講義にはWeb演習教材Kahoot!を実施するためPCまたはスマートフォンを持参すること。 ブラウザのブックマークに https://kahoot.it を入れておくか、スマートフォンの場合アプリストアからKahoot!をダウンロードしておくこと。 六法は教科書指定のものが望ましいが、他あるいは過去のものでも構わない。(最低限、日本国憲法が確認できること)
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型パソコン (APPLE MC969J/A、ASUS E203)	各1	講義用スライド投影・Web演習教材投影
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影・講義用資料投影・Web演習教材投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影

(令和8年度) 地域医療課題解決演習

科目担当責任者	医学部総合診療医学講座 下沖 収 教授		
担当講座・学科 (分野)	(医学部) 総合診療医学講座、内科学講座脳神経内科・老年科分野 (歯学部) 歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野、 法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 (薬学部) 臨床薬学講座地域医療薬学分野、臨床薬学講座薬学教育学分野 (看護学部) 地域包括ケア講座		
担当教員	(医学部) 下沖 収 教授、大間々 真一 准教授、高橋 智弘 講師、前田 哲也 教授、 赤坂 博 助教 (歯学部) 小林 琢也 教授、熊谷 章子 特任教授 (薬学部) 松浦 誠 教授、白石 博久 特任教授 (看護学部) 岩渕 光子 教授、赤井 純子 助教 ＜協力＞矢巾町健康長寿課関係者の皆様、演習訪問先等関係者の皆様		
対象学年	全学年（全学部）	期 間	通期
区分・時間数	演習 16.0 時間（全 8 回） (1 コマ 2 時間換算)	単位数	1 単位

■ 学習方針（演習概要等）

患者（対象者）を中心とする地域医療の実現のため、地域社会における医療課題についてグループワークを行う、多職種連携 PBL 科目である。自治体関連施設等の訪問、関係専門職や、対象者（住民）へのインタビュー等をグループで行い、学部・学年を超えたディスカッションの上で提言をまとめる。

■ 教育成果（アウトカム）

患者（対象者）や専門職チーム、地域社会との関係における各専門職プロフェッショナリズムを理解し実践する力を身につける。施設等の訪問やインタビュー等を行い、グループ内でのディスカッションを経て提言をまとめる過程を通じ、他者尊重に基づきチームで協働する力を身につける。併せて、多職種（専門職）連携の重要性を理解し、自職種の責務の理解に基づく自己主導型学習力を身につける。
(ディプロマ・ポリシー)

医学部：1, 2, 4, 6, 8 歯学部：1, 2, 3, 5, 9 薬学部：1, 2, 3 看護学部：1, 2, 3, 7, 8

■ 到達目標（SBOs）

1. 対象とする地域医療課題に関する現状と問題点を捉え、説明できる。
2. グループワークやフィールドワークで立場の異なる多様な人と良好なコミュニケーションがとれる。
3. 多分野にわたる幅広い情報収集ができる。
4. 課題解決策を検討する中で、地域医療・健康づくりにおける各職の役割が説明できる。
5. 自己学習を身につけるためにポートフォリオを記録し、省察できる。

■ 成績評価方法

最終発表会を含め演習への参加態度評価（50%）、ループリックによるグループワーク等評価（30%）、成果物評価（20%）により評価する。

到達目標	DP				ループ リック	発表 参加態度	成果物	合計
	医	歯	薬	看				
1, 2, 3, 4	1, 2, 4, 6, 8	1, 2, 3, 5, 9	1, 2, 3	1, 2, 3, 7, 8	30	50	20	100
5	2	9	1	1				
合計					30	50	20	100

■ 事前学修時間・内容

各回到達目標の内容を事前に学習するとともに、実施前にメールで事前もしくは事後課題の指示あり。各回、事前事後 4 時間以上の学習を要する。学習結果は、演習当日に持参もしくは指示によりデータ提出す

ること。フィードバックは授業時、または個別にメール等で行う。

■ 特記事項・その他

開催日：別途調整のうえ指定 対 象：全学年（全学部） 会 場：矢巾キャンパス・矢巾町役場等
 ＊受講希望者は掲示を確認の上、所定の期日までに履修届を提出のこと。＊30 分以上の遅刻は欠席とする。
 当該科目に関する実務経験の有無 有
 行政（矢巾町）と連携したフィールドワーク等を通じて、地域課題や解決方法について学ぶ。

実施日程

月日	時限	内容／到達目標	担当教員	会場
第1回 6月 予定	5限 予定	オリエンテーションと概要講義 2. 日本における当該課題の概要を理解し説明できる。 3. 地域における当該課題の概要を理解し説明できる。	下沖 収 教授 大間々 真一 准教授 高橋 智弘 講師 前田 哲也 教授 赤坂 博 助教 小林 琢也 教授 熊谷 章子 特任教授 松浦 誠 教授 白石 博久 特任教授 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教	矢巾町
第2回 6月 予定	5限 予定	グループワーク （課題理解の共有） 1. 地域における当該科目の概要理解について、グループ内検討により、関わり方の相違点・共通点を確認し自分の言葉で説明できる。 2. メンバーが理解を共有できるよう、必要なコミュニケーションを図ることができる。		矢巾キャンパス
第3回 7月 予定	未定	施設等訪問、インタビュー 1. 施設等でのフィールドワークにより、実際の仕組みや課題背景等を説明できる。 2. 関係各職への敬意をもち、インタビューすることができる。		矢巾町
第4回 8月 予定	5限 予定	グループワーク （振り返り） 1. 訪問・インタビューについて、自らの言葉で振り返りを説明できる。 2. メンバーが課題等認識を共有できるよう、コミュニケーションを図ることができる。		矢巾キャンパス
第5回 9-10月 予定	未定	施設等訪問、インタビュー 1. 施設等でのフィールドワークにより、実際の仕組みや課題背景等を説明できる。 2. 関係各職への敬意をもち、インタビューすることができる。		矢巾町
第6回 11月 予定	5限 予定	グループワーク （振り返り） 1. 訪問・インタビューについて、自らの言葉で振り返りを説明できる。 2. メンバーが課題等認識を共有できるよう、コミュニケーションを図ることができる。		矢巾キャンパス
第7回 11月 予定	5限 予定	グループワーク （プレゼンテーション作成） 1. グループ内で各専門領域を学ぶそれぞれの知見をあわせ、協働作業によりプロダクトを作成する過程で、多職種連携の重要性を理解し多職種を尊敬する謙虚さ、自己主導型学習を身につける。		矢巾キャンパス

第8回 12月 予定	5限 予定	検討発表会・まとめ 1. 当該課題への解決策を提案でき、医療人である自らの役目をも説明できるようになる。 2. 自他尊重に基づき、質疑応答その他において適切なコミュニケーションを図ることができる。		矢巾キャンパス
------------------	----------	--	--	---------

海外英語演習

ナンバリング:N1-L3-Z35

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1・2・3・4	区分/単位数	演習/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の教師による集中的な語学の授業を受ける。授業においては、日常会話に役立つ表現や文法事項などをテーマに扱う。そして、英語を聴く訓練を通して話す能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。図書館、コンピューター室等の施設を利用することができ、いろいろな国々の人々と共にアクティビティーに参加することもある。また、英語圏の国の文化、歴史に対する理解を深めるために、さまざまな名所旧跡を見学する。 外国での生活から得た経験を通して豊かな人間性を養い、また国籍にかかわらず相手の立場を理解し、臆することなく自己を表現することによって友好的な国際的人間関係を築くことが望ましい。

・教育成果(アウトカム)

本演習は教養教育に求められる豊かな人間性を涵養する一環として実施される。 1. 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を理解でき、幅広い視点から人および物事を見ることができる。 2. 英語演習を通じて日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のためのコミュニケーション能力を育成できる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
9	変動する国際社会にあつて、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

・到達目標(SBO)

(1)異文化を理解し、現地の人と英語で意思疎通を図ることができる。 (2)教室では間違いをおそれず積極的に発言することができる。 (3)日本人同士で集まることなく各国の人たちと積極的に交流することができる。 (4)英語圏の文化・歴史・価値観・医療に触れることで、医療者に求められる豊かな人間性と柔軟な思考力を身につけることができる。
--

・成績評価方法

【総括評価】 研修レポート: 30%、演習態度: 70%

【形成的評価】 研修内容に関する質疑応答により、異文化に対する理解度評価を行う。

*本科目の演習態度とは、主に、授業、イベントへの参加、各国の人たちとの積極的な交流、英語での積極的な発言、自主的行動、外国での問題解決能力等を指す。

*演習態度の具体的な評価方法については「参加者募集説明会」および「参加者対象説明会」で説明する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、9	1、4						①30	30
1、3、9	1、2、3、4						②70	70
合計		0	0	0	0	0	100	100

〈備考〉その他の①研修レポート、②演習態度

・特記事項・その他

研修先:英語圏の国(例:イギリス・オーストラリア等) 期 間:3月の予定 宿泊施設:ホームステイ等 研修内容を把握し渡航に向けて準備するため、参加希望者は「参加者対象説明会」および「最終説明会」(各1時間程度)に出席する必要がある。なお、提出レポート(感想文)は、後日、個別にフィードバックする。 当該科目に関連する実務経験の有無 無
--

岩手医科大学学則

第1章 目的及び使命

第1条 本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。

2 各学部における教育研究上の目的は別に定める。

3 本学は教育研究水準の向上を図り、前項の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

4 前項の点検及び評価の方法並びに体制等については、別に定める。

第2章 組織及び修業年限

第2条 本学に次の学部学科を置く。

医学部 医学科

歯学部 歯学科

薬学部 薬学科

看護学部 看護学科

2 医学部、歯学部及び薬学部の修業年限は6年とし、看護学部は4年とする。

3 各学部の学生及び再入学者の在学年限は、別に定める。ただし、通算して修業年限の2倍を超えることができない。

第3章 学年・学期及び休業日

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第4条 学年は、前期、後期の2期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

ただし、前期及び後期の期間は、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第5条 定期休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 春期休業 3月16日から4月15日まで

(4) 夏期休業 7月16日から8月31日まで

(5) 冬期休業 12月23日から1月15日まで

ただし、春期、夏期及び冬期休業の期間については、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

2 臨時休業日は、その都度学長が定める。

第4章 授業科目、授業時間数及び単位

第6条 各学部の授業科目等は別表1のとおりとする。

第5章 授業科目の履修及び課程修了の認定

第1節 医学部、歯学部

第7条 医学部、歯学部においては、第6条に定める所定の授業科目を履修しなければならない。

2 履修方法及び履修すべき授業時間数については別に定める。

3 履修した科目に単位を付与する場合は、45時間の学修を必要とする内容を1単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算するものとする。

第8条 所定の講義及び実習を履修した者に対し試験を行う。

2 試験に関する実施規程は別に定める。

第9条 試験の成績は、合格または不合格とし、評価等は別に定める。

第2節 薬学部、看護学部

第10条 薬学部、看護学部においては、第6条に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

2 履修方法及び取得すべき単位数については別に定める。

3 単位の計算は、第7条第3項を準用する。

第11条 履修した授業科目については、別に定める方法で試験を行う。

第12条 試験の成績は、第9条を準用する。

第3節 全学部共通

第13条 特定の授業科目を履修した者に履修証明書を与えることがある。

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを標準とする。

第14条の2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が所属する学部以外の学部の授業科目を履修することができる。

第15条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学

における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第 16 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 17 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、30 単位を超えないものとし、かつ、第 15 条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）及び前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 6 章 卒業及び学位

第 18 条 医学部、歯学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目及び単位を履修修得し、試験に合格した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、医学部を卒業した者には学士（医学）、歯学部を卒業した者には学士（歯学）の学位を授与する。

- 2 薬学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、薬学実務実習 20 単位以上を含む 186 単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。

- 3 看護学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、124 単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

第 7 章 入学、休学、再入学、転入学、編入学、転部入学及び退学

第 19 条 入学の時期は、学年の始めとする。

第 20 条 本学に入学資格のある者は、次の各号の一に該当しなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。
- (3) 外国において、学校教育 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定資格試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- (7) その他、相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者。

第 21 条 入学志願者は、所定の入学願書に、履歴書、資格証明書、写真及び入学検定料を添えて学長に願い出なければならない。

第 22 条 本学に入学を志願した者については、教授会の議を経て学長が入学の許可、不許可を決定する。

- 2 本学を退学した者で、本学に再入学を志願する者については、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考し、教授会の議を経て学長が相当年次に入学を許可することができる。

第 23 条 入学を許可された者は、本学所定の方式によって宣誓し、保証人 2 名を定めて在学保証書その他所定の書類を提出し、かつ所定の期日までに入学金を納入しなければならない。

第 24 条 保証人は、学生本人の父兄及び独立の生計を営む成年者とする。ただし、保証人のうち 1 名は学費負担者でなければならない。

- 2 保証人は学生の在学中の一切のことについて責任を負わなければならない。

- 3 保証人が死亡し、あるいはその資格を失ったときは、直ちに第 1 項の規定によって新たに設けなければならない。

第 25 条 学生、保証人が氏名、本籍、住所を変更した場合は直ちに届け出なければならない。

第 26 条 病気、その他やむを得ない事由により 3 ヶ月以上修学できないときは、その事由を証明する書類を添え保証人連署の休学願を提出し、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

- 2 休学の期間は、1 年を超えることはできない。ただし特別の事情がある場合は、教授会の議を経て学長が更に 1 年以内の休学を許可することができる。

- 3 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。

- 4 休学期間は、在学期間に算入しない。

第 27 条 休学期間であっても事故止みとなり復学を願い出た場合は、教授会の議を経て許可することがある。

第 28 条 他の大学から本学に、本学から他の大学に転入学、編入学を願い出た者がある場合は、教授会の議を経て学長が許可することがある。

2 本学の第 1 学年の学生で他学部への転部入学を希望する者があるときは、選考の上、第 2 学年の始めに限り転部入学を許可することがある。ただし、看護学部は除くものとする。

3 転入学、編入学、転部入学に関する規程は、別に定める。

第 29 条 本学を退学しようとする場合は、その事由を明記し、保証人連署の退学願を提出し教授会の議を経て、学長の許可を受けなければならない。ただし、退学の事由が病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

第 8 章 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費

第 30 条 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費（以下授業料等という）の額は別表 2 に定める。

第 31 条 授業料等の納入は、次の各号のとおりとする。

（1） 入学金は、入学手続き時に納入しなければならない。

（2） 入学初年度の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、入学初年度は入学手続き時に納入しなければならない。ただし、半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合には所定の期日までに納入しなければならない。

（3） 入学次年度以降の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、毎年 4 月 25 日までに納入しなければならない。ただし、授業料は半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合の 2 回目の納入期限日は 9 月 25 日までとする。

（4） 薬学部第 5 学年の長期実務実習にかかる費用の額及び納入方法は、別に定める。

第 32 条 授業料等を所定期日までに納入しない場合は、納入するまでその者の出席を停止し、30 日を経過して、なお納入しない場合は、学長がこれを除籍することがある。

第 33 条 納入した授業料等は、返還しない。ただし、入学手続きを完了したもので、所定期日までに入学辞退の届出を行い、かつ授業料等の返還を申し出た者については、入学検定料及び入学金を除く外の納入金を返還する。

2 前項の規定にかかわらず、休学期間中の授業料および実験実習費は、休学を許可された月の翌月から復学を許可された月の前月までの月割計算による額の半額を免除する。

第 9 章 職員組織

第 34 条 本学に次の職員を置く。

学長・副学長・教授・准教授・講師・助教・助手・技術員・事務員・その他必要な職員。

2 職員の定員に関しては、別にこれを定める。

第 10 章 教授会

第 35 条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、医学部、歯学部、薬学部及び看護学部のそれぞれの専任教授をもって当該学部毎に組織する。
- 3 教授会は、学長が次の事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、別に定めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 教授会の運営に関する規程は、別に定める。

第 11 章 学生収容定員

第 36 条 各学部の学生定員は次のとおりとする。

医学部医学科	入学定員	95 名	収容定員	570 名
歯学部歯学科	入学定員	73 名	収容定員	438 名
薬学部薬学科	入学定員	50 名	収容定員	300 名
看護学部看護学科	入学定員	90 名	3 年次編入学定員	5 名 収容定員 370 名

第 12 章 研究生・研修生・研究員・聴講生・科目等履修生及び外国人学生

第 37 条 本学において特殊事項に関する研究及び研修を志願する者については、選考のうえ研究生、研修生、研究員として許可することができる。

- 2 研究生、研修生、研究員に関する規程は、別に定める。

第 38 条 本学に聴講を希望する者がある場合は、選考のうえ聴講生として入学を許可することができる。

- 2 聴講生の規程は、別に定める。

第 38 条の 2 本学の学生以外の者で、本学が開講する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、授業に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生の規程は、別にこれを定める。

第 38 条の 3 研究生、研修生、研究員、聴講生には、第 8 条、第 9 条、第 11 条、第 12 条、第 18 条、第 19 条、第 20 条、第 30 条及び第 40 条は、これを適用しない。

第 39 条 外国人留学生を入学させることがある。外国人学生は、特に規定あるものの外は本学則の一般規定を準用する。

第 13 章 賞罰

第 40 条 人物及び学業の優秀な者は、教授会の議を経て学長がこれを表彰することがある。

第 41 条 学生がその本分にもとる行為をした場合は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、戒告、停学、退学、退学のうえ除籍の 4 種とする。

第 42 条 次の各号の一に該当する学生は、教授会の議を経て学長が退学又は退学のうえ除籍することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく欠席が多い者
- (4) 本学の秩序を乱す者

第 14 章 附属施設

第 43 条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 附属病院
- (3) 附属薬用植物園

2 附属図書館規程、附属病院規程及び附属薬用植物園規程は、別に定める。

第 15 章 学生の厚生補導等

第 44 条 学生の厚生補導の充実を図るため、学生部を置く。

2 学生部規程および学生の厚生及び補導については別に定める。

第 45 条 本学に学生寮を置くことができる。

第 16 章 学生心得

第 46 条 学生心得は、別に定める。

第 17 章 改廃

第 47 条 この学則の改廃は、関係学部教授会及び教学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

この学則は、昭和 22 年 6 月 18 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 29 年 9 月 15 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 44 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 46 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 46 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 48 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料等は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 50 年 10 月 24 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 52 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 53 年 2 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 54 年 2 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 55 年 2 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 57 年 1 月 5 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 59 年 1 月 2 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 61 年 1 月 6 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、昭和 62 年 10 月 20 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 24 条第 1 項に定める歯学部学納金のうち、実験実習費並びに施設整備費の（）書は昭和 63 年度以降歯学部に入学者に適用する。
- 3 この改正学則施行の際、昭和 60 年度以前に入学し、在学している学生については、第 24 条第 3 項の規定は適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学している学生については、第 20 条第 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定は、平成 2 年 4 月 1 日より適用する。
ただし、この改正学則施行の際、現に休学している学生については、第 20 条 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 3 年 11 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。
ただし、消費税法の一部を改正する法律（平成 3 年 5 月 15 日法律第 73 号）の改正にともない、第 24 条の入学金及び施設整備費は非課税とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 5 年 11 月 1 日から施行する。

- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成7年9月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年9月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の在学年限は、第2条第3項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成13年10月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成14年10月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年11月30日付、文部科学大臣からの薬学部設置認可に伴い改正し、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第36条の規定にかかわらず、平成20年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度～ 29年度
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
収容定員	490人	500人	510人	520人	530人	540人

- 3 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

この学則は、平成20年8月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 第36条の規定にかかわらず、平成21年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	505人	520人	535人	550人	565人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

- この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 学生定員の取扱については、平成20年8月5日付、文部科学省からの「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について（通知）」に基づき改定するものとし、平成20年4月1日の「新医師確保総合対策」に基づく附則、ならびに平成21年4月1日施行の「緊急医師確保対策」に基づく附則に関わらず次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
収容定員	520人	550人	580人	610人	640人	660人

附 則

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 第36条の規定にかかわらず、平成22年度から平成37年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 ～29年度	平成30年度
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125人	110人
収容定員	565人	610人	655人	700人	735人	750人	735人
	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
入学定員	110人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	720人	690人	660人	630人	600人	585人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠等に係る入学生（地方自治体による医学生奨学金制度等を利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。
- 第36条の規定にかかわらず、平成22年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度～ 31年度
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
収容定員	475人	470人	465人	460人	455人	450人

附 則

- この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。（平成 22 年 6 月 28 日一部改正）
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第 30 条の規定にかかわらず従前どおりとする。
- この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。（平成 23 年 2 月 28 日一部改正）

附 則

この学則は、平成 23 年 6 月 1 日から施行する。（平成 23 年 5 月 30 日一部改正）

附 則

- この学則は、平成 24 年 7 月 1 日から施行する。（平成 24 年 6 月 25 日一部改正）
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第 30 条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。（平成 24 年 10 月 29 日一部改正）
- 第 36 条の規定にかかわらず、平成 25 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
入学定員	123人	123人	123人	123人	123人	108人	108人
編入学定員	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人
収容定員	705人	745人	765人	770人	768人	751人	736人
	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人	
編入学定員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
収容定員	701人	666人	631人	596人	583人	570人	

- 第36条の規定にかかわらず、平成25年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度～ 31年度
入学定員	73人	73人	73人	73人	73人	73人
収容定員	458人	451人	444人	442人	440人	438人

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。（平成 27 年 3 月 23 日一部改正）

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 8 月 31 日付、文部科学大臣からの看護学部設置認可に伴い改正し、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の同一学年在学年限は、第 2 条第 3 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（平成 29 年 7 月 31 日一部改正、平成 30 年 3 月 26 日一部改正(別表 1 第 6 条関係の変更)）
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
入学定員	123 人	123 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	7 人	7 人	0人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766人	766人	731人	696人	661人	626人	598人
	平成37年度						
入学定員	95 人						
編入学定員	0 人						
収容定員	570人						

- 3 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 35 年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
入学定員	120 人	120 人	120 人	120 人	120 人	120 人
収容定員	920人	880人	840人	800人	760人	720人

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。（平成 30 年 4 月 23 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更）、平成 31 年 3 月 25 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））

附 則

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。（令和元年 7 月 29 日一部改正、令和 2 年 3 月 30 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から令和 9 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	126 人	126 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	4 人	4 人	0人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766人	766人	731人	696人	664人	632人	601人
	令和9年度						

入学定員	95 人
編入学定員	0 人
収容定員	570人

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。（令和2年6月29日一部改正、令和3年3月29日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和3年度から令和8年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
収容定員	760人	680人	600人	560人	520人	480人

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。（令和3年4月26日一部改正（別表1第6条関係の変更）、令和3年7月26日一部改正、令和4年3月28日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和4年度から令和10年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	126 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	4 人	0人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766人	731人	699人	667人	632人	601人	570人

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。（令和4年9月6日一部改正、令和5年3月27日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和5年度から令和11年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	130 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人	95 人
収容定員	766人	734人	702人	667人	636人	605人	570人

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。（令和5年10月26日一部改正、令和5年12月18日一部改正、令和6年3月25日一部改正（別表1第6条関係の変更、第7条関係の変更））
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和12年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
入学定員	130 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人	95 人

収容定員	769人	737人	702人	671人	640人	605人	570人
------	------	------	------	------	------	------	------

3 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和11年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	50名	50名	50名	50名	50名	50名
収容定員	530名	460名	390名	360名	330名	300名

附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。（令和6年12月16日一部改正、令和7年3月24日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和7年度から令和13年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
入学定員	130名	95名	95名	95名	95名	95名	95名
収容定員	772名	737名	706名	675名	640名	605名	570名

附 則

- 1 この学則は、令和7年8月1日から施行する。（令和7年6月30日一部改正（別表2第30条関係の変更））

附 則

- 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。（令和7年12月15日一部改正、令和8年3月30日一部改正（第2条第3項関係の変更、別表1第6条関係の変更））
- 2 第36条の規定にかかわらず、令和8年度から令和14年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
入学定員	130名	95名	95名	95名	95名	95名	95名
収容定員	772名	741名	710名	675名	640名	605名	570名

別表 1 （第 6 条関係：看護学部）
(2) 2023年度以前入学者用

科目区分		科目名	履修年次	単位	区分	備考
I P E 関連科目		多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
		チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
		4学部合同セミナー	4	1	演習	必修
教養教育科目群	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修
		基礎自然科学	1	1	講義	必修
		情報科学	1	2	講義	必修
		健康運動科学	1	2	講義	必修
		社会福祉	1	1	講義	必修
		心理学	1	1	講義	必修
		医療面接の基礎	1	1	講義	必修
		生命倫理学	1	1	講義	必修
		データサイエンス	1	1	講義	必修
		English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
		English Reading & Writing	1	2	講義	必修
		医療英語	2	1	講義	必修
		ベーシック生物	1	1	講義	選択
		スタンダード生物	1	1	講義	選択
		アドバンスト生物	1	1	講義	選択
		自然・文化人類学	1	1	講義	選択
		ベーシック化学	1	1	講義	選択
		ベーシック物理	1	1	講義	選択
		解析学入門	1	1	講義	選択
		医療とスポーツ	1	1	講義	選択
		医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
		道德のしくみ	1	1	講義	選択
		ベーシック数学	1	1	講義	選択
		アドバンスト化学	1	1	講義	選択
		文学の世界	1	1	講義	選択
		実践英語	1	1	講義	選択
		医療と福祉	1	1	講義	選択
		科学英語	1	1	講義	選択
		医療と物語	1	1	講義	選択
		人間関係論	1	1	講義	選択
		パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
		哲学の世界	1	1	講義	選択
		医療と法律	1	1	講義	選択
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
		生化学	1	2	講義	必修
		感染免疫学	1	2	講義	必修
		基礎解剖学	1	2	講義	必修
		基礎生理学	1	2	講義	必修
		病理学概論	1	1	講義	必修
		薬理学	2	2	講義	必修
		臨床心理学	2	1	講義	必修
		疾病論Ⅰ（内科系総論）	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅱ（外科系総論）	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅲ（各論）	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅳ（展開論）	2	2	講義	必修
		臨床病態生理学	3	1	講義	必修
		看護薬理学	4	1	講義	必修
		臨床推論	4	1	講義	必修
		医学・医療論	1	1	講義	必修
		公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修
		保健統計学	3	2	講義	必修
	看護専門科目	看護学概論（全人的医療基礎講義含む）	1	2	講義	必修
		看護倫理学	3	1	講義	必修
		生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）	1	1	演習	必修
		生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）	1	1	演習	必修
		フィジカルアセスメント	1	1	演習	必修
		診療援助技術論	1	2	演習	必修
		看護過程論	1	1	講義	必修
		看護過程演習	2	2	演習	必修
		地域健康生活論	1	1	講義	必修
		地域・在宅看護学概論	2	2	講義	必修
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護方法論	2	2	講義	必修
		地域・在宅看護学演習	3	1	演習	必修

科目区分		科目名	履修年次	単位	区分	備考
専門科目群	成人看護学	成人看護学概論	2	1	講義	必修
		成人慢性期看護方法論	2	2	講義	必修
		成人急性期看護方法論	2	2	講義	必修
		成人慢性期看護学演習	2	1	演習	必修
		成人急性期看護学演習	3	1	演習	必修
	老年看護学	老年看護学概論	2	1	講義	必修
		老年看護方法論	2	2	講義	必修
		老年看護学演習	3	1	演習	必修
	小児看護学	小児看護学概論	2	1	講義	必修
		小児看護方法論	2	2	講義	必修
		小児看護学演習	3	1	演習	必修
	母性看護学	母性看護学概論	2	1	講義	必修
		母性看護方法論	2	2	講義	必修
		母性看護学演習	3	1	演習	必修
	精神看護学	精神看護学概論	2	1	講義	必修
		精神看護方法論	2	2	講義	必修
		精神看護学演習	3	1	演習	必修
	看護の統合と実践	災害ケア論	1	1	講義	必修
		医療安全論	2	1	講義	必修
		緩和ケア論	2	1	講義	必修
		国際看護学	3	1	講義	必修
		看護研究入門	3	1	講義	必修
		看護管理学	4	1	講義	必修
		看護研究	4	1	演習	必修
		基礎看護学実習	1	1	実習	必修
		基礎看護過程実習	2	2	実習	必修
		地域・在宅看護学実習	3～4	3	実習	必修
	臨地実習	成人看護学慢性期・回復期実習	3～4	3	実習	必修
		成人看護学急性期実習	3～4	3	実習	必修
		老年看護学実習	3～4	3	実習	必修
		小児看護学実習	3～4	2	実習	必修
		母性看護学実習	3～4	2	実習	必修
		精神看護学実習	3～4	2	実習	必修
		統合看護実習	4	2	実習	必修
		医療情報論	3	1	講義	選択
専門科目群	発展科目	災害医療論	3	1	講義	選択
		家族ケア論	3	1	講義	選択
		スキンケア論	3	1	講義	選択
		看護教育論	4	1	講義	選択
		メンタルヘルスケア論	4	1	講義	選択
		看護政策論	4	1	講義	選択
		地域包括ケア論	4	1	講義	選択
	公衆衛生看護学	対象別健康支援論	3	1	講義	選択
		公衆衛生看護管理論	3	1	講義	選択
		公衆衛生看護方法論	3	1	演習	選択
		学校・産業保健論	3	1	講義	選択
		健康危機管理論	3	1	講義	選択
		地域アセスメント演習	4	1	演習	選択
		地区・組織支援論	4	1	講義	選択
		保健医療福祉行政論	4	1	講義	選択
		公衆衛生看護学実習	4	3	実習	選択
		日本国憲法	2	2	講義	選択
	助産学関連科目群	助産学概論	3	1	講義	選択
		母子の心理・社会学	3	1	講義	選択
		助産診断技術学（ローリスク）	3	1	講義	選択
		助産診断技術学（ハイリスク）	3	1	講義	選択
		助産診断技術学（新生児）	3	1	講義	選択
		性と生殖の健康科学	3	1	講義	選択
		母子の健康教育論	3	1	講義	選択
		助産診断技術学（分娩期）	4	2	演習	選択
		周産期医学	4	1	講義	選択
		地域母子保健	4	1	講義	選択
		助産管理学	4	1	講義	選択
		地域母子保健実習	4	2	実習	選択
		助産学実習	4	8	実習	選択
	自由科目	看護研究実践演習	4	1	演習	自由
		地域医療課題解決演習	1～4	1	演習	自由
		臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義	自由
		感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習	自由
		海外英語演習	1～4	2	演習	自由

別表 1 （第 6 条関係：看護学部）
(1) 2024年度及び2025年度入学者用

科目 区分	科目名	履修 年次	単位	区分	備考
教養教育科目群	関連科目 I P E	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習 必修
		チーム医療リテラシー	3	1	演習 必修
		4学部合同セミナー	4	1	演習 必修
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1	1	講義 必修
		基礎自然科学	1	1	講義 必修
		情報科学	1	2	講義 必修
		健康運動科学	1	2	講義 必修
		社会福祉	1	1	講義 必修
		心理学	1	1	講義 必修
		医療面接の基礎	1	1	講義 必修
		生命倫理学	1	1	講義 必修
		データサイエンス	1	1	講義 必修
		English Speaking & Listening	1	1	講義 必修
		English Reading & Writing	1	2	講義 必修
		医療英語	2	1	講義 必修
		ベーシック生物	1	1	講義 選択
		スタンダード生物	1	1	講義 選択
		アドバンスト生物	1	1	講義 選択
		自然・文化人類学	1	1	講義 選択
		ベーシック化学	1	1	講義 選択
		ベーシック物理	1	1	講義 選択
		解析学入門	1	1	講義 選択
		医療とスポーツ	1	1	講義 選択
		医療とコミュニケーション	1	1	講義 選択
		道德のしくみ	1	1	講義 選択
		ベーシック数学	1	1	講義 選択
		アドバンスト化学	1	1	講義 選択
		アドバンスト数学	1	1	講義 選択
		文学の世界	1	1	講義 選択
		実践英語	1	1	講義 選択
		医療と福祉	1	1	講義 選択
		科学英語	1	1	講義 選択
		医療と物語	1	1	講義 選択
		人間関係論	1	1	講義 選択
		パーソナリティ心理学	1	1	講義 選択
		哲学の世界	1	1	講義 選択
		医療と法律	1	1	講義 選択
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義 必修
		生化学	1	2	講義 必修
		感染免疫学	1	2	講義 必修
		基礎解剖学	1	2	講義 必修
		基礎生理学	1	2	講義 必修
		病理学概論	1	1	講義 必修
		薬理学	2	2	講義 必修
		臨床心理学	2	1	講義 必修
		疾病論Ⅰ（内科系総論）	2	2	講義 必修
		疾病論Ⅱ（外科系総論）	2	2	講義 必修
		疾病論Ⅲ（各論）	2	2	講義 必修
		疾病論Ⅳ（展開論）	2	2	講義 必修
		臨床病態生理学	3	1	講義 必修
		看護薬理学	4	1	講義 必修
		臨床推論	4	1	講義 必修
		医学・医療論	1	1	講義 必修
		公衆衛生学・疫学	3	2	講義 必修
		保健統計学	3	2	講義 必修
	看護専門科目 基礎看護学	看護学概論（全人的医療基礎講義含む）	1	2	講義 必修
		看護倫理学	3	1	講義 必修
		生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）	1	1	演習 必修
		生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）	1	1	演習 必修
		フィジカルアセスメント	1	1	演習 必修
		診療援助技術論	1	2	演習 必修
		看護過程論	1	1	講義 必修
		看護過程演習	2	2	演習 必修
		地域健康生活論	1	1	講義 必修
		地域・在宅看護学概論	2	2	講義 必修
		地域・在宅看護方法論	2	2	講義 必修
		地域・在宅看護学演習	3	1	演習 必修

科目 区分	科目名	履修 年次	単位	区分	備考
専門科目群	成人看護学	成人看護学概論	2	1	講義 必修
		成人慢性期看護方法論	2	2	講義 必修
		成人急性期看護方法論	2	2	講義 必修
		成人慢性期看護学演習	2	1	演習 必修
		成人急性期看護学演習	3	1	演習 必修
	老年看護学	老年看護学概論	2	1	講義 必修
		老年看護方法論	2	2	講義 必修
		老年看護学演習	3	1	演習 必修
	小児看護学	小児看護学概論	2	1	講義 必修
		小児看護方法論	2	2	講義 必修
		小児看護学演習	3	1	演習 必修
	母性看護学	母性看護学概論	2	1	講義 必修
		母性看護方法論	2	2	講義 必修
		母性看護学演習	3	1	演習 必修
	精神看護学	精神看護学概論	2	1	講義 必修
		精神看護方法論	2	2	講義 必修
		精神看護学演習	3	1	演習 必修
	看護の統合と実践	災害ケア論	1	1	講義 必修
		医療安全論	2	1	講義 必修
		緩和ケア論	2	1	講義 必修
		国際看護学	3	1	講義 必修
		看護研究入門	3	1	講義 必修
		看護管理学	4	1	講義 必修
		看護研究	4	1	演習 必修
		基礎看護学実習	1	1	実習 必修
		基礎看護過程実習	2	2	実習 必修
	臨地実習	地域・在宅看護学実習	3～4	3	実習 必修
		成人看護学慢性期・回復期実習	3～4	3	実習 必修
		成人看護学急性期実習	3～4	3	実習 必修
		老年看護学実習	3～4	3	実習 必修
		小児看護学実習	3～4	2	実習 必修
		母性看護学実習	3～4	2	実習 必修
		精神看護学実習	3～4	2	実習 必修
		統合看護実習	4	2	実習 必修
		医療情報論	3	1	講義 選択
専門科目群	発展科目	災害医療論	3	1	講義 選択
		家族ケア論	3	1	講義 選択
		スキンケア論	3	1	講義 選択
		看護教育論	4	1	講義 選択
		メンタルヘルスケア論	4	1	講義 選択
		看護政策論	4	1	講義 選択
	公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学 公衆衛生看護学	地域包括ケア論	4	1	講義 選択
		対象別健康支援論	3	1	講義 選択
		公衆衛生看護管理論	3	1	講義 選択
		公衆衛生看護方法論	3	1	演習 選択
		学校・産業保健論	3	1	講義 選択
		健康危機管理論	3	1	講義 選択
		地域アセスメント演習	4	1	演習 選択
		地区・組織支援論	4	1	講義 選択
		保健医療福祉行政論	4	1	講義 選択
		公衆衛生看護学実習	4	3	実習 選択
		日本国憲法	2	2	講義 選択
	助産学関連科目群	助産学概論	3	1	講義 選択
		母子の心理・社会学	3	1	講義 選択
		助産診断技術学（ローリスク）	3	1	講義 選択
		助産診断技術学（ハイリスク）	3	1	講義 選択
		助産診断技術学（新生児）	3	1	講義 選択
		性と生殖の健康科学	3	1	講義 選択
		母子の健康教育論	3	1	講義 選択
		助産診断技術学（分娩期）	4	2	演習 選択
		周産期医学	4	1	講義 選択
		地域母子保健	4	1	講義 選択
		助産管理学	4	1	講義 選択
		地域母子保健実習	4	2	実習 選択
		助産学実習	4	8	実習 選択
自由科目		看護研究実践演習	4	1	演習 自由
		地域医療課題解決演習	1～4	1	演習 自由
		臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義 自由
		感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習 自由
		海外英語演習	1～4	2	演習 自由

別表 1（第 6 条関係：看護学部）
(1) 2026年度以降入学者用

科目区分		科目名	履修年次	単位	区分	備考
教養教育科目群	関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
		チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
		4学部合同セミナー	4	1	演習	必修
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修
		基礎自然科学	1	1	講義	必修
		情報科学	1	2	講義	必修
		健康運動科学	1	2	講義	必修
		社会福祉	1	1	講義	必修
		心理学	1	1	講義	必修
		医療面接の基礎	1	1	講義	必修
		生命倫理学	1	1	講義	必修
		データサイエンス	1	1	講義	必修
		English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
		English Reading & Writing	1	2	講義	必修
		医療英語	2	1	講義	必修
		ベーシック生物	1	1	講義	選択
		スタンダード生物	1	1	講義	選択
		アドバンスト生物	1	1	講義	選択
		自然・文化人類学	1	1	講義	選択
		ベーシック化学	1	1	講義	選択
		ベーシック物理	1	1	講義	選択
		解析学入門	1	1	講義	選択
		医療とスポーツ	1	1	講義	選択
		医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
		道德のしくみ	1	1	講義	選択
		ベーシック数学	1	1	講義	選択
		アドバンスト化学	1	1	講義	選択
		アドバンスト数学	1	1	講義	選択
		文学の世界	1	1	講義	選択
		実践英語	1	1	講義	選択
		医療と福祉	1	1	講義	選択
		科学英語	1	1	講義	選択
		医療と物語	1	1	講義	選択
		人間関係論	1	1	講義	選択
		パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
		哲学の世界	1	1	講義	選択
		医療と法律	1	1	講義	選択
	看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
		生化学	1	2	講義	必修
		感染免疫学	1	2	講義	必修
		基礎解剖学	1	2	講義	必修
		基礎生理学	1	2	講義	必修
		病理学概論	1	1	講義	必修
		薬理学	2	2	講義	必修
		臨床心理学	2	1	講義	必修
		疾病論Ⅰ（内科系総論）	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅱ（外科系総論）	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅲ（各論）	2	2	講義	必修
		疾病論Ⅳ（展開論）	2	2	講義	必修
		臨床病態生理学	3	1	講義	必修
		看護薬理学	4	1	講義	必修
		臨床推論	4	1	講義	必修
		医学・医療論	1	1	講義	必修
		公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修
		保健統計学	3	2	講義	必修
	看護専門科目	看護学概論（全人的医療基礎講義含む）	1	2	講義	必修
		看護倫理学	3	1	講義	必修
		生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）	1	1	演習	必修
		生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）	1	1	演習	必修
		フィジカルアセスメント	1	1	演習	必修
		診療援助技術論	1	2	演習	必修
		看護過程論	1	1	講義	必修
		看護過程演習	2	2	演習	必修
	地域・在宅看護学	地域健康生活論	1	1	講義	必修
		地域・在宅看護学概論	2	2	講義	必修
		地域・在宅看護方法論	2	2	講義	必修
		地域・在宅看護学演習	3	1	演習	必修

科目区分		科目名	履修年次	単位	区分	備考		
専門科目群	看護専門科目	成人看護学	成人看護学概論	2	1	講義	必修	
			成人慢性期看護方法論	2	2	講義	必修	
			成人急性期看護方法論	2	2	講義	必修	
			成人慢性期看護学演習	2	1	演習	必修	
			成人急性期看護学演習	3	1	演習	必修	
		老年看護学	老年看護学概論	2	1	講義	必修	
			老年看護方法論	2	2	講義	必修	
			老年看護学演習	3	1	演習	必修	
		小児看護学	小児看護学概論	2	1	講義	必修	
			小児看護方法論	2	2	講義	必修	
			小児看護学演習	3	1	演習	必修	
		母性看護学	母性看護学概論	2	1	講義	必修	
			母性看護方法論	2	2	講義	必修	
			母性看護学演習	3	1	演習	必修	
		精神看護学	精神看護学概論	2	1	講義	必修	
			精神看護方法論	2	2	講義	必修	
			精神看護学演習	3	1	演習	必修	
		看護の統合と実践	災害ケア論	1	1	講義	必修	
			医療安全論	2	1	講義	必修	
			緩和ケア論	2	1	講義	必修	
			国際看護学	3	1	講義	必修	
			看護研究入門	3	1	講義	必修	
			看護管理学	4	1	講義	必修	
			看護研究	4	1	演習	必修	
			臨地実習	基礎看護学実習	1	1	実習	必修
				基礎看護過程実習	2	2	実習	必修
				地域・在宅看護学実習	3～4	3	実習	必修
		成人看護学慢性期・回復期実習		3～4	3	実習	必修	
		成人看護学急性期実習		3～4	3	実習	必修	
		老年看護学実習		3～4	3	実習	必修	
		小児看護学実習		3～4	2	実習	必修	
		母性看護学実習		3～4	2	実習	必修	
		精神看護学実習		3～4	2	実習	必修	
		統合看護実習		4	2	実習	必修	
		発展科目	医療情報論	3	1	講義	選択	
	災害医療論		3	1	講義	選択		
	家族ケア論		3	1	講義	選択		
	スキンケア論		3	1	講義	選択		
	看護教育論		4	1	講義	選択		
	メンタルヘルスケア論		4	1	講義	選択		
	看護政策論		4	1	講義	選択		
	地域包括ケア論		4	1	講義	選択		
	公衆衛生看護学	対象別健康支援論	3	1	講義	選択		
		公衆衛生看護管理論	3	1	講義	選択		
		公衆衛生看護方法論	3	1	演習	選択		
		学校・産業保健論	3	1	講義	選択		
		健康危機管理論	3	1	講義	選択		
		地域アセスメント演習	4	1	演習	選択		
		地区・組織支援論	4	1	講義	選択		
		保健医療福祉行政論	4	1	講義	選択		
		公衆衛生看護学実習	4	3	実習	選択		
		日本国憲法	2	2	講義	選択		
		助産学関連科目群	助産学概論	3	1	講義	選択	
	母子の心理・社会学		3	1	講義	選択		
助産診断技術学（ローリスク）	3		1	講義	選択			
助産診断技術学（ハイリスク）	3		1	講義	選択			
助産診断技術学（新生児）	3		1	講義	選択			
性と生殖の健康科学	3		1	講義	選択			
母子の健康教育論	3		1	講義	選択			
助産診断技術学（分娩期）	4		2	演習	選択			
周産期医学	4		1	講義	選択			
地域母子保健	4		1	講義	選択			
助産管理学	4		1	講義	選択			
地域母子保健実習	4		2	実習	選択			
助産学実習	4		8	実習	選択			
自由科目	看護研究実践演習		4	1	演習	自由		
	地元創成看護	1	1	演習	自由			
	地域医療課題解決演習	1～4	1	演習	自由			
	臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義	自由			
	感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習	自由			
	海外英語演習	1～4	2	演習	自由			

別表 2（第30条関係）

1. 入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。（転部入学含む）

		医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料		60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金		2,000,000 円	600,000 円	350,000 円	250,000 円
授業料（年額）		2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	初年度（年額）	500,000 円	—	125,000 円	150,000 円
	第2学年以降（年額）	500,000 円	—	195,000 円	150,000 円
施設整備費（年額）		1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	入学時	3,000,000 円	2,000,000 円	—	—
	第2学年以降（年額）	1,000,000 円	800,000 円	—	—

※教育充実費のうち、平成 21 年度医学部在学中の学生の第 2 学年からの年額は 800,000 円とする。

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

2. 再入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。

		医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料		60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金		500,000 円	300,000 円	175,000 円	125,000 円
授業料（年額）		2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	第 1 学年（年額）	500,000 円	—	125,000 円	150,000 円
	第 2 学年以降（年額）	500,000 円	—	195,000 円	150,000 円
施設整備費（年額）		1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	第 1 学年（年額）	—	—	—	—
	第 2 学年以降（年額）	1,000,000 円	800,000 円	—	—

3. 転入学（歯学部に限る。）に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、前項と同額とする。

4. 編入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他の学費は、次のとおりとする。

		医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料		60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金		2,000,000 円	600,000 円	350,000 円	250,000 円
授業料（年額）		2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費（年額）		500,000 円	—	195,000 円	150,000 円
施設整備費（年額）		1,500,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	編入学時	3,000,000 円	800,000 円	—	—
	次年度以降（年額）	1,000,000 円	800,000 円	—	—

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

5. 留年した者についての授業料、その他学費は、次のとおりとする。

(1) 第1学年において留年した者

留年年度における第1学年の授業料、実験実習費及び施設整備費とする。

(2) 第2学年以降において留年した者

留年年度における留年学年の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費とする。

ただし、最終学年で留年した者で、前期末に卒業する者については、授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費のいずれも半額とする。

備考 第1項から第5項における入学検定料、入学金、授業料、その他学費については、次年度以降変更することがある。

岩手医科大学看護学部における在学年限に関する規程

第1条 本規程は、岩手医科大学学則第2条第3項に定める在学年限について、看護学部における取扱いを定めるものである。

第2条 看護学部の学生の在学年限は、同一学年につき3年とする。

第3条 この規程の改廃は、看護学部教授会及び教学運営会議の議を経て学長が決定する。

第4条 この規程に関する事務は、看護学部教務課が行う。

附 則

1 この規程は、令和8年4月1日から施行する。

岩手医科大学における各学部等の人材養成および教育研究上の目的と使命に関する規程

(趣旨)

第1条 大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第2条に則り、学則第1条第2項に基づき、本学の教育研究方針を明確にし、学部等における教育の質を保証するとともにその基準を内外に示すため、以下に各学部等の人材養成および教育研究上の目的と使命（以下「各学部等の目的と使命」という）を定めるものとする。

(各学部等の目的と使命)

第2条 医学・歯学・薬学・看護学の四学部をもつ医療総合大学としての特色を活かし、各学部間の緊密な連携のもとに人類の健康・福祉の向上に貢献することを目指す。各学部等の目的と使命を以下のとおり定める。

(1) 医学部

教育・診療・研究において、主導的役割を担う豊かな人間性を備えた人材を養成する。このために、社会、患者、保健や医療に関わる機関の期待に応え、地域や世界的な医療、社会の保健、健康増進、医学教育並びに医学研究の専門的能力を高める人材を育成する。また、人としての教養を高め、医師としての十分な知識と技能を修得させ、発展を続ける医学に対応する生涯学習のための自己啓発能力を涵養する。

(2) 歯学部

豊かな教養と人間性を涵養し、全人的医療を実践し、歯科医学、歯科医療ならびに口腔保健の進歩発展に寄与することのできる人材を養成する。

(3) 薬学部

基礎薬学から医療・臨床薬学の教育研究を通し、豊かな人間性と広い視野から問題を発見し解決する能力を備え、薬学の進歩と地域医療の発展に貢献する人材を養成する。

(4) 看護学部

人々の尊厳と権利を尊重し、最新の高度医療に対応する実践能力を持ち、自律的に責務を遂行できる看護専門職として、看護学の発展に寄与し、地域社会に貢献する人材を養成する。

(5) 全学教育推進機構教養教育センター

地域医療と国際社会に貢献する基盤として、学則に謳う人としての教養を高め、豊かな人間性を涵養する。そのため、人文科学も含めた広い意味での科学を修得し、医学、歯学、薬学、看護学、またそれらの複合領域等において、自己研鑽を継続できる人材を養成する。

(改廃)

第3条 この規程の改廃は、教学運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 9 月 26 日 から施行し、改正後の規定は、平成 22 年 6 月 15 日から適用する。

附 則

この規程は、平成 27 年 12 月 1 日から施行する。(薬学部における目的の変更)

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。(看護学部の目的の追加、規程改廃の決定機関変更)

附 則

この規程は、令和 2 年 2 月 12 日から施行する。(教養教育センターの目的の追加)

附 則

この規程は、令和 8 年 2 月 1 日から施行する。(医学部および教養教育センターの目的と使命の追記)

学生心得

本学の目的は、「医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成する」にあります（学則第 1 章第 1 条）。この建学の精神を認識し、大学の内外を問わず、良識ある公民として自らの責任で行動してください。

1. 本学学生としての心構え

- (1) 医師、歯科医師、薬剤師、看護職を志す者としての自覚を常に持って行動してください。
- (2) 学生としてふさわしい言動、礼儀作法及び服装等について十分注意を払ってください。
- (3) 学生同士、教員、医療従事者、患者、およびその家族を尊重し適切な行動をとるよう努めてください。
- (4) 講義、実習等に出席し、学修に対して意欲を持ち知識・技能・態度の修得に努めてください。

○アンプロフェッショナルな行動の例示

本学は医学教育、歯学教育、薬学教育および看護学教育を通じて、誠の人間を育成することを建学の精神としています（学則第 1 章第 1 条）。この建学の精神を認識し、大学の内外を問わず、医療人を志す学生としての自覚を持った行動を求めます。

それに反する行為、行動の例を以下に示します。

(1) 不適切な態度・行動の繰り返し

- ・ 活動に参加しない、臨床現場での学習に参加しない
- ・ 事務手続き、教員からの連絡を無視する
- ・ 時間管理ができない
- ・ 講義、実習等を特段の理由がないにもかかわらず欠席する
- ・ 患者や同僚などへの無礼
- ・ 他者からの建設的なフィードバックから学ぶことができない
- ・ 学修環境や臨床現場を混乱させる
- ・ 教員へ挑戦的行動をとる
- ・ 教員からの指摘を受け入れない

(2) 不正行為

- ・ 定期試験等での携帯電話・スマートフォン等の不正利用やカンニング行為
- ・ 講義、実習での出席届の不正
- ・ 他者が行った活動を自分が行ったと偽ること
- ・ 自分が受けた試験の内容を他の学生に伝える
- ・ 評価表での指導者のサインの捏造や、試験、ポートフォリオへの不正行為
- ・ レポート等における剽窃、盗用、および生成AI等の不適切な利用

(3) 職務上の役割以外の不正行為または詐欺

- ・ 研究でのデータ捏造
- ・ 金銭的詐欺
- ・ 経歴詐欺、書類偽造
- ・ 資格詐称
- ・ ポートフォリオなどの書類の偽造、改ざん
- ・ 不正行為や健康問題の大学への未申告
- ・ 健康問題（例えば、インフルエンザやコロナの罹患）の故意隠蔽

(4) 医療人を目指す者としての不適切な行動

- ・ ソーシャルメディア等の悪用（教育病院での臨床現場を批判するなど）
- ・ 守秘義務の不履行
- ・ ケアや治療について、指導者に相談せずに患者に間違ったことを伝える
- ・ 患者からの同意を得ずに医療行為を行う
- ・ 性的、人種的およびその他のハラスメント
- ・ 不適切な診察や一線を越えた行動
- ・ 不当な差別

(5) 攻撃的な暴力や脅し

- ・ 暴行、身体的暴力
- ・ いじめ（ソーシャルメディア等によるものを含む）
- ・ ハラスメント
- ・ ストーカー行為

(6) 薬物またはアルコールの誤用や濫用

- ・ 飲酒運転
- ・ 処方薬の乱用
- ・ 飲酒により臨床業務、職場環境や教育環境を乱す
- ・ 薬物の不適切使用
- ・ 不適切な過度の飲酒

(7) その他の不適切行動または犯罪行為

- ・ 違法薬物の所持、取り扱い、提供
- ・ 窃盗
- ・ 無賃乗車
- ・ 金融詐欺
- ・ 児童ポルノ
- ・ 児童虐待またはその他の虐待
- ・ 犯罪の仲介・斡旋

また、学生生活を送る上で、以下のことを厳守してください。

2. 伝達方法

大学からの通知や連絡は掲示板への掲示や学修支援システム（WebClass、moodle 等）を通じて行いますので、未確認による不利益を被ることがないように必ず確認してください。利用する学修支援システムは、所属学部の指示に従ってください。また、メールアドレスを変更した場合は学修支援システムに登録されているアドレスも必ず変更してください。

父母等から大学へ電話による学生の呼出しを依頼される場合がありますが、緊急かつ必要と認められる場合を除き、原則として掲示板、学修支援システムによって通知する以外はできませんので、ご了承ください。

3. 学生証について

学生証は本学学生であることを証明するものですので、常時携帯してください。また、学内で諸手続きをする場合は、学生証の呈示が必要ですので、破損・紛失した場合は直ちに所属学部の教務課にて再交付の手続きをしてください。

学生証は卒業・退学・除籍等の場合は直ちに所属学部の教務課に返納してください。

4. ネームプレートの着用について

ネームプレートは学内では必ず着用してください。破損・紛失した場合は直ちに所属学部の教務課にて再交付の手続きをしてください。

5. ロッカーについて

全学生に対してロッカーを貸与します。貴重品を置く場合は必ず施錠して下さい。ロッカーの室内は共用の場所ですので私物を放置しないでください。また、ロッカーの鍵を破損・紛失した場合は直ちに所属学部の教務課で再購入（実費負担）の手続きをしてください。

6. 授業料等の納付について

入学年度以降の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、毎年 4 月 25 日までに納入してください。なお、授業料は 2 回に分割することができ、分納する場合の 2 回目の納入期限日は 9 月 25 日です。授業料等を所定の期日までに納入しない場合は、学則により出席停止の上、除籍となる場合があります。

7. 自動車通学について

矢巾キャンパスへの自動車通学は、「自動車通学許可申請書」を学事課（矢巾）に提出し、大学で定める自動車安全講習会を受講した後、許可証が発行された場合にのみ許可されます。なお、許可まで 1 ヶ月程度時間がかかります。

また、内丸キャンパスへの自動車通学は原則として認めていません。やむを得ず通学を希望する場合は、学事課（矢巾）に相談してください。学生駐車場以外に駐車した場合、自動車通学の許可を取り消します。

登録料	2,000 円 (年間)
有効期限	申請年度内に限り有効 ※年度毎に更新申請が必要
通学許可基準	大学と居住地との距離が半径 1.3 km以上離れていること
申請に必要なもの	① 自動車通学許可申請書 ②登録料 ③免許証
登録証の発行	申請後、自動車安全講習会(初年度のみ)を受講し、許可された場合のみ発行

8. 自転車・バイクの登録について

自転車・バイクで通学する場合は必ず登録してください。1 回の登録で在学期間中は有効です。

登録料	バイク 1,000 円 自転車 500 円
有効期限	在籍中有効
申請に必要なもの	② 登録申請書 ②登録料 ③免許証 (バイクのみ)
登録証の発行	申請後、即日ステッカーを発行

ステッカーは後輪カバーの下部に貼付し、指定駐輪区域内に整然と駐輪し、歩道・道路にはみ出した場合は別の場所に移動すること。

※車両買い替え時、再申請が必要です。

9. 自動車・バイク・自転車の使用について

自動車・バイク・自転車を使用する場合は、交通法規等に違反しないことはもちろん、生命を尊ぶべき医学生、歯学生、薬学生及び看護学生として常に安全運転に徹してください。交通事故または道路交通法違反を起こした場合、大学として処分するのみならず、医師法・歯科医師法・薬剤師法・保健師助産師看護師法により各免許の交付を受けられない場合があります。万一、交通事故及び交通違反を起こしてしまった場合には、その軽重にかかわらず、直ちに報告してください。

【学生の交通事故又は道路交通法違反に対する処分の内容の一例】

交通事故・道路交通法違反の内容		酒酔い・酒気帯び運転	無免許運転	酒酔い・酒気帯び・無免許運転でない場合
死亡事故又は重大な傷害事故	運転者	無期停学	無期停学	6 ヶ月以内の停学
	同乗者	6 ヶ月以内の停学	状況に応じた処分	状況に応じた処分
傷害事故	運転者	無期停学	6 ヶ月以内の停学	戒告又は注意
	同乗者	3 ヶ月以内の停学	状況に応じた処分	状況に応じた処分
上記以外の交通事故・道路交通法違反	運転者	無期停学	1 ヶ月以内の停学	注意
	同乗者	状況に応じた処分	状況に応じた処分	状況に応じた処分
死亡事故又は重大な傷害事故を起した場合で、極めて悪質な行為があった場合	運転者	退学あるいは退学の上、除籍又は無期停学	退学あるいは退学の上、除籍又は無期停学	退学あるいは退学の上、除籍又は無期停学
	同乗者	状況に応じた処分	状況に応じた処分	状況に応じた処分

10. トラブル防止

若者が狙われる悪徳商法等のトラブルが急増しています。手口も年々巧妙になっています。

トラブルに巻き込まれないよう日頃から十分注意してください。トラブルに巻き込まれた場合は1人で悩まずクラス担任・チューター・大学窓口や公共の相談機関にまず相談してください。

内容	対応	日頃の注意点
【ワンクリック詐欺】 パソコンのWEBサイトや、携帯電話のメールを利用した架空請求	払わない 連絡しない	①知らないアドレスからのメールは見ない ②怪しいページは見に行かない ③利用規約は必ずチェックする
【悪質商法】 マルチ商法、デート商法など「うまい話」で引き込み、巧妙な手口や脅迫めいた行為で商品を売り込む	クーリング・オフ 制度を利用する	①街頭で声をかけられても相手にしない ②契約（署名や押印）は慎重に ③入会等は即断せず家族や知人に相談する

11. 注意事項

（1）飲酒

20歳未満の飲酒は法律により禁止されています。また、新入生歓迎コンパ等でいき飲みという行為から急性アルコール中毒になる事故が発生しています。悪質な場合は大学として処分するだけでなく、同席している成人（先輩）と保護者が監督責任を問われ社会的制裁を受けることもあります。さらに、飲み会における過度な飲食代の負担も発生していますので、医師・歯科医師・薬剤師・看護職を志す者として節度ある飲酒を心掛けてください。

（2）拾得物

大学構内で本学学生の所有物とみられる物があった場合は、総務課・所属学部の教務課・学事課・内丸キャンパス事務室のいずれかへ届けられます。また、遺失物を拾得した場合は、速やかに前述のいずれかに届けてください。

（3）盗難防止及び郵便物

貴重品や現金及び自転車等の盗難防止のため、次のことに注意してください。

- 1) 多額の現金は持ち歩かず、貴重品は自分の身から離さないようにしてください。更衣室等での盗難には十分注意してください。
- 2) ロッカー周辺の私物の盗難が多発しています。ロッカーに貴重品を置く時は必ず施錠してください。また、各自整理整頓を心掛けてください。
- 3) 自転車、自動車、バイクから離れる時は必ず施錠してください。
- 4) 学内（駐車場・駐輪場等を含む）で盗難にあった時、または不審者を見かけた時は直ちに所属学部の教務課に連絡してください。学外の場合は、最寄りの交番等に届けてください。
- 5) 学生個人宛の郵便物は、自宅等に直接郵送してもらってください。やむを得ず大学を經由し、郵便物を送付してもらう場合は、必ず所属学部の教務課に申し出て指示を受けてください。

（４）校舎内、講義室等の美化

校舎内・講義室等へ雑誌類やゴミ等を散乱・放置したままにしないでください。特に講義室は、講義時間外に研究発表等で学内外者へ貸出することがあるので、個人所有物は各自ロッカー内において管理してください。放置している個人所有物は撤去の上、廃棄処分します。

（５）喫煙

20 歳未満の喫煙は法律により禁止されています。周囲から勧められても決して吸ってはいけません。なお、大学及び病院の敷地内は全面禁煙です。医療系大学の学生である自覚を強く持ちマナーを守ってください。

なお、禁煙をお考えの方は健康管理センターまでご相談ください。

（６）薬物

近年、芸能人・スポーツ選手などの麻薬や大麻・覚せい剤などの薬物乱用が増え、若い人たち、特に大学生の間での薬物汚染が拡大しています。薬物使用は、言うまでもなく重大な犯罪です。脳機能障害を来すなど身体や生命に悪影響を及ぼすだけでなく、殺人などの犯罪を引き起こすこともあります。勧められても絶対に断る強い意志と勇気を持ち、すぐに専門家に相談してください。

1 2. 受講マナー

他大学のみならず本学においても講義を受ける学生のマナー、いわゆる受講マナーの低下がみられます。受講マナーを欠くということは、講義を担当する先生方への礼を失することです。

「誠の人間を育成する」という建学の精神を十分認識し、医師・歯科医師・薬剤師・看護職を志す者として良識ある行動を取ってください。なお、マナー違反となる行為はアンプロフェッショナルな行為として、処分の対象となる場合があります。

【マナー違反】

- （１）私語 （２）居眠り （３）途中入退室 （４）携帯電話・スマートフォンの私的利用 （５）食事や飲酒 （６）受講中の化粧
- （７）服装の乱れ

1 3. 日常のマナー

窓口やキャンパス内であまりに幼稚な言葉を平気で使う学生がいます。また、医療系大学の学生とは思えないような配慮のない行動をしている学生がいます。医療人を目指す以前に、大学生はすでに大人であるという自覚をしてください。

言葉遣いや日頃の態度で学生の知性が疑われることのないよう切に願います。

【マナー違反】

（１）ごみの放置

学内外に寄らず自分が飲み食いしたものを平気でその場に放置する学生がいます。掃除する方を考えましょう。

（２）タバコのポイ捨て

大学及び病院の敷地内は全面禁煙です。また、学内外を問わず、タバコの吸殻のポイ捨て、歩きタバコはしないでください。

(3) 言葉遣い

言葉遣いはその人の品性そのものです。岩手医大の学生である自覚を持ち、礼節ある言動を心掛けてください。

(4) 駐輪

指定の駐輪場スペースからはみ出したり、次の人のことを考えない停め方はやめましょう。

岩手医科大学学生の欠席の取扱いに関する規程

第1条 この規程は、岩手医科大学において、学生が授業又は試験を欠席した場合の取扱いに関して定める。

第2条 欠席の取扱いは、授業又は試験を担当する責任者等が判断する。

第3条 学生は、授業又は試験を欠席しようとするとき、又は欠席したときは、速やかに欠席届を提出しなければならない。

第4条 次に掲げるいずれかの欠席に該当する場合は、当該欠席について取扱いを考慮することがある。

- (1) 近親者の死亡の場合であって、1親等にあつては連続1週間、2親等にあつては連続3日、3親等にあつては1日の欠席（いずれの期間にも休日・祝日を含む。）
- (2) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に定める感染症による入院又は加療の場合における同規則第19条に定める期間の欠席
- (3) 授業中の事故による入院又は加療のための欠席
- (4) 交通機関の不通又は遅延による通学困難の場合における発生から復旧までの期間の欠席
- (5) 大学の行事又は学部長が認める公的行事への参加の場合における移動を含む必要期間の欠席
- (6) 学部長が認める就職試験の受験の場合における当該日数の欠席
- (7) その他学部長が特に認める欠席

第5条 前条に定める欠席を願い出ようとする学生は、欠席届に次の表の左欄の区分に応じ、それぞれ当該欄に定める書類を添付のうえ、期限内に提出しなければならない。

欠席事由に対応する前条の号	添付書類	提出期限
(1)	会葬礼状等の説明書類	当該期間最終日から2週間以内
(2)	医師の診断書	登校後1週間以内
(3)		
(4)	交通機関が発行する遅延証明書	欠席日から1週間以内
(5)	事由を証明する書類	原則として事前に提出。やむを得ない場合は欠席日から1週間以内
(6)		
(7)	学部長が指定する書類	学部長が指定する期間内

第6条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、学部ごとに別に定める。

第7条 この規程の改廃は、教学運営会議の議決による。

第8条 この規程に関する事務は、各教務課が行う。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

平成 20 年 8 月 18 日一部改正

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 11 月 11 日から施行する（組織名の変更等）。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する（関係法令の名称変更）。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する（事務局組織の再編に伴う名称変更）。

看護学部の公欠に関する内規

制定 平成 29 年 2 月 8 日

(趣旨)

第 1 条 岩手医科大学学生の欠席の取扱いに関する規程（以下「欠席の取扱いに関する規程」という。）第 6 条に基づき、看護学部の公欠の取扱いについて定める。

(公欠の認定・効力)

第 2 条 欠席の取扱いに関する規程第 4 条各号に定める事由に該当する授業又は試験の欠席であつて、看護学部長（以下「学部長」という。）が認めた場合は、公欠とする。

2 公欠と認められた授業の欠席は、当該授業に出席したものとする。

3 公欠と認められた試験の欠席は、岩手医科大学看護学部履修試験規程により取扱う。

(内規の改廃)

第 3 条 この内規の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

(事務)

第 4 条 この内規に関する事務は、看護学部教務課が行う。

附 則

この内規は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。（事務局組織の再編に伴う名称変更）

岩手医科大学看護学部履修試験規程

制定 平成 29 年 2 月 8 日

(趣旨)

第 1 条 岩手医科大学看護学部（以下「看護学部」という。）の授業科目の履修方法、試験等の取扱い及び進級、卒業等の認定に関する事項については、岩手医科大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目及び単位数)

第 2 条 授業科目及び単位数は、学則別表に基づき教育要項（シラバス）に定める。

2 授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目で構成する。

3 選択科目は、教養教育科目群及び専門科目群の選択科目（以下「選択必修科目」という。）と公衆衛生看護学関連科目群及び助産学関連科目群の選択科目（以下「選択履修科目」という。）に区別する。

(単位計算の基準)

第 3 条 看護学部における各授業科目の単位数の計算基準は、次の各号による。

(1) 講義については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 演習については、教養教養教育科目群、地域医療課題解決演習、感染制御・感染看護演習及び地元創成看護においては 15 時間、それ以外においては 30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、教養教育科目群においては 30 時間、それ以外においては 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

(履修登録)

第 4 条 授業科目を履修するためには、学期始めの指定する期日までに履修しようとする授業科目（必修科目を除く。）を学部長に届け出なければならない。

2 選択必修科目は、選択科目群の中から別に定める数の授業科目を届け出なければならない。

3 履修届提出後の授業科目の変更は認めない。

4 編入学生及び保健師又は助産師国家試験受験資格取得希望者については、別に定める。

(試験)

第 5 条 試験は、教育要項（シラバス）に定める授業科目について実施する。

2 試験の種類及びその意義は、次のとおりとする。

(1) 定期試験 履修した授業科目（臨地実習を除く。）について各学期末に行う試験をいう。

(2) 再試験 成績判定において不合格となった授業科目（臨地実習を除く。）について 1 回を限度として改めて行う試験をいう。

(3) 追試験 病気その他やむを得ない事情により定期試験又は再試験を受験することができなかった者に対し、当該事情が止んだ後に行う試験をいう。

3 臨地実習科目については、実習中の目標達成度及び記録等をもって試験とする。

(試験方法)

第 6 条 試験は、筆記、レポート又は実技等の中から、各授業科目責任者が適当と認めた方法により実施する。

(試験日程)

第 7 条 試験の日程については、次の各号のとおりとする。

- (1) 定期試験は、実施の2週間前までに発表する。
- (2) 再試験は、あらかじめ指定した時期に実施する。
- (3) 追試験は、成績判定前までに実施する。

(受験資格)

第8条 各授業科目の授業回数のうち講義、演習、実験及び実技については、3分の2以上、実習については、5分の4以上出席しなければ試験を受験することができない。ただし、別に定めるやむを得ない事情によると認められる場合は、この限りでない。

(受験手続)

第9条 次の各号に掲げる試験を受験しようとする者は、当該各号の書類を提出し、当該授業科目責任者及び学部長の承認を得なければならない。

- (1) 再試験 再試験願 (別紙様式1)
- (2) 追試験 追試験願 (別紙様式2) 及び理由書 (病気の場合は医師の診断書、その他にあってはやむを得ない事情を証明する書面)

2 再試験料は1科目 3,000 円、追試験料は1科目 1,000 円とし、その都度前納しなければならない。

3 臨地実習科目において、前条に定める出席日数の不足等により追実習を受けようとする者は、追実習願 (別紙様式3) 及び理由書 (病気の場合は医師の診断書、その他にあってはやむを得ない事情を証明する書面) を提出し、当該授業科目責任者の承認を得なければならない。また、追実習1日あたり 2,000 円の追実習料を前納しなければならない。

(罰則)

第10条 試験に関して不正行為があった場合は、学則第41条及び学生懲戒規程により懲戒する。

(成績の評価)

第11条 各授業科目の成績の評価は、教育要項 (シラバス) に定める方法により各授業科目責任者が行う。

(授業科目の合否基準)

第12条 授業科目の合否基準は、次の各号のとおりとする。

- (1) 授業科目の評点は100点満点とし、60点以上を合格とする。
- (2) 60点未満の授業科目 (臨地実習を除く。) がある場合は、再試験を行い、60点以上を合格とする。
- (3) 第1号及び第2号にかかわらず、学則第17条に基づき、編入学生が本学に入学する前に修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなす場合は、評点を付さずに合格とする。

(学業成績の評価基準)

第13条 学則第12条において準用する同第9条の評価基準は、次表のとおりとし、学籍に記録する。なお、前条第3号により合格した場合の学籍への記録は、合格とする。

評 価	評 点	合 否
A (優)	80点以上	合 格
B (良)	80点未満～70点以上	
C (可)	70点未満～60点以上	
D (不可)	60点未満	不合格

2 再試験で合格した場合の成績評点は、60点とする。

3 追試験及び追実習の成績評価は、看護学部の方針に関する内規に基づき公欠とされた場合を除き、その評点から1割を減じるものとする。

(成績評価に対する異議申し立て)

第14条 成績の評価に関する疑義が生じ、授業科目責任者からの説明を受けても疑義の解消に至らなかった場合は、「看

護学部成績評価に対する異議申し立てに関する内規」に基づき、異議申し立てを行うことができる。

(単位付与)

第 15 条 各授業科目において、第 13 条の成績評価基準により合格した者には当該学年末に、第 12 条第 3 号により合格した者には入学時に学則に定める所定の単位を付与する。

(進級)

第 16 条 進級判定は、次の各号の進級判定基準に基づき、学年末に看護学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て行う。

(1) 第 1 学年及び第 2 学年は、当該学年の必修科目及び選択必修科目の全てに合格した者を進級とする。

(2) 第 3 学年は、当該学年前期の必修科目及び選択必修科目の全てに合格し、かつ後期の必修科目（臨地実習）のうち不合格の科目が 1 科目以下の者を進級とする。

(3) 第 4 学年は、当該学年の必修科目及び選択必修科目の全てに合格した者を卒業とする。ただし、不合格の科目を有して第 3 学年から進級する者は、不合格の科目を再履修し、合格しなければならない。

(4) 編入学生は、当該学年の必修科目及び選択必修科目の全てに合格した者を進級または卒業とする。

(留年)

第 17 条 進級不可と判定された者は留年とし、学籍に記載する。

2 留年者は、当該学年において不合格となった必修科目及び選択必修科目を再履修しなければならない。この場合において、選択必修科目については、当該科目が属する選択科目群のうち他の科目に替えることができる。

3 カリキュラムの変更に伴い、留年者が当該学年において再履修すべき授業科目が廃止された場合は、課外もしくは休暇を利用して補習授業（再履修）を行い、当該学年の判定前までに試験を実施する。

(卒業)

第 18 条 卒業の可否は、学則第 18 条第 3 項に規定する所定の授業科目（選択履修科目及び自由科目を除く。）を修得した者について、教授会の判定を経て学長が認定する。

(保健師又は助産師国家試験受験資格)

第 19 条 前条により卒業が決定した者のうち所定の授業科目（選択履修科目）を修得した者に保健師又は助産師国家試験の受験資格を与える。

(雑則)

第 20 条 この規程に定めるもののほか、看護学部履修試験規程の運用に関し必要な事項は、教授会の議を経て学部長が別に定める。

(規程の改廃)

第 21 条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

(事務)

第 22 条 この規程に関する事務は、看護学部教務課が行う。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（演習科目に係る単位計算の基準の変更）

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。（編入学生に関する授業科目の可否基準、学業成績の評価基準、単位付与の時期、進級基準の追加、事務局組織の再編に伴う名称変更）

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。(演習科目に係る単位計算の基準の変更)

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。(科目群の名称変更、受験手続の変更、追実習および成績評価に対する異議申し立ての条文追加)

附 則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。(演習科目に係る単位計算の基準の変更)

(様式1)

再 試 験 願

岩手医科大学
医学部長
歯学部長
薬学部長
看護学部長 殿

令和 年 月 日
(医 歯 薬 護) 学 部 年 番
学籍番号
氏 名

令和 年度 (前期 ・ 後期) の下記科目について合格できませんでした。
つきましては、再試験を実施下さるようお願いいたします。

記

	科 目 名	授業科目担当責任者名		科 目 名	授業科目担当責任者名
1			8		
2			9		
3			10		
4			11		
5			12		
6			13		
7			14		

合計 科目 (円)

※1科目 3,000 円

証紙貼付

証紙貼付

証紙貼付

証紙貼付

(様式2)

追 試 験 願

岩手医科大学
医学部長
歯学部長
薬学部長
看護学部長
殿

令和 年 月 日
(医 歯 薬 護) 学 部 年 番
学籍番号
氏 名 (様式2)

令和 年度 (前期 ・ 後期) (定期 ・ 再) 試験を下記の事由により受験できませんでした。つきましては、下記科目について追試験を実施下さるようお願いいたします。

記

	欠席科目名	授業科目担当責任者名		欠席科目名	授業科目担当責任者名
1			5		
2			6		
3			7		
4			8		

合計 科目 (円)

※1科目 1,000 円

事 由 (具体的に記載のこと)

(注) 1. 理由書 (病気等の場合は医師の診断書、その他明確な理由書) を添付すること。

証紙貼付

証紙貼付

証紙貼付

証紙貼付

(様式3)

追 実 習 願

授業科目担当責任者 殿

令和 年 月 日

看護学部 年 番

学籍番号

氏 名 ㊞

下記の事由により、追実習を実施下さるようお願いいたします。

記

実習科目名	授業科目担当責任者名	追実習期間(学内実習含む)及び日数
		令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)

※追実習期間及び日数は、授業科目担当責任者と協議の上、記載すること。

追実習料合計 円

※追実習 1 日あたり 2,000 円

事 由 (具体的に記載のこと)

(注) 1. 理由書(病気等の場合は医師の診断書、その他明確な理由書)を添付すること。

証紙貼付

証紙貼付

証紙貼付

証紙貼付

看護学部成績評価に対する異議申し立てに関する内規

制定 令和7年2月5日

(趣旨)

第1条 この内規は、岩手医科大学看護学部の学生（以下「学生」という。）が、履修した授業科目に係る成績評価に対して疑義が生じ、授業科目責任者（以下「科目責任者」という。）からの説明をもってしても疑義の解消に至らなかった場合に行う異議申し立てに関して、必要な事項を定める。

(成績評価等の開示)

第2条 学生は、成績評価、試験問題、正答および成績評価基準等の開示について、判定会議（一次）後に当該科目責任者へ申し出ることができるものとする。また、学生から申し出があった場合、科目責任者は速やかに開示するとともに、必要に応じて説明を行い、疑義の解消に努めなければならない。

(異議申立事由)

第3条 学生は、当該学期に履修した授業科目に係る成績評価について、次の各号のいずれかに該当する場合は具体的理由を付して異議を申し立てることができるものとする。ただし、成績評価基準（採点基準）に関する申し立ては、一切認めない。

- (1) 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- (2) シラバスに記載された成績評価方法から明らかに逸脱した評価であると思われるもの

(異議申立手続)

第4条 学生は、科目責任者に疑義を照会後、当該教員からの説明をもってしてもなお疑義があり異議を申し立てる場合、成績評価に対する異議申立書（別紙様式1）を、別に定める期間内に看護学部長（以下「学部長」という。）宛に提出するものとする。

2 学部長は、異議の申立てを受けた場合、当該教員へ異議申立に対する対応書の作成を指示するものとする。

3 学部長は、看護学部教務委員会の議を経て看護学部教授会で異議申立への対応を決定した後、当該学生へ回答書（別紙様式2）にて通知するものとする。

(対象授業科目)

第5条 学生が成績評価等の開示ならびに成績評価に対する異議を申し立てることができる授業科目は、看護学部第1～4学年開講科目（第1学年教養教育科目を除く）とする。

(雑則)

第6条 この内規に定めるもののほか、看護学部成績評価に対する異議申し立てに関する内規の運用に関し必要な事項は、教授会の議を経て学部長が別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この内規の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

(事務)

第8条 この内規に関する事務は、看護学部教務課が行う。

附 則

この内規は、令和7年4月1日から施行する。

(様式1)

令和 年 月 日

成績評価に対する異議申立書

看護学部長 様

看護学部 年 番
学籍番号
氏 名 ⑩

以下の理由のとおり、当該授業科目の成績評価に対して異議を申し立てます。

授 業 科 目 名		開 示 さ れ た 成 績 評 価	点
授業科目責任者名			
異議を申し立てる 具 体 的 理 由			

<以下、授業科目責任者記入箇所>

異議申立に対する対応書

看護学部長 様

当該学生の成績評価資料および成績評価基準等を再確認した結果、以下の理由により、

1. 成績評価の変更を行うこととします。
2. 成績評価の変更を行わないこととします。 } 1.または2.のいずれかの数字に○

具 体 的 理 由				
再 確 認 後 成 績 評 価	点	記 入 日	令和	年 月 日
		授 業 科 目 名		
		授業科目責任者名	⑩	

(様式2)

令和 年 月 日

看護学部 年 番
学籍番号
様

成績評価に対する異議申立への回答書

看護学部長

令和 年 月 日付提出のありました成績評価に対する異議申し立てについて、令和 年 月 日
開催看護学部教授会の決定に基づき、以下のとおり回答いたします。

授 業 科 目 名	
授 業 科 目 責 任 者 名	
異 議 申 立 へ の 対 応	1. 成績評価の変更を行います。 【変更後成績評価： 点】 2. 成績評価の変更を行いません。
具 体 的 理 由	

教養教育センター成績評価に対する異議申し立てに関する内規

制定 令和8年1月20日

(趣旨)

第1条 この内規は、岩手医科大学の学生（以下「学生」という。）が、履修した授業科目に係る成績評価の合否に対して疑義が生じ、授業科目責任者（以下「科目責任者」という。）からの説明をもってしても疑義の解消に至らなかった場合に行う異議申し立てに関して、必要な事項を定める。

(成績評価等の開示)

第2条 学生は、成績評価の合否の開示について、一次判定会議後に当該科目責任者へ申し出ることができるものとする。
また、学生から申し出があった場合、科目責任者は速やかに成績評価の合否を開示するとともに、必要に応じて説明を行い、疑義の解消に努めなければならない。

(異議申し立て事由)

第3条 学生は、当該年度に履修した授業科目に係る成績評価の合否について、次の各号のいずれかに該当する場合は具体的理由を付して異議を申し立てることができるものとする。ただし、成績評価基準（採点基準）に関する申し立ては、一切認めない。

- (1) 成績の誤記入等、明らかに科目責任者の誤りであると思われるもの
- (2) シラバスに記載された成績評価方法から明らかに逸脱した評価であると思われるもの

(異議申し立て手続)

第4条 学生は、科目責任者に疑義を照会後、当該教員からの説明をもってしてもなお疑義があり異議を申し立てる場合、成績評価に対する異議申し立て書（別紙様式1）を、一次判定日より5日間以内に教養教育センター長（以下「センター長」という。）宛として、全学教育企画課に提出するものとする。

2 センター長は、異議の申し立てを受けた場合、当該教員へ異議申し立てに対する対応書の作成を指示するものとする。

3 センター長は、教養教育センター委員会（以下「センター委員会」という。）で異議申し立てへの対応を決定した後、当該学生へ回答書（別紙様式2）にて通知するものとする。なお、異議の申し立てを認めた場合、成績評価を取り消し、修正するものとする。

(対象授業科目)

第5条 学生が成績評価の合否に対する異議を申し立てることができる授業科目は、教養教育センターの教員が担当する第1学年教養教育科目とする。

(雑則)

第6条 この内規に定めるもののほか、教養教育センター成績評価に対する異議申し立てに関する内規の運用に関し必要な事項は、センター委員会の議を経てセンター長が別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この内規の改廃は、センター委員会の議を経てセンター長が行う。

(事務)

第8条 この内規に関する事務は、全学教育企画課が行う。

附 則

この内規は、令和8年4月1日から施行する。

(様式1)

令和 年 月 日

成績評価に対する異議申立書

教養教育センター長 様

学部 年 番

学籍番号
氏 名

⑩

以下の理由のとおり、当該授業科目の成績評価に対して異議を申し立てます。

授 業 科 目 名	
授業科目責任者名	
異議を申し立てる 具 体 的 理 由	

<以下、授業科目責任者記入箇所>

異議申立に対する対応書

教養教育センター長 様

当該学生の成績評価資料および成績評価基準等を再確認した結果、以下の理由により、

1. 成績評価の変更を行うこととします。
2. 成績評価の変更を行わないこととします。 } 1.または2.のいずれかの数字に○

具 体 的 理 由	
記 入 日	令和 年 月 日
授 業 科 目 名	
授業科目責任者名	⑩

(様式2)

令和 年 月 日

学部 年 番
学籍番号
様

成績評価に対する異議申立への回答書

教養教育センター長

令和 年 月 日付提出のありました成績評価に対する異議申し立てについて、令和 年 月 日
開催教養教育センター委員会の決定に基づき、以下のとおり回答いたします。

授 業 科 目 名	
授 業 科 目 責 任 者 名	
異 議 申 立 へ の 対 応	1. 成績評価の変更を行います。 2. 成績評価の変更を行いません。
具 体 的 理 由	

大学における単位の考え方と授業外学修について

日本の大学教育は単位制度を基本としており、1 単位あたり 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準であると大学設置基準に定められています。

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第二十五条第一項に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって一単位として単位数を計算するものとする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもって一単位とすることができる。

つまり、1 単位の科目を履修するためには、講義室等で受講する授業と自宅等で学修する授業外学修を合わせて 45 時間の学修が必要になるため、授業時間外の予習・復習にあたる事前・事後学修が必要になります。

例えば以下の例を考えてみます。

例) 講義・実習 14 コマで 1 単位の科目の場合

講義・実習 14 コマ × 1 コマ 2 時間 (90 分を 2 時間として計算) = 28 時間

45 時間 - 28 時間 = 17 時間

計 17 時間分 (1 コマあたり 72 分以上) の授業外学修が必要

この場合、講義室等で受講する 14 コマの授業以外に、1 コマ当たり 72 分以上の学修が必要となります。

シラバスには、科目または授業毎に必要な事前・事後学修の内容と時間が記載されていますので、その内容に従って自己学修を行うことが求められます。なお、事前学修は各授業の前に、事後学修は授業後または定期試験の準備期間や長期休暇を活用することができます。

医学部、歯学部における臨床実習等の一部の科目では、単位時間 (90 分=2 単位時間) ではなく実時間 (実際の授業時間) に基づいて単位計算がされますが、1 単位 45 時間の考え方に基づいた事前事後学修は必要です。

岩手医科大学生命倫理規範

本学は、「誠の人間の育成」という建学の精神に基づき、専門の学理に対して誠実な理想を持ち、医療及び生命科学の研究、教育を通じて社会の進歩、福祉に貢献してきた。

関連諸科学が日々急速に進展するなか、本学が今後とも社会の要請に応えるために、すべての職員には、誠の精神に由来する高い倫理観をもって行動することが求められている。

本学は、すべての職員が常に自覚し、遵守すべき指針として、ここに生命倫理規範を制定し、本規範に基づき医療・研究を推進するとともに、生命倫理に関する教育と啓発活動に力を注ぐことを宣言する。

1. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、人間の尊厳を第一の原則とする。個人の有する基本的人権に敬意を払い、個人の自律を尊重するため、インフォームド・コンセントの原則を遵守し、意思決定能力が十分でない人々の権利擁護にも務める。また個人のプライバシーの権利を尊重し、個人情報の保護のために最善を尽くす。
2. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、無危害原則と善行原則を遵守する。医療においては個人に危害を加えることがあってはならず、個人に最善の利益を与えるよう努める。研究においては、個人、社会及び人類にもたらされる将来にわたる利益を最大化し、危害を最小化することを目指す。その際、個人の受ける不利益、未来世代への影響にも十分に配慮する。さらに、人類に多大な利益を与えると予想される研究であっても、個人の持つ人間の尊厳及び個人の福利を何よりも優先する。また実験動物の福祉にも十分に配慮する。
3. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、正義原則を旨とする。医療においては、個人を平等に扱い、医療資源の配分は公平に行う。研究においてもたらされる利益は社会的に公平に配分し、不適切な格差が生じないようにする。また極めて有用な研究であっても、社会的差別の要因となる可能性があるため、社会的に弱い立場にある人々を対象として実施する場合には、その人権・利益について最大限に配慮する。
4. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、多面的な要請に応えるために、学内諸分野及び学外諸機関・施設との共同作業を積極的に推進する。共同作業に伴う倫理的配慮や得られた科学的成果についての情報は適切に公表し、社会に対する説明責任を果たす。
5. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、世界医師会のヘルシンキ宣言、リスボン宣言をはじめとする各種宣言・倫理綱領の基本理念を尊重する。また省庁、関連学会によって作成された最新のガイドラインに準拠し、科学的及び倫理的観点から見て適切に課題を遂行する。これら宣言・倫理綱領・ガイドラインに示された生命倫理の精神に従い、将来の医療をになう人材の育成に努める。

平成 26 年 3 月 11 日制定

岩手医科大学における人体標本取扱指針

平成 29 年 4 月 1 日

本学の教育と研究において、人体および人体標本(遺体およびその一部である標本、さらに手術による摘出標本を含みます)を用いることは、人体の構造と機能、疾病の病理・病態を深く理解するために不可欠です。もとよりご遺体には尊厳があり、その使用にあたっては、死体解剖保存法によって、「死因解明」、「医学教育」、「医学研究」という公共の利益となる明確な目的をもつこと、および、遺体の取扱に当たっては礼意を失わないように注意しなければならないことが規定されています(死体解剖保存法第一条および第二十条)。また、標本提供者の個人情報の漏出があってはなりません。教育現場においては、学生は、以下の点を遵守するよう、留意して下さい。

- 人体標本を、教員の許可なく所蔵場所から移動するのを禁じます。
- 講義室・実習室で供覧する人体標本を、教員の許可なく撮影してはいけません。
- 実物だけでなく視聴覚装置で供覧される標本写真等についても、撮影ならびにインターネットに掲載してはいけません。
- 許可を受けて撮影したとしても、その画像を、インターネット（含、Social Network System）に転載することは一切禁じます。
- ヒト以外の動物や動物標本を用いる場合も、人体標本と混同されることを避けるという観点に加え、生命体への畏敬の念を育む意味でも撮影してはいけません。
- 個人が特定できる情報（姓名、病名、受診年月日、死亡・採取年月日等）を、教室・実習室外へ持出してはいけません。
- 学修者が、学修のために正常組織および病理組織顕微鏡標本(ミクロ標本)のデジタル情報を取得・保存(例、写真撮影、デジタル画像ファイルのダウンロード、バーチャルスライドの画像情報保管)することは認められますが、インターネットへの転載は禁じます。

学生健康診断規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校法人岩手医科大学が運営する大学院、大学及び専門学校（以下「大学等」という）に在籍する学生(大学院、大学及び専門学校に在籍する者をいう。以下同じ。)に関する健康診断及び事後措置等について定めるものとする。

(健康診断の実施)

第2条 大学等は、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)に基づき毎年1回、健康診断を実施しなければならない。

2 健康診断は健康管理センターが実施する。

(健康診断の種類)

第3条 健康診断は定期健康診断及び臨時健康診断とする。

2 定期健康診断は、毎学年定期に行うものとする。

3 臨時健康診断は、健康管理センター長が必要と認めたときに行うものとする。

(受診の義務)

第4条 学生は健康診断を受けなければならない。

2 学生は、健康診断を受けなかったときは、健康管理センター長の定める期間内に、当該健康診断と同等の実施項目を含む健康診断書を健康管理センターに提出しなければならない。

3 前項の規定による健康診断書を提出できないときは、健康管理センター長に申し出て指示を受けなければならない。

(健康診断の総合評価及び通知)

第5条 健康管理センター長は、学校医に依頼し健康診断の結果を別表により判定し、学部長等に報告するとともに、学生に通知するものとする。

(事後措置)

第6条 学部長等は、健康診断の結果、疾病のため生活規制または治療を要する者があるときは、健康管理センター長と協議の上、当該学生の健康回復に必要な指導を行わなければならない。

2 学校医は、必要に応じて相談指導を実施し、学校医の指示のもと保健師が保健指導を実施する。

3 健康診断の結果、疾病のある者は、前項の指導に従わなければならない。

(復学時の健康診断)

第7条 疾病のため休学中の者が復学しようとするときは、学部長等を経て、健康管理センター長に申し出て、健康診断を受けなければならない。

(証明書の発行)

第8条 第3条の健康診断を受けた者が、健康診断証明書を必要とするときは、これを発行することがある。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の議を経て、理事長が行う。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

令和8年度 学生健康診断等実施要領

1. 学生健康診断

＊M：医学部、D：歯学部、P：薬学部、N：看護学部、DH：医療専門学校歯科衛生学科

健 診 日 時		対象学生	個人票配付時間・場所		健診会場	健診項目
4月20日(月)	9：30～11：30	3M	9:20	キャンパスモール 階段下 (Yショップ前) ・詳細は掲示板で確認し、指定の時間に受診してください。	<矢巾キャンパス 1階> ■北側入口(胸部検診車) ・胸部X線撮影 ■キャンパスモール 正面入口付近 ・視力検査 ■キャンパスモール ヤマザキショップ向かい側 ・血圧測定 ■東研究棟 SGL ・身長 ・体重 ・内科診察 ・歯科健診 ■西講義実習棟 キャンパスモール側トイレ ・尿検査 ■西研究棟 ラウンジ ・血液検査	■必須項目 ・身長 ・体重 ・血圧 ・内科診察 ・視力検査 ・胸部X線撮影 ■学年別追加項目 【1年】 ・血液検査 ・尿検査 ・歯科健診 【4年】 ・血液検査 ・尿検査 ■B型肝炎接種前検査 (血液検査) ・3M ・4D ・4P ・1N ・1DH ・3N編入生
		4D	10:50			
	13：30～15：30	4P	13:20			
		4N	13:50			
		6M	14:20			
		3DH	14:50			
4月21日(火)	9：30～11：30	1M	9:20			
		1D	10:50			
	13：30～16：00	1P	13:20			
		6P	13:50			
		1N 3N編入生	14:30			
		1DH	15:20			
4月22日(水)	9：30～12：00	4M	9:20			
		2N	10:50			
	13：30～16：00	2M	13:20			
		2D	14:50			
		2P	15:10			
		2DH	15:30			
4月23日(木)	9：30～12：00	5M	9:20			
		3D	10:50			
		3P	11:20			
	13：30～15：30	5D	13:20			
		6D	13:40			
		5P	14:10			
		3N	14:40			

※ 変更の場合もありますので、掲示板で確認してください。

2. 心理テスト・メンタルヘルスチェックについて

対象学年	日 時	会 場	内 容
1N	4月20日(月)5限 16:20～17:50	各教室	東大式エゴグラム 学生精神的健康調査
1D	4月22日(水)4限 14:40～16:10		
1P	4月22日(水)5限 16:20～17:50		
1M	4月24日(金)1限 8:50～10:20		
2～6年(M・D・P) 2～4年(N)	4月20(月)、21日(火)、22日(水)、23日(木)、 健康診断時に実施	健康診断会場	メンタルヘルスチェック

3. 健康講話

対 象	日 時	会 場	内 容
1M・1D・1P・1N	5月13日(水)5限 16:20～17:50	大堀記念講堂	受動喫煙講習会 (学生部と共催)
	6月5日(金) 2限 10:30～12:00	大堀記念講堂	メンタルヘルス講習会

岩手医科大学障害のある学生等への合理的配慮に関する規程

令和6年4月1日制定

(目的)

第1条 この規程は、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)」、その他関係法令、並びに岩手医科大学学生支援方針に基づき、岩手医科大学(以下「本学」という。)における障害のある学生等への合理的配慮に関し必要な事項等を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 本規程において、次の用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 障害のある学生等 障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者、即ち、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害(難病に起因する障害を含む。以下「障害」と総称する。)により継続的に修学上相当な制限を受ける状態にある学生等。
- (2) 合理的配慮 障害のある学生等が、他の者との平等を基礎として修学上の不利益を被ることがないよう必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において障害のある学生等本人が必要とするものであり、教育の目的・内容・評価の本質を変えないもの、かつ、均衡を失したまたは過重な負担を課さないもの。

(教職員の責務)

第3条 本学教職員は、障害のある学生等が修学上の不利益を被ることがないよう、合理的配慮の提供に努めなければならない。

(支援体制)

第4条 本学における合理的配慮が必要な学生等に関するアセスメントとマネジメントは、学生支援室が担当する。

- 2 障害のある学生等が、合理的配慮の申請を希望する場合は、学生支援室を通じ、第5条及び第6条の手続きを経ることとする。
- 3 学生支援室は、次の各号に掲げる教職員及び所属により構成するものとする。

- (1) 学生部長
- (2) 学生副部長
- (3) 学事課
- (4) その他学生部長が必要と認めた者

(面談)

第5条 障害のある学生等が、合理的配慮の申請を希望する場合は、窓口で相談後、面談を実施することとする。

- 2 面談は、次の各号に掲げる教職員および所属のうち、学生部長が必要と認めた人員に

より構成するものとする。

- (1) 学生部長
- (2) 学生副部長
- (3) 教務委員長
- (4) クラス担任
- (5) 当該学部教務課
- (6) 健康管理センター
- (7) 学事課
- (8) その他学生部長が必要と認めた者

3 前項構成員は、相互に連携し合理的配慮に関係する業務にあたるものとする。

(申請)

第6条 障害のある学生等が、合理的配慮の申請を希望する場合は、面談の実施後、様式1の申請書及び根拠資料等を学生支援室へ提出することとする。

- 2 新規申請は、合理的配慮が必要な事案が発生する都度、行うものとする。
- 3 更新申請は、年度ごとに行うものとする。

(合理的配慮の検討)

第7条 学生支援室は、学生等からの合理的配慮の申請意思について十分尊重するため、合理的配慮の提供について検討を行う。

- 2 前項の検討を行ったうえで、教育の目的・内容・評価の本質を変える、均衡を失する、または以下の各号を考慮し過重な負担にあたると判断した場合は、申請者にその理由を説明し、理解を得るよう努めるものとする。

- (1) 本学および実習施設等の教育協力施設における教育研究その他の活動への影響の程度(その目的、内容、機能等)
- (2) 実現可能性の程度(物理的及び技術的制約、または人的および体制上の制約)
- (3) 費用及び負担の程度
- (4) 本学および実習施設等の教育協力施設の規模、財政および財務状況

(合理的配慮の提供)

第8条 本規程に定める合理的配慮の提供の可否は、当該学部教授会または教養教育センター委員会にて決定する。

- 2 合理的配慮の提供の期間は、当該学部教授会または教養教育センター委員会が特別の事情があると認める場合を除き当該年度までとし、更新申請があった場合はその提供の可否を前項に基づき決定する。

(情報保護)

第9条 合理的配慮を提供するために必要な場合は、守秘義務を遵守のうえで関係者が個人情報共有をすることができるものとする。

(事務)

第 10 条 本規程にて定める合理的配慮に関する事務は、学事課が行う。

(改廃)

第 11 条 この規程の改廃は、学生部長会議の議を経て学長が行う。

附則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

学生支援室 御中

修学上の合理的配慮申請書

下記のとおり、____年度における修学上の合理的配慮の提供を希望いたします。

申請日	____年 ____月 ____日		
(ふりがな) 氏名※自筆	(※自筆 _____)	入学年度	____年度
		学籍番号	_____
学部学年等	____学部 ____年 出席番号 ____番		
連絡先・現住所	携帯電話： _____ E-mail： _____ 現住所： _____		
緊急連絡先 (保護者等)	氏 名： _____ 住 所： _____ 電話番号： _____ 本人との関係： _____		
障がい等の名称	_____ ※障害者手帳の写しまたは診断書等の根拠資料を添付のこと		
障がいの種類	障がいの種類(該当箇所にチェックのこと) ☐ 身体障がい ☐ 知的障がい ☐ 精神障がい ☐ その他心身の機能の障がい		
根拠書類	障害者手帳 ☐ 有(_____ 手帳 種 級) ☐ 無	診断書 ☐ 有 ☐ 無	その他 ☐ 有 (内容： _____)
申し出理由 及び 希望する配慮内容	配慮を申し出る理由(支障をきたす具体的な身体等の状況など) 希望する合理的配慮(科目等が限定される場合、科目名も明記のこと)		
備 考	☐ 規程第9条 関係者間における個人情報の共有に同意します。		

G P A (Grade Point Average) 制度について

●定 義：アメリカの大学で一般的な成績評価方法で、学生の履修科目の成績評価を単位数に応じて重み付けした平均値であらわしたものである。

●目 的：学生の学習意欲を高めることおよび学生自身が学修の状況及び成果を示す指標として自主的、意欲的に学修することを促すことを目的とする。

また、教員は個々の学生の学修成果を全体的に把握し、教育課程の到達度を評価するとともに、各学年において GPA1.0 未満のものは成績不振者として学習指導対象とすること、および GPA0.5 未満のものは進路再考の指導対象にすることを目的とする。併せて、GPA1.0 未満のものは、全学部共通の自由科目の履修単位上限を 2 単位とする (CAP 制度参照)。

●評価および GP

医学部 1～6 学年、歯学部 1 学年 薬学部 1～6 学年、看護学部 1～4 学年		
評価	GP	各科目成績
A	3	100～80 点
B	2	79～70 点
C	1	69～60 点
D	0	59 点以下

歯学部 2～6 学年		
評価	GP	各科目成績
A	3	100～80 点
B	2	79～70 点
C	1	69～65 点
D	0	64 点以下

●対 象：各年度による

●単位算出方法：
$$\frac{1 \text{ コマ } 2 \text{ 時間 (1 時間 30 分授業+事前学修時間 30 分)} \times \text{回数}}{\text{講義・演習 15 時間または実習 30 時間}}$$

●GPA 計算方法：
$$\frac{(\text{評価「A」単位数} \times 3 \text{ 点}) + (\text{評価「B」単位数} \times 2 \text{ 点}) + (\text{評価「C」単位数} \times 1 \text{ 点})}{\text{総単位数 (不合格科目を含める)}}$$

●GPA 判定機関：各学部教務委員会の議を経て教授会にて判定する。

●対象外科目：自由科目他 (各学部で設定)

CAP 制度について

●目 的：学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修することができるよう、学生が1年間に履修する単位数（時間数）の上限を定めることを目的とする。

●対 象：全学部・全学年

●制度内容について

看護学部では、各学年に配当する必修科目・選択科目・自由科目および他の大学等で取得した単位数を加えて49単位を上限とする。

学生の教育成果物の利用について

学生の皆さんの在学中の教育成果物（スケッチ、レポート、ポートフォリオ等）を、後進育成のために授業中に使用する教育資料として使用させていただく場合があります。

また、**e-learning** システムへの掲載、教育成果報告書、学会発表、論文発表で使い、機関リポジトリに掲載する場合がありますが、掲載する場合には個人の特定ができないように匿名化するなどの配慮をしますので、個々の事例に関して当該教員から要請があった場合はご協力下さい。同意されない場合でも、不利益になることはありません。

岩手医科大学における風水害等に伴う授業及び定期試験の取扱要領

岩手医科大学における風水害等に伴う授業及び定期試験等の取扱に関し、必要な事項を下記の通り定める。

- 1 風水害等による事故の発生を防止するため、次の各号のいずれかに該当する場合は、休講または定期試験の実施を延期とする。
 - (1) 午前6時から授業または定期試験開始時刻までの間において、岩手県内陸部に暴風または大雪及び暴風雪の警報(以下「暴風警報等」という。)が発令されている場合または発令された場合。ただし、午前10時までに暴風警報等が解除され、公共交通機関が運行した場合、午後からの授業及び定期試験は実施する。
 - (2) 登校後、岩手県内陸部に暴風警報等が発令され、各学部長、研究科長、教養教育センター長が協議の結果、危険と判断した場合。
 - (3) 岩手県内陸部に暴風警報等が発令されると予め想定され、各学部長、研究科長、教養教育センター長が協議の結果、危険と判断した場合。
 - (4) 暴風警報等解除後においても被害が甚大な場合または、各学部長、研究科長、教養教育センター長が協議の結果、危険と判断した場合。
- 2 前項により休講となる場合の学生・教職員等への周知については、次の各号により行う。
 - (1) 前項第1号の場合の学生への周知は、緊急連絡用メールにより行う。
 - (2) 前項第2号及び第3号の場合の学生への周知は、学内掲示、館内放送、緊急連絡用メールにより行う。
 - (3) 前項各号による場合の教職員等への周知は、各教務課が緊急連絡網により行う。
 - (4) 学内外からの照会には各教務課があたる。
- 3 地震等の不測事態による休講等の取扱については、各部局長の判断による。
- 4 教職員の緊急連絡招集等については別に定める。
- 5 本取扱要領の改廃については、各教授会等の議を経るものとし、事務は全学教育企画課が担当する。

【注】(i) 警報は、「盛岡地方気象台が発表する警報」による。

(ii) 警報の発令・解除及び公共交通機関の運行の確認は、テレビ・ラジオ等の報道または各公共交通機関への照会による。

(iii) 学外の実習等の場合は、各実習先または実習担当教員の判断による。

附 則

この要領は令和2年1月30日より施行する。

この施行に伴い、「矢巾キャンパスにおける風水害等に伴う授業及び定期試験等の取扱」を廃止する。

看護学部 履修科目一覧

2024年度及び2025年度入学者適用

区 分		授業科目の名称	ナンバリング	配当 年次	単位数			備 考
					必修	選択	自由	
教養教育科目群	関連科目 I P E	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	N1-L1-A01	1前	2			
		チーム医療リテラシー	N3-S1-A02	3前	1			
		4学部合同セミナー	N4-S1-A03	4前	1			
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	N1-L1-Z01	1前	1			
		基礎自然科学	N1-L1-Z02	1前	1			
		情報科学	N1-L1-Z03	1前	2			
		健康運動科学	N1-L1-Z04	1前	2			
		社会福祉	N1-L1-Z05	1前	1			
		心理学	N1-L1-Z06	1前	1			
		医療面接の基礎	N1-L1-Z07	1後	1			
		生命倫理学	N1-L1-Z08	1後	1			
		データサイエンス	N1-L1-Z09	1後	1			
		English Speaking & Listening	N1-L1-Z10	1後	1			
		English Reading & Writing	N1-L1-Z11	1前	2			4科目から1科目選択
		医療英語	N2-L1-Z12	2前	1			
		ベーシック生物	N1-L2-Z13	1前		1		
		スタンダード生物	N1-L2-Z14	1前		1		
		アドバンスト生物	N1-L2-Z15	1前		1		6科目から1科目選択
		自然・文化人類学	N1-L2-Z16	1前		1		
		ベーシック化学	N1-L2-Z17	1前		1		
		ベーシック物理	N1-L2-Z18	1前		1		
		解析学入門	N1-L2-Z19	1前		1		
		医療とスポーツ	N1-L2-Z20	1前		1		
		医療とコミュニケーション	N1-L2-Z21	1前		1		6科目から1科目選択
		道徳のしくみ	N1-L2-Z22	1前		1		
		ベーシック数学	N1-L2-Z23	1前		1		
		アドバンスト化学	N1-L2-Z24	1前		1		
		アドバンスト数学	N1-L2-Z25	1前		1		
		文学の世界	N1-L2-Z26	1前		1		6科目から1科目選択
		実践英語	N1-L2-Z27	1前		1		
		医療と福祉	N1-L2-Z28	1前		1		
		科学英語	N1-L2-Z29	1後		1		
		医療と物語	N1-L2-Z30	1後		1		6科目から1科目選択
		人間関係論	N1-L2-Z31	1後		1		
		パーソナリティ心理学	N1-L2-Z32	1後		1		
		哲学の世界	N1-L2-Z33	1後		1		
		医療と法律	N1-L2-Z34	1後		1		
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	N1-S1-B01	1後	1			
		生化学	N1-S1-B02	1後	2			
		感染免疫学	N1-S1-B03	1後	2			
		基礎解剖学	N1-S1-B04	1通	2			
		基礎生理学	N1-S1-B05	1通	2			
		病理学概論	N1-S1-B06	1後	1			
		薬理学	N2-S1-B07	2前	2			
		臨床心理学	N2-S1-B08	2前	1			
		疾病論Ⅰ（内科系総論）	N2-S1-B09	2通	2			
		疾病論Ⅱ（外科系総論）	N2-S1-B10	2前	2			
		疾病論Ⅲ（各論）	N2-S1-B11	2後	2			
		疾病論Ⅳ（展開論）	N2-S1-B12	2後	2			
		臨床病態生理学	N3-S1-B13	3前	1			
		看護薬理学	N4-S1-B14	4前	1			
		臨床推論	N4-S1-B15	4前	1			
		医学・医療論	N1-S1-B16	1後	1			
		公衆衛生学・疫学	N3-S1-B17	3前	2			
		保健統計学	N3-S1-B18	3前	2			
	看護専門科目	基礎看護学	看護学概論（全人的医療基礎講座含む）	N1-S1-C01	1通	2		
			看護倫理学	N3-S1-C02	3前	1		
			生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）	N1-S1-C03	1前	1		
			生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）	N1-S1-C04	1後	1		
			フィジカルアセスメント	N1-S1-C05	1後	1		
			診療援助技術論	N1-S1-C06	1後	2		
			看護過程論	N1-S1-C07	1後	1		
			看護過程演習	N2-S1-C08	2前	2		
		地域看護・在宅	地域健康生活論	N1-S1-D01	1前	1		
			地域・在宅看護学概論	N2-S1-D02	2前	2		
			地域・在宅看護学方法論	N2-S1-D03	2後	2		
			地域・在宅看護学演習	N3-S1-D04	3前	1		
		成人看護学	成人看護学概論	N2-S1-E01	2前	1		
			成人慢性期看護方法論	N2-S1-E02	2後	2		
			成人急性期看護方法論	N2-S1-E03	2後	2		
			成人慢性期看護学演習	N2-S1-E04	2後	1		
			成人急性期看護学演習	N3-S1-E05	3前	1		

区 分			授業科目の名称	ナンバリング	配当 年次	単位数			備 考
						必修	選択	自由	
専門科目群	看護専門科目	看護学 老年	老年看護学概論	N2-S1-F01	2前	1			
			老年看護方法論	N2-S1-F02	2後	2			
			老年看護学演習	N3-S1-F03	3前	1			
		看護学 小児	小児看護学概論	N2-S1-G01	2前	1			
			小児看護方法論	N2-S1-G02	2後	2			
			小児看護学演習	N3-S1-G03	3前	1			
		看護学 母性	母性看護学概論	N2-S1-H01	2前	1			
			母性看護方法論	N2-S1-H02	2後	2			
			母性看護学演習	N3-S1-H03	3前	1			
		看護学 精神	精神看護学概論	N2-S1-I01	2前	1			
			精神看護方法論	N2-S1-I02	2後	2			
			精神看護学演習	N3-S1-I03	3前	1			
		看護の統合と実践	災害ケア論	N1-S1-J01	1前	1			
			医療安全論	N2-S1-J02	2後	1			
			緩和ケア論	N2-S1-J03	2後	1			
			国際看護学	N3-S1-J04	3前	1			
			看護研究入門	N3-S1-J05	3前	1			
			看護管理学	N4-S1-J06	4前	1			
			看護研究	N4-S1-J07	4前	1			
		臨地実習	基礎看護学実習	N1-S1-C09	1後	1			
			基礎看護過程実習	N2-S1-C10	2後	2			
			地域・在宅看護学実習	N3-S1-D05	3後～4前	3			
			成人看護学慢性期・回復期実習	N3-S1-E06	3後～4前	3			
			成人看護学急性期実習	N3-S1-E07	3後～4前	3			
			老年看護学実習	N3-S1-F04	3後～4前	3			
			小児看護学実習	N3-S1-G04	3後～4前	2			
			母性看護学実習	N3-S1-H04	3後～4前	2			
			精神看護学実習	N3-S1-I04	3後～4前	2			
			統合看護実習	N4-S1-J16	4後	2			
	発展科目	医療情報論	N3-S2-J08	3前		1		4科目から1科目以上選択	
		災害医療論	N3-S2-J09	3前		1			
		家族ケア論	N3-S2-J10	3前		1			
		スキンケア論	N3-S2-J11	3前		1			
		看護教育論	N4-S2-J12	4前		1		4科目から1科目以上選択	
		メンタルヘルスケア論	N4-S2-J13	4前		1			
		看護政策論	N4-S2-J14	4前		1			
		地域包括ケア論	N4-S2-J15	4前		1			
公衆衛生看護学 関連科目群	対象別健康支援論	N3-S2-K01	3前		1		保健師養成課程選択者のみ履修 （3年次からの選択）		
	公衆衛生看護管理論	N3-S2-K02	3前		1				
	公衆衛生看護方法論	N3-S2-K03	3後		1				
	学校・産業保健論	N3-S2-K04	3後		1				
	健康危機管理論	N3-S2-K05	3後		1				
	地域アセスメント演習	N4-S2-K06	4前		1				
	地区・組織支援論	N4-S2-K07	4前		1				
	保健医療福祉行政論	N4-S2-K08	4後		1				
	公衆衛生看護学実習	N4-S2-K09	4後		3				
	日本国憲法	N2-S2-K10	2後		2				
助産学関連科目群	助産学概論	N3-S2-L01	3前		1		助産師養成課程選択者のみ履修 （3年次からの選択）		
	母子の心理・社会学	N3-S2-L02	3前		1				
	助産診断技術学（ローリスク）	N3-S2-L03	3後		1				
	助産診断技術学（ハイリスク）	N3-S2-L04	3後		1				
	助産診断技術学（新生児）	N3-S2-L05	3後		1				
	性と生殖の健康科学	N3-S2-L06	3後		1				
	母子の健康教育論	N3-S2-L07	3後		1				
	助産診断技術学（分娩期）	N4-S2-L08	4前		2				
	周産期医学	N4-S2-L09	4前		1				
	地域母子保健	N4-S2-L10	4後		1				
	助産管理学	N4-S2-L11	4後		1				
	地域母子保健実習	N4-S2-L12	4後		2				
	助産学実習	N4-S2-L13	4後		8				
	自由科目	看護研究実践演習	N4-S3-J17	4後				1	
地域医療課題解決演習		N1-S3-A04	1～4通			1			
臨床微生物・感染症学		N3-S3-B19	3・4後			1			
感染制御・感染看護演習		N3-S3-B20	3・4後			1			
海外英語演習		N1-L3-Z35	1～4後			2			
卒業要件			看護学部にて4年以上在学し、以下に示す124単位以上を取得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。 （１）教養教育科目群からは、必修15科目19単位、選択4科目4単位、計23単位を取得する。 （２）専門科目群からは、看護専門基礎科目として必修18科目29単位、看護専門科目では必修46科目70単位、発展科目からは選択2科目2単位以上、計101単位以上を取得することとする。 保健師ならびに助産師の国家試験受験資格取得希望者は、上記の卒業要件を満たし、保健師または助産師の養成科目群の所定の単位を取得することとする。						

看護学部カリキュラム全体図

2024 年度及び 2025 年度入学者適用

開講科目			【通期】 地域医療課題解決演習
1 年 次	【通期】 多職種連携のためのアカデミックリテラシー、基礎解剖学、基礎生理学、看護学概論（全人的医療基礎講座含む）	【前期】 医療における社会・行動科学、基礎自然科学、情報科学、健康運動科学、社会福祉、心理学、English Reading & Writing、 <u>選択 A</u> 、 <u>選択 B</u> 、 <u>選択 C</u> 、生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）、地域健康生活論、災害ケア論 【後期】 医療面接の基礎、生命倫理学、English Speaking & Listening、データサイエンス、 <u>選択 D</u> 、医学・医療論、栄養学、生化学、感染免疫学、病理学概論、生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）、フィジカルアセスメント、診療援助技術論、看護過程論、基礎看護学実習、海外英語演習	
	2 年 次	【通期】 疾病論Ⅰ（内科系総論）	
3 年 次		【前期】 チーム医療リテラシー、公衆衛生学・疫学、保健統計学、臨床病態生理学、看護倫理学、地域・在宅看護学演習、成人急性期看護学演習、老年看護学演習、小児看護学演習、母性看護学演習、精神看護学演習、国際看護学、看護研究入門、 <u>発展科目</u> （医療情報論、災害医療論、家族ケア論、スキンケア論）、 <u>対象別健康支援論</u> 、 <u>公衆衛生看護管理論</u> 、 <u>助産学概論</u> 、 <u>母子の心理・社会学</u> 【後期】 <u>公衆衛生看護方法論</u> 、 <u>学校・産業保健論</u> 、 <u>健康危機管理論</u> 、 <u>助産診断技術学（ローリスク）</u> 、 <u>助産診断技術学（ハイリスク）</u> 、 <u>助産診断技術学（新生児）</u> 、 <u>性と生殖の健康科学</u> 、 <u>母子の健康教育論</u> 、 <u>臨床微生物・感染症学</u> 、 <u>感染制御・感染看護演習</u> 、 <u>海外英語演習</u>	
	4 年 次	【前期】 4学部合同セミナー、看護薬理学、臨床推論、看護管理学、看護研究、 <u>発展科目</u> （看護教育論、メンタルヘルスケア論、看護政策論、地域包括ケア論）、 <u>地域アセスメント演習</u> 、 <u>地区・組織支援論</u> 、 <u>助産診断技術学（分娩期）</u> 、 <u>周産期医学</u> 【後期】 <u>統合看護実習</u> 、 <u>保健医療福祉行政論</u> 、 <u>公衆衛生看護学実習</u> 、 <u>地域母子保健</u> 、 <u>助産管理学</u> 、 <u>地域母子保健実習</u> 、 <u>助産学実習</u> 、看護研究実践演習、臨床微生物・感染症学、 <u>感染制御・感染看護演習</u> 、 <u>海外英語演習</u>	

※3 年次後期から 4 年次前期にかけて開講

：保健師養成課程、：助産師養成課程

・選択 A～Dについては、以下から各 1 科目選択

選択 A：ベーシック生物、スタンダード生物、アドバンスト生物、自然・文化人類学

選択 B：ベーシック化学、ベーシック物理、解析学入門、医療とスポーツ、医療とコミュニケーション、道徳のしくみ

選択 C：ベーシック数学、アドバンスト化学、アドバンスト数学、文学の世界、実践英語、医療と福祉

選択 D：科学英語、医療と物語、人間関係論、パーソナリティ心理学、哲学の世界、医療と法律

・発展科目については、（ ）内から 1 科目以上選択

教育課程と保健師助産師看護師学校養成所指定規則との対比表【看護師養成課程】

2024年度及び2025年度入学者適用

[illegible]

指定規則の教育内容 教育課程					別表 3（看護師課程）																							
					基礎分野		専門基礎分野			専門分野							臨地実習							計				
					科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保障制度	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学		精神看護学	看護の統合と実践		
区 分	授業科目	配当年次	単位数		14		22			43							23							102				
			必修	選択																								
専門科目群	看護専門科目	老年看護学	老年看護学概論	2前	1									①												12		
			老年看護学方法論	2後	2										②													
			老年看護学演習	3前	1										①													
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1												①											
			小児看護学方法論	2後	2												②											
			小児看護学演習	3前	1												①											
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1													①										
			母性看護学方法論	2後	2													②										
			母性看護学演習	3前	1													①										
	精神看護学	精神看護学概論	2前	1														①										
		精神看護学方法論	2後	2														②										
		精神看護学演習	3前	1														①										
	看護の統合と実践 臨地実習	災害ケア論	1前	1														①								34		
		医療安全論	2後	1															①									
		緩和ケア論	2後	1															①									
		国際看護学	3前	1															①									
		看護研究入門	3前	1															①									
		看護管理学	4前	1															①									
		看護研究	4前	1															①									
		基礎看護学実習	1後	1																①								
		基礎看護過程実習	2後	2																②								
		地域・在宅看護学実習	3後～4前	3																	③							
		成人看護学慢性期・回復期実習	3後～4前	3																		③						
		成人看護学急性期実習	3後～4前	3																		③						
		老年看護学実習	3後～4前	3																			③					
		小児看護学実習	3後～4前	2																				②				
		母性看護学実習	3後～4前	2																					②			
		精神看護学実習	3後～4前	2																							②	
		統合看護実習	4後	2																							②	
	発展科目	医療情報論	3前		1														①								2	
		災害医療論	3前		1															①								
		家族ケア論	3前		1															①								
		スキンケア論	3前		1																①							
		看護教育論	4前		1																①							
		メンタルヘルスケア論	4前		1																	①						
		看護政策論	4前		1																	①						
		地域包括ケア論	4前		1																	①						
	公衆衛生看護学 関連科目群	対象別健康支援論	3前		1					①																		
		公衆衛生看護管理論	3前		1																							
		公衆衛生看護方法論	3後		1																							
		学校・産業保健論	3後		1																							
		健康危機管理論	3後		1																							
		地域アセスメント演習	4前		1																							
		地区・組織支援論	4前		1																							
		保健医療福祉行政論	4後		1																							
		公衆衛生看護学実習	4後		3																							
		日本国憲法	2後		2																							
	助産学関連科目群	助産学概論	3前		1														①									
		母子の心理・社会学	3前		1																							
		助産診断技術学（ローリスク）	3後		1																							
助産診断技術学（ハイリスク）		3後		1																								
助産診断技術学（新生児）		3後		1																								
性と生殖の健康科学		3後		1																								
母子の健康教育論		3後		1																								
助産診断技術学（分娩期）		4前		2																								
周産期医学		4前		1																								
地域母子保健		4後		1																								
助産管理学		4後		1																								
地域母子保健実習		4後		2																								
助産学実習		4後		8																								
自由科目	看護研究実践演習	4後		1																								
	地域医療課題解決演習	1～4通		1																								
	臨床微生物・感染症学	3・4後		1																								
	感染制御・感染看護演習	3・4後		1																								
	海外英語演習	1～4通		2																								
卒業要件単位数					124		21		31			49							23							124		
指定規則に対する増単位数							7		9			6							0							22		

履修方法及び卒業要件
「教養教育科目群」から23単位(必修19単位、選択4単位)、「専門科目群」から101単位以上(必修99単位、選択2単位以上)、合計124単位以上を取得すること。
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

教育課程と保健師助産師看護師学校養成所指定規則との対比表【保健師養成課程】

2024年度及び2025年度入学者適用

指定規則の教育内容						別表 1（保健師課程）													
						公衆衛生看護学				疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	臨地実習			計			
													公衆衛生看護学実習						
						公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論				2	16（14）	2		2	4（3）	2
必修	選択																		
教育課程		授業科目	配当年次	単位数															
区 分				必修	選択														
教養教育科目群	関 連 目 連 科 E	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1前	2															
		チーム医療リテラシー	3前	1															
		4学部合同セミナー	4前	1															
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1前	1			①												
		基礎自然科学	1前	1															
		情報科学	1前	2															
		健康運動科学	1前	2															
		社会福祉	1前	1								①							
		心理学	1前	1															
		医療面接の基礎	1後	1															
		生命倫理学	1後	1															
		データサイエンス	1後	1															
		English Speaking & Listening	1後	1															
		English Reading & Writing	1前	2															
		医療英語	2前	1															
		ベーシック生物	1前		1														
		スタンダード生物	1前		1														
		アドバンスト生物	1前		1														
		自然・文化人類学	1前		1														
		ベーシック化学	1前		1														
		ベーシック物理	1前		1														
		解析学入門	1前		1														
		医療とスポーツ	1前		1														
		医療とコミュニケーション	1前		1														
		道徳のしくみ	1前		1														
		ベーシック数学	1前		1														
		アドバンスト化学	1前		1														
		アドバンスト数学	1前		1														
		文学の世界	1前		1														
		実践英語	1前		1														
		医療と福祉	1前		1														
		科学英語	1後		1														
		医療と物語	1後		1														
		人間関係論	1後		1														
		パーソナリティ心理学	1後		1														
		哲学の世界	1後		1														
		医療と法律	1後		1														
		専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1													
				生化学	1後	2													
感染免疫学	1後			2															
基礎解剖学	1通			2															
基礎生理学	1通			2															
病理学概論	1後			1															
薬理学	2前			2															
臨床心理学	2前			1															
疾病論Ⅰ（内科系総論）	2通			2															
疾病論Ⅱ（外科系総論）	2前			2															
疾病論Ⅲ（各論）	2後			2															
疾病論Ⅳ（展開論）	2後			2															
臨床病態生理学	3前			1															
看護薬理学	4前			1															
臨床推論	4前			1															
医学・医療論	1後			1															
公衆衛生学・疫学	3前			2					②										
保健統計学	3前			2						②									
看護専門科目	基礎看護学		看護学概論（全人的医療基礎講義含む）	1通	2														
			看護倫理学	3前	1														
			生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）	1前	1														
			生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）	1後	1														
			フィジカルアセスメント	1後	1														
			診療援助技術論	1後	2														
			看護過程論	1後	1														
			看護過程演習	2前	2														
	地域看護学・在宅		地域健康生活論	1前	1		①												
			地域・在宅看護学概論	2前	2		②												
			地域・在宅看護方法論	2後	2			②											
			地域・在宅看護学演習	3前	1			①											
	成人看護学		成人看護学概論	2前	1														
			成人慢性期看護方法論	2後	2														
			成人急性期看護方法論	2後	2														
			成人慢性期看護学演習	2後	1														
			成人急性期看護学演習	3前	1														

2024年度及び2025年度入学者適用																
指定規則の教育内容						別表 1（保健師課程）										
						公衆衛生看護学				疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	臨地実習			計
													公衆衛生看護学実習			
						公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論				2	16（14）	2	
必修	選択															
区 分	授業科目			配当年次	単位数											
						2	16（14）			2	2	4（3）	2	3	31（28）	
専門科目群	看護専門科目	看護学 老年	老年看護学概論	2前	1											1
			老年看護方法論	2後	2											
			老年看護学演習	3前	1				①							
		看護学 小児	小児看護学概論	2前	1											
			小児看護方法論	2後	2											
			小児看護学演習	3前	1											
		看護学 母性	母性看護学概論	2前	1										3	
			母性看護方法論	2後	2											
			母性看護学演習	3前	1											
		看護学 精神	精神看護学概論	2前	1											
			精神看護方法論	2後	2											
			精神看護学演習	3前	1											
		看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1											
			医療安全論	2後	1											
			緩和ケア論	2後	1											
			国際看護学	3前	1											
			看護研究入門	3前	1											
			看護管理学	4前	1											
			看護研究	4前	1											
		臨地実習	基礎看護学実習	1後	1											3
			基礎看護過程実習	2後	2											
			地域・在宅看護学実習	3後～4前	3								③			
			成人看護学慢性期・回復期実習	3後～4前	3											
			成人看護学急性期実習	3後～4前	3											
			老年看護学実習	3後～4前	3											
			小児看護学実習	3後～4前	2											
			母性看護学実習	3後～4前	2											
			精神看護学実習	3後～4前	2											
		統合看護実習	4後	2												
	発展科目		医療情報論	3前		1										3
			災害医療論	3前		1										
			家族ケア論	3前		1			①							
			スキンケア論	3前		1										
			看護教育論	4前		1										
			メンタルヘルスケア論	4前		1										
			看護政策論	4前		1						①				
			地域包括ケア論	4前		1					①					
	公衆衛生看護学		対象別健康支援論	3前		1					①					11
			公衆衛生看護管理論	3前		1					①					
			公衆衛生看護方法論	3後		1			①							
			学校・産業保健論	3後		1										
			健康危機管理論	3後		1				①						
			地域アセスメント演習	4前		1				①						
			地区・組織支援論	4前		1			①							
			保健医療福祉行政論	4後		1					①					
公衆衛生看護学実習			4後		3								③			
日本国憲法	2後		2													
助産学関連科目群		助産学概論	3前		1											
		母子の心理・社会学	3前		1											
		助産診断技術学（ローリスク）	3後		1											
		助産診断技術学（ハイリスク）	3後		1											
		助産診断技術学（新生児）	3後		1											
		性と生殖の健康科学	3後		1											
		母子の健康教育論	3後		1											
		助産診断技術学（分娩期）	4前		2											
		周産期医学	4前		1											
		地域母子保健	4後		1											
		助産管理学	4後		1											
		地域母子保健実習	4後		2											
		助産学実習	4後		8											
自由科目		看護研究実践演習	4後		1											
		地域医療課題解決演習	1～4通		1											
		臨床微生物・感染症学	3・4後		1											
		感染制御・感染看護演習	3・4後		1											
		海外英語演習	1～4通		2											
卒業要件単位数					124		26					5			31	
保健師国家試験受験資格を取得する場合の最低必要単位数					138		26					5			31	
指定規則に対する増単位数						0					0			0		

履修方法及び卒業要件
「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修するほか、「専門科目群」の「家族ケア論」、「看護政策論」、「地域包括ケア論」を履修し、卒業要件単位と合わせて138単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

教育課程と保健師助産師看護師学校養成所指定規則との対比表【助産師養成課程】

指定規則の教育内容										2024年度及び2025年度入学者適用					
										別表 2 （助産師課程）					
										基礎助産学	助産診断・技術学	地域母子保健	助産管理	臨地実習	計
助産学実習															
区 分		授業科目	配当 年次	単位数		6 (5)	10	2	2	11	31 (30)				
				必修	選択										
教養教育科目群	関 連 科 目 I P E	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1前	2											
		チーム医療リテラシー	3前	1											
		4学部合同セミナー	4前	1											
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1前	1											
		基礎自然科学	1前	1											
		情報科学	1前	2											
		健康運動科学	1前	2											
		社会福祉	1前	1											
		心理学	1前	1											
		医療面接の基礎	1後	1											
		生命倫理学	1後	1											
		データサイエンス	1後	1											
		English Speaking & Listening	1後	1											
		English Reading & Writing	1前	2											
		医療英語	2前	1											
		ベーシック生物	1前		1										
		スタンダード生物	1前		1										
		アドバンスト生物	1前		1										
		自然・文化人類学	1前		1										
		ベーシック化学	1前		1										
		ベーシック物理	1前		1										
		解析学入門	1前		1										
		医療とスポーツ	1前		1										
		医療とコミュニケーション	1前		1										
		道徳のしくみ	1前		1										
		ベーシック数学	1前		1										
		アドバンスト化学	1前		1										
		アドバンスト数学	1前		1										
		文学の世界	1前		1										
		実践英語	1前		1										
		医療と福祉	1前		1										
		科学英語	1後		1										
		医療と物語	1後		1										
		人間関係論	1後		1										
		パーソナリティ心理学	1後		1										
		哲学の世界	1後		1										
		医療と法律	1後		1										
		専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1									
				生化学	1後	2									
感染免疫学	1後			2											
基礎解剖学	1通			2											
基礎生理学	1通			2											
病理学概論	1後			1											
薬理学	2前			2											
臨床心理学	2前			1											
疾病論Ⅰ（内科系総論）	2通			2											
疾病論Ⅱ（外科系総論）	2前			2											
疾病論Ⅲ（各論）	2後			2											
疾病論Ⅳ（展開論）	2後			2											
臨床病態生理学	3前			1											
看護薬理学	4前			1											
臨床推論	4前			1											
医学・医療論	1後			1											
公衆衛生学・疫学	3前			2											
保健統計学	3前			2											
看護専門科目	基礎看護学		看護学概論（全人的医療基礎講義含む）	1通	2										
			看護倫理学	3前	1										
			生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）	1前	1										
			生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）	1後	1										
			フィジカルアセスメント	1後	1										
			診療援助技術論	1後	2										
			看護過程論	1後	1										
			看護過程演習	2前	2										
	地域・在宅看護学		地域健康生活論	1前	1			①							
			地域・在宅看護学概論	2前	2										
			地域・在宅看護方法論	2後	2										
			地域・在宅看護学演習	3前	1										
成人看護学	成人看護学概論		2前	1											
	成人慢性期看護方法論		2後	2											
	成人急性期看護方法論		2後	2											
	成人慢性期看護学演習		2後	1											
	成人急性期看護学演習		3前	1											

2024年度及び2025年度入学者適用													
指定規則の教育内容							別表2（助産師課程）						
							基礎助産学	助産診断・技術学	地域母子保健	助産管理	臨地実習	計	
6 (5)	10	2	2	助産学実習 11	31 (30)								
区 分		授業科目	配当 年次	単位数		6 (5)	10	2	2	11	31 (30)		
				必修	選択								
専門科目群	看護専門科目	看護学 老年	老年看護学概論	2前	1						5		
			老年看護学方法論	2後	2								
			老年看護学演習	3前	1								
		看護学 小児	小児看護学概論	2前	1								
			小児看護学方法論	2後	2								
			小児看護学演習	3前	1			①					
		看護学 母性	母性看護学概論	2前	1		①						
			母性看護学方法論	2後	2		②						
			母性看護学演習	3前	1		①						
		看護学 精神	精神看護学概論	2前	1							2	
			精神看護学方法論	2後	2								
			精神看護学演習	3前	1								
		看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1								
			医療安全論	2後	1								
			緩和ケア論	2後	1								
			国際看護学	3前	1								
			看護研究入門	3前	1								
			看護管理学	4前	1					①			
			看護研究	4前	1								
		臨地実習	基礎看護学実習	1後	1								
			基礎看護過程実習	2後	2								
			地域・在宅看護学実習	3後～4前	3								
			成人看護学慢性期・回復期実習	3後～4前	3								
			成人看護学急性期実習	3後～4前	3								
			老年看護学実習	3後～4前	3								
			小児看護学実習	3後～4前	2								
			母性看護学実習	3後～4前	2						①		
			精神看護学実習	3後～4前	2								
		統合看護実習	4後	2									
	発展科目		医療情報論	3前		1							
			災害医療論	3前		1							
			家族ケア論	3前		1							
			スキンケア論	3前		1							
			看護教育論	4前		1							
			メンタルヘルスケア論	4前		1							
			看護政策論	4前		1							
			地域包括ケア論	4前		1							
	公衆衛生看護学 関連科目群		対象別健康支援論	3前		1							
			公衆衛生看護管理論	3前		1							
			公衆衛生看護方法論	3後		1							
			学校・産業保健論	3後		1							
			健康危機管理論	3後		1							
			地域アセスメント演習	4前		1							
			地区・組織支援論	4前		1							
			保健医療福祉行政論	4後		1							
公衆衛生看護学実習			4後		3								
日本国憲法	2後		2										
助産学関連科目群		助産学概論	3前		1	①						22	
		母子の心理・社会学	3前		1		①						
		助産診断技術学（ローリスク）	3後		1		①						
		助産診断技術学（ハイリスク）	3後		1		①						
		助産診断技術学（新生児）	3後		1		①						
		性と生殖の健康科学	3後		1		①						
		母子の健康教育論	3後		1			①					
		助産診断技術学（分娩期）	4前		2		②						
		周産期医学	4前		1		①						
		地域母子保健	4後		1			①					
		助産管理学	4後		1				①				
		地域母子保健実習	4後		2						②		
		助産学実習	4後		8						⑧		
自由科目		看護研究実践演習	4後		1								
		地域医療課題解決演習	1～4通		1								
		臨床微生物・感染症学	3・4後		1								
		感染制御・感染看護演習	3・4後		1								
		海外英語演習	1～4通		2								
卒業要件単位数					124		20			11	31		
助産師国家試験受験資格を取得する場合の最低必要単位数					146		20			11	31		
指定規則に対する増単位数							0			0	0		

履修方法及び卒業要件
「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて146単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

看護学部 オフィスアワー 一覧

オフィスアワーとは、学生が各科目の教員に学業や大学生活全般について質問、相談、あるいは指導等を受けるために設けられている時間です。学生に対して広く開かれた時間ですので、有効に活用して下さい。質問や相談等を希望する学生は、曜日・時間帯を確認し、各教員の研究室にて面談を受けて下さい。

看護学部

所属		担当教員	曜日	時間帯	備 考	
(マルチメディア教育研究棟4階) 共通基盤看護学講座	基礎	野里 同	火・水・木	16：30～17：30	研究室19 内線5403 nozato@iwate-med.ac.jp	
		柏木 ゆきえ	水	16：00～17：00	研究室8 内線5401 事前アポイントがあれば随時可 kasiwagi@iwate-med.ac.jp	
		小林 由美子	火・水・木	16：00～17：00	研究室15 内線5402 事前アポイントがあれば随時可 yumikoba@iwate-med.ac.jp	
		松田 悠史	火・水・木	16：00～17：00	研究室9 内線5406 メールでの事前連絡があれば随時可 matsuy@iwate-med.ac.jp	
	成人	佐藤 奈美枝	月	16：00～17：00	研究室6 内線5419 事前連絡があれば随時可 namies@iwate-med.ac.jp	
		伊藤 奈央	火・木	16：00～17：00	研究室20 内線5358 事前アポイントがあれば随時可 naoito@iwate-med.ac.jp	
		小坂 未来	火・金	15：30～16：30	研究室13 内線5404 事前連絡があれば調整可 mkosaka@iwate-med.ac.jp	
		三上 邦子	月・金	16：30～17：30	研究室13 内線5303 mikamik@iwate-med.ac.jp	
		畑中 るり子	木	16：00～17：00	研究室9 内線5425 hatanrur@iwate-med.ac.jp	
		地域	岩渕 光子	木	12：00～13：00	研究室5 内線5416 事前連絡があれば随時可 iwabuchi@iwate-med.ac.jp
(マルチメディア教育研究棟4階) 地域包括ケア講座	地域	藤澤 純子	月・金	12：00～13：00	研究室9 内線5359 事前連絡があれば随時可 fujisawa@iwate-med.ac.jp	
		赤井 純子	火・木	12：00～13：00	研究室9 内線5426 メールでの事前連絡があれば随時可 jakai@iwate-med.ac.jp	
		五日市 瑠美子	水・木	12：00～13：00	研究室9 内線5202 事前連絡があれば随時可 rumikoi@iwate-med.ac.jp	
		舘向 真紀	火・水・木	16：00～17：00	研究室15 内線5407 事前アポイントがあれば随時可 makiy@iwate-med.ac.jp	
	老年	菊池 佑弥	火・水・木	16：00～17：00	研究室9 内線5405 事前アポイントがあれば随時可 yuyakkc@iwate-med.ac.jp	
		精神	遠藤 太	木	16：30～18：00	研究室3 内線5417 事前アポイントがあれば随時可 futoshie@iwate-med.ac.jp
	熊地 美枝		水・木	16：00～17：00	研究室4 内線5201 事前連絡があれば随時可 kumachi@iwate-med.ac.jp	
	高崎 邦子		火・木	16：30～17：30	研究室16 内線5418 事前連絡があれば調整可 takasaki@iwate-med.ac.jp	
	(マルチメディア教育研究棟4階) 成育看護学講座	小児	高橋 亮	水	16：30～17：00	研究室17 内線5203 事前連絡があれば調整可 tryo@iwate-med.ac.jp
			伊東 佐由美	月～金	16：00～17：00	研究室14 内線5409 事前連絡があれば随時可 sayumii@iwate-med.ac.jp
母性		蛸崎 奈津子	月	15：00～17：00	研究室7 内線5353 事前連絡があれば随時可 kakizaki@iwate-med.ac.jp	
		遊田 由希子	水・木	12：00～14：00	研究室11 内線5355 事前連絡があれば随時可 yuuda@iwate-med.ac.jp	
		西里 真澄	月・水	15：00～17：00	研究室10 内線5354 事前連絡があれば随時可 nishima@iwate-med.ac.jp	
		高橋 淳美	火・木・金	16：00～17：00	研究室14 内線5427 事前連絡があれば随時可 atsumi@iwate-med.ac.jp	
		看護専門基礎講座 (東研究棟2階)	遠藤 龍人	水・木	14：00～16：00	研究室2 内線5420 メールでの事前アポイントメントが望ましい ryuendo@iwate-med.ac.jp
塚本 恭正	月～金		15：00～17：00	研究室3 内線5421 tsukamot@iwate-med.ac.jp		
一ノ渡 学	水・木		15：00～17：00	研究室4 内線5422 事前アポイントがあれば随時可 gakuichi@iwate-med.ac.jp		
看護学部		非常勤教員	授業終了後、教室にて質問等を受け付けます。 後日質問等がある場合は、科目責任者を通じて連絡して下さい。			

医学部・オフィスアワー一覧

「オフィスアワー」とは、授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯のことである。

所属	氏名	曜日	時間帯	場所	備考
学長	小笠原 邦昭	水	10:00～12:00	学長室	事前に学長室内線5001に連絡し アポイントを取ること
副学長	仲 哲治	月～金	9:00～17:00	創薬・医療機器開発教授室	内線：5635
医学教育学講座 医学教育学分野	高田 亮	月・火・水・金	16:00～18:00	医学教育学講座	内線：5102 内線：71339
	相澤 純	月	月：12:00～13:00		内線：71392
医学教育学講座 地域医療学分野	伊藤 智範	月・金	12:00～13:00	医学教育学講座 循環器内科医局	内線：5102 内線：6415
医学教育学講座 教育支援システム開発分野	前沢 千早	月・水	10:00～12:00、13:00～16:00	教育支援システム開発分野（358）	内線：5661
	安平 進士	火・木	17:00～18:00	教育支援システム開発分野（462）	
	柴崎 晶彦	月・火	16:00～17:00		
解剖学講座 人体発生学分野	木村 英二	火	12:00～13:00	人体発生学分野 スタッフルーム	内線：5831
	中野 真人	月～金	17:00～18:00		
	足立 礼孝	月～金	16:00～18:00		
	勝本 恵一	月～金	16:00～18:00		
解剖学講座 細胞生物学分野	齋野 朝幸	火～金	12:00～13:00、16:00～19:00	解剖学講座研究室（405）	内線：5871
	成田 啓之	月～金	12:00～13:00、16:00～17:00		
	アブ'タリ サイド' シャリフ	月～金	12:00～13:00、16:00～19:00		
	阿久津 仁美	月～金	12:00～13:00、16:00～17:00		
	平川 正人	月～金	12:00～13:00、16:00～17:00		
生理学講座 統合生理学分野	中隣 克己	月～金	16:30～19:00	統合生理学分野 スタッフルーム	内線：5733
	木村 眞吾	月～金	16:30～19:00		
	鈴木 喜郎	月～金	16:30～18:45		
	望月 圭	月～金	18:00～20:30		
	駒切 洋	月・水・金	16:30～19:00		
	鈴木 享	月～金	16:30～19:00		
生化学講座 分子医化学分野	金子 桐子	月・火・水・木	16:00～18:00	分子医化学分野 スタッフルーム	内線：5751
	鈴木 亘	月・火・木	16:00～18:00		
	高橋 隼一郎	月・火・水・木	16:00～18:00		
微生物学講座 感染症学・免疫学分野	村木 靖	月・火・水・木・金	12:00～13:00	微生物学講座 教授室（308）	内線：5792
	海部 知則	月・火・水・木・金	12:00～13:00	微生物学講座 スタッフルーム（307）	
	小田切 崇	月・火・水・木・金	12:00～13:00	微生物学講座 スタッフルーム（306）	
	石川 静麻	月・火・水・木・金	12:00～13:00		
薬理学講座 情報伝達医学分野	平 英一	火・水	16:30～17:30	薬理学講座 スタッフルーム（365）	内線：5821
	ハサン アリフ ウル	月・火・水・木・金	16:00～17:00		
	小原 真美	月・水・金	16:00～17:00		
病理学講座 機能病態学分野	片岡 竜貴	火・水	12:00～13:00	病理学講座 教授室（455）	内線：5920
	中村 啓哉	木・金	12:00～13:00	研究室	
	伊藤 謙	水・木	12:00～13:00		
	松崎 駿	月・水	12:00～13:00		
法科学講座 法医学分野	高宮 正隆	火	12:00～12:20	医局	内線：5682
	森川 剛	火	12:00～12:20		
衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三	月～金	16:15～18:00	講座 研究室	内線：5775
	赤坂 憲	月～金	16:15～18:00		
	田鎖 愛理	月～金	16:15～18:00		
	事崎 由佳	月～金	16:15～18:00		
	下田 陽樹	月～金	16:15～18:00		
	高梨 信之	月・火・水・金	16:15～18:00		

内科学講座 消化器内科分野	松本 主之	水	17:00～18:00	医局	内線：6222、6223
	黒田 英克	水	17:30～18:30		
	宮坂 昭生	水	17:30～18:30		
	梁井 俊一	水	17:00～18:00		
	柿坂 啓介	火・木	16:00～18:00		
	鳥谷 洋右	水	17:00～18:00		
	永塚 真	水	17:00～18:00		
	佐々木 裕	水	17:00～18:00		
	遠藤 啓	水	16:30～17:00		
	吉田 雄一	水	16:00～16:30		
	阿部 珠美	水	18:00～18:30		
	鈴木 彰子	水	12:30～13:30		
	星 綾乃	水	17:00～18:00		
	大友 康司	水	17:00～18:00		
	佐々木 登希夫	水	16:30～17:00		
	今成 慧祐	水	16:30～17:30		
	本多 俊介	水	16:30～17:30		
	藤原 裕大	水	16:30～17:00		
内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	石垣 泰	火	15:00～16:00	医局	内線：6271
	高橋 義彦	金	16:00～17:00		
	瀬川 利恵	木	12:00～13:00		
	武部 典子	月	16:00～17:00		
	長谷川 豊	金	9:30～10:30		
	小田 知靖	火	12:00～13:00		
	富樫 弘文	水	16:00～17:00		
	千田 愛	水	12:00～13:00		
	千葉 拓	月	9:00～10:00		
	川島 智美	水	12:00～13:00		
	吉田 絵里子	水	15:00～16:00		
内科学講座 腎・高血圧内科分野	旭 浩一	火	12:15～13:15	教授室	内線：6416
	吉川 和寛	火	12:15～13:15	医局	
	河嶋 英里	火	12:15～13:15		
	野田 晴也	火	12:15～13:15		
	岡本 好生	火	12:15～13:15		
内科学講座 循環器内科分野	森野 禎浩	月～金	12:00～13:30	循環器内科医局	内線：6413
	石田 大	月～金	12:00～13:30		
	大和田 真玄	月～金	12:00～13:30		
	房崎 哲也	月～金	12:00～13:30		
	肥田 頼彦	月～金	12:00～13:30		
	二宮 亮	月～金	12:00～13:30		
	芳沢 礼佑	月～金	12:00～13:30		
	芳沢 美知子	月～金	12:00～13:30		
	佐々木 航	月～金	12:00～13:30		
	二宮 開	月～金	12:00～13:30		
	澤 陽平	月～金	12:00～13:30		
	浅野 峻見	月～金	12:00～13:30		
	登坂 憲吾	月～金	12:00～13:30		
	佐々木 健太	月～金	12:00～13:30		
内科学講座 呼吸器内科分野	川田 一郎	火・木・金	14:30～17:00	医局	内線：6251
	長島 広相	月・水・金	16:30～17:00		
	秋山 真親	火	16:30～17:00		
	内海 裕	月・水・金	16:30～17:00		
	堀井 洋祐	火・水・木	16:30～17:00		
	片桐 紘	月・木・金	16:30～17:00		

内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	藤本 稔	木（第4除く）	9:00～12:00	医局	内線：6471
	村田 興則	木	9:00～17:00		
	鈴木 悠地	木	9:00～17:00		
	駒ヶ嶺 正嗣	金	9:00～12:30		
	大河原 知治	水	9:00～12:00		
	舟嶋 英志	金	9:00～17:00		
	昆 康弘	水（第1.3）	14:00～17:00		
内科学講座 血液腫瘍内科分野	伊藤 薫樹	火	16:30～17:00	教授室	内線：6401
	小宅 達郎	火・木	17:00～18:00	医局・西6階血液病棟	
	古和田 周吾	月・火・木	17:00～18:00		
	岡野 良昭	火・水	17:00～18:00		
	佐藤 剛	火・水	17:00～18:00		
	西谷 真来	月・火・水	12:00～15:00		
	前田 峻大	火・水	17:00～18:00		
内科学講座 脳神経内科・老年科分野	前田 哲也	木	16:00～17:00	脳神経内科・老年科 医局	内線：6431,6432
	板橋 亮	水	16:00～17:00		
	工藤 雅子	月・火	16:00～17:00		
	石塚 直樹	金	16:00～17:00		
	赤坂 博	水	16:00～17:00		
	鈴木 真紗子	木	16:00～17:00		
	岩岡 和博	水	16:00～17:00		
	高橋 真	水	16:00～17:00		
	高橋 健太	水	16:00～17:00		
	津田 圭介	水	16:00～17:00		
	大井 清貴	水	16:00～17:00		
	田口 啓太	水	16:00～17:00		
	寺内 貴廣	水	16:00～17:00		
外科学講座	佐々木 章	火	15:00～17:00	外科学講座 教授室	内線：6220
	新田 浩幸	火	14:00～17:00	外科学講座 教授室	
	鈴木 信	火	14:00～17:00	外科学講座 医局	
	梅邑 晃	火	14:00～17:00		
	井原 欣幸	火	14:00～17:00		
	藤野 順子	火	10:00～11:00		
	馬場 誠朗	水	14:00～17:00		
	石田 和茂	火	14:00～17:00		
	八重樫 瑞典	木	9:00～11:00		
	武田 大樹	火	14:00～17:00		
	二階 春香	水	14:00～17:00		
	安藤 太郎	火	14:00～17:00		
	佐々木 教之	火	14:00～17:00		
	天野 総	火	14:00～17:00		
	瀬川 武紀	火	14:00～17:00		
	天野 怜	火	14:00～17:00		
	川島 到真	火	14:00～17:00		
	熊谷 秀基	水	14:00～17:00		
	棚橋 洋太	火	14:00～17:00		
	菊地 晃司	火	14:00～17:00		
	脳神経外科学講座	赤松 洋祐	月～金		
別府 高明		火	17:00～18:00		
石垣 大哉		月～金	17:00～18:00		
佐藤 雄一		月・水・木	17:00～18:00		
佐浦 宏明		月～金	17:00～18:00		
吉田 純		月～金	17:00～18:00		
大志田 創太郎		月～金	17:00～18:00		
筒井 章太		月～金	12:00～13:00		
柳原 普		月～金	17:00～18:00		

心臓血管外科学講座	金	水・金	17:00～18:00	西5階心臓血管外科 医局	内線：6411
	小泉 淳一	水・木	17:00～18:00		
	枝木 大治	月～金	17:00～18:00		
	齋藤 大樹	月～金	17:00～18:00		
	塩屋 雅人	月～金	17:00～18:00		
	田林 東	月～金	17:00～18:00		
	正木 直樹	月～金	17:00～18:00		
呼吸器外科学講座	齊藤 元	月～金	8:30～17:00	呼吸器外科学講座 医局	内線：6505
	出口 博之	月～金	8:30～17:00		
	友安 信	月～金	8:30～17:00		
	重枝 弥	月～金	8:30～17:00		
	兼古 由香	月～金	8:30～17:00		
	岩井 英碩	月～金	8:30～17:00		
整形外科科学講座	田島 吾郎	水	9:00～12:00	整形外科科学講座 医局	内線：6562
	佐藤 光太郎	木	10:00～11:00		
	丸山 盛貴	木	17:00～18:00		
	大竹 伸平	木	16:00～17:00		
	三又 義訓	月	14:00～17:00		
	及川 伸也	金	9:00～10:00		
	及川 龍之介	火	16:00～17:00		
	鈴木 忠	金	9:00～10:00		
	村上 賢也	火	15:00～17:00		
	山部 大輔	水	17:00～18:00		
	楊 寛隆	金	17:00～18:00		
	千葉 佑介	金	9:00～10:00		
	和田 俊太郎	金	16:00～17:00		
	松浦 真典	水	8:30～9:30		
	高橋 裕孝	水	8:30～9:30		
	月村 悦子	水	8:30～9:30		
形成外科学講座	櫻庭 実	水・金	17:00～18:00	医局	内線：6571
	本多 孝之	水・金	16:00～17:00		
	小野寺 文	水・金	16:00～17:00		
	三橋 伸行	木・金	16:00～17:00		
	阿部 桃子	月～金	15:00～16:30		
	山崎 友和	月・水	16:00～17:00		
産婦人科学講座	馬場 長	火	16:00～17:00	産婦人科学講座 医局	内線：3750
	小山 理恵	金	16:00～17:00		
	庄子 忠宏	金	16:00～17:00		
	利部 正裕	金	16:00～17:00		
	岩動 ちず子	金	16:00～16:30		
	永沢 崇幸	金	16:00～17:00		
	尾上 洋樹	火	16:00～17:00		
	羽場 厳	金	16:00～17:00		
	川村 花恵	金	16:00～17:00		
	佐々木 佳夏子	講義終了後に受け付ける			
	佐藤 翔	講義終了後に受け付ける			
	高取 恵里子	講義終了後に受け付ける			
	佐藤 千絵	講義終了後に受け付ける			
	海道 善隆	金	16:00～17:00		
	村上 一行	講義終了後に受け付ける			
	鈴木 南奈子	講義終了後に受け付ける			
	黒川 絵里加	講義終了後に受け付ける			
	武蔵 実久	講義終了後に受け付ける			
	岡田 有加	講義終了後に受け付ける			
	高木 駿	講義終了後に受け付ける			

小児科学講座	赤坂 真奈美	月・木	17:00～18:00	医局	内線：3701
	石川 健	火	12:00～13:00		
	齋木 宏文	木	12:00～17:00		
	外館 玄一朗	火・木	13:00～17:00		
	鳥谷 由貴子	火・水・木・金	15:00～17:00		
	中野 智	火	12:00～13:00		
	松本 敦	月・水	17:00～18:00		
	三浦 翔子	水・金	14:00～16:00		
	水間 加奈子	月・火・金	12:00～13:00		
	草野 修司	月・火・金	12:00～13:00		
	朝倉 賀子	月・火・木・金	14:00～18:00		
	八敏 瑛子	火・木	11:00～12:00		
	谷藤 幸子	月・火	12:00～14:00		
	浅見 麻耶	月・火	9:00～17:00		
	佐藤 啓	水・木	12:00～14:00		
	小野寺 千夏	金	12:00～14:00		
	田金 星都	月～木	16:00～17:00		
	滝沢 友里恵	木・金	12:00～14:00		
	千田 悠太郎	火・水	16:00～17:00		
	吉田 太郎	月・木・金	14:00～16:00		
	阿部 志津香	月～金	11:00～17:00		
	齋藤 寛治	月・金	16:00～17:00		
	鈴木 幸之介	月・水・木	9:00～17:00		
	高橋 学	火・木	14:00～16:00		
	千葉 智子	月・火・木・金	9:00～11:00		
	豊島 浩志	月・水・木	14:00～17:00		
耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	中西 啓	月	17:00～19:00	医局	内線：6302
	片桐 克則	木・金	17:00～19:00		
	及川 伸一	火	10：00～17：00		
	亀井 昌代	火・木	17:00～		
	阿部 俊彦	火・木・金	17:00～		
	桂 彩	火・水	17:00～		
	土田 宏大	月	18:00～18：30		
眼科学講座	黒坂 大次郎	月	17:00～18:00	眼科学講座 医局	内線：6582
	橋爪 公平	月	16:00～17:00		
	新田 順福	月	17:30～18:30		
	及川 誠	月	17:30～18:30		
	清野 太郎	月	17:30～18:30		
	橋浦 哲哉	月	14:00～16:00		
	伊藤 愉一胤	月	17:00～18:00		
	今泉 利康	月	17:00～18:30		
	大島 広之	月	17:00～18:00		
	福田 一央	月	17:00～18:00		
皮膚科学講座	天野 博雄	水	17:00～18:00	皮膚科学講座 医局	内線：6543
	角田 加奈子	月	10:00～12:00		
	渡部 大輔	木	17:00～18:00		
	三浦 慎平	火	17:00～18:00		
	渡辺 彩乃	水	16:00～17:00		
	井上 剛	水	17:00～18:00		

泌尿器科学講座	小原 航	水	9:00～10:00	泌尿器科学講座 医局	内線：6551
	阿部 貴弥	月	9:00～10:00		
	杉村 淳	水	18:00～19:00	内丸MC控室	
	兼平 貴	火	18:00～19:00	泌尿器科学講座 医局	
	加藤 廉平	月	18:00～19:00		
	前川 滋克	火	18:00～19:00		
	五十嵐 大樹	火	18:00～19:00		
	塩見 叡	火	18:00～19:00		
	井藤 綾人	火	18:00～19:00		
	阿部 正和	火	18:00～19:00		
	田村 大地	海外留学中	海外留学中		
	久野 瑞貴	火	18:00～19:00		
神経精神科学講座	大塚 耕太郎	火	16:30～18:00	矢巾附属病院10階 神経精神科学講座 医局	内線：2011
	八木 淳子	金	12:00～13:00		
	三條 克巳	水	17:00～18:00		
	福本 健太郎	火	16:00～17:00		
	山家 健仁	火	16:00～17:00		
	内出 希	金	10:00～12:00		
	三田 俊成	水	16:00～17:00		
	吉岡 靖史	月	16:00～17:00		
	本多 笑奈	木	9:00～10:00		
放射線医学講座	田中 良一	月・金	16:00～16:30	放射線科 医局	内線：6322
	加藤 健一	月・水・木・金	16:00～16:30		
	鈴木 智大	火・木	16:00～17:00	放射線科 読影室	内線：2121
	田村 明生	火～金	16:00～17:00	放射線科 医局	内線：6322
	鈴木 美知子	月・木・金	9:00～10:00	放射線科 読影室	内線：2121
	折居 誠	月・金	16:00～17:00		
	小原 牧子	水	12:00～13:00		
	川島 和哉	月・金	15:00～17:00		
	曾根 美都	月・金	15:00～17:00		
	向井田 瑛佑	水・木	16:00～17:00		
	藤原 純平	月・金	15:00～17:00		
麻酔学講座	熊谷 基	月～金	16:30～	麻酔科管理室	内線：2465
	大畑 光彦	月～金	16:30～		
	脇本 将寛	月～金	16:30～		
	水間 謙三	月～金	16:30～		
	久慈 昭慶	月～金	16:30～		
	中野 雄介	月～金	16:30～		
	田村 雄一郎	月～金	16:30～		
	畠山 知規	月～金	16:30～		
	宮田 美智子	月～金	16:30～		
	小川 祥平	月～金	16:30～		
	高橋 裕也	月～金	16:30～		
	栗原 寛人	月～金	16:30～		
	新居 正季子	月～金	16:30～		
臨床検査医学・感染症学講座	仲村 究	火	14:00～17:00	臨床検査医学・感染症学講座 教授室	内線：6331
	藤原 亨	木	12:00～13:00	臨床検査医学・感染症学講座 医局	
	小野寺 直人	木	9:00～10:00		
	熊谷 亜希子	月	12:30～13:30		
	七崎 之利	月	13:00～14:00		
	高橋 敬太	木	11:00～12:00		
	日比谷 健司	火	9:00～12:00		

救急・災害医学講座	眞瀬 智彦	火・木	14:00～17:00	災害センター 研究室	内線：5565
	高橋 学	月～金	12:00～13:00	救急センター 医局	内線：2682、2683
	藤田 友嗣	月～金	12:00～13:00		
	菅 重典	月～木	12:00～13:00		
	佐藤 寿穂	月～金	12:00～13:00		
	吉直 大佑	月～金	12:00～13:00		
	森野 豪太	月～金	12:00～13:00		
	野々口 マリア	月～金	12:00～13:00		
	横藤 壽	月～金	12:00～13:00		
	富永 綾	火・水	14:00～17:00	災害センター 研究室	内線：5565
	藤原 弘之	火・木	14:00～17:00	救急センター 医局	内線：2682、2683
	金子 拓	火・木	14:00～17:00		
	寺山 茉莉	月～金	12:00～13:00		
	星 眞太郎	月～金	12:00～13:00		
総合診療医学講座	下沖 収	月	17:00～18:00	医局	内線：#6304
	大間々 真一	月	17:00～18:00		
	高橋 智弘	木	17:00～18:00		
	米田 真也	月・火・水	16:00～17:00		
	山田 哲也	月・火	17:00～18:00		
岩手県高度救命救急センター	藤野 靖久	月～金	12:00～13:00	救急センター 医局	内線：2683
	小鹿 雅博	月～金	12:00～13:00		
	千田 光平	月～金	12:00～13:00		
	三崎 俊斉	月～金	12:00～13:00		
	丹田 実	月～金	12:00～13:00		
	石井 修平	月～金	12:00～13:00		
	佐々木 秀策	月～金	12:00～13:00		
	八鍬 一貴	月～金	12:00～13:00		
	藤本 健太郎	月～金	12:00～13:00		
	石田 馨	月～金	12:00～13:00		
	藤澤 良介	月～金	12:00～13:00		
	佐藤 貴紀	月～金	12:00～13:00		
病理診断学講座	柳川 直樹	月～金	17:00～	医局	内線：2393
	刑部 光正	月～金	17:00～		
	杉本 亮	月～金	17:00～		
	伊藤 一洋	月～金	17:00～		
臨床腫瘍学講座	板持 広明	月	15:00～17:00	医局	内線：2083
	岩谷 岳	水・木	17:00～19:00		
	遠藤 史隆	金	15:00～17:00		
医療安全学講座	肥田 圭介	木	12:00～14:00	医療安全管理部	内線：6112
睡眠医療学科	西島 嗣生	火・水	17:00～19:00	睡眠医療学科 医局	内線：#3358 emailでの連絡可
	細川 敬輔	月・火・木	17:00～19:00		
	細川 里絵	水	9:00～12:00		
臨床遺伝学科	鈴森 伸宏	金	16:00～17:00	臨床遺伝学科 医局	内線：#3258
	山本 佳世乃	金	16:00～17:00		
	吉田 明子	水	16:00～17:00		
	小林 有美子	金	16:00～17:00		
	勝部 暢介	月	16:00～17:00		
緩和医療学科	木村 祐輔	月～水	17:00～18:00	緩和医療学科 医局	内線：3364
	鴻巣 正史	月・火・金	17:00～18:00		
	中村 聖華	月・火	17:00～18:00		
放射線腫瘍学科	有賀 久哲	火	17:00～18:30	医局	内線：6322
	菊池 光洋	月	17:00～18:00		
	及川 博文	火	17:00～18:00		
	家子 義明	月	17:00～18:00		
	瀬川 昂史	月	12:00～13:00		
リハビリテーション医学講座	西村 行秀	月・火	月：14:00～17:00 火：10:00～12:00	教授室	内線：3733
	西山 一成	火・金	火：9:00～12:00 金：10:00～12:00	リハビリテーション科医室	内線：3731
災害・地域精神医学講座	赤平 美津子	火	17:00～18:00	神経精神科学講座 医局	内線：2371

いわて東北メディカル・メガバンク 機構臨床研究・疫学研究部門	永井 雅人	随時	随時	医局	内線：5464
いわて東北メディカル・メガバン ク機構生体情報解析部門	須藤 洋一	月～金	12:30～13:30	医局	内線：5472
	山崎 弥生	月～金	10:00～12:00		
	楠 詩織	月～金	10:00～12:00		
非常勤（客員）講師	授業終了後に教室で質問を受け付ける。後日質問がある際には各科目のコーディネータを通じて連絡すること。				

医歯薬総合研究所 オフィスアワー一覧

「オフィスアワー」とは、授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯のことである。

所属	氏名	曜日	時間帯	場所	備考
学長	小笠原 邦昭	水	10:00～12:00	学長室	事前に学長室内線5001に連絡し アポイントを取ること
副学長	仲 哲治	月～金	9:00～17:00	創薬・医療機器開発教授室	内線：5635
医歯薬総合研究所長	仲 哲治	月～金	9:00～17:00	創薬・医療機器開発教授室	内線：5635
医歯薬総合研究所創薬・医療機器 開発部門	西塚 哲	火・木	火：16:00～17:00木：12:00～13:00	教授室	内線：5685
	世良田 聡	月・木	13:00～17:00	107室	内線：5635
	鈴木 悠地	木	9:00～17:00	医局	内線：6471
	阿保 亜紀子	水・木・金	10:00～17:00	スタッフルーム（102室）	内線：5686
	真柳 平	月～金	16:00～17:00	神経科学研究部門	内線：5711
	開 勇人	火・木・金	10:00～17:00	スタッフルーム（102室）	内線：5687
医歯薬総合研究所基盤の研究部門	寺崎 一典	随時	随時	医局	内線：3331
	山下 典生	月・水	15:00～17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
	上野 育子	月・火・水	15:00～17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
	佐々木 敏秋	随時	随時	医局	内線：3331
	若井 淳	水	12:00～13:00	動物研究センター	内線：5390
	松田 豪	火・木・金	15:00～17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
	森 太志	水・木・金	15:00～17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
非常勤（客員）講師	授業終了後に教室で質問を受け付ける。後日質問がある際には各科目のコーディネータを通じて連絡すること。				

歯学部・オフィスアワー一覧

オフィスアワーとは、学生が各科目の教員に学業や大学生活全般に関する質問・相談、あるいは指導等を受けるために設定されている時間で、広く学生に対して開かれた時間です。学生諸君は、日々の授業での疑問などを後々まで残さないよう、この制度を積極的に利用してください。

面談を希望する学生は、科目ごとに記載されているオフィスアワー一覧（シラバスに掲載）により各教員の実施方法を確認の上、面談希望教員とそれぞれの方法に従い連絡をとり、面談を受けてください。

内線番号は矢巾キャンパス、及び外線を経由して発信する際の番号です。内丸キャンパスから発信する際は、#のある番号は#を抜き、#のない番号は最初に#を付けて発信してください。

1. 時 間 あらかじめ特定の時間帯を示す。
2. 面談方式 オープン方式（学生は自由に教員を訪問し、質問等ができる）

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
学 長	小笠原 邦昭	水	10 : 00～12 : 00	学長室 事前に学長室（内線 5001）に連絡しアポイントを取ること
解剖学講座 機能形態学分野	藤原 尚樹	月～金	16 : 30～17 : 30	解剖学講座機能形態学分野研究室 410 室 （内線 5842） naokif@iwate-med.ac.jp
	吉岡 望	月～金	16 : 30～17 : 30	解剖学講座機能形態学分野研究室 410 室 （内線 5842） yoshinoz@iwate-med.ac.jp
解剖学講座 発生生物・再生医学分野	原田 英光	月～金	16 : 30～17 : 30	解剖学講座 発生生物・再生医学分野研究室（内線 5881）または hideha@iwate-med.ac.jp
	大津 圭史	月～金	16 : 30～17 : 30	解剖学講座 発生生物・再生医学分野研究室（内線 5881）または kotsu@iwate-med.ac.jp
	池崎 晶二郎	月～金	16 : 30～17 : 30	解剖学講座 発生生物・再生医学分野研究室（内線 5881）または sikezaki@iwate-med.ac.jp
生理学講座 病態生理学分野	黒瀬 雅之	月・木	16 : 30～17 : 30	病態生理学分野 211 室 内線 5692 kurose@iwate-med.ac.jp
	加藤 哲也	火・水	16 : 30～17 : 30	病態生理学分野 213 室 内線 5690 tkkatou@iwate-med.ac.jp
生化学講座 細胞情報科学分野	石崎 明	月	16 : 30～17 : 30	生化学講座細胞情報科学分野教授室 内線 5740 aishisa@iwate-med.ac.jp
	帖佐 直幸	水	16 : 30～17 : 30	生化学講座細胞情報科学分野 スタッフルーム（253 室）内線 5741 nchosa@iwate-med.ac.jp
	横田 聖司	水	16 : 30～17 : 30	生化学講座細胞情報科学分野 スタッフルーム（253 室）内線 5741 syokota@iwate-med.ac.jp
微生物学講座 分子微生物学分野	石河 太知	月～金	16 : 00～17 : 00	微生物学講座分子微生物学分野教授室 内線 5800 tishikaw@iwate-med.ac.jp
	三浦 利貴	月～金	12:00～13:00 16:00～17:00	微生物学講座分子微生物学分野 スタッフルーム 1 303 内線 5801 tosmiura@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
薬理学講座 病態制御学分野	中村 正帆	月	16 : 00～16 : 30	薬理学講座病態制御学分野スタッフルーム 363 内線 5811 tadahonk@iwate-med.ac.jp
	田村 晴希	月	12 : 00～13 : 00 16 : 00～17 : 00	薬理学講座病態制御学分野スタッフルーム 363 内線 5811 htamura@iwate-med.ac.jp
	山田 ありさ	月	16 : 00～17 : 00	薬理学講座病態制御学分野スタッフルーム 363 内線 5811 yamaari@iwate-med.ac.jp
病理学講座 病態解析学分野	入江 太朗	木	16 : 00～18 : 00	病理学講座病態解析学分野 教授室 内線 5900 tarou@iwate-med.ac.jp
	佐藤 泰生	木	16 : 00～17 : 30	病理学講座病態解析学分野 461 室 staisei@iwate-med.ac.jp
法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野	熊谷 章子	木	18 : 00～19 : 00	法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 スタッフルーム 内線 5684 kumagaia@iwate-med.ac.jp
医療工学講座	武本 真治	木	16 : 30～17 : 30	医療工学講座教授室西 317 (内線 5760) takemoto@iwate-med.ac.jp
	佐々木 かおり	月・木	16 : 30～17 : 30	医療工学講座スタッフルーム西 316 (内線 5763) sskkaori@iwate-med.ac.jp
歯科保存学講座 う蝕治療学分野	野田 守	木	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 nodam@iwate-med.ac.jp
	浅野 明子	月	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 akiasano@iwate-med.ac.jp
	千田 弥栄子	火	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 yaekon@iwate-med.ac.jp
	東 兼司	水	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 kenjih@iwate-med.ac.jp
	相上 雄亮	水	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 yaigami@iwate-med.ac.jp
	大塚 泰寛	水	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 oyasuhir@iwate-med.ac.jp
	清水 彩恵子	水	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 tobishi@iwate-med.ac.jp
	鈴木 大平	水	18 : 00～19 : 00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 staihei@iwate-med.ac.jp
歯科保存学講座 歯周療法学分野	佐々木 大輔	月	17 : 00～18 : 00	歯周療法学分野医局 (372 号室) daisukes@iwate-med.ac.jp
	村井 治	火・木	17 : 00～18 : 00	歯周療法学分野医局 (372 号室) osamurai@iwate-med.ac.jp
	鈴木 啓太	水	17 : 00～18 : 00	歯周療法学分野医局 (372 号室) esuzuki@iwate-med.ac.jp
	相原 恵子	火	17 : 00～18 : 00	歯周療法学分野医局 (372 号室) kaihara@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野	小林 琢也	金	17:00～18:00	教授室（441号室） 内線 #4531 kobataku@iwate-med.ac.jp
	佐藤 宏明	木	17:30～18:30	義歯外来、医局、研究室 内線 4441 satohiro@iwate-med.ac.jp
	米澤 悠	木	17:00～18:00	医局、研究室 内線 4406 yyone@iwate-med.ac.jp
	米澤 紗織	木	17:00～18:00	医局、研究室 内線 71576 saki@iwate-med.ac.jp
	原 総一郎	火	17:00～18:00	医局、研究室（406号室） 内線 4406 sohara@iwate-med.ac.jp
	島田 崇史	木	17:00～18:00	医局、研究室（406号室） 内線 #71575 shintak@iwate-med.ac.jp
	伊藤 凌	木	17:00～18:00	医局、研究室（404号室） 内線 71563 itoryo@iwate-med.ac.jp
歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野	今 一裕	火	17:00～18:00	医局、研究室 453号室 kazukon@iwate-med.ac.jp
	深澤 翔太	水	17:30～18:30	医局、研究室 447号室 sfu@iwate-med.ac.jp
	横田 潤	火	17:00～18:00	医局、研究室 445号室 jyokota@iwate-med.ac.jp
	福德 暁宏	水	17:00～18:00	医局、研究室 447号室 内線 #4418 afukuto@iwate-med.ac.jp
	齊藤 裕美子	月	16:00～17:00	医局、研究室 433号室 内線 4439 ysaito@iwate-med.ac.jp
	佐々木 溪斗	水	17:00～18:00	医局、研究室 407号室 内線 4418 sasakikeito0329@gmail.com
	八戸 勇樹	水	17:00～18:00	医局、研究室 407号室 内線 4418 yk.8nohe@gmail.com
	星 美貴	水	17:30～18:30	医局、研究室 445号室 内線 #4440 hoshmiki@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	山田 浩之	月	18 : 00～19 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野 教授室 内線 6311 yamadah@iwate-med.ac.jp
	川井 忠	木	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 6311 kawait@iwate-med.ac.jp
	大橋 祐生	月・火・ 木・金	18 : 00～20 : 00	矢巾附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科医局 内線 6302 yohashi@iwate-med.ac.jp
	古城 慎太郎	金	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 6311 kshint@iwate-med.ac.jp
	平野 大輔	月・木・金	16 : 00～17 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71535 thirano@iwate-med.ac.jp
	高橋 美香子	水	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71590 tmikako@iwate-med.ac.jp
	野宮 孝之	月・水	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71116 tnomiya@iwate-med.ac.jp
	秋本 祐基	火	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71527 akimoto@iwate-med.ac.jp
	川又 慎介	月・火・ 木・金	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71529 kawashi@iwate-med.ac.jp
	矢菅 絵里加	月・火	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71530 erikay@iwate-med.ac.jp
口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	佐藤 健一	火	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 5 階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 satoken@iwate-med.ac.jp
	筑田 真未	月	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 5 階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 mchikuda@iwate-med.ac.jp
	佐藤 州	金	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 5 階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 satoshu@iwate-med.ac.jp
	坂野上 和奏	水	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 5 階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 sakanoue@iwate-med.ac.jp
	柳町 晴香	木	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 5 階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 yanaharu@iwate-med.ac.jp
	前澤 五月	木	17 : 00～18 : 00	矢巾附属病院 5 階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 satsukim@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野	泉澤 充	火・木・土	12 : 00～13 : 00	歯科放射線学分野・特任教授室(134号室) 内線 #4513 mizumisa@iwate-med.ac.jp
	高橋 徳明	火・木	17 : 00～18 : 00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 71574 tnoriaki@iwate-med.ac.jp
	佐藤 仁	木	17 : 00～18 : 00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 satohito@iwate-med.ac.jp
	星野 正行	水・金	17 : 00～18 : 00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 mhoshino@iwate-med.ac.jp
	星 勲	水	17 : 00～18 : 00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 isaohosh@iwate-med.ac.jp
	金森 尚城	月・火・水	12 : 00～13 : 00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 kanataka@iwate-med.ac.jp
	菅野 江美	火・木・金	12 : 00～13 : 00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 emkanno@iwate-med.ac.jp
口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	佐藤 和朗	木	17 : 00～18 : 00	歯科矯正学分野・教授室(456号室) 内線:4533 kazsatoh@iwate-med.ac.jp
	桑島 幸紀	木	17 : 00～19 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 ykuwaji@iwate-med.ac.jp
	飯塚 康之	月	17 : 00～19 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 yiizuka@iwate-med.ac.jp
	菊池 恵美子	木	12 : 00～13 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 eaomatsu@iwate-med.ac.jp
	浅沼 莞奈	木	12 : 00～13 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 asanumak@iwate-med.ac.jp
	深澤 慶子	木	12 : 00～13 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 keikof@iwate-med.ac.jp
	上田 茜	木	12 : 00～13 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 uakane@iwate-med.ac.jp
	吉田 弘法	月	17 : 00～18 : 00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 hironori@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野	熊谷 美保	月～木	18 : 00～19 : 00	小児歯科学・障害者歯科学分野 5 階医局 (PHS 71557) mkumagai@iwate-med.ac.jp
	齊藤 桂子	月～金	18 : 00～19 : 00	小児歯科学・障害者歯科学分野 5 階医局 (PHS 71587) ksaiitho@iwate-med.ac.jp
	磯部 可奈子	月・水・ 木・金	16 : 00～17 : 00	小児歯科学・障害者歯科学分野 5 階医局 (PHS 71485) kisobe@iwate-med.ac.jp
口腔医学講座 関連医学分野	千葉 俊美	月～金	16 : 00～17 : 00	口腔医学講座 関連医学分野 教授室 440 号室 内線 #4435 toschiba@iwate-med.ac.jp
	王 挺	月～金	16 : 00～17 : 00	口腔医学講座 関連医学分野 研究室 444 号室 内線 #4228 tingwang@iwate-med.ac.jp
口腔医学講座 予防歯科学分野	佐藤 俊郎	火・水・木	17 : 00～18 : 00	予防歯科学分野 519 号室 (内 #4516) toshiros@iwate-med.ac.jp
	衣斐 美歩	月～金	16 : 00～17 : 00	予防歯科学分野 519 号室 (内 #4516) mibi@iwate-med.ac.jp
	大石 泰子	火・木・金	16 : 00～17 : 00	予防歯科学分野 519 号室 (内 #4516) toishi@iwate-med.ac.jp
	佐藤 華子	月・金	17 : 00～18 : 00	予防歯科学分野 517 号室 (内 #4518) satohana@iwate-med.ac.jp
	杉山 由紀子	月・水・木	17 : 00～18 : 00	予防歯科学分野 517 号室 (内 #4518) yukikosu@iwate-med.ac.jp
非常勤教員	授業後に教室で質問を受け付ける。後日、質問がある場合は科目責任者を通じて連絡すること。			

薬学部オフィスアワーについて

オフィスアワーとは、学生が教員に学業や大学生活全般について広く質問をしたり、相談あるいは指導等を受けるために開かれた時間です。
有効に利用してください。
希望者は、分野ごとに記載されている下記一覧表を確認の上、各教員の実施方法に従って面談を受けてください。

所属		氏名	曜日	時間帯	備 考
薬科学講座	創薬有機化学分野	河野 富一	月・水・金	12:00~13:00	場所：創薬有機化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		辻原 哲也	火・木・金	17:00~18:00	場所：創薬有機化学分野スタッフルーム2 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		稲垣 祥	火・水・木	17:00~18:00	場所：創薬有機化学分野スタッフルーム1 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
	天然物化学分野	田浦 太志	月～金	12:00~13:00 16:00~18:00	場所：天然物化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		浅野 孝	月～金	16:00~18:00	場所：天然物化学分野スタッフルーム
	構造生物薬学分野	野中 孝昌	金	16:20~17:00	場所：Moodleの構造生物薬学分野コース Zoomによるオンライン面談。予約不要。
		阪本 泰光	月～金	16:30~17:30	場所：構造生物薬学分野スタッフルーム 質問の際には、教科書、ノートおよび筆記用具を持参してください。 左記の時間帯以外でも在室時は相談可。
	分析化学分野	藤本 康之	月～金	12:00~13:00 17:00~19:00	場所：分析化学分野スタッフルーム(東研究棟4階 454) 左記以外でも在室時は対応可。
生物薬学講座	機能生化学分野	關谷 瑞樹	月～金	12:00~13:00 16:30~19:00	場所：機能生化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
	生体防御学分野	大橋 綾子	月～金	12:05~12:55	場 所：生体防御学分野にて（東研究棟3階 352-353） 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。 質問の際は、教材や筆記用具を持参すること。
		錦織 健児	月～金	16:10~18:00	
病態薬理学講座	分子細胞薬理学分野	奈良場 博昭	月～金	12:00~13:00 17:00~19:00	場所：分子細胞薬理学分野教授室 左記以外でも在室時は可
		藤原 俊朗	月・火・木	16:10~18:00	場所：分子細胞薬理学分野スタッフルーム（西研究棟356）等 左記以外でも在室時は可
			水・金	18:00~19:00	
		高橋 巖	月～金	12:00~13:00 16:10~17:00	場所：分子細胞薬理学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可
	臨床医化学分野	野口 拓也	月～金	16:00~19:00	場所：臨床医化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
医療薬科学講座	創剤学分野	杉山 育美	月～金	16:10~17:30	場所：創剤学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可
	薬物代謝動態学分野	幅野 渉	月～金	16:00~18:00	場所：薬物代謝動態学分野（東研究棟4階 459～461） 左記の時間帯以外でも在室時は相談可。
		寺島 潤	月～金	9:00~17:00	場所：薬物代謝動態学分野（東研究棟4階 459～461） 在室時は随時対応
	衛生化学分野	杉山 晶規	月～金	17:00~19:00	場所：衛生化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		米澤 穂波	月～金	17:00~19:00	場所：衛生化学分野スタッフルーム 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
臨床薬学講座	臨床薬剤学分野	工藤 賢三	月～金	17:00~19:00	場所：臨床薬剤学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		朝賀 純一	月～金	17:00~19:00	場所：臨床薬剤学分野スタッフルーム315 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		高橋 宏彰	月～金	16:30~18:00	場所：臨床薬剤学分野スタッフルーム317 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
	情報薬科学分野	西谷 直之	月～金	16:30~18:00	場所：情報薬科学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可
		佐京 智子	月～金	16:30~18:00	場所：情報薬科学分野スタッフルーム 左記の時間帯以外でも在室時は相談可
		氏家 悠貴	火～金	13:00~17:00	
	地域医療薬学分野	松浦 誠	月～金	16:10~18:00	場所：地域医療薬学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可
	薬学教育学分野	白石 博久	月～金	12:10~12:50	場所：薬学教育学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可

※非常勤教員は、授業終了後に教室で質問を受け付ける。後日質問がある際には科目責任者を通じて連絡すること。

教養教育センター オフィスアワー一覧

オフィスアワーとは、学生が教員に学業や大学生活全般について広く質問をしたり、相談あるいは指導等を受けたりするために開かれた時間です。有効に利用してください。希望者は以下一覧表を確認のうえ、各教員の実施方法に従って面談を受けてください。

担当教員		担当教員	曜日	時間帯	備 考
人間科学科	哲学分野	林 研	月・金	16:30～17:30	266人間科学科 教授・准教授室
		三浦 康宏	水	16:30～17:30	264-1文学分野 研究室
	法学分野	廣瀬 清英	火～木	12:00～13:00	223法学分野 研究室
	心理学・ 行動科学分野	藤澤 美穂	水・金	12:00～13:00	262人間科学科 教授・准教授室
		香川 由美	月・水・金	16:30～17:30	267心理学・行動科学分野 研究室
	体育学分野	佐々木 亮平	月・水・金	12:00～13:00	103体育学分野 研究室
情報科学科	数学分野	江尻 正一	月～金	16:30～17:30	257情報科学科 教授・准教授室
		長谷川 大	月～金	16:30～17:30	225数学分野 研究室
	医学統計 情報学分野	高橋 史朗 教養教育センター長 教養教育センター学生部長	月・木	16:30～17:30	258情報科学科 教授・准教授室
		小野 保	月・水	16:30～17:30	222医学統計情報学分野 研究室
物理学科		奥村 健一	月～金	16:30～17:30	253物理学科 教授・准教授室
		小松 真	月～金	17:00～18:00	254物理学科 研究室2 komatsum@iwate-med.ac.jp
		小田 泰行	月～金	16:30～17:30	254物理学科 研究室2
化学科		中島 理 教務専門委員長	月	12:00～13:00	256化学科 教授・准教授室
		東尾 浩典	月～金	16:30～17:30	255化学科 研究室
		吉田 潤	月・水	16:30～17:30	255化学科 研究室
生物学科		三枝 聖	月・水・金	16:30～17:30	261生物学科 研究室
		菅 孔太朗	月・水・金	16:30～17:30	261生物学科 研究室
		内藤 雪枝	月・水・金	12:00～13:00	261生物学科 研究室
外国語学科	英語分野	柳谷 千枝子	月・木・金	16:30～17:30	265外国語学科 教授・准教授室
		松田 竜宙	火・木	16:30～17:30	224英語分野 研究室2
		Jonathan Levine-Ogura	月～金	16:30～17:30	221英語分野 研究室4
		Robert Ken Asano	月・水・金	16:30～17:30	226英語分野 研究室1
教養教育センター		非常勤教員		授業終了時	各講義室